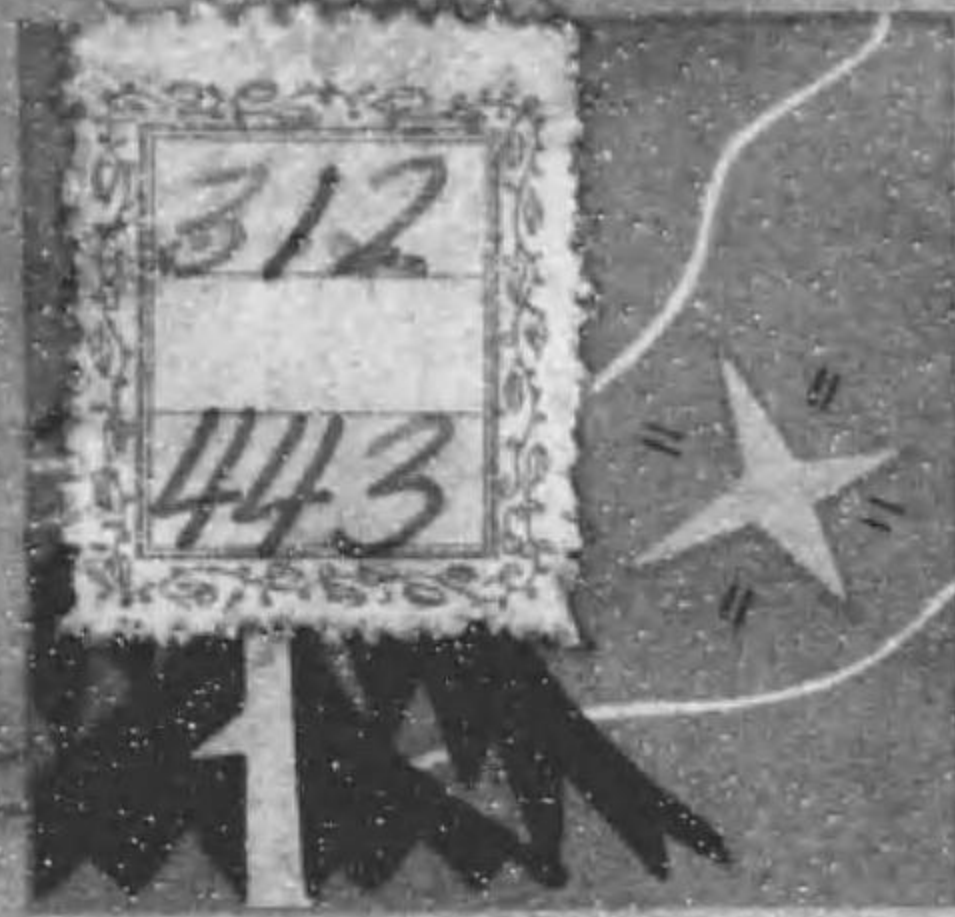


始



GRAPHIC YEAR BOOK
of
JAPANESE GEOGRAPHY

心中フラグ
鑑年理地本日

修監生先助平邊山省部文託
纂編社針指海學

版年三和昭

行發社針指海學京東



第210
400

模型白地圖

日本地方別 十枚
六大洲別 六枚
定價一枚五錢均一

模型白地圖は東京師範學校教授内田寛一先生が、地理實習に便益を與へんが爲に立案せられたるものを、本社が獨特の技術を以て、厚紙に地形を浮出させた地理模型である。故に一見して地形を觀察し得るは勿論、地圖と對照せば容易に地圖を讀解し得べく、又これに彩色を施せば鮮明なる立體地圖となり、更に都邑鐵道産業等を記入せば、地文と人文との關係を會得せらるゝのである。

以上の如き利便あり、模型白地圖賞賛の聲は、今や天下に満ちてゐる。かるが故に地理年鑑と両々相待つて實習の資料とせば、地理學習の進歩や測り知るべからざるものあらん。

東京市神田區昌平河岸四號地

學海指針社

電話 三六〇番
振替東京三〇二番



- 一、昭和現代の覺醒したる地理教育界に於て、焦眉の要求なるものが、孤立的事象の詳報や、千篇一律的教授書の類にあらずして、整理されたる有機的諸現象の具體化を始めとし、直ちに取りつて多々益と辨示せられ得る諸種の教便物、實習資料等に在ることは、極めて當然と言はねばならない。
- 一、本書は斯くの如き趣旨主張の實現を期して編纂せられたものである。其の組織はまづ前編(本文)、後編(附録)に大別せらる。前編は表圖(五色刷地圖十二面)と裏圖(二色刷圖表二十二圖)から成り、表圖は日本總圖・各地方圖と、我が國三大生産物たる米・繭及び生絲、織物の三分布圖に分れて居り、地方圖は地勢を本體として、之に配する人口一萬以上の都會や各種の勝地、出力一萬キロワット以上の水力發電所の如き、地勢との關係を容易に推究せしめるものを以てし、加ふるに山岳・湖沼の比較圖繪及び各地方斷面圖を附載し、河川の流程や流域面積も直ちに看取しやすからしめてある。
- 一、裏圖に在つては主として表圖と同一地方に於ける代表的産物の比較圖表がそれぞれ配當してあり、其の間には又府縣の面積・人口及び都市の人口比較圖表、大開港場の貿易圖表等も適宜挿入してある。すべて表圖に於ては大いに分解的地圖たるの體面を發揮して、かの總合的教科用地圖に入るの階梯たらしめ、又裏圖と共に或は垂直に、或は水平に觀察して、諸相の心髓に觸れると言ふことに留意してある。
- 一、附録に在つては日本全體・内地・植民地及び特權地域の別に従ひ、主として人文事項の諸統計中苟も地理教授上に採つて以て資料とするに必要なるものは多方面に互つて之を精選彙集してあり、中にも神社・佛閣の如き

は社格・祭神・宗屬を明記するは勿論、都邑や勝地又は山岳との關係を取り、以て地理的考察に資せしめるの便を圖つてある。其の他各項の間に於て簡要の説明を附記して主要産業の徑路・趨勢又は實習上の注意等に言及し、更に三十有餘の圖表を各所に挿入してある。故に之を附録と稱すれども、普通の統計書や年鑑書の無味雜駁なるものに比して、全然其の撰を異にしてゐる。實に本書の一大特色は亦こゝにもあるを首肯せられるであらう。

一、故に教師にして本書一冊を手にするればかの教壇上に於ける焦燥不安の如きは忽然散消し、泰然自若として、革新的地理教授の行程を精進することが出来よう。又之を生徒に使用せしむれば、地人相關の有機的諸現象を分解的に觀察推究せしめ、或は自學自習の誘導となり、劃一的教育の緩和を圖る上に一道の光明を見出されるであらう。かくて教壇の上下相一致して的確に秩序的に、しかも愉快に教學の歩武を進めんか、こゝに始めて地理教育の使命を全うし得るものなるは編者の信じて疑はないところである。

一、要するに本書が考匠の斬新、用意の周到、内容の充實を始めとし、價額の低廉に至るまで、實に奉仕的努力の結晶たることは、單に其の片鱗を一瞥して直ちに諒知せられる事であらう。しかし斯く確信しながら、編者非才、尙改善の餘地を留めんことを虞れる。幸にして大方諸彦の忌憚ない叱正高教に依り、重版加齡、完璧となつて益々地理教育界に貢獻するに至らんか、編者は茲に國恩萬分の一を報じ得たるを無上の光榮としようと思ふ。

凡 例

一、各地方圖の山岳記號(火山は赤)と山岳圖繪の山岳とは南北又は東西の直線上に於て一致せしめてあり、川筋の河口附近に添記せる黒數字は流程(里)、赤數字は流域面積(方里)、湖沼圖繪の數字の赤は面積(方軒)、黒は海拔(米)、藍は最大水深を示したものである。

一、各地方圖の都邑記號は人口(單位1,000) 10—20—50—100—200—500—1,000—以上の七階級に分けてあり、其中人口200以上のものは第三圖日本の人口(二)に於て特別に取扱つてある。すべて數字は山岳・河湖等に關するものゝ外、1,000を單位とし、數頭に㊦㊧㊨等を記して然らざるものとの區別を明かにしてある。

一、圖表中、蘭印は蘭領印度、英印は英領印度、海峽は海峽植民地、口亞は露領亞細亞、南阿は南阿弗利加の略、又海峽及び蘭印・フィリピン群島を外國貿易上、南洋と總稱した場合もある。

一、附録は兼ねて産業統計の一般的索引たらしめるために各種目中、一度地方圖に於いて圖示するものといへども、之を網羅して系統を明かにし、且相互の關係を知るに便せしめてある

一、本書の編纂は下記の最近圖書に負ふ所が最も多い。

日本帝國統計年鑑 農林省統計表 商工省統計表
大日本外國貿易年表 外國貿易概覽 本邦鑛業の趨勢
文部省年報 內務省統計書 鐵道省統計書 日本燈臺表
逓信省電氣事業要覽 參謀本部地圖 趣味の湖沼學
工業年鑑 水産實典 時事年鑑 理科年表
官國幣社一覽表 樺太要覽 樺太廳治要覽
臺灣總督府統計書 臺灣事情 朝鮮總督府統計書
朝鮮要覽 關東廳統計書 關東廳要覽 滿蒙年鑑
南洋群島現勢要覽 南洋群島事情

目 次

第一圖 【日本の領土・四周及び面積】

- ①日本の領土・四周 ②面積—①日本各部 ③本州各部 ④日本各部本地の面積・周囲 ⑤特権地域 ⑥日本の四極

第二圖 【日本の人口】(一)

- ①日本各部 ②本州各部 ③特権地域 ④内地人の域外分布

第三圖 【日本の人口】(二)

- ①内地人口の増加 ②種族別人口 ③八大都會の人口

第四圖 【關東地方圖】(一)

- ①關東地方 ②山岳 ③断面圖 ④湖沼

第五圖 【關東地方圖】(二)

- ①府縣の面積・人口 ②市の人口 ③大麥 ④小麥

第六圖 【關東地方圖】(三)

- ①葉煙草 ②小麥粉 ③醬油 ④橫濱港の貿易

第七圖 【奥羽地方圖】(一)

- ①奥羽地方 ②山岳 ③断面圖 ④湖沼 ⑤縣の面積・人口

第八圖 【奥羽地方圖】(二)

- ①市の人口 ②苹果 ③銅 ④鐵

第九圖 【中部地方圖】(一)

- ①中部地方 ②山岳 ③断面圖 ④湖沼

第十圖 【中部地方圖】(二)

- ①縣の面積・人口 ②市の人口 ③製茶 ④日本梨

第十一圖 【中部地方圖】(三)

- ①葡萄 ②輸出羽二重 ③絹紬・富士絹 ④漆器

第十二圖 【中部地方圖】(四)

- ①陶磁器 ②大豆油粕 ③鯉節 ④石油

第十三圖 【近畿地方圖】(一)

- ①近畿地方 ②山岳 ③断面圖 ④湖沼

第十四圖 【近畿地方圖】(二)

- ①府縣の面積・人口 ②蜜柑 ③水瓜 ④燐寸 ⑤硝子

第十五圖 【近畿地方圖】(三)

- ①再製糖 ②護謨製品 ③神戸港の貿易 ④大阪港の貿易

第十六圖 【中國・四國地方圖】(一)

- ①中國・四國地方 ②山岳 ③断面圖 ④湖沼 ⑤縣の面積・人口

第十七圖 【中國・四國地方圖】(二)

- ①牛 ②疊表 ③莫莖・花筵 ④麥稈眞田 ⑤罐詰

第十八圖 【中國・四國地方圖】(三)

- ①夏橙 ②鹽 ③鯛 ④鮪 ⑤和紙

第十九圖 【九州地方圖】(一)

- ①九州地方 ②山岳 ③断面圖 ④湖沼 ⑤縣の面積・人口 ⑥市の人口

第二十圖 【九州地方圖】(二)

- ①裸麥 ②甘藷 ③菜種 ④馬 ⑤豚

第二十一圖 【九州地方圖】(三)

- ①石炭 ②セメント ③硫酸アンモニヤ ④金 ⑤銀

第二十二圖 【北海道・樺太地方圖】(一)

- ①北海道・樺太地方 ②山岳 ③断面圖 ④湖沼

第二十三圖 【北海道・樺太地方圖】(二)

- ①馬鈴薯 ②大豆 ③大豆の輸入 ④薄荷 ⑤薄荷腦の輸出 ⑥鯉搾粕

第二十四圖 【北海道・樺太地方圖】(三)

- ①鰯 ②洋紙 ③北海道の卓越産物 ④樺太の重要産物

第二十五圖 【臺灣地方圖】(一)

- ①臺灣地方 ②山岳 ③断面圖 ④湖沼 ⑤州・廳の面積・人口 ⑥市の人口 ⑦産業圖(米・砂糖) ⑧砂糖の増收 ⑨米の増收

第二十六圖 【臺灣地方圖】(二)

- ①甘藷 ②バナナ ③水牛・黄牛 ④豚 ⑤漁獲物
⑥鹽

第二十七圖 【臺灣地方圖】(三)

- ①其の他の重要産物 ②内地貿易 ③外國貿易 ④港
別貿易

第二十八圖 【朝鮮地方圖】(一)

- ①朝鮮地方 ②山岳 ③断面圖 ④湖沼 ⑤道の面
積・人口 ⑥府の人口 ⑦産業圖(米・大豆)

第二十九圖 【朝鮮地方圖】(二)

- ①大麥 ②小麥 ③粟 ④棉 ⑤牛

第三十圖 【朝鮮地方圖】(三)

- ①漁獲物 ②水産製造物 ③鹽 ④鑛業 ⑤重要鑛山

第三十一圖 【産業圖】(一)一米

- ①米の分布と過不足額 ②米の増収 ③米の輸移入
額 ④米の用途

第三十二圖 【産業圖】(二)一繭・生絲

- ①繭・生絲の分布 ②生絲の増収 ③生絲の輸出 ④
生絲の地方別 ⑤繭の地方別

第三十三圖 【産業圖】(三)一織物 ⑥紡績・撚絲

- ①三大織物の分布 ②各種織物 ③紡績 ④撚絲

第三十四圖 【産業圖】(四)一織物 ⑥綿絲

- ①麻織物及び麻交織物 ②特殊織物 ③輸出絹織物
の消長 ④綿絲

附 録

第一 日本全体の部	1
(一)氣象 (二)各地の潮汐	
第二 内地の部	
(一)【農業】	7
①耕地 ②重要農産物 ③園藝農産物(一)一蔬菜	
④園藝農産物(二)一果實 ⑤工藝農産物	

(二)【牧畜】	11
(三)【林業】	12
①林野面積 ②森林伐採 ③用材種別 ④用材主 産地 ⑤薪炭材 ⑥林野産物	
(四)【水産業】	15
①四近の海棚の面積 ②海岸線の延長 ③漁獲物 ④漁獲物(一)一魚類 ⑤漁獲物(二)一其他 ⑥ 水産製造物 ⑦汽船トロール漁業 ⑧汽船捕鯨⑨ 遠洋漁業	
(五)【工業】	23
①生産額累年比較 ②主要生産地 ③生産額職業 別 ④主要工産物 ⑤其他	
(六)【鑛業】	35
(七)【水力電氣】	40
(八)【外國貿易】	42
①輸出入額累年比較 ②重要輸出品 ③重要輸入 品 ④港別貿易 ⑤國別貿易	
(九)【交通】	51
①鐵道 ②隧道・鐵橋 ③軌道 ④汽船 ④自動車 ⑤航空機 ⑥主要燈臺	
(十)【教育】	57
(十一)【軍備】	60
(十二)【神社】	62
(十三)【宗教】	65
(十四)【地方區劃】	67
(十五)【町の人口】	69
(十六)【市町の數】	74
第三 植民地の部	
(一)【樺太】	75
①農業 ②牧畜 ③水産業 ④林業 ⑤工業 ⑥交 通 ⑦神社・宗教 ⑧人口の増加 ⑨都邑	
(二)【臺灣】	76

①農業 ②牧畜 ③林業 ④水産業 ⑤工業 ⑥貿易
⑦鑛業 ⑧交通 ⑨教育・軍備・神社 ⑩宗教
⑪都邑

(三)【朝鮮】.....78

①農業 ②牧畜 ③林業 ④水産業 ⑤鑛業 ⑥工業
⑦貿易 ⑧交通 ⑨教育・軍備・神社 ⑩宗教
⑪都邑

(四)【關東州】.....83

①面積・人口 ②農業 ③牧畜 ④水産業 ⑤工業
⑥貿易 ⑦交通 ⑧都邑

(五)【滿洲】.....85

①面積・人口 ②滿洲の内地人 ③氣象 ④農業
⑤牧畜 ⑥林業 ⑦鑛業 ⑧貿易 ⑨交通 ⑩日本
領事館

(六)【南洋諸島】.....88

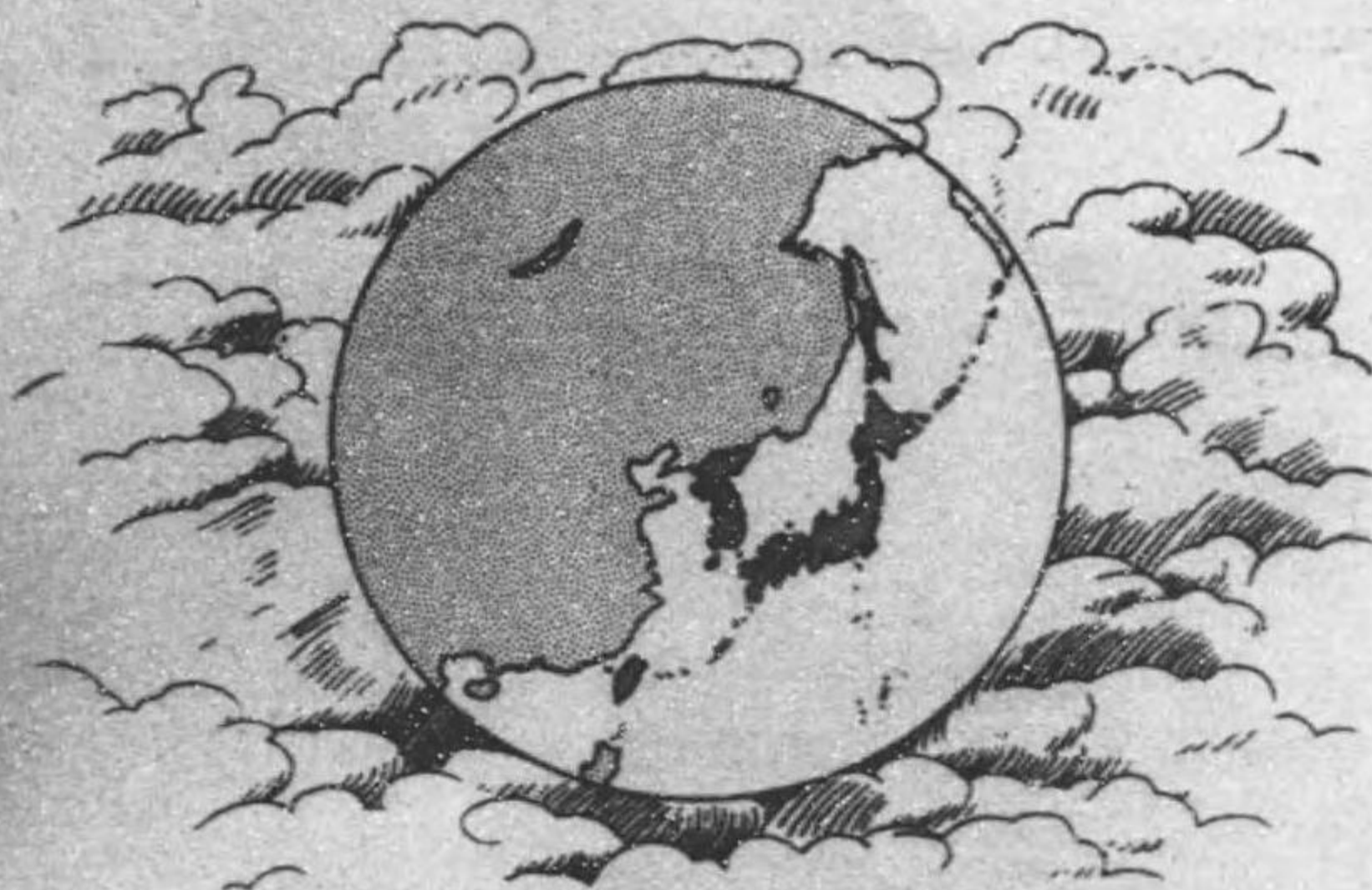
①四極 ②面積・人口 ③主要島の面積・人口 ④島
民の分布 ⑤行政區劃 ⑥産業 ⑦貿易 ⑧交通

—【たばり】—

GRAPHIC YEAR BOOK
OF JAPANESE GEOGRAPHY

心中フラグ
鑑年理地本日

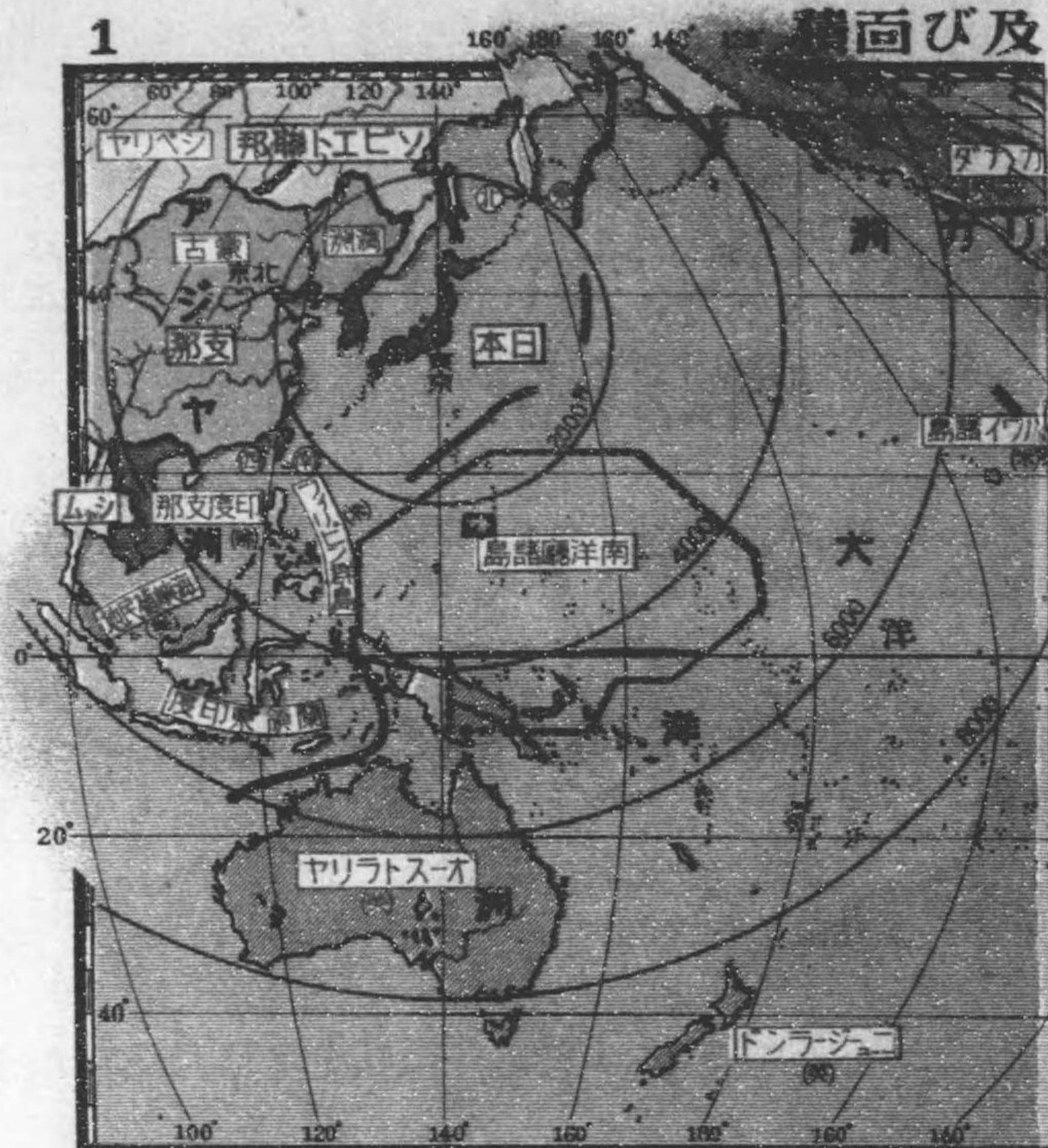
修監生先助平遠山 省部文
託 囑
纂編社針指海學



發行 **社針指海學** 東京

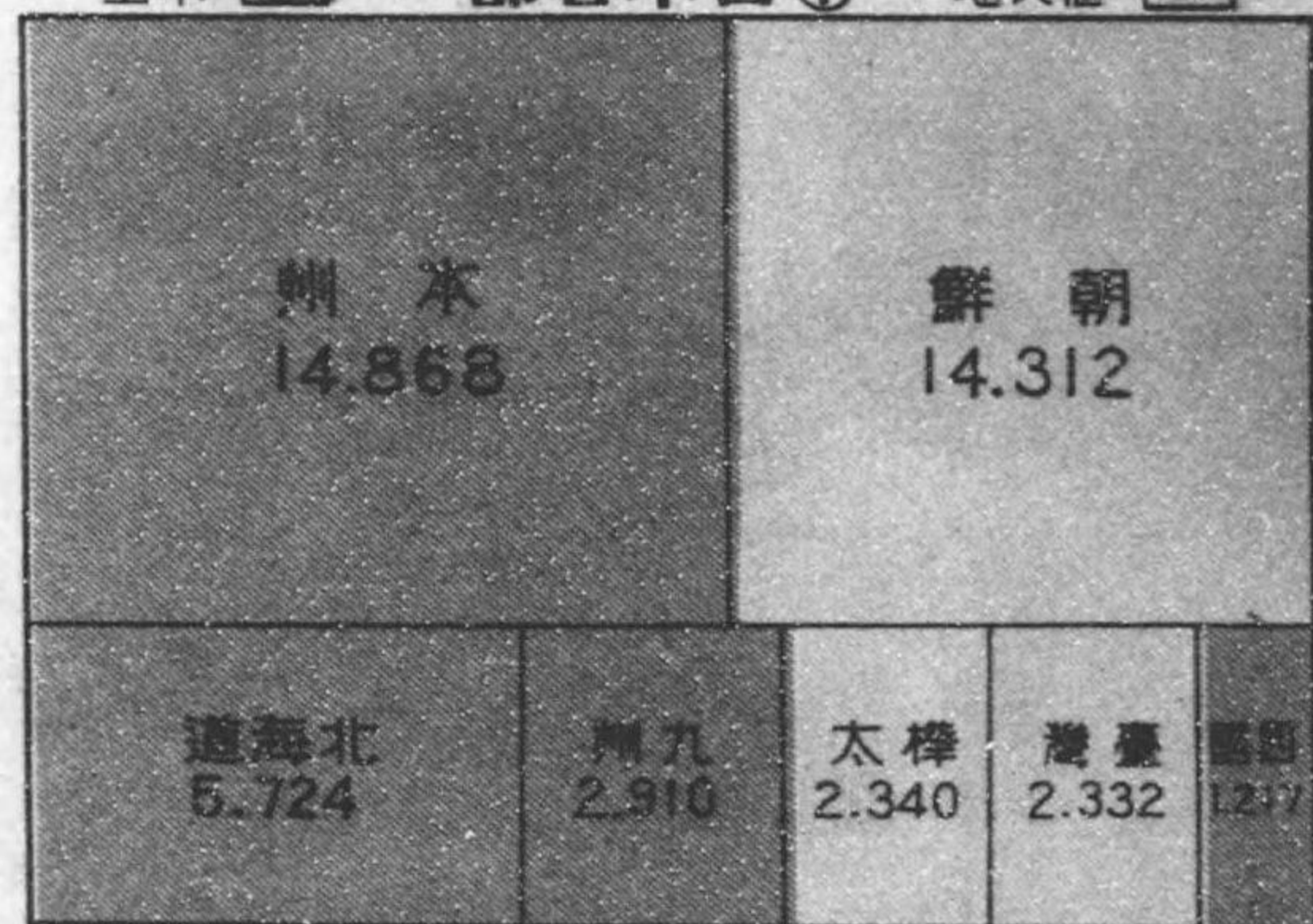
露光量違いの為重複撮影

1



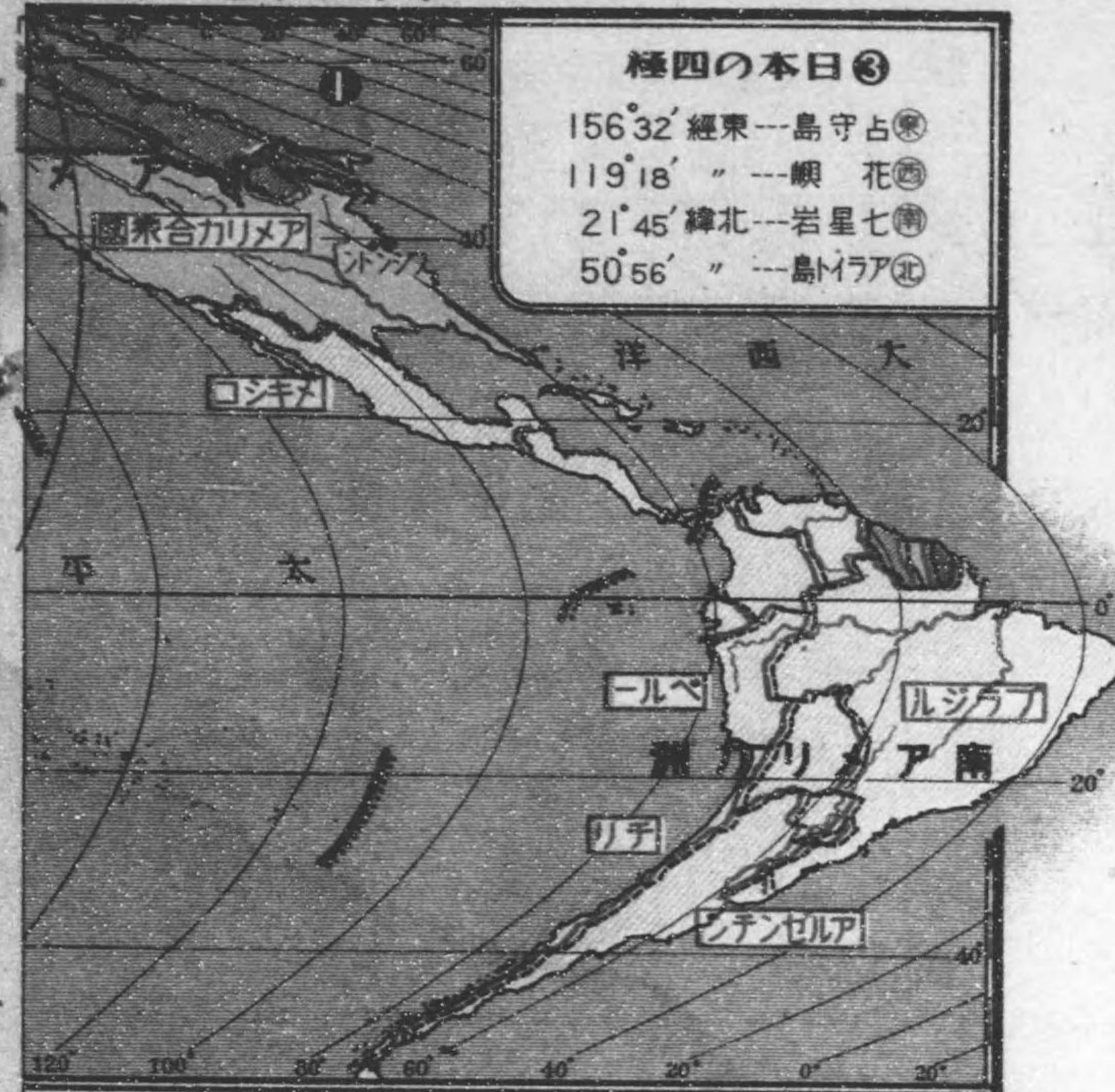
(總數 43.703)
本地 24.719

土本 部各本日 地民植



0 1000 2000 4000 6000 8000 1:154,000,000

周四土領の本日



積面

植民地 18.984

部各州本

國周積面の地本部各本日

(測實の敬忠能伊は*)
(了未は査調の近最)

(國周)	(積面)	州本
1.953	14.492	州本*
451	1.151	國四*
861	2.312	州九*
583	5.057	道海北*
?	?	太樺
290	2.323	灣臺
2.212	13.925	朝鮮

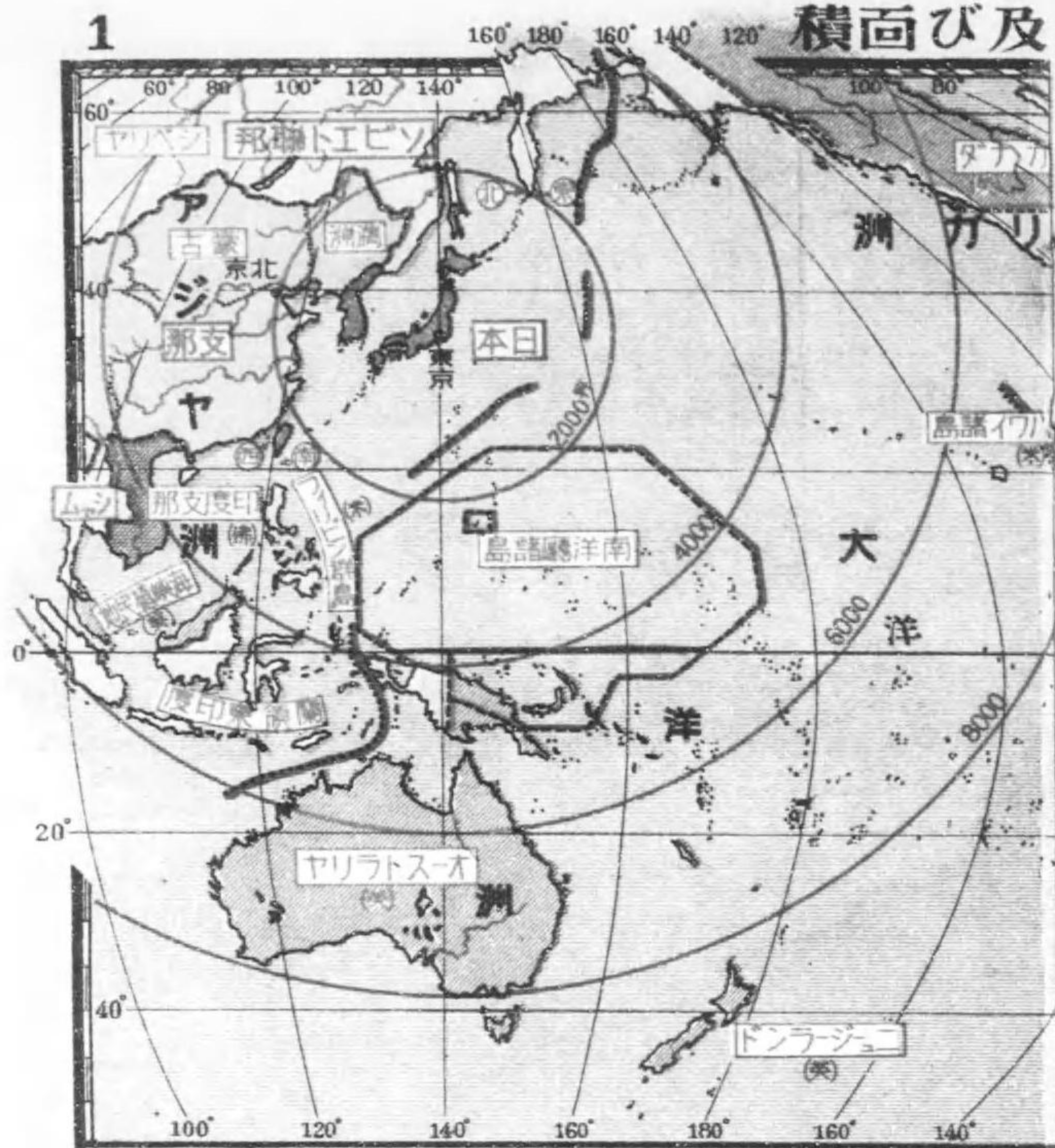
域地權特

224----地借租州東關
139----地治統任委洋南
17--地屬附道鐵洲滿南

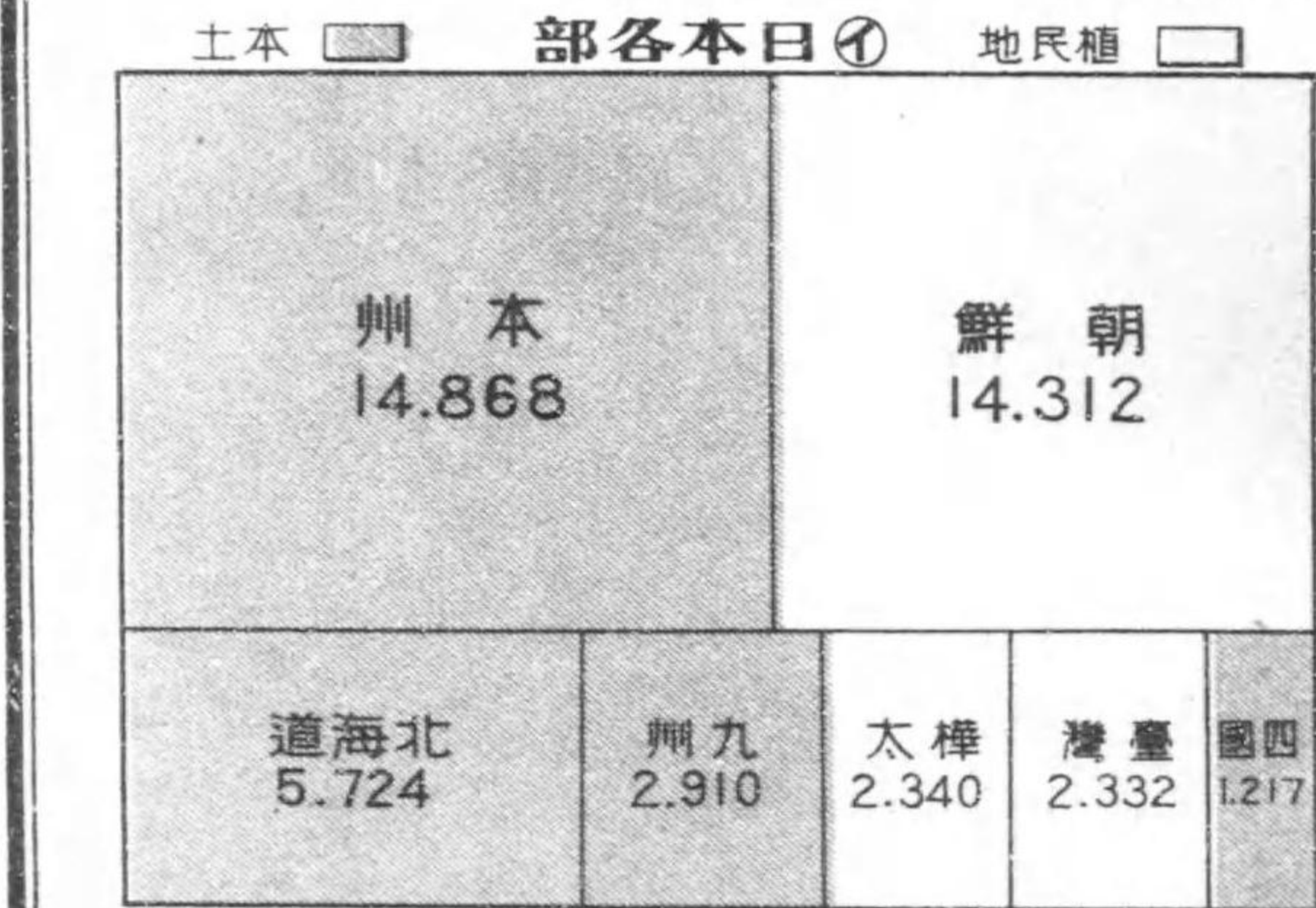
0 1000 2000 4000 6000 8000

Bearb.v.S.Shōda

露光量違いの為重複撮影

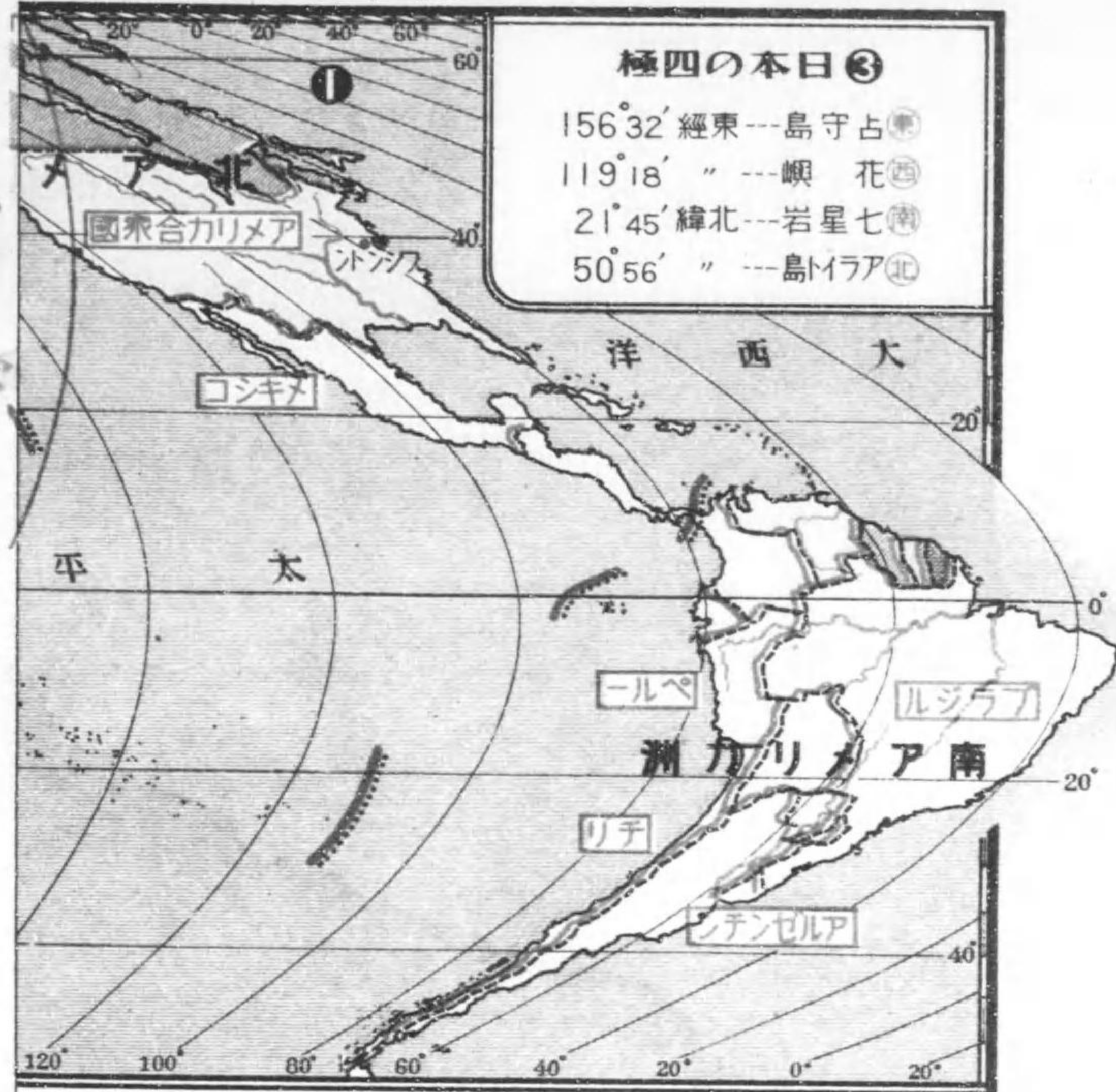


(總數 43.703) 方里
本地 24.719



0 1000 2000 4000 6000 8000 1:154.000.000

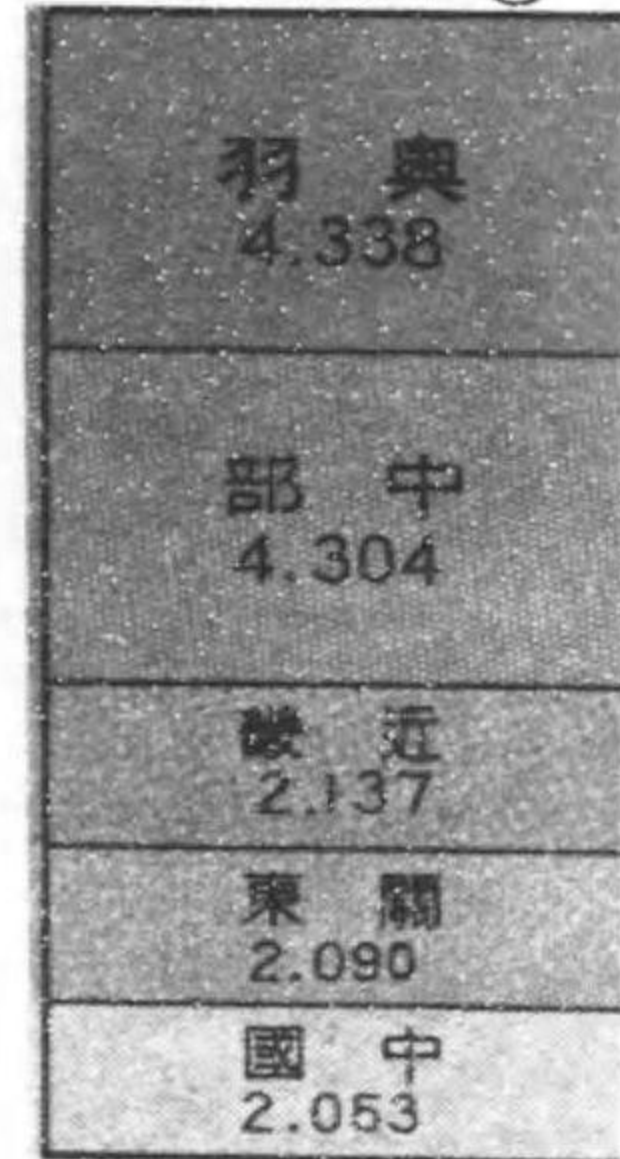
周四土領の本日



積面 ②

植民地 18.984

部各州本 ①



圍周積面の地本部各本日 ④

(測實の敬忠能伊は×)
(了未は査調の近最)

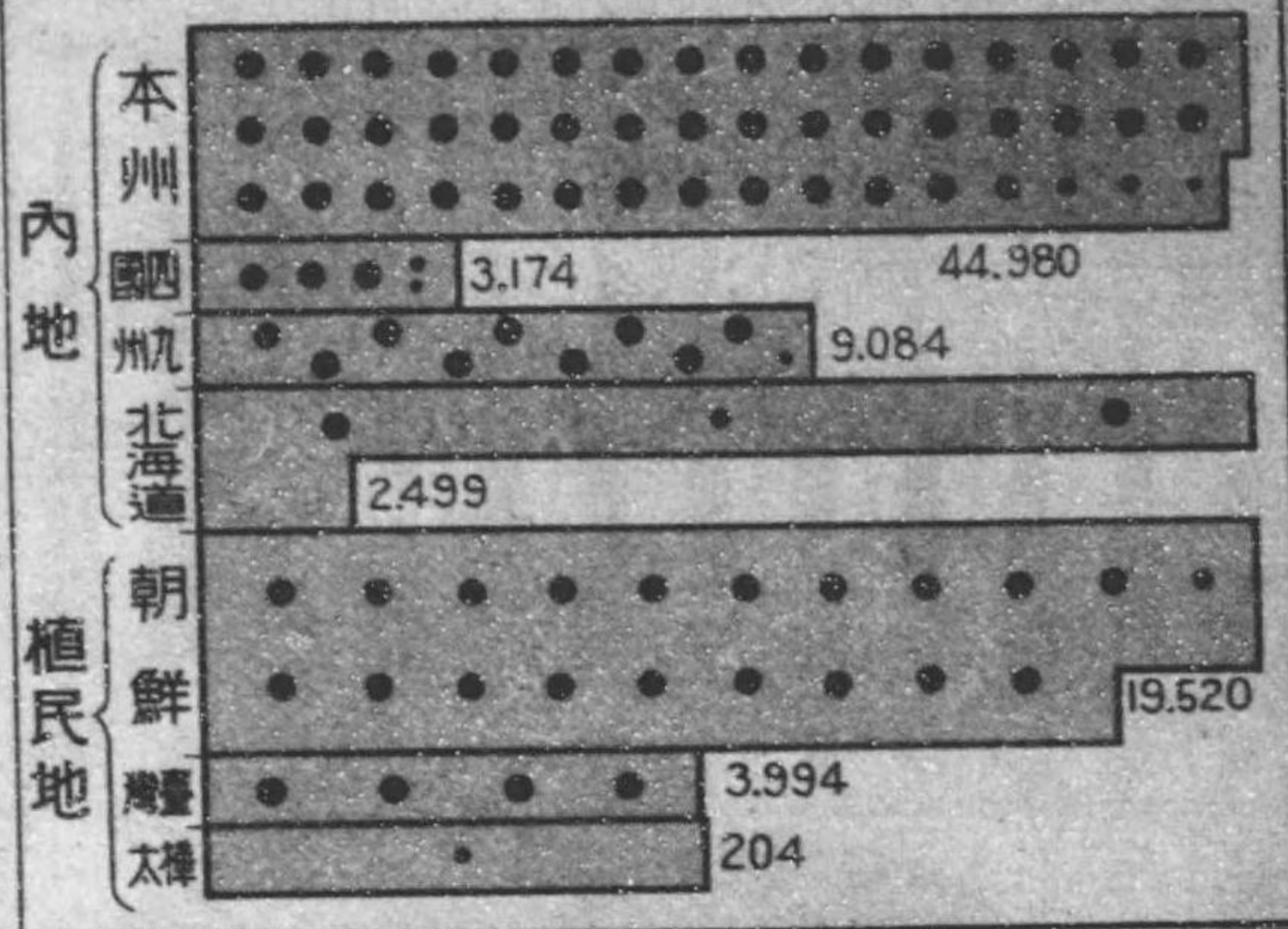
(圍周)	(積面)	州本
1.953	14.492	州本
451	1.151	國四
861	2.312	州九
583	5.057	道海北
?	?	太樺
290	2.323	灣臺
2.212	13.925	鮮朝

域地權特 ⑤

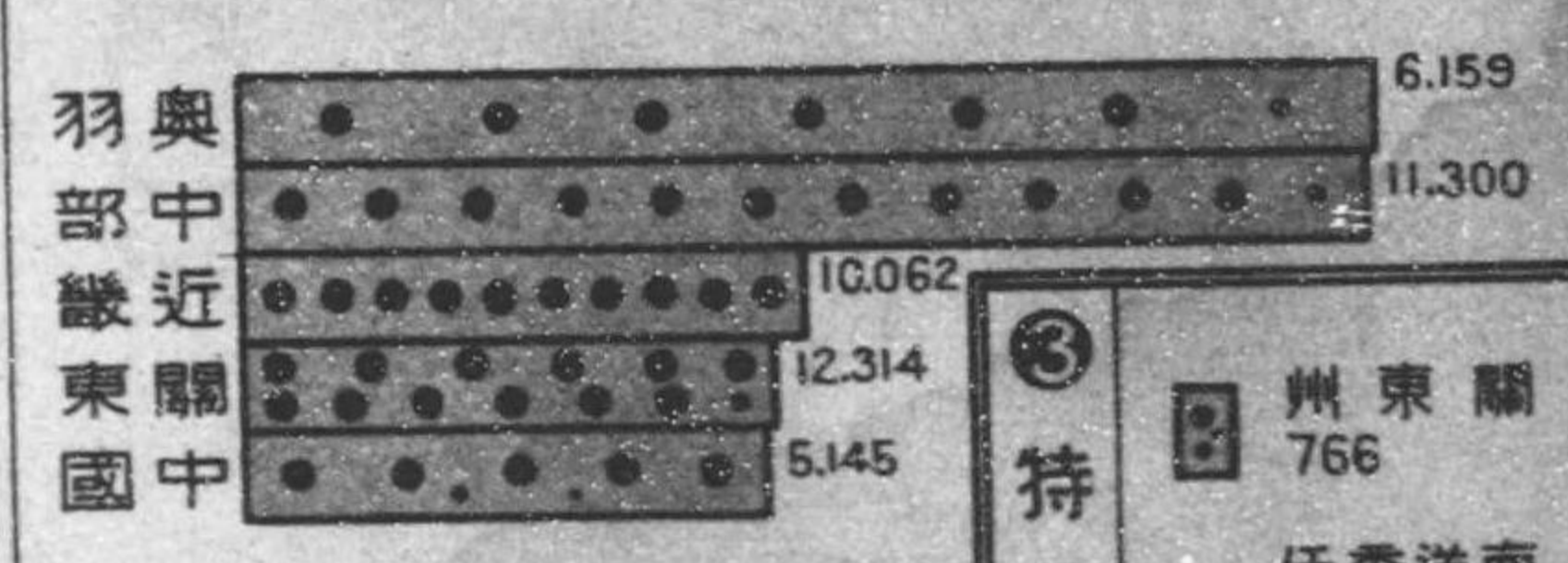
224 --- 地借租州東關
139 --- 地治統任委洋南
17 --- 地屬附道鐵洲滿南

0 1000 2000 4000 6000 8000 1:154.000.000

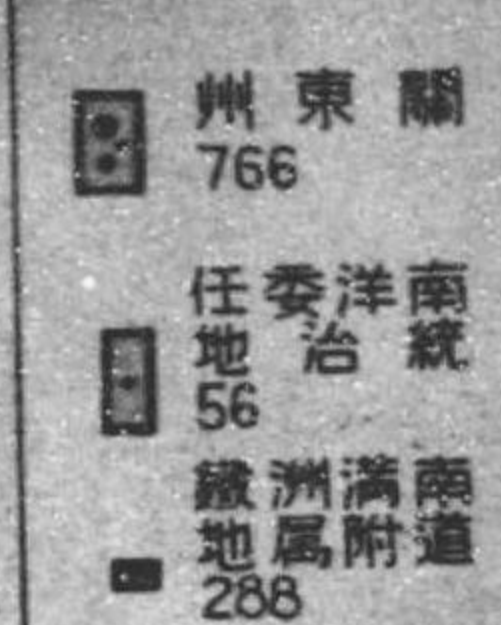
① 日本各部 (日本總數 83,455)



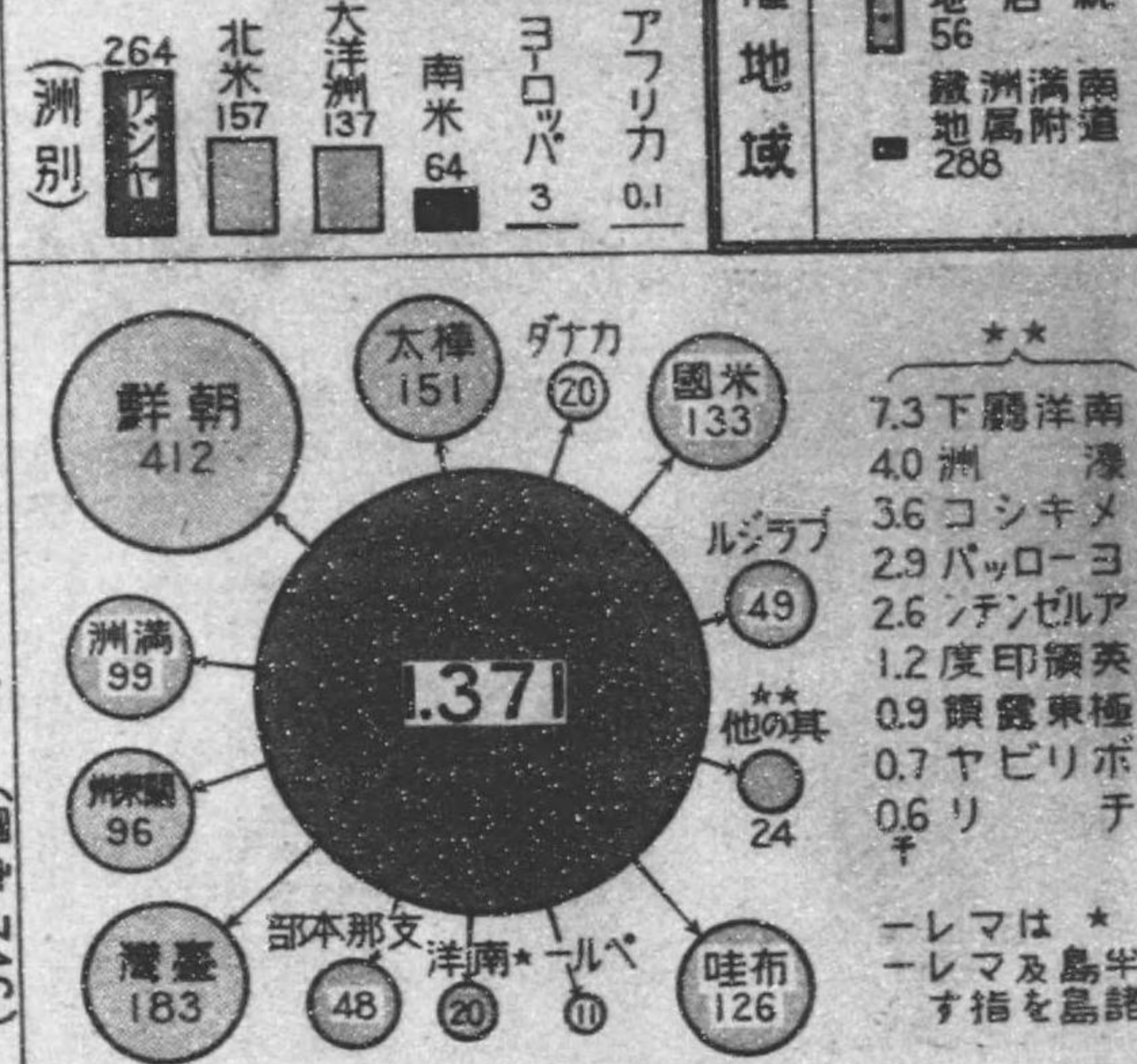
② 本州各部



③ 特權地域



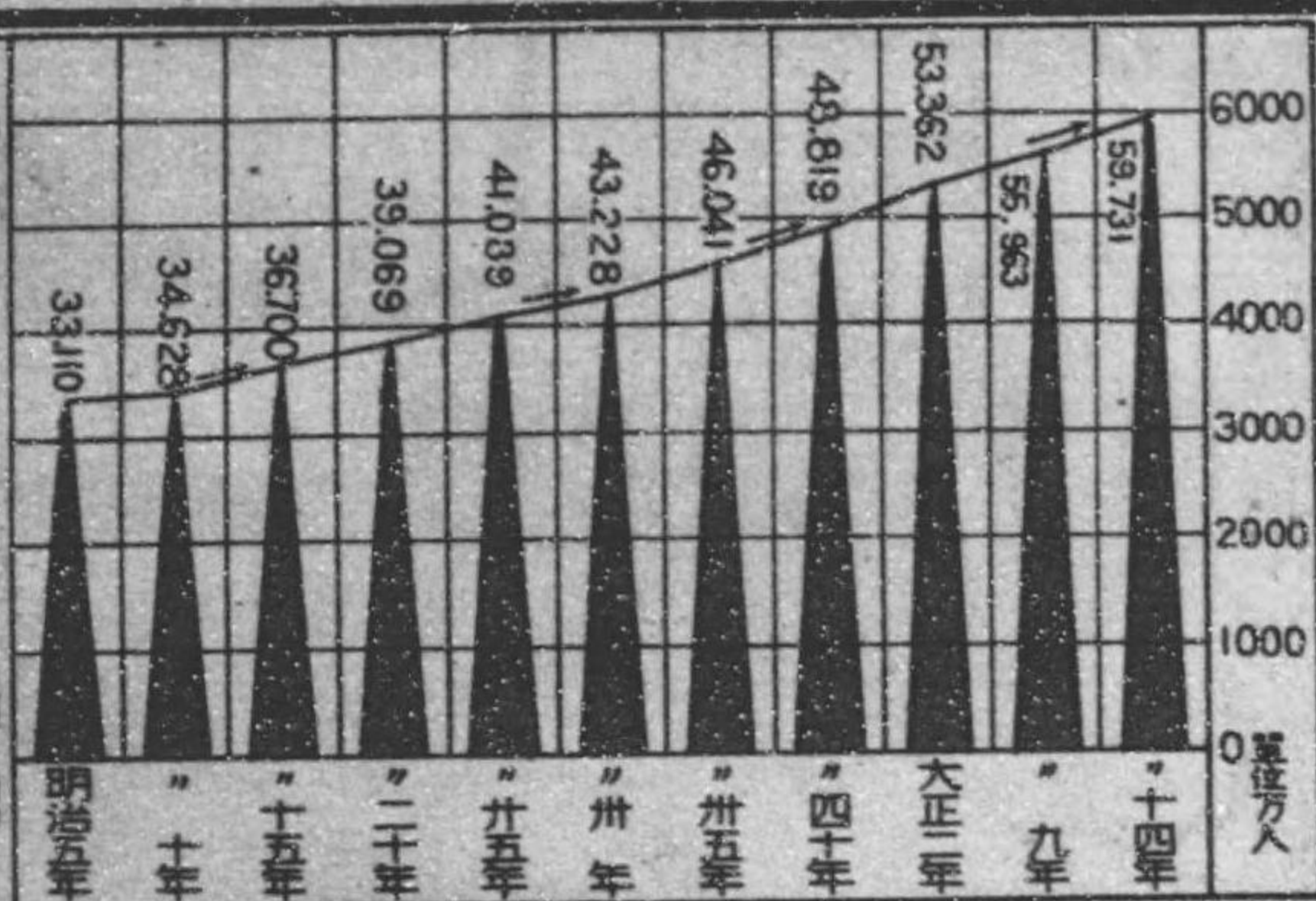
④ 内地人の域外分布 (國外 745)



● 100万 ● 50万 ● 20万 ● 10万 ● 5万

(大正十四年十月末現在)

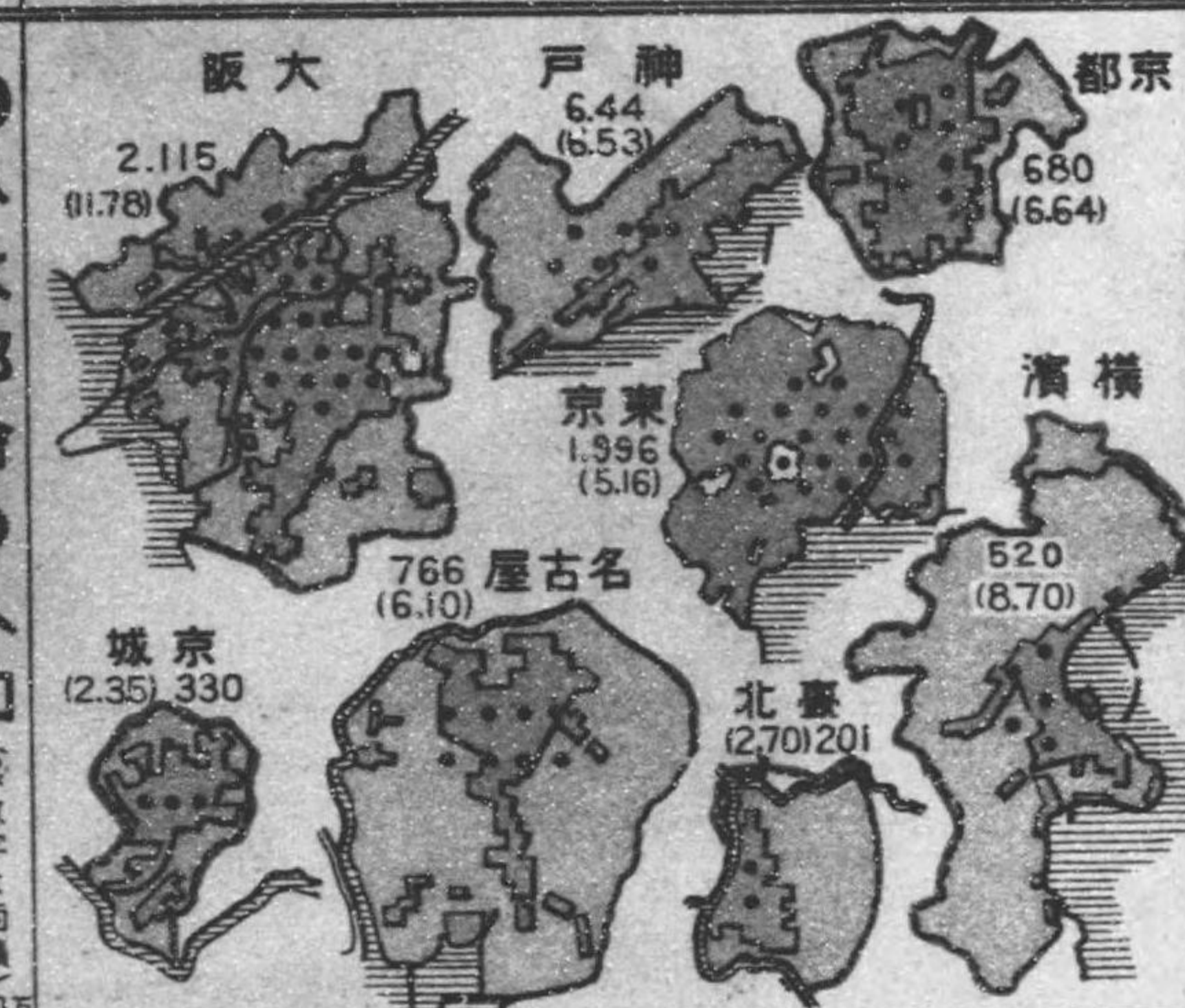
① 内地人口の増加



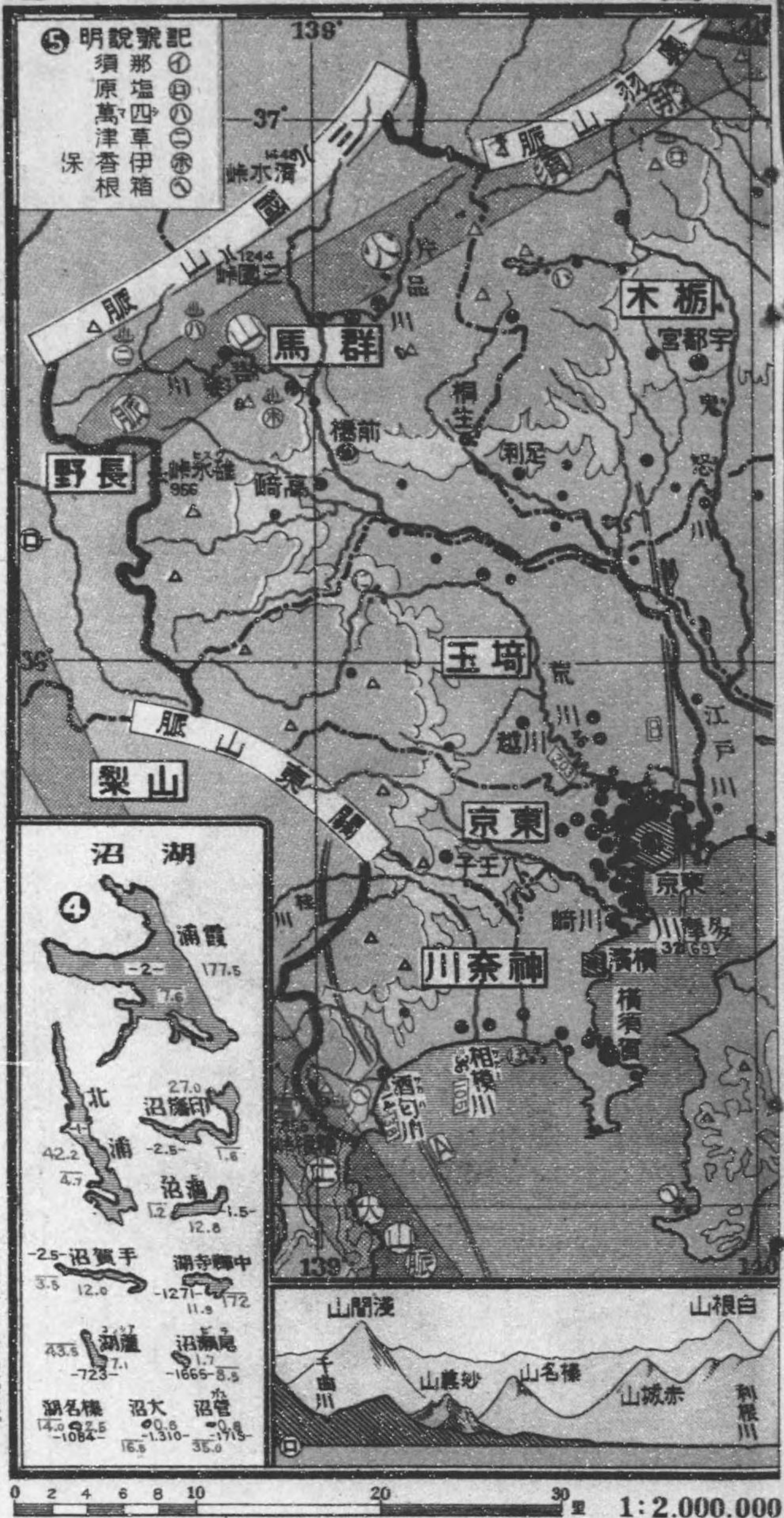
② 種族別人口 (國外に於けるものは含まず)



③ 八大都會の人口 (黒数字は面積)

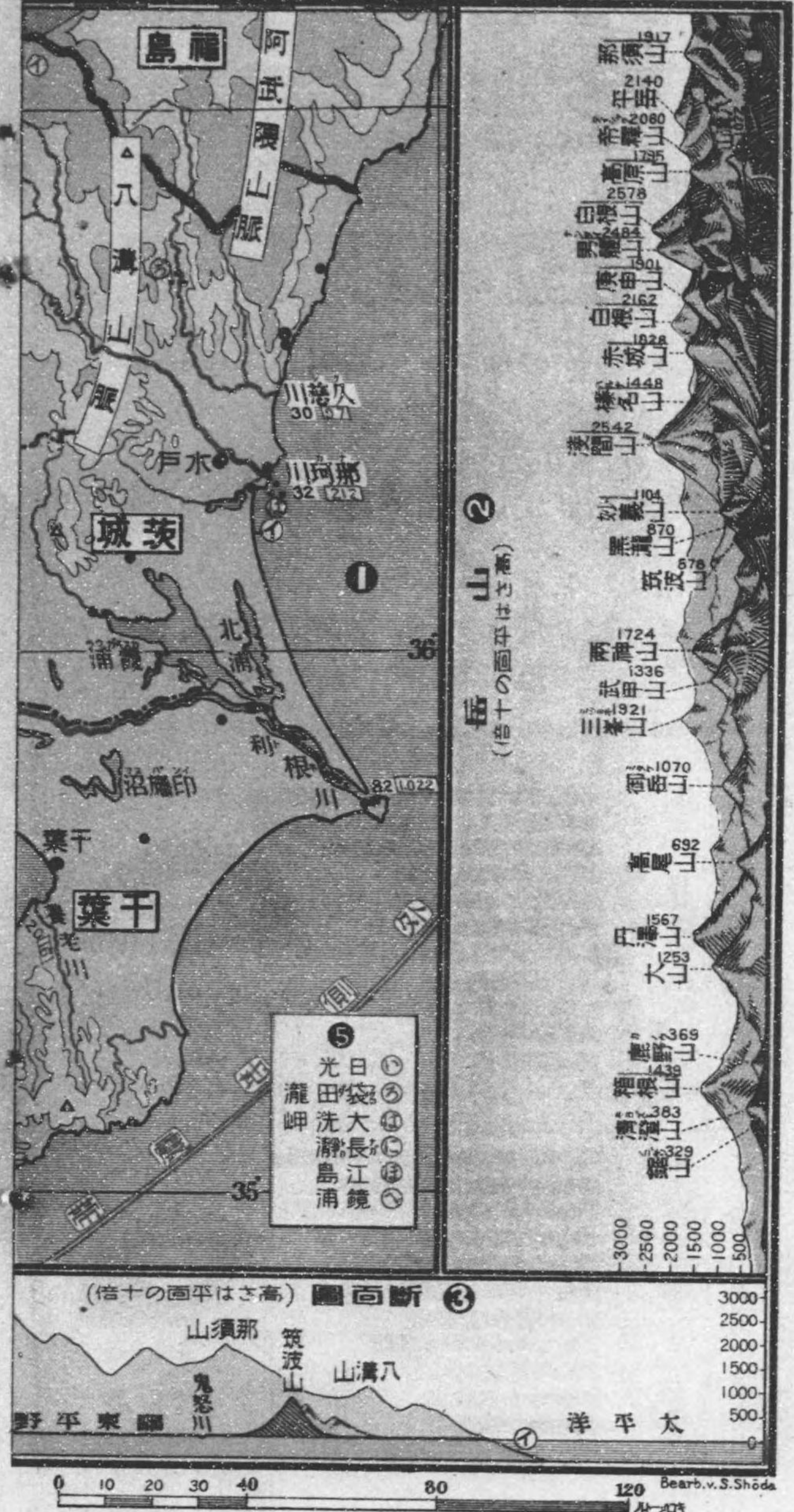


● 10万



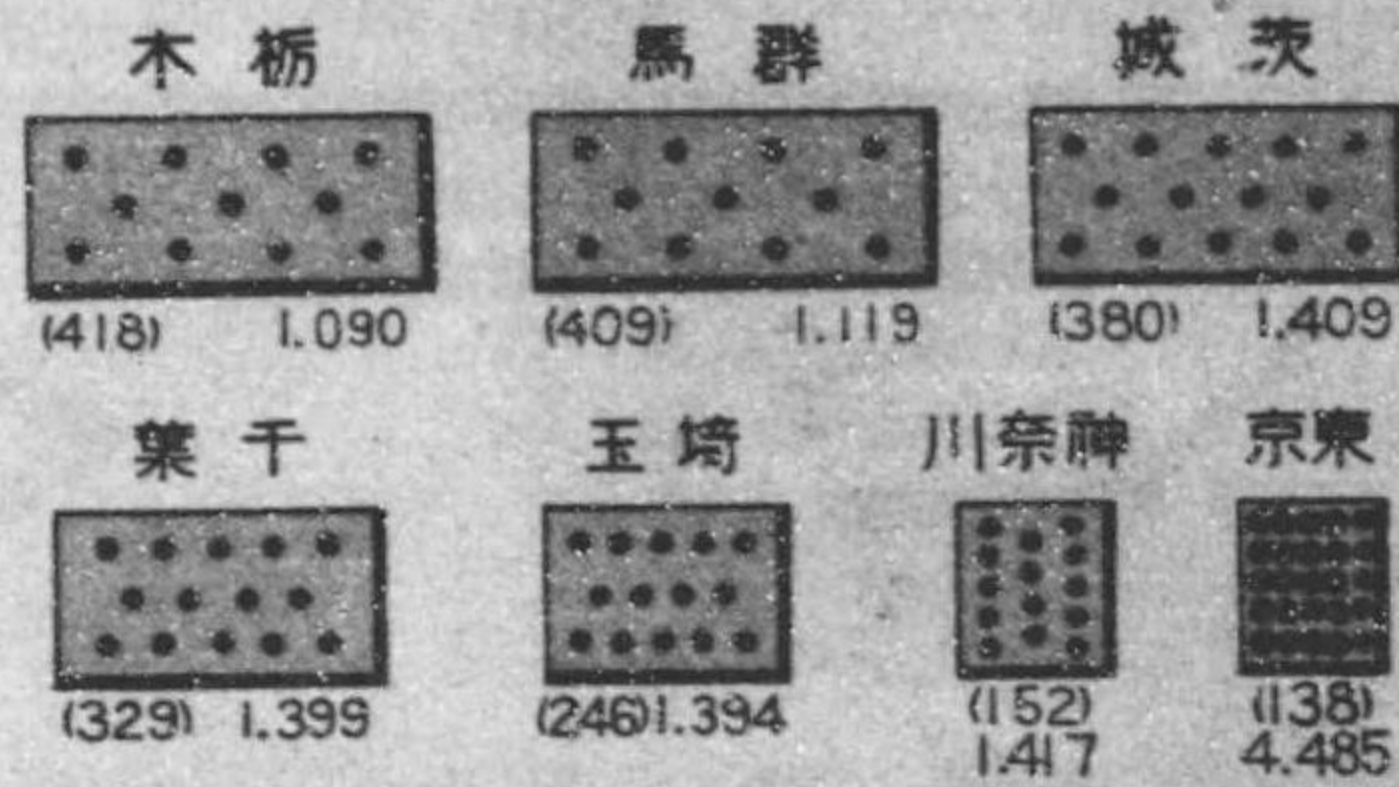
△相模相模灣地震帯
 ⊙江戸川東京灣地震帯

地東關

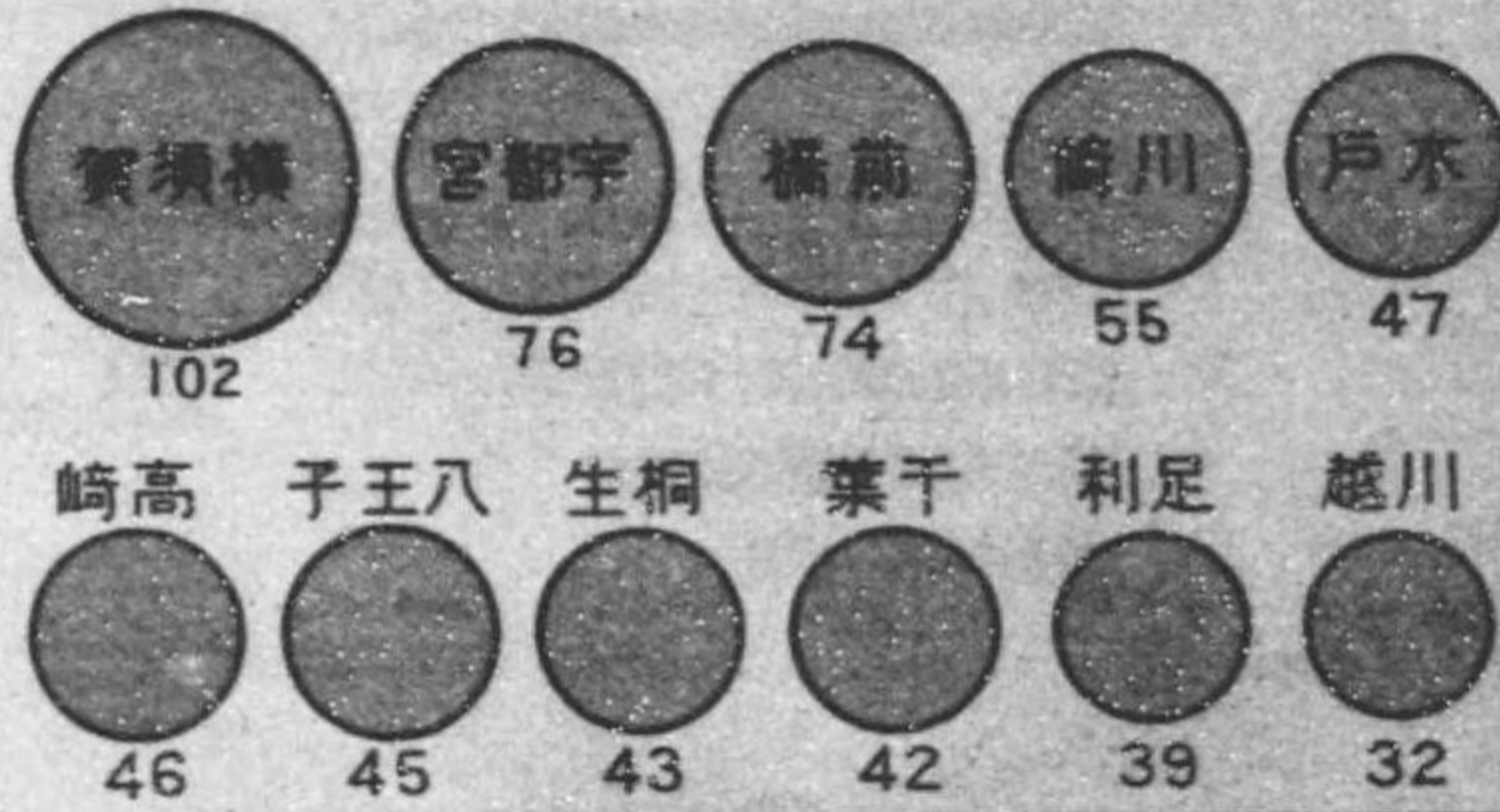


① 府縣の面積人口

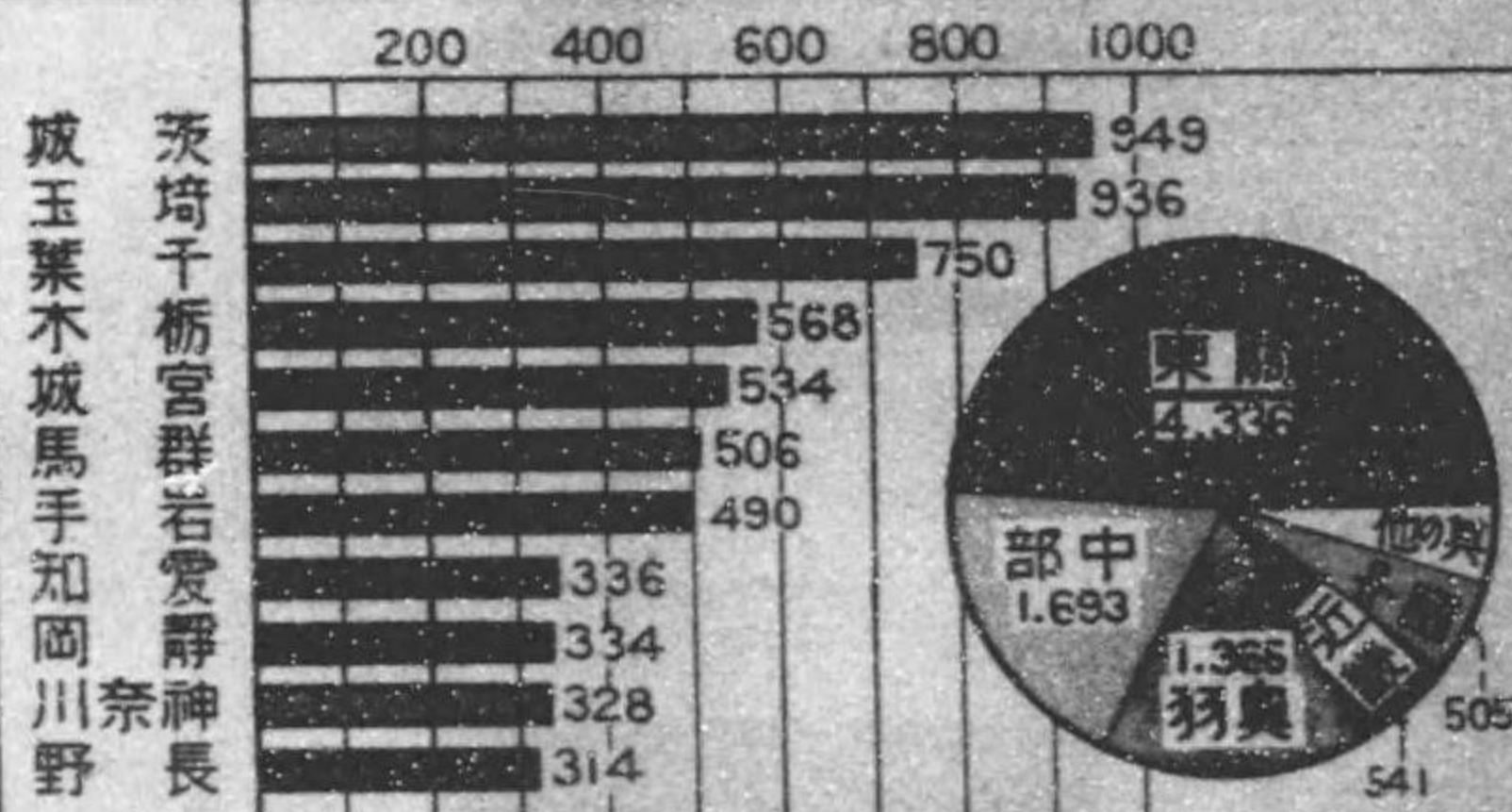
● 20万
● 10万



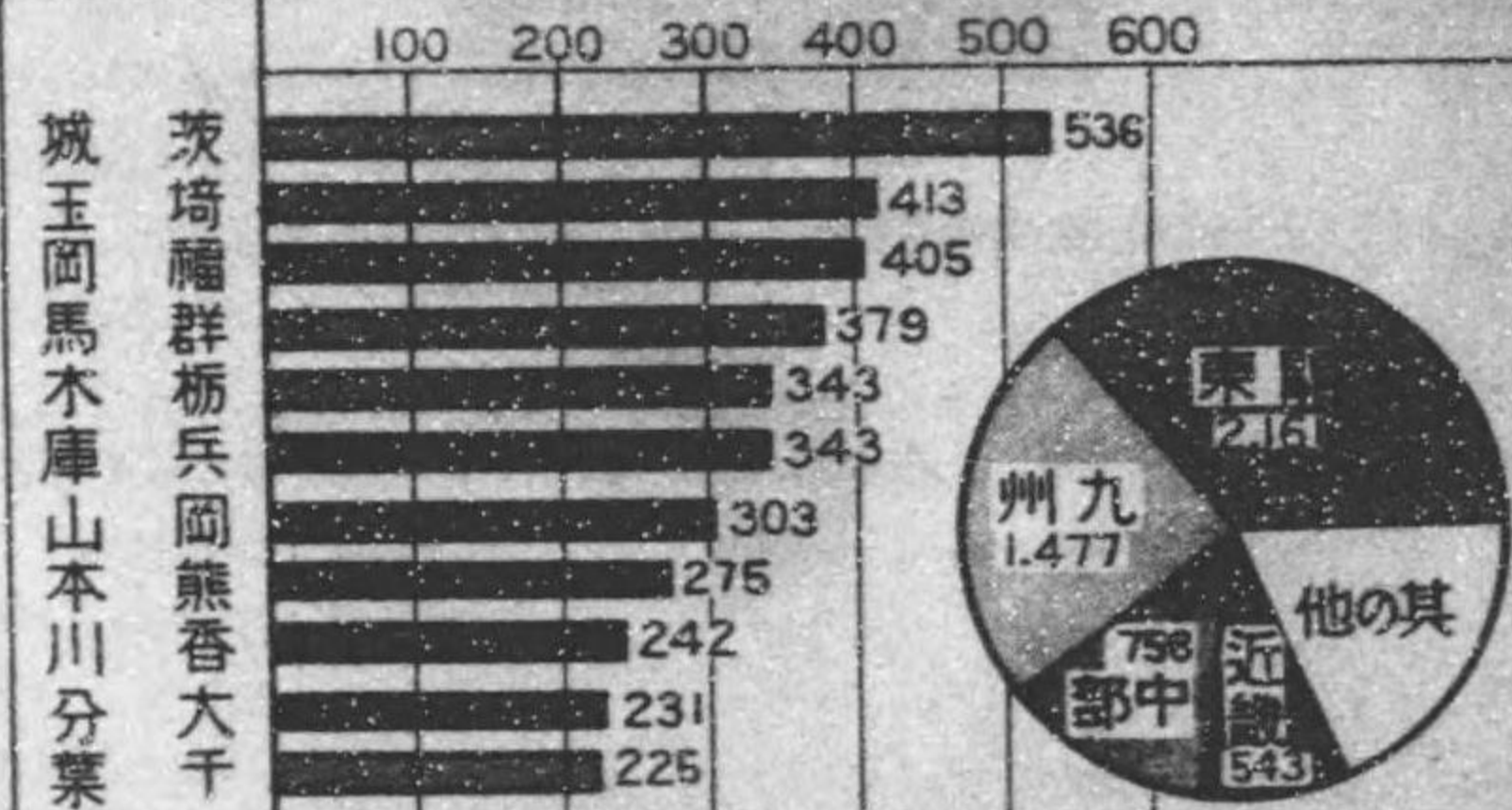
② 市の人口



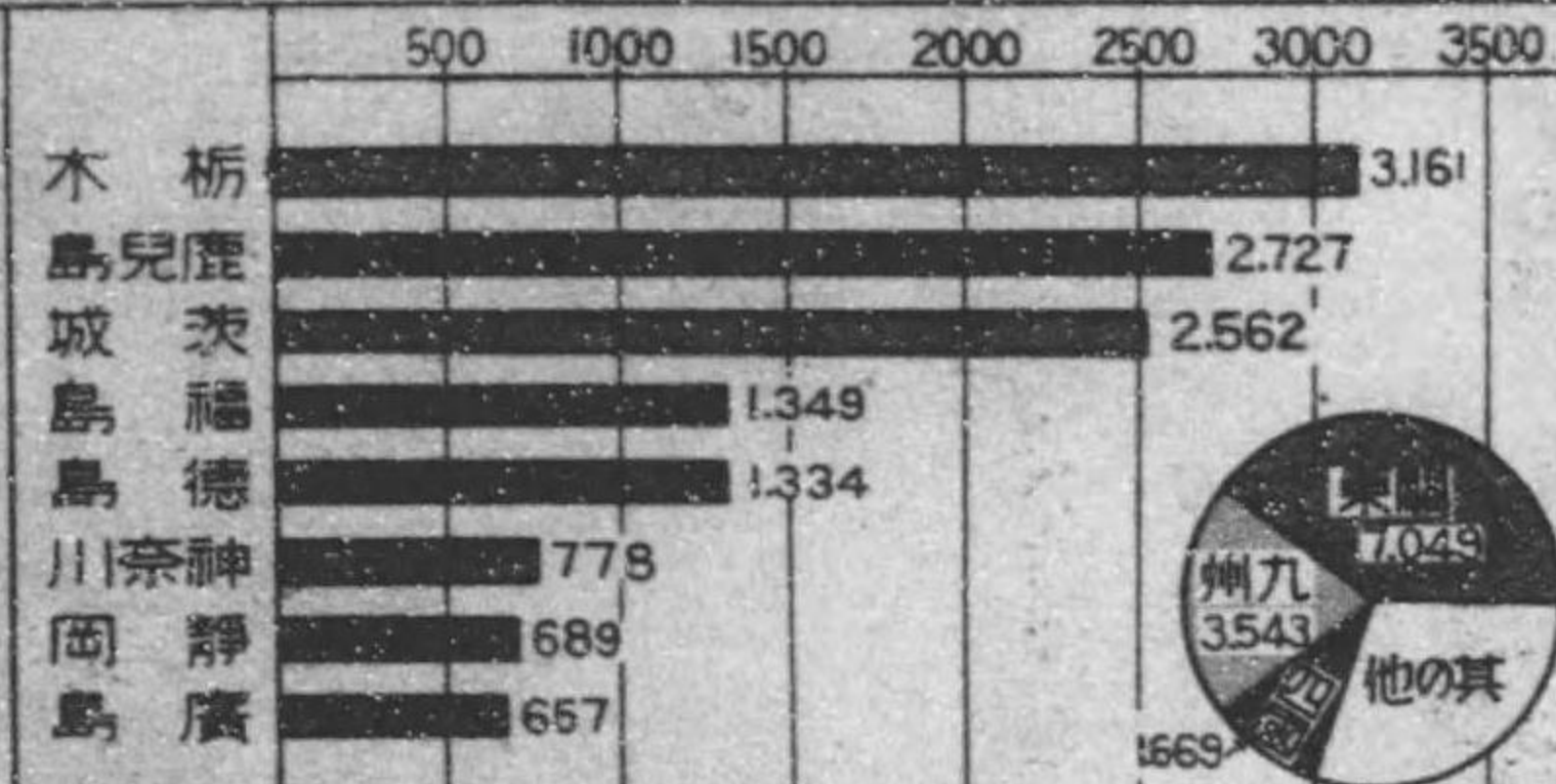
③ 大麥 (8,827)



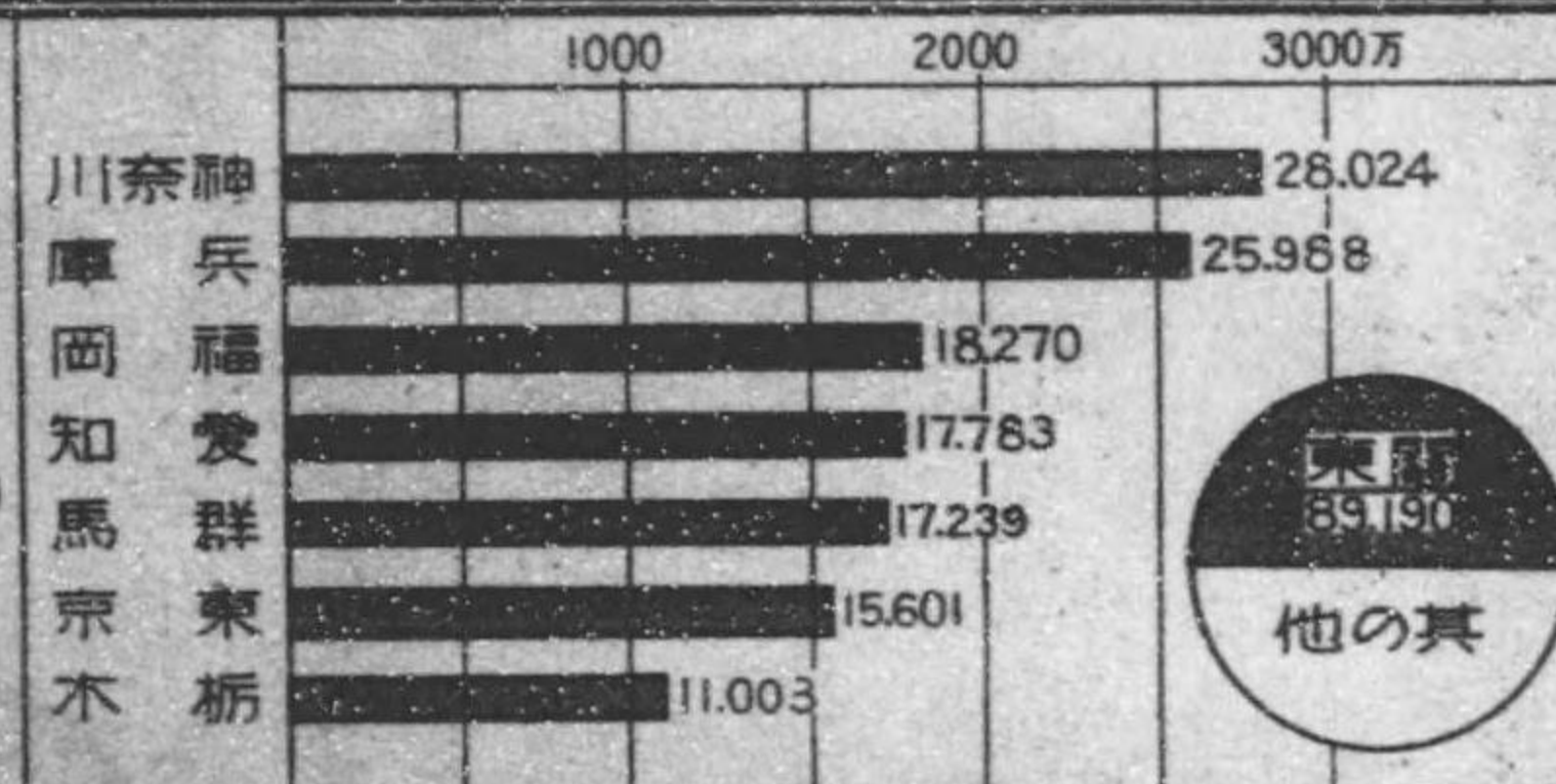
④ 小麥 (6,126)



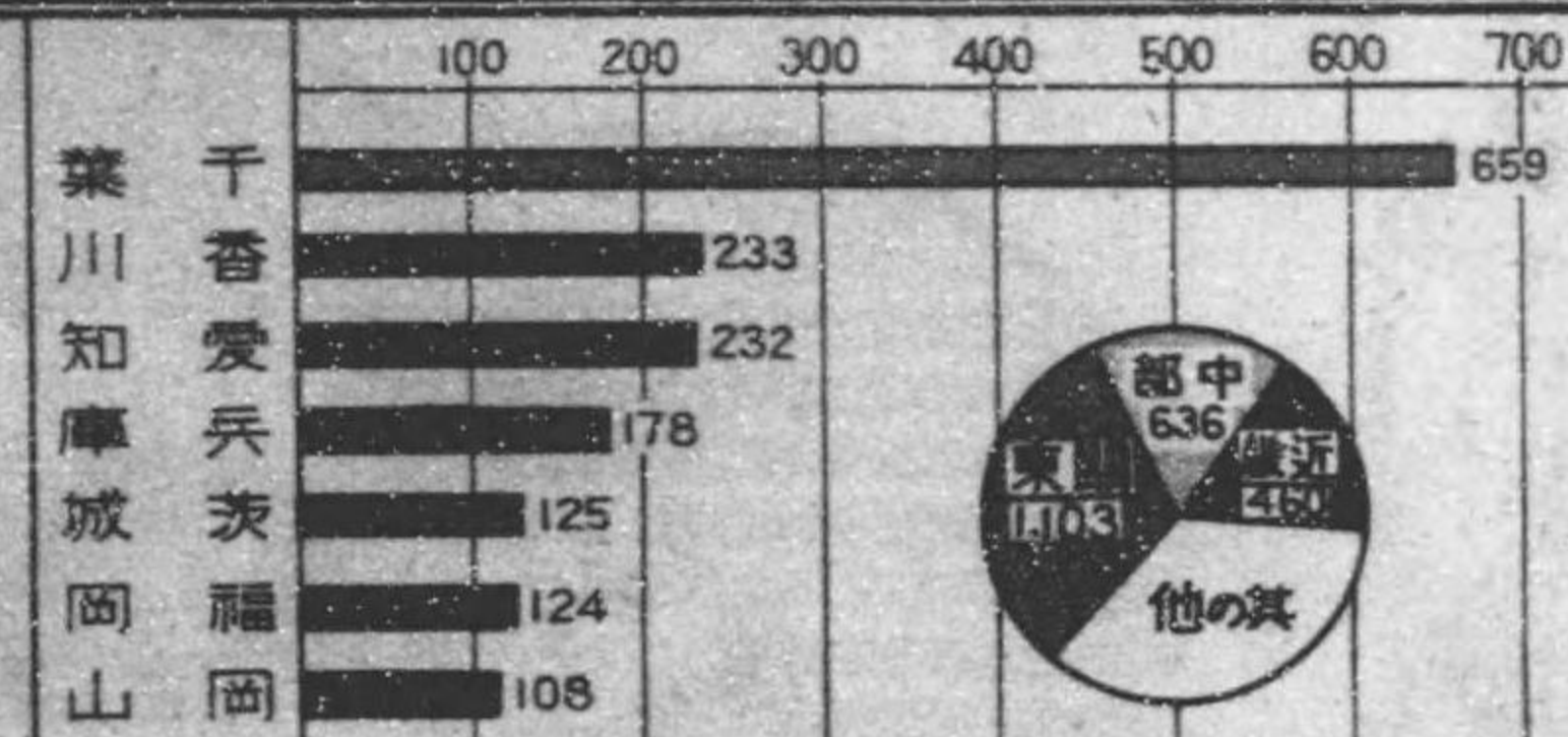
⑤ 葉煙草 (17,349) (48,964)



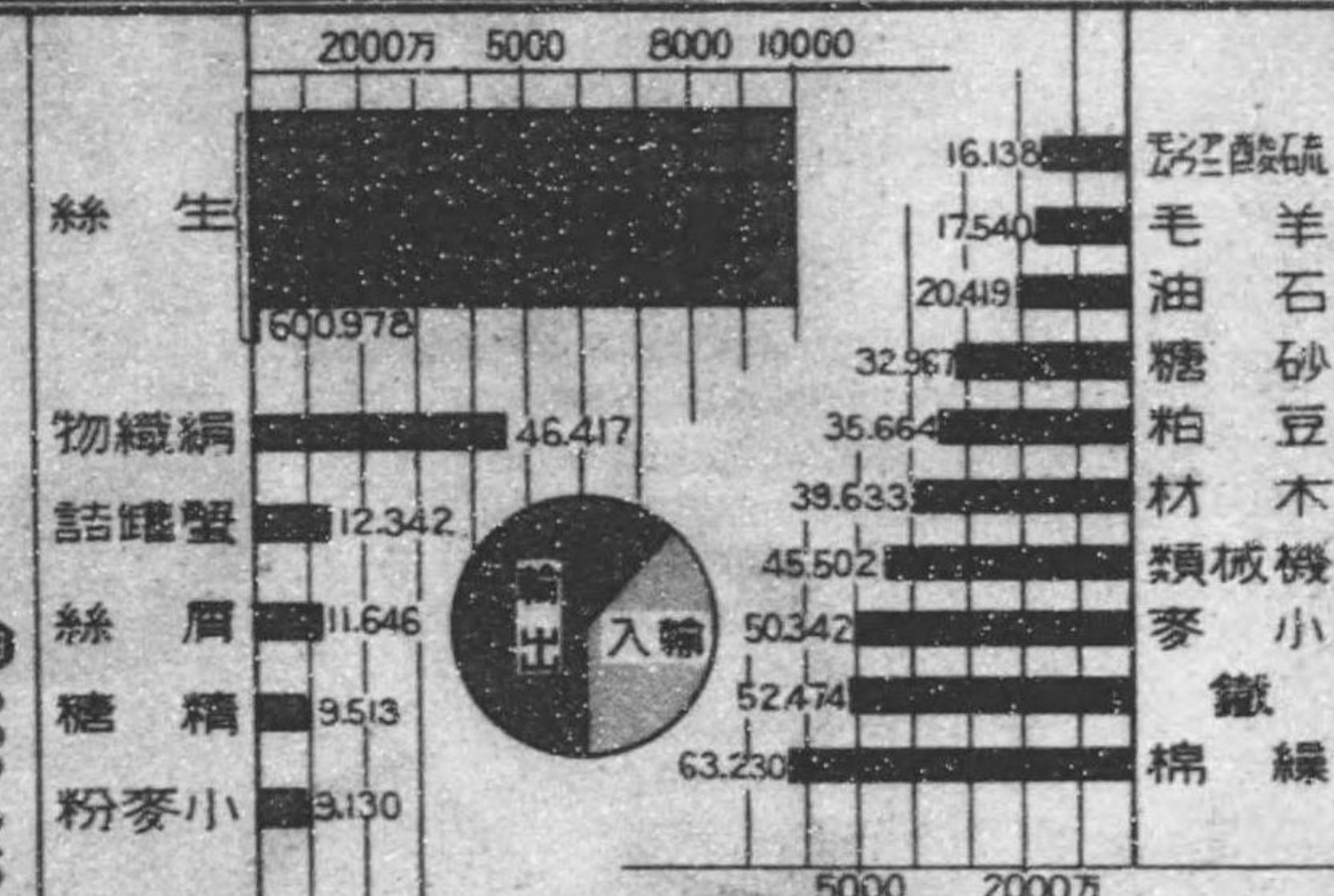
⑥ 小麥粉 (173,945) (135,998)

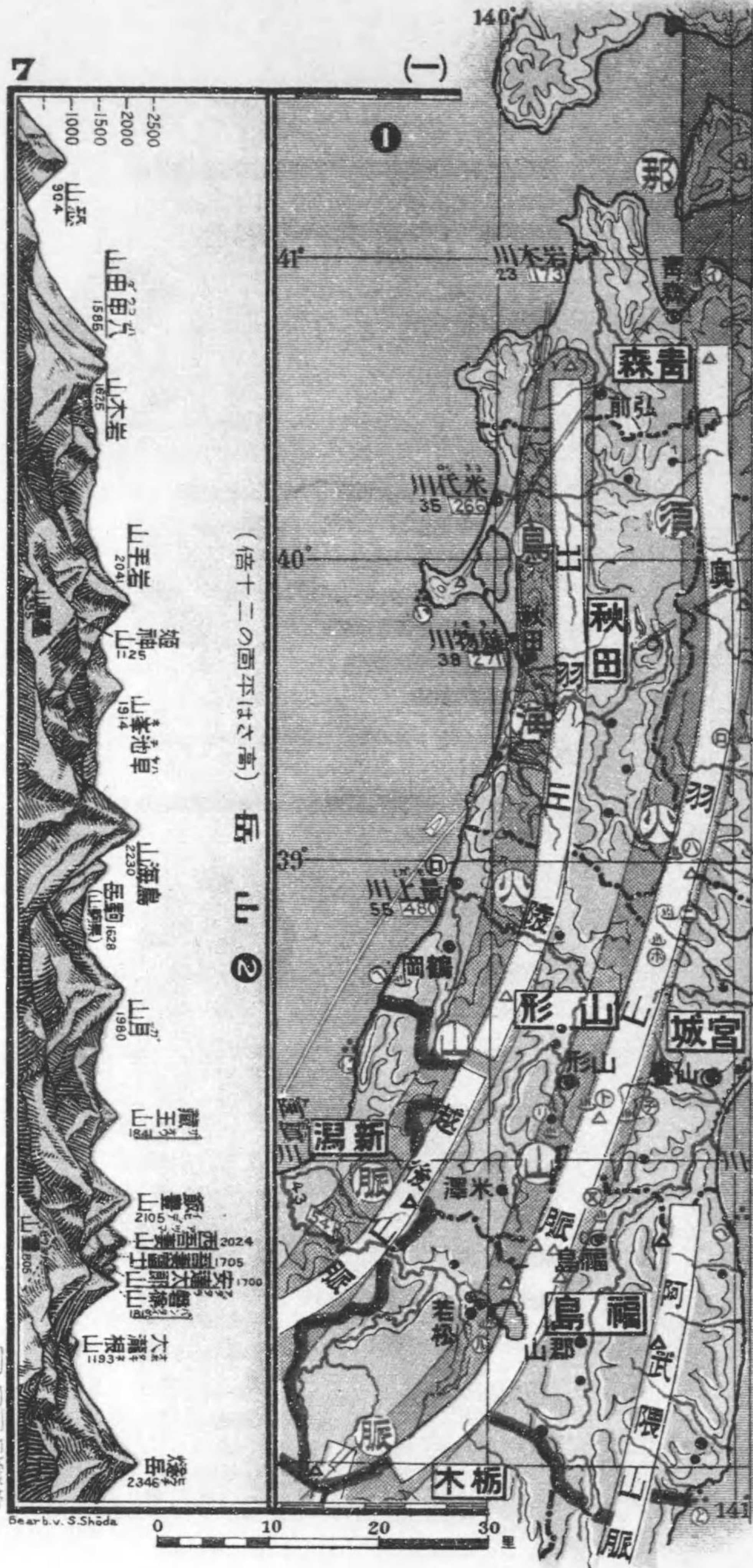


⑦ 醬油 (3,519)

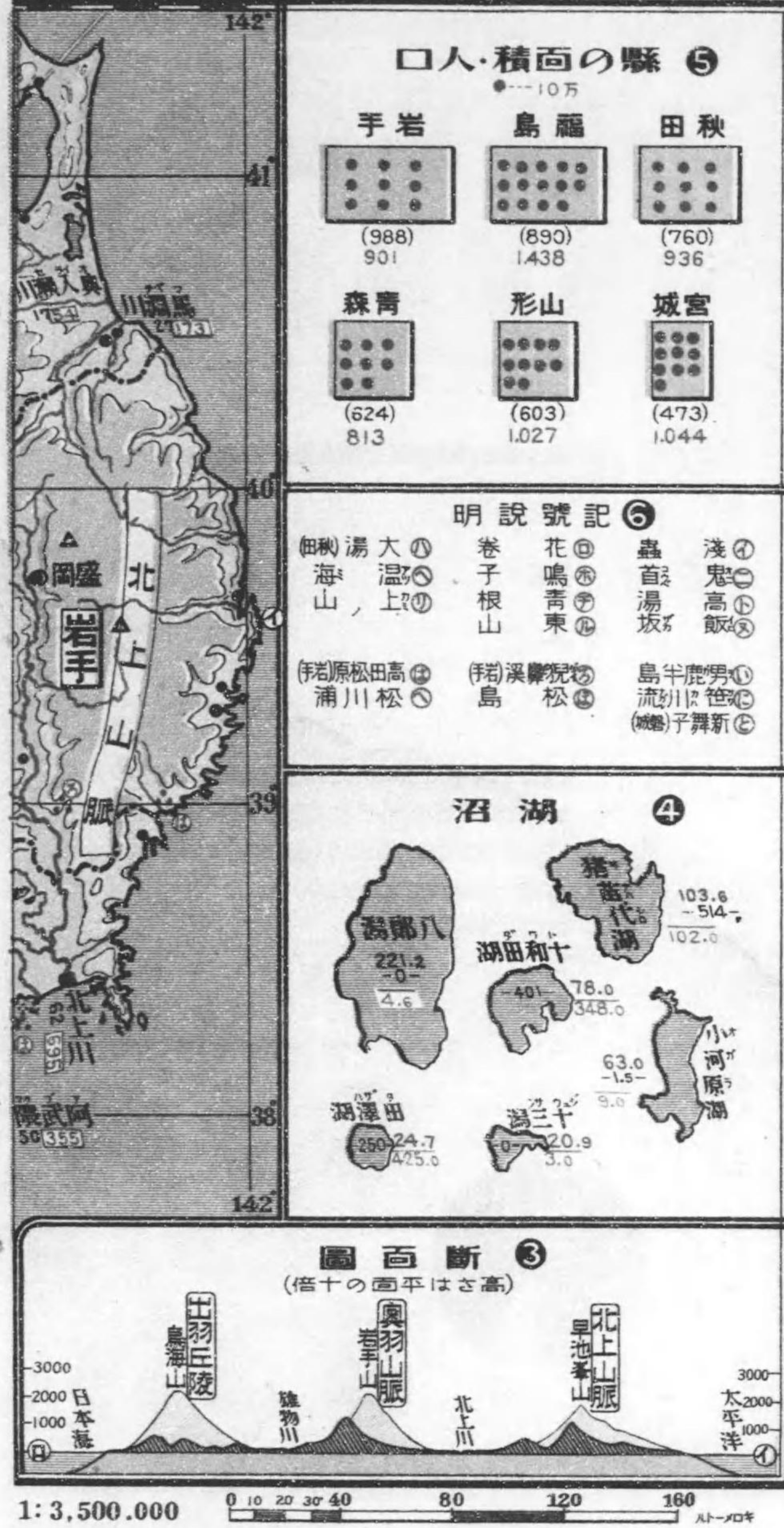


⑧ 横濱港の貿易 (639,640) (760,360)





奥羽地方圖



人口・積面の縣 ⑤

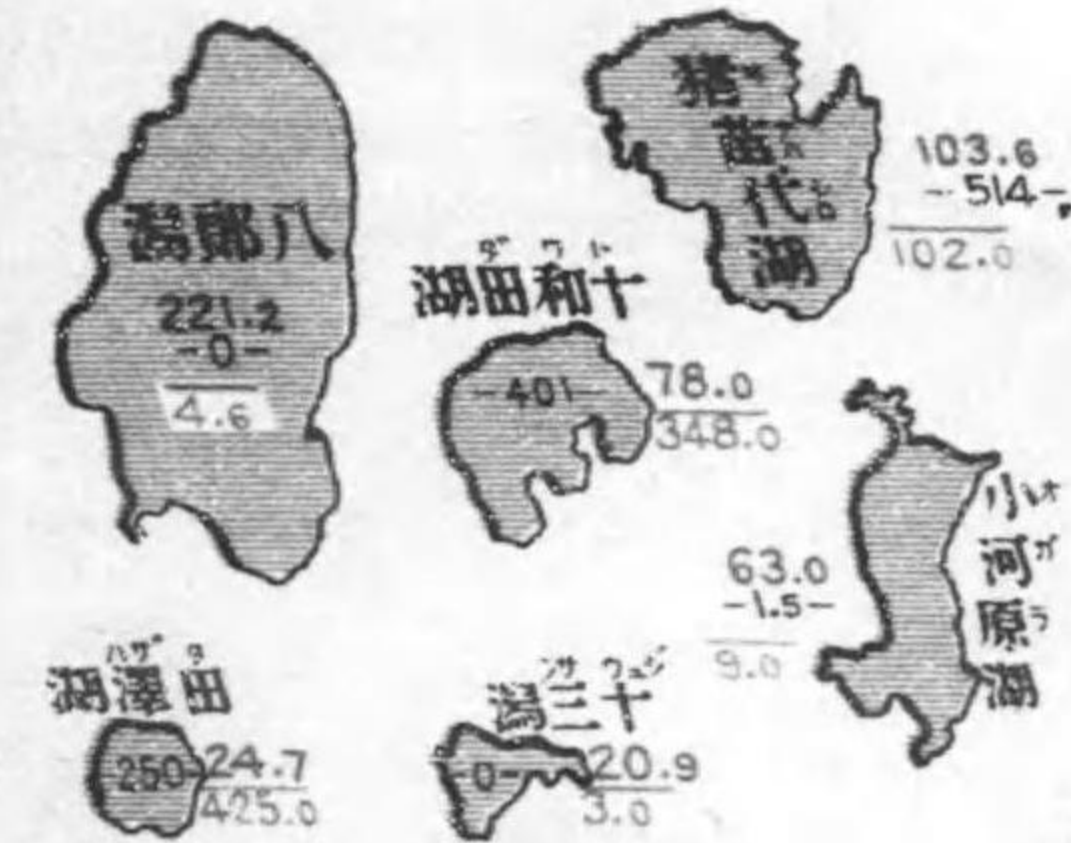
●---10万

手岩	島福	田秋
(988) 901	(890) 1,438	(760) 936
森青	形山	城宮
(624) 813	(603) 1,027	(473) 1,044

明説號記 ⑥

- | | | | |
|----------|----------|---------|-----|
| 田秋湯大① | 卷花② | 蟲首③ | 淺鬼④ |
| 海温⑤ | 子鳴⑥ | 湯高⑦ | 飯飯⑧ |
| 山、上⑨ | 根青⑩ | 坂坂⑪ | |
| (若)原松田高⑫ | (若)溪巖尻物⑬ | 島半鹿男⑭ | |
| 浦川松⑮ | 島松⑯ | 流川世世⑰ | |
| | | (城)子舞新⑱ | |

沼湖 ④

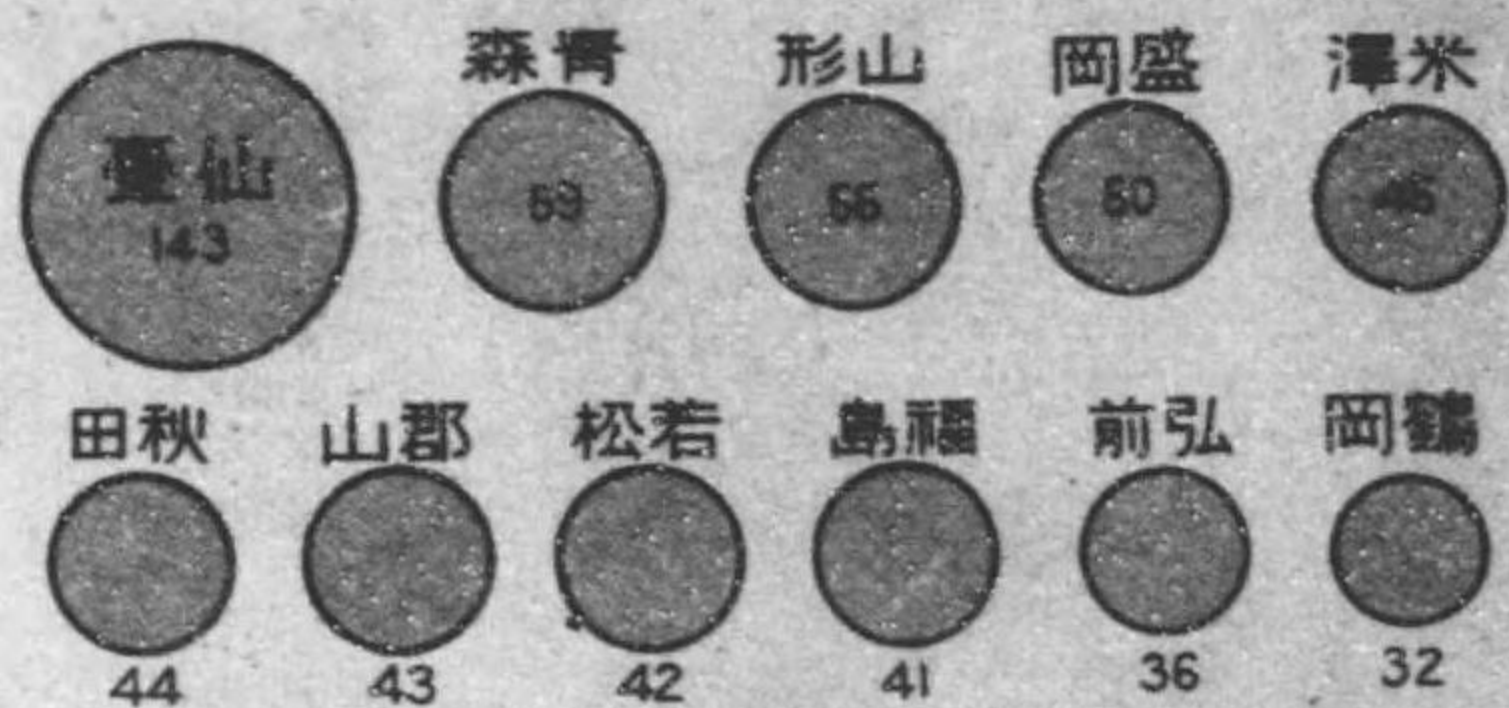


圖百斷 ③

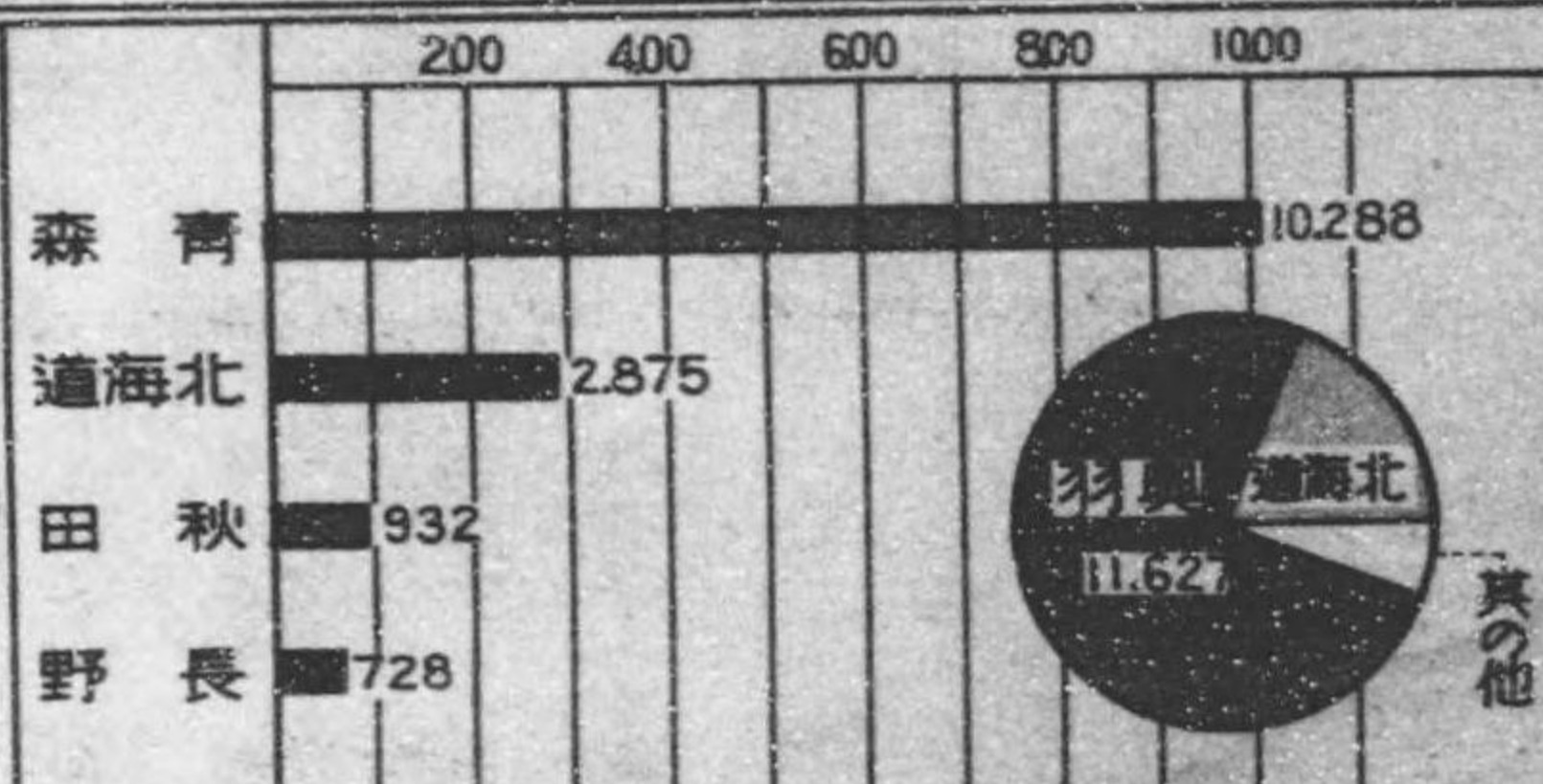
(倍十の面平はさ高)



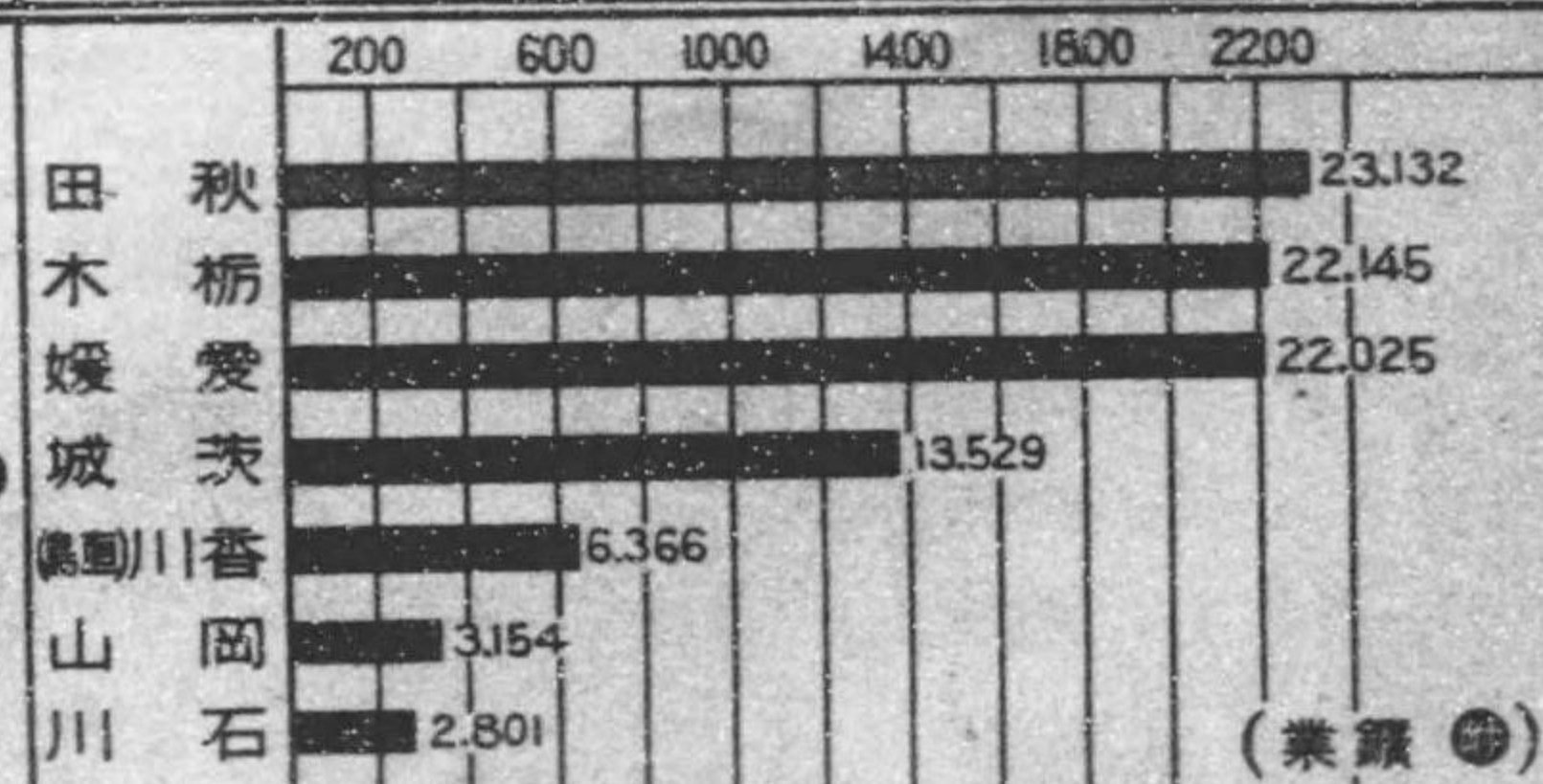
① 市の人口



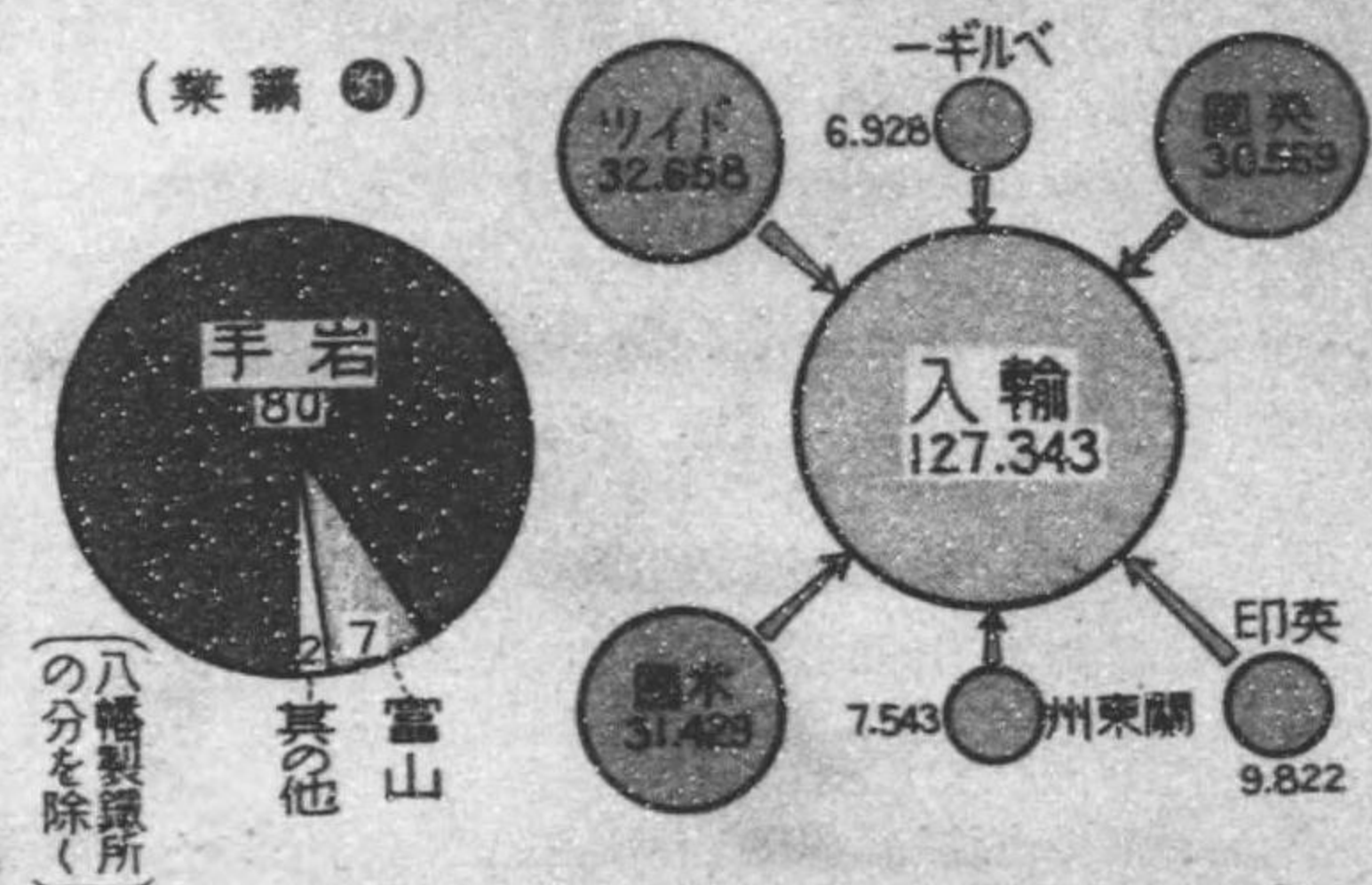
② 苹果 (1955年 7,483)



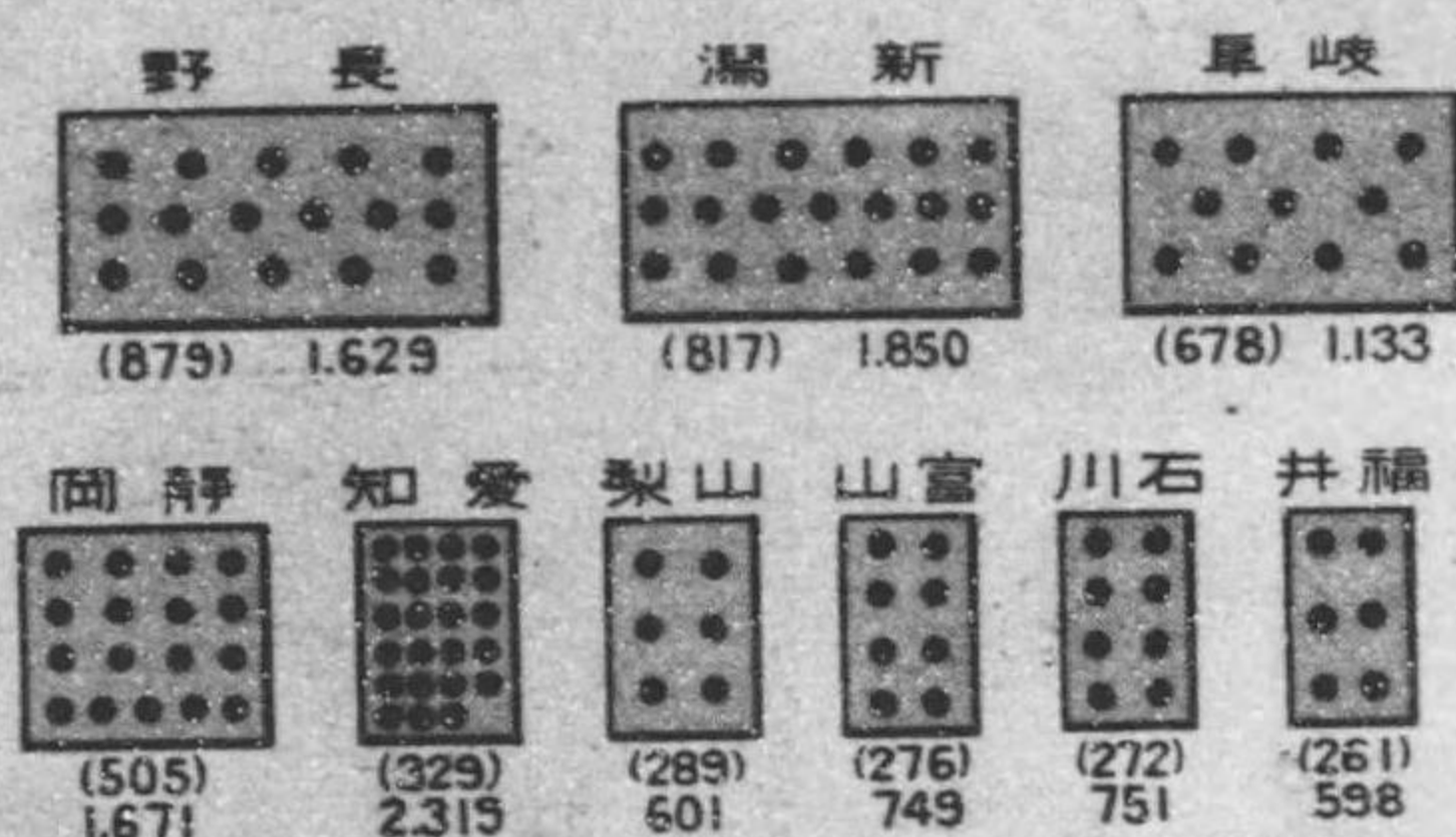
③ 銅 (1955年 53,467)



④ 鐵 (1955年 7,044)



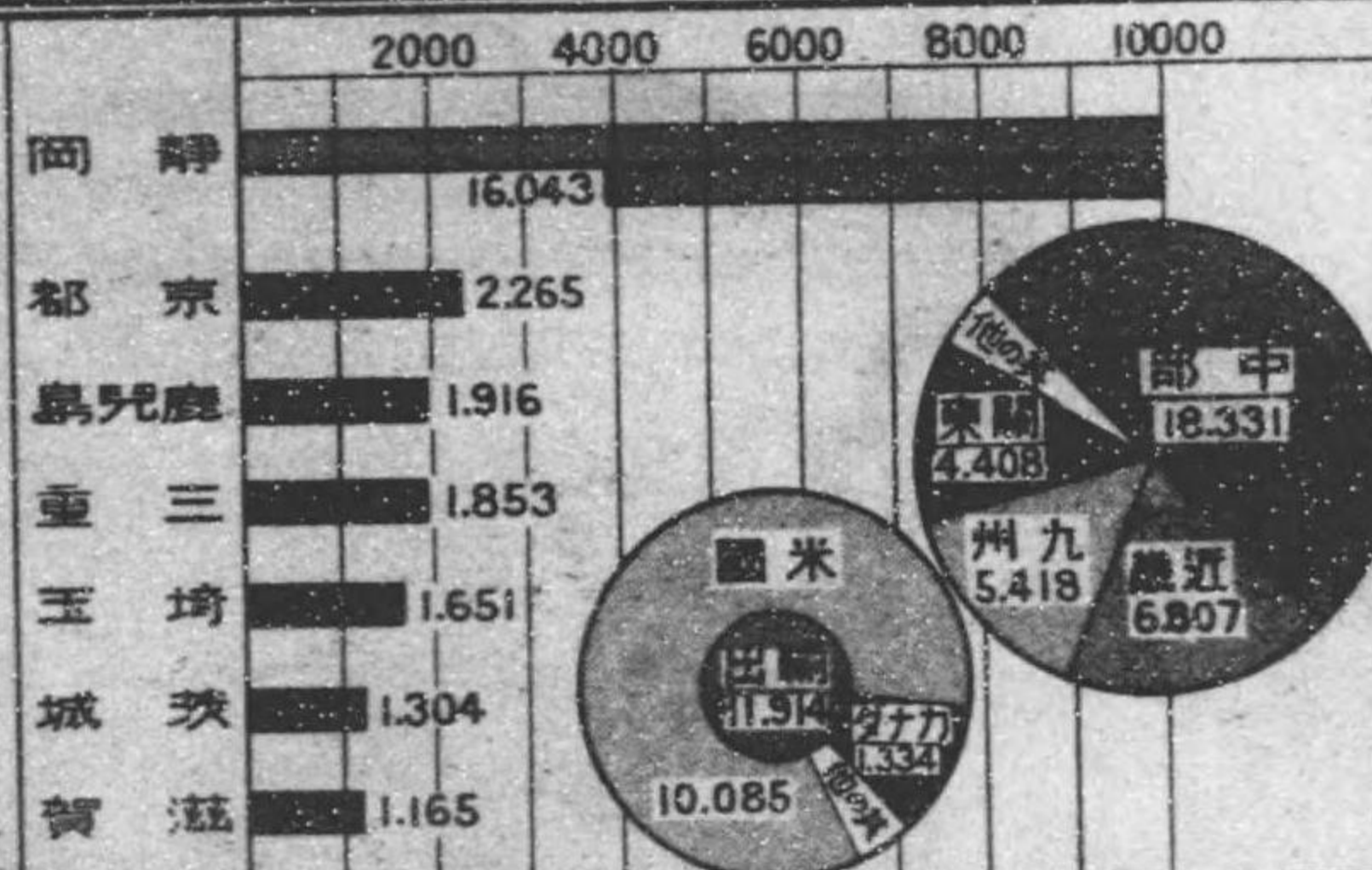
① 縣の面積・人口



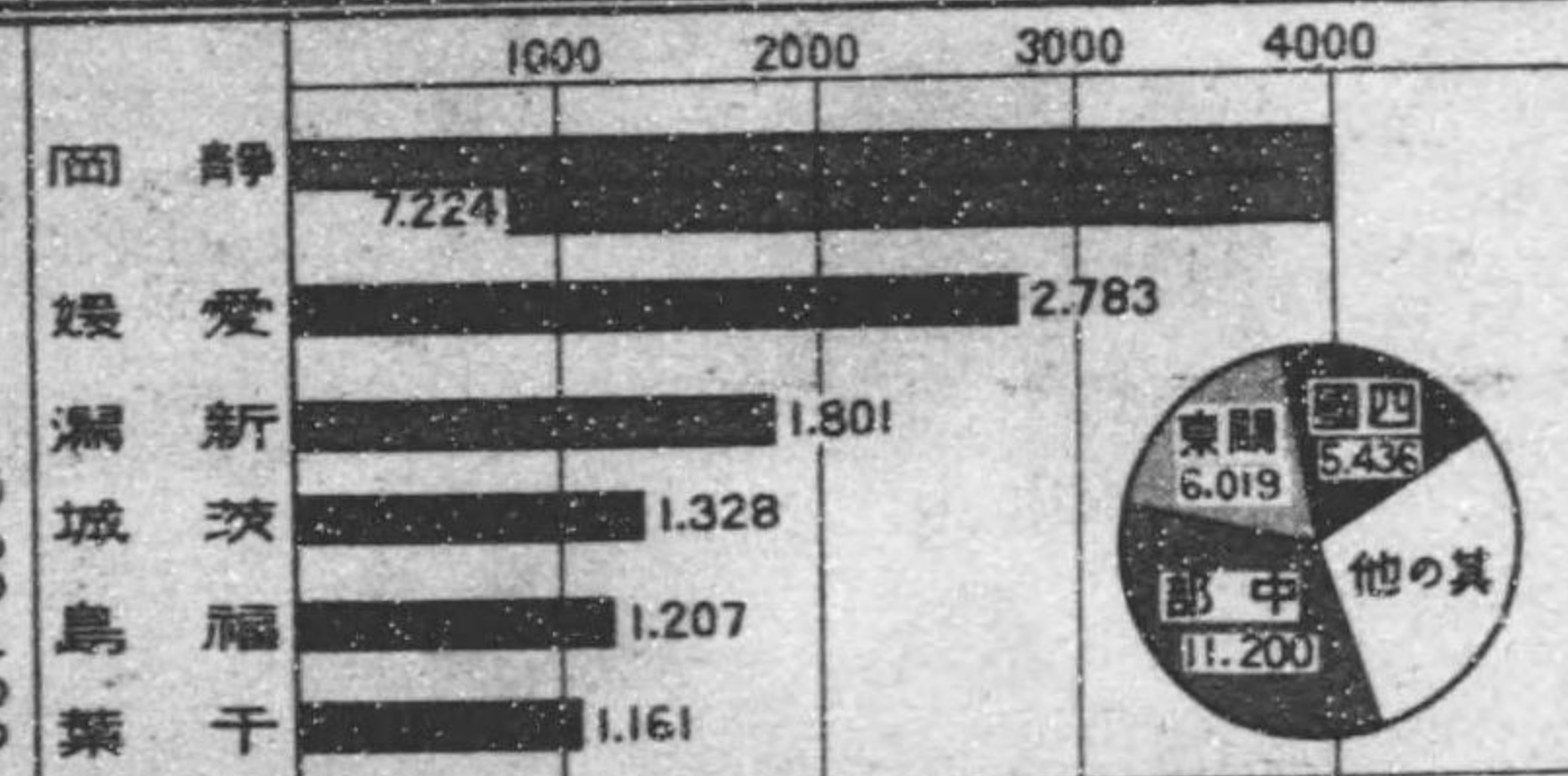
② 市の人口

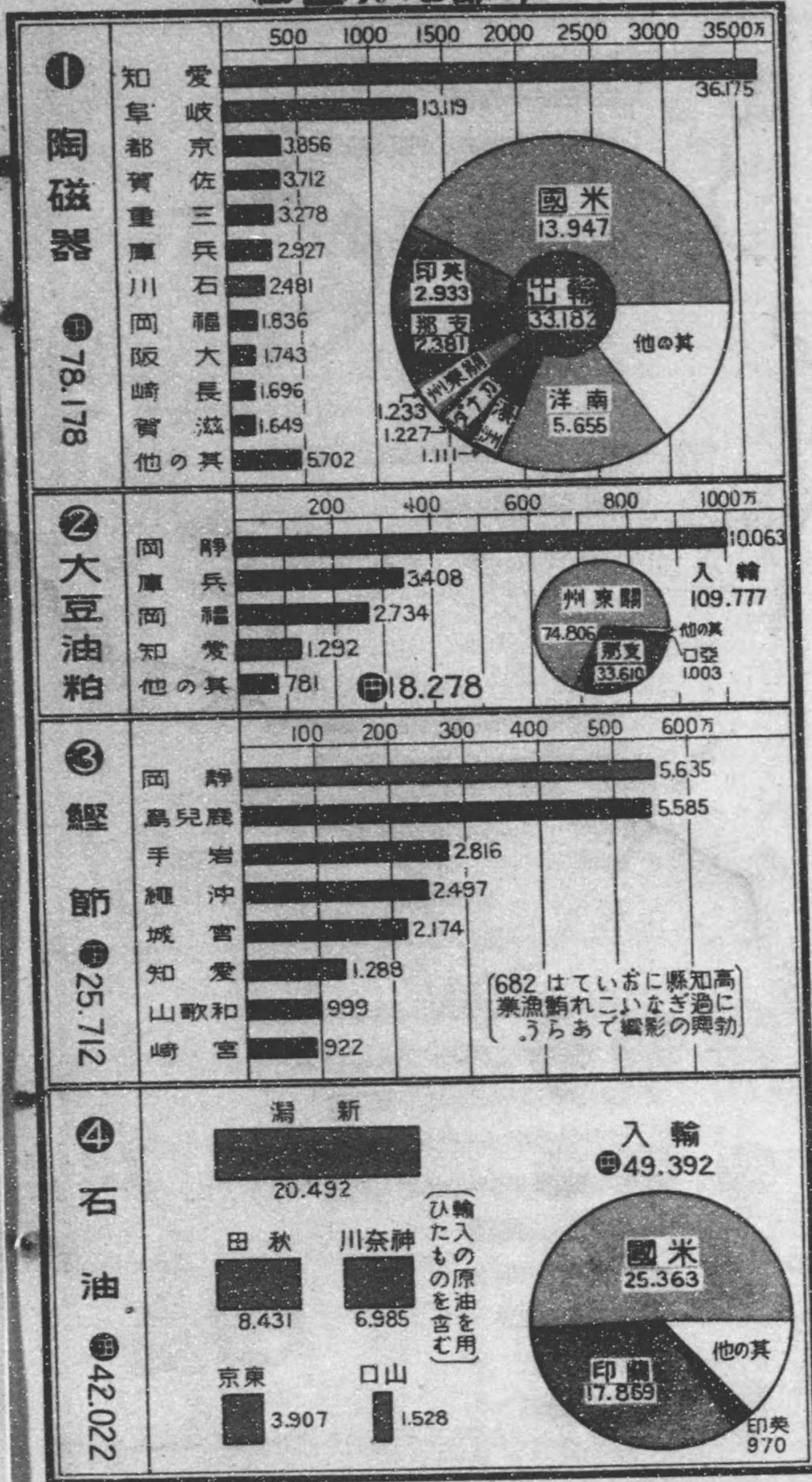
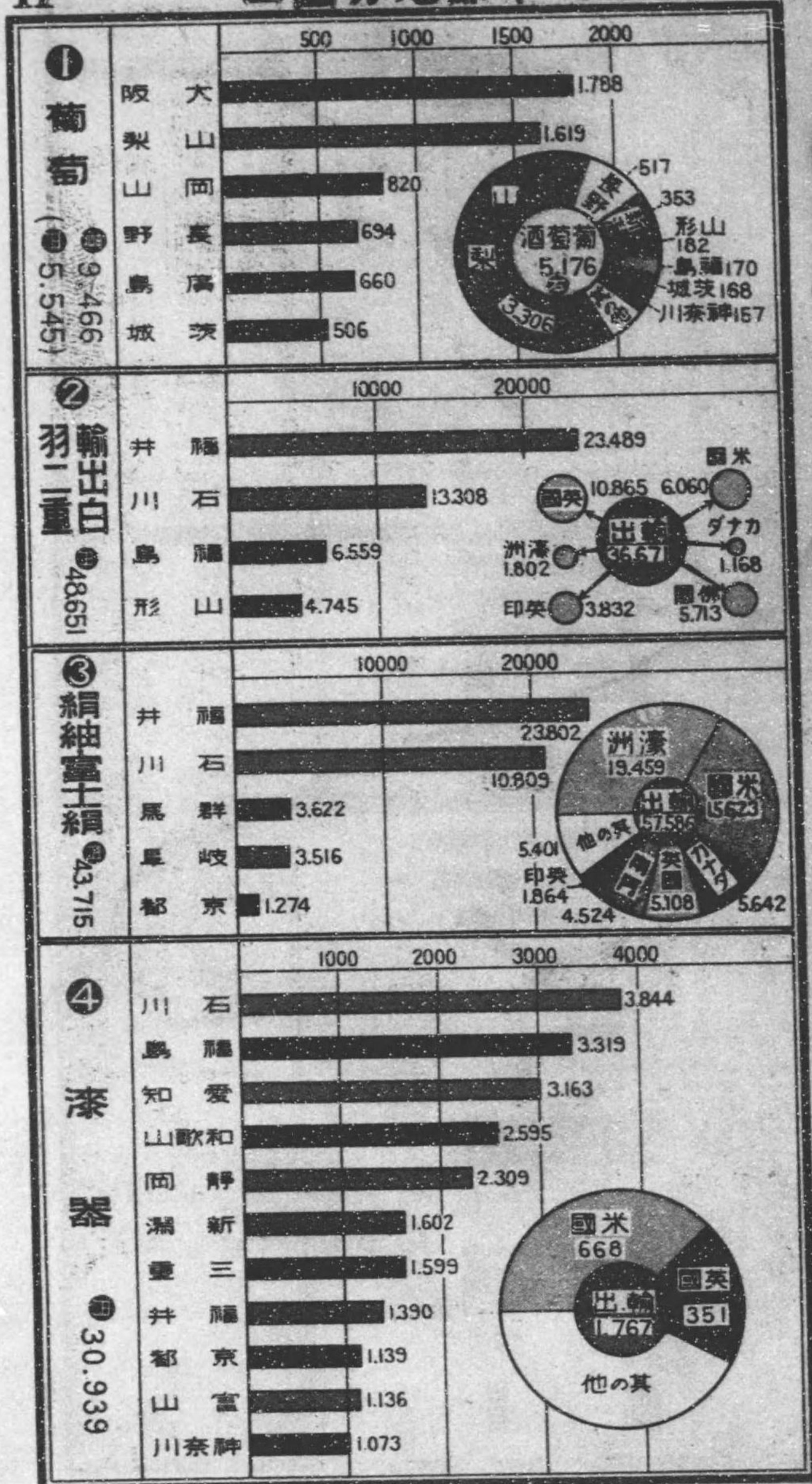


③ 製茶 (1955年 36,438)



④ 日本梨 (1955年 33,190)

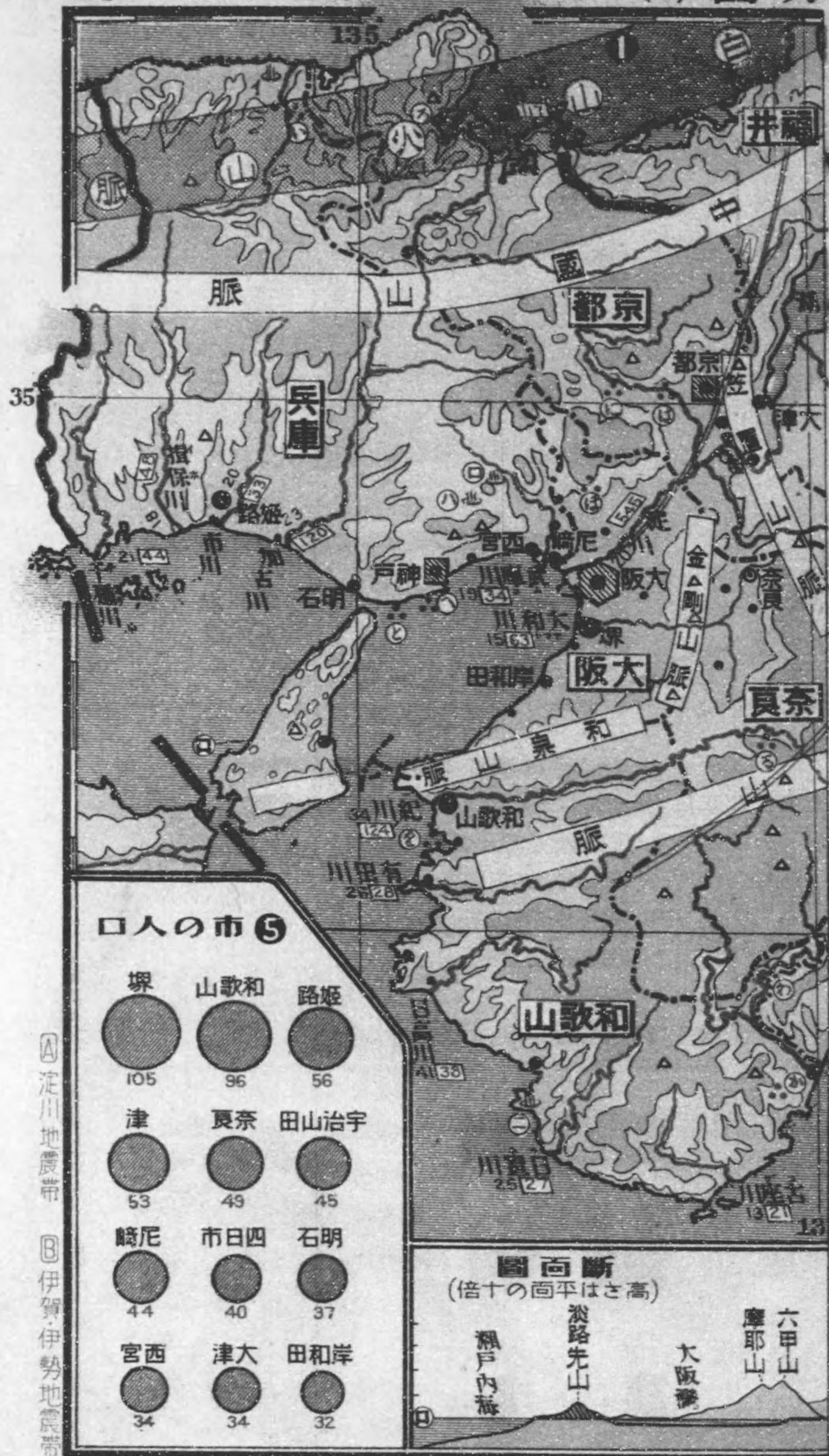




露光量違いの為重複撮影

13

(一) 圖方



口人の市⑤

堺	山歌和	路姫
105	96	56
津	夏奈	田山治宇
53	49	45
崎尼	市日四	石明
44	40	37
宮西	津大	田和岸
34	34	32

④ 淀川地震帯 ⑤ 伊賀伊勢地震帯

圖高断

(倍十の面平はき高)



0 2 4 6 8 10 20 30 里 1:2,000,000

地畿近



沼湖

- 池標巨 ④
- 湖吾余 2.0 - 134.

知愛

真滋

重三

伊

紀

明説號記⑤

- | | | |
|------|-----|---|
| 子舞 | 崎城 | ① |
| 磨須 | 塚實 | ② |
| 十四目赤 | 馬有 | ③ |
| 瀧八 | 崎湯 | ④ |
| 浦見二 | | |
| 瀧羽鳥 | | |
| 山野吉 | | |
| 浦歌和 | 洞武玄 | ⑤ |
| 丁八瀨 | 立橋天 | ⑥ |
| 龍智那 | 山嵐 | ⑦ |
| | 川津保 | ⑧ |
| | 高箕 | ⑨ |

② 山脈 (倍十の面平はき高)

- 569 成輝山
- 720 豐山
- 833 大江山
- 1377 摩岐山
- 1174 土風山
- 570 鞍馬山
- 924 叡山
- 848 比叡山
- 1209 御在所山
- 428 三上山
- 363 養老山
- 932 六甲山
- 687 摩耶山
- 289 室生山
- 642 生駒山
- 437 高野山
- 1249 南見山
- 1112 金剛山
- 410 紫山
- 1720 三上山
- 1915 摩山
- 1635 大室山
- 1800 養老山

1122 大室山

552 新羅山

③

- 金剛山脈
- 金剛山
- 生駒山
- 信貴山
- 室生山脈
- 室生山
- 雲出川
- 御在所山
- 鈴鹿山脈

2000
1500
1000
500

0 10 20 30 40 80 120 里 Bearb. v. S. Shōda 尺一メロキ

露光量違いの為重複撮影

13

(一) 圖方



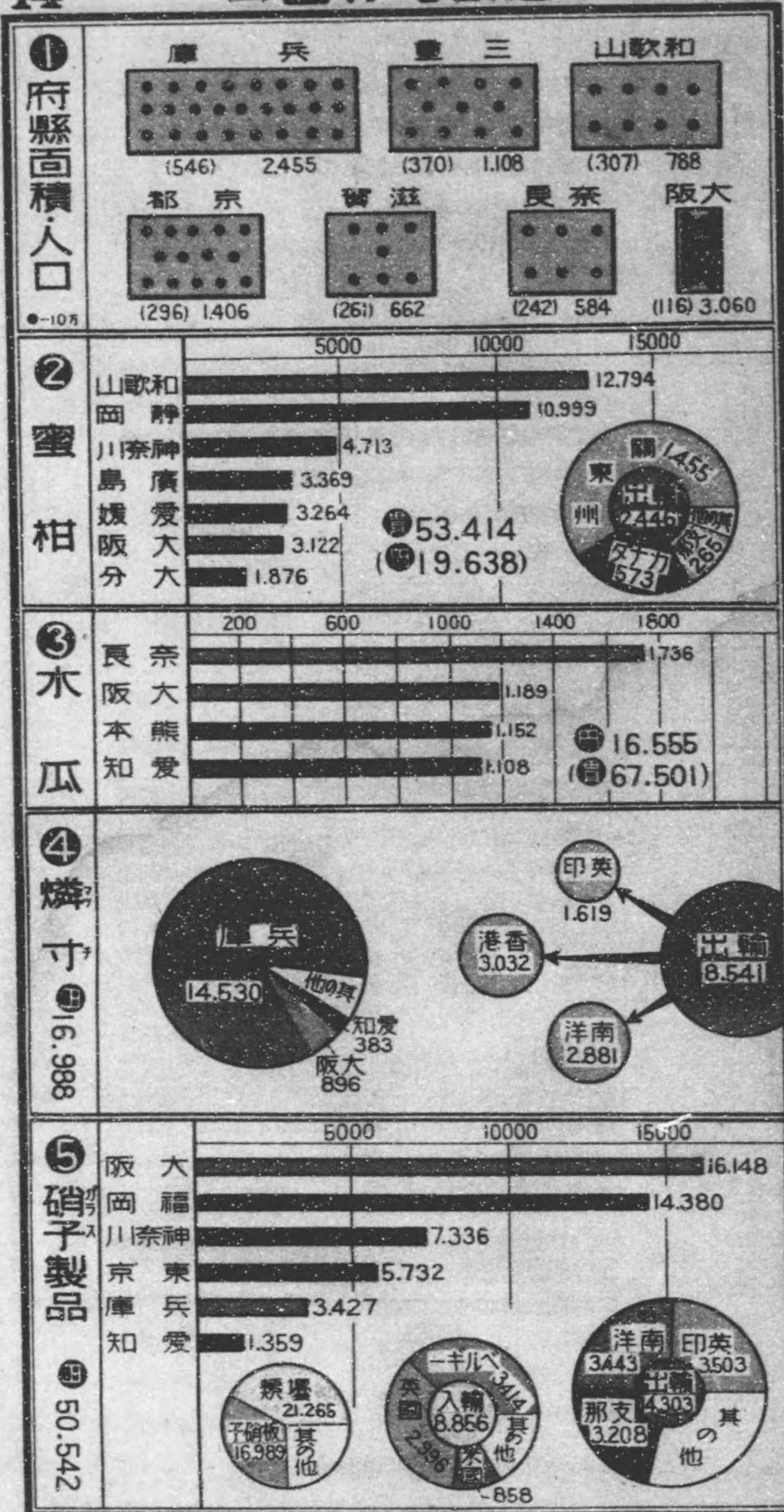
0 2 4 6 8 10 20 30 里 1:2,000,000

地畿近

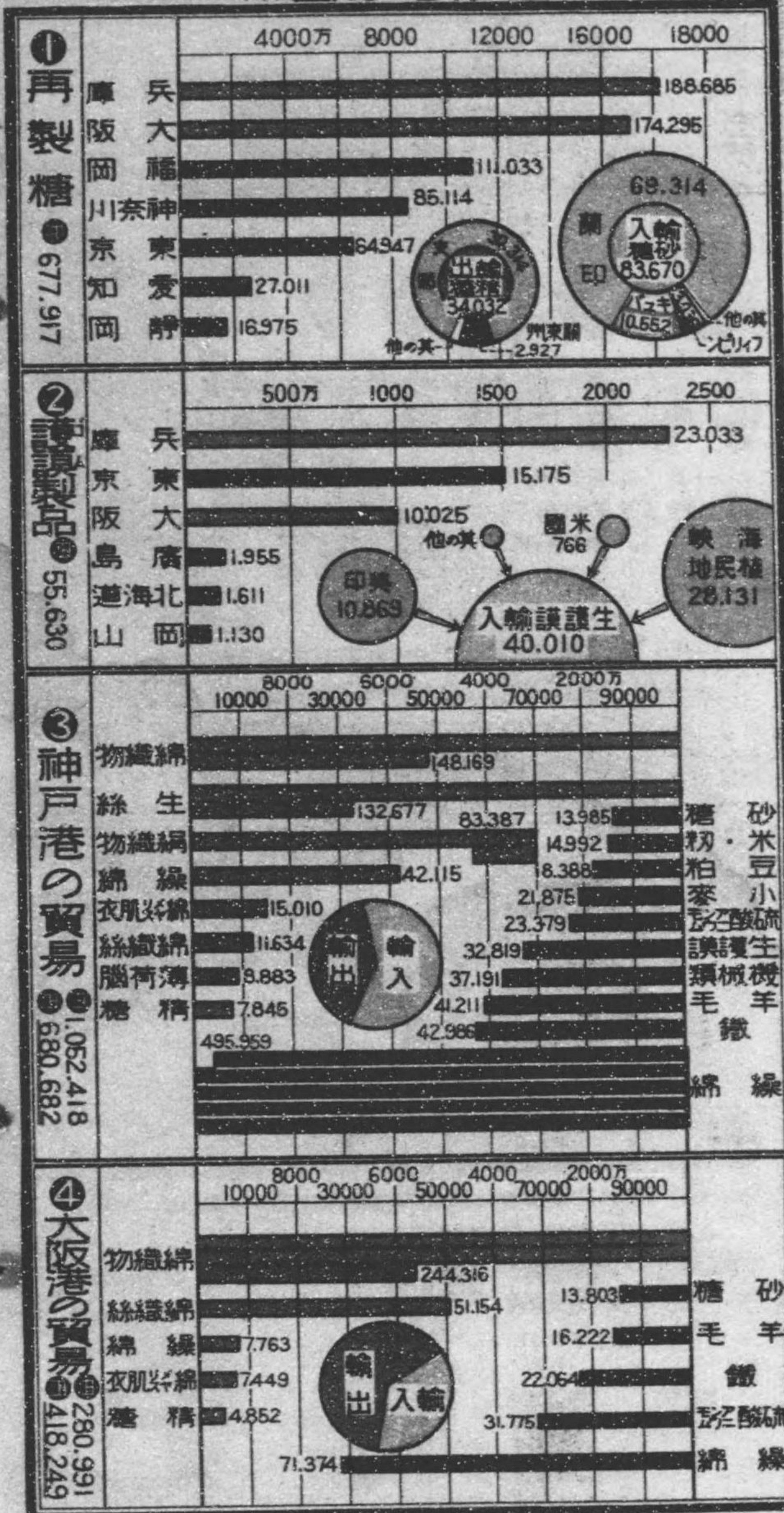


0 10 20 30 40 80 120 里 1:2,000,000

近畿地方圖



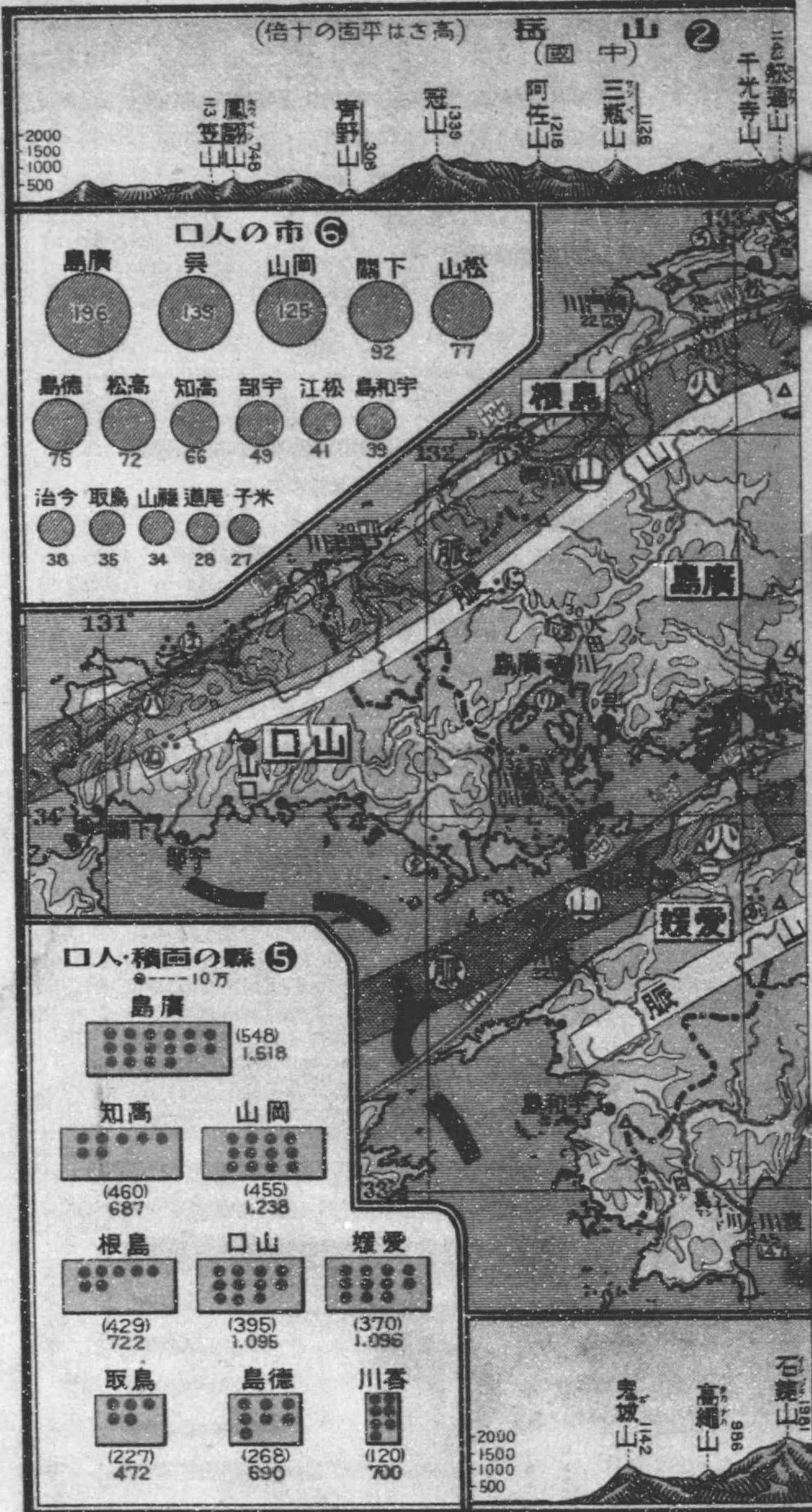
近畿地方圖



露光量違いの為重複撮影

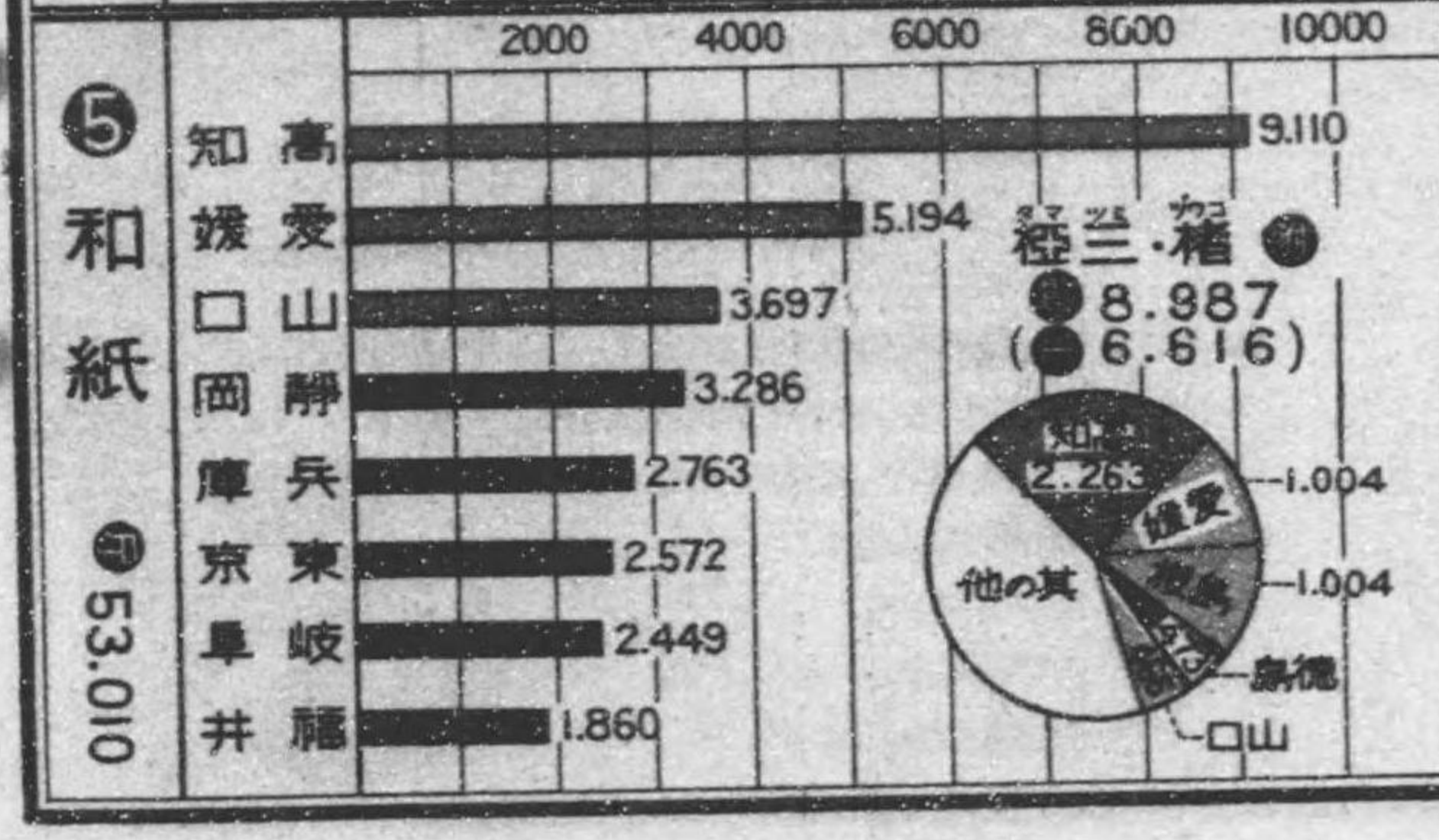
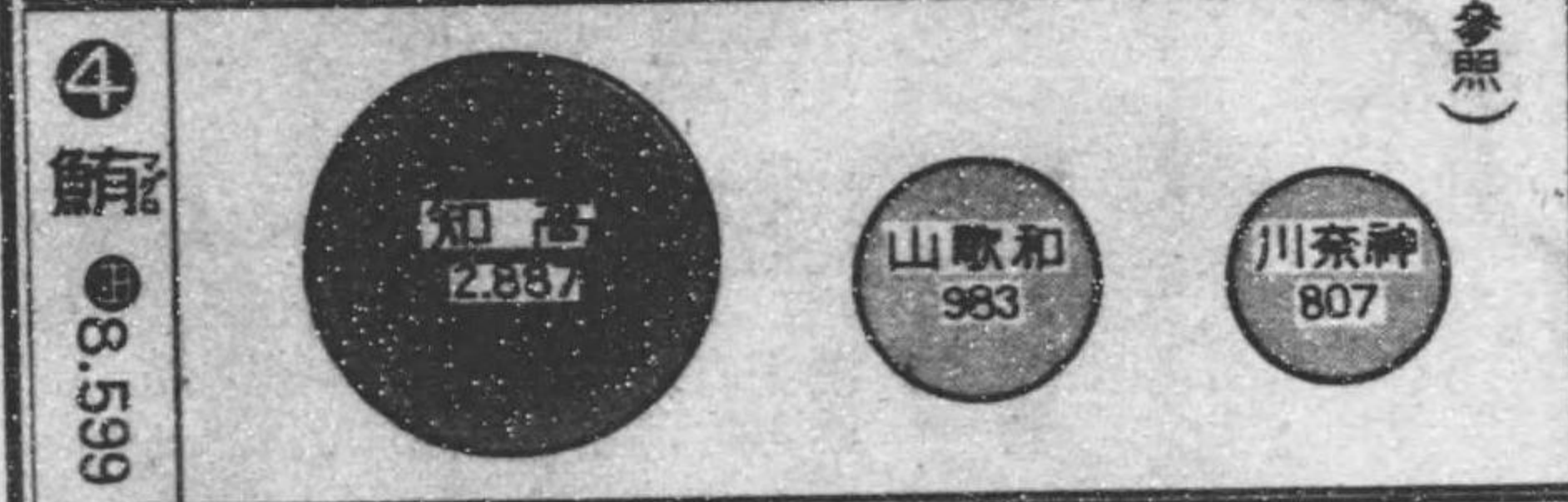
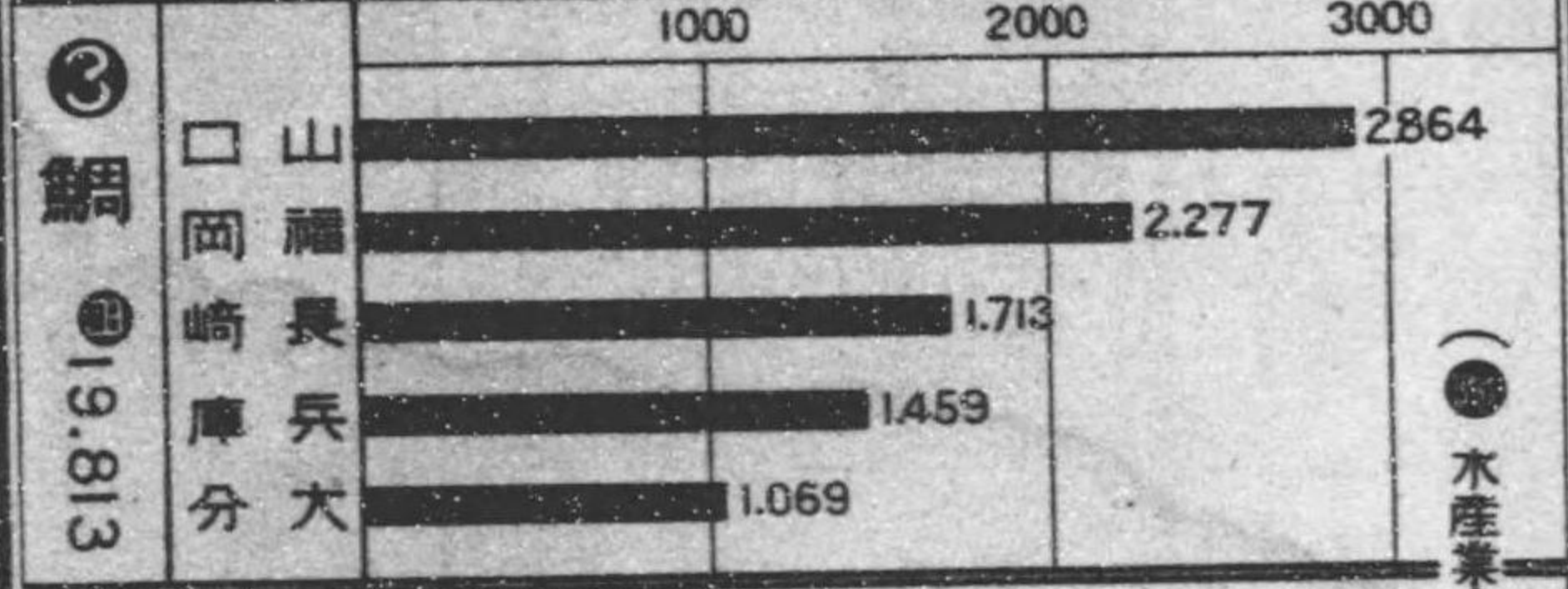
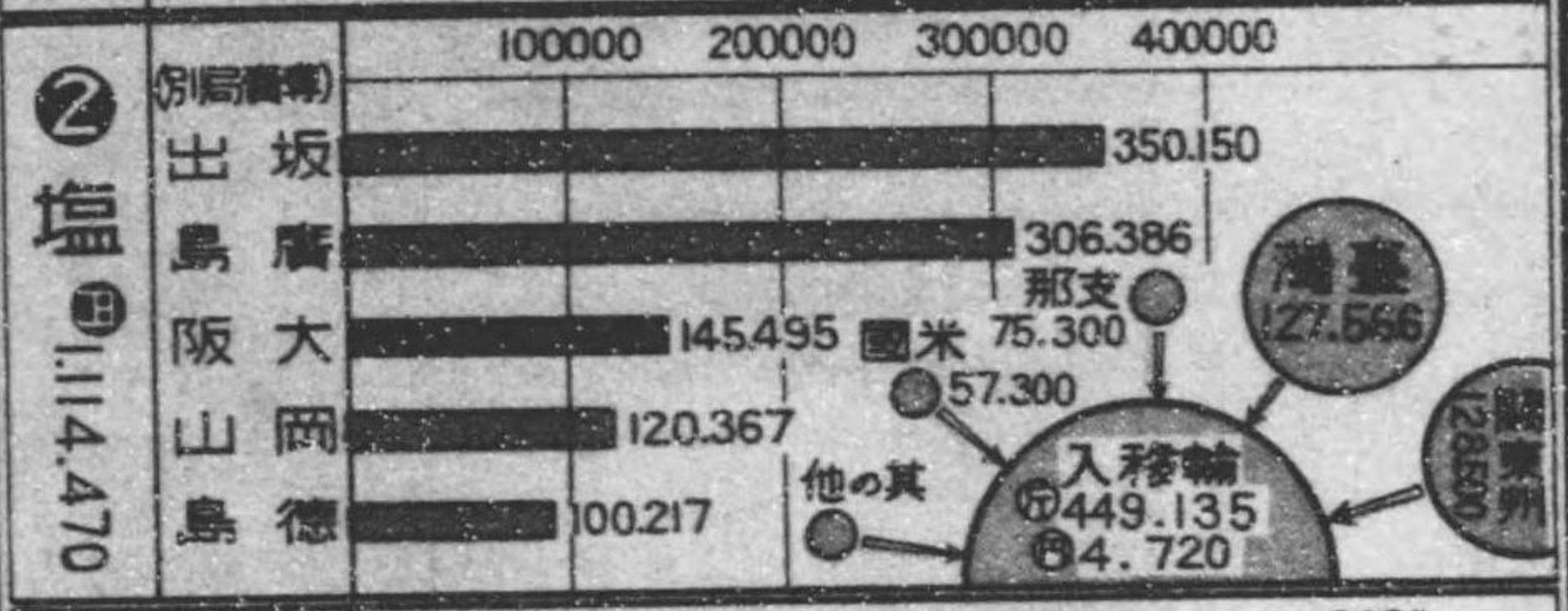
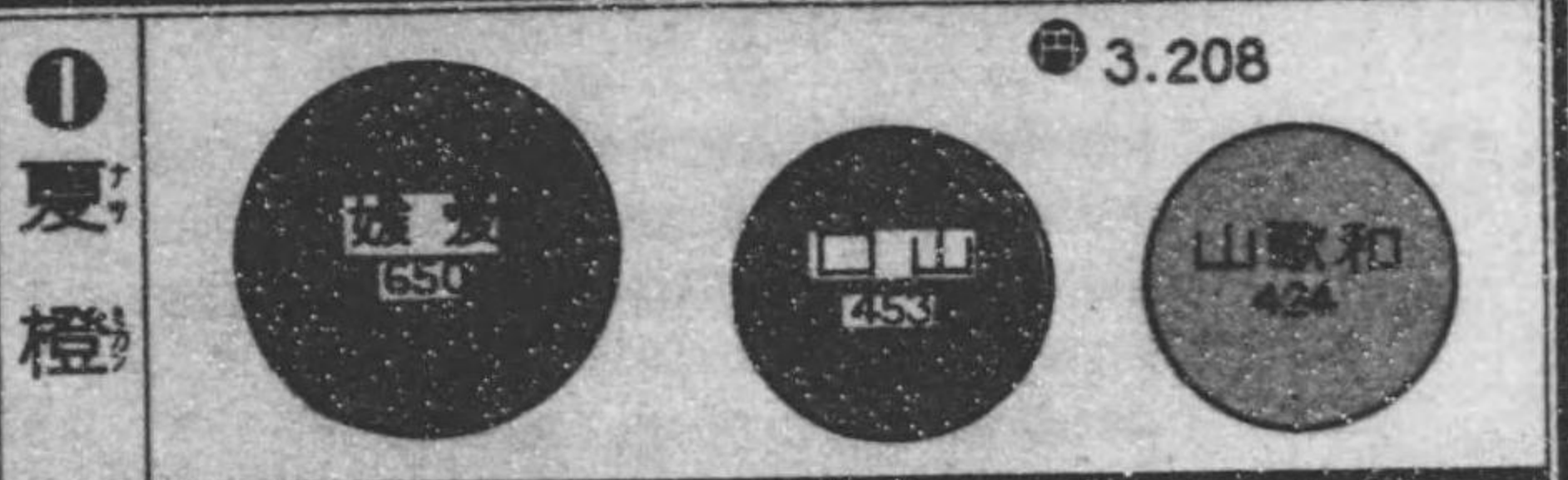
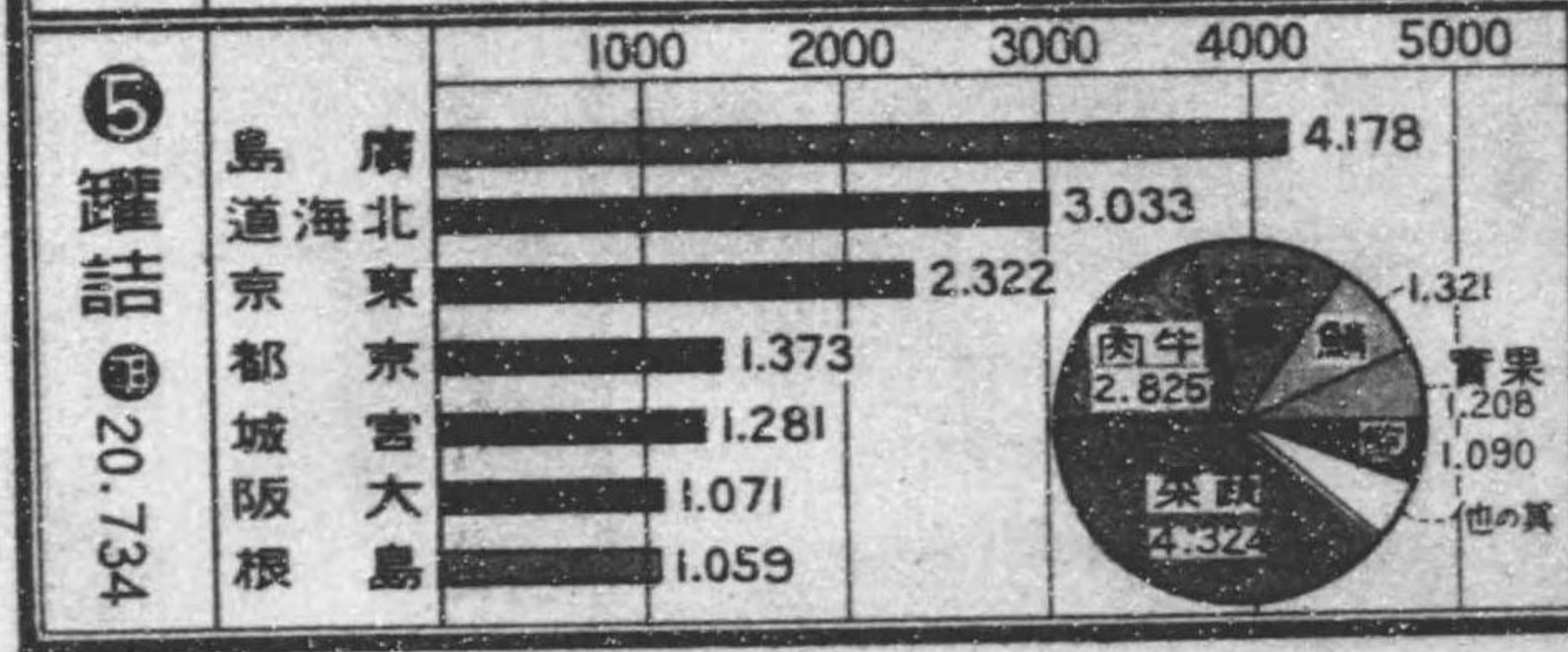
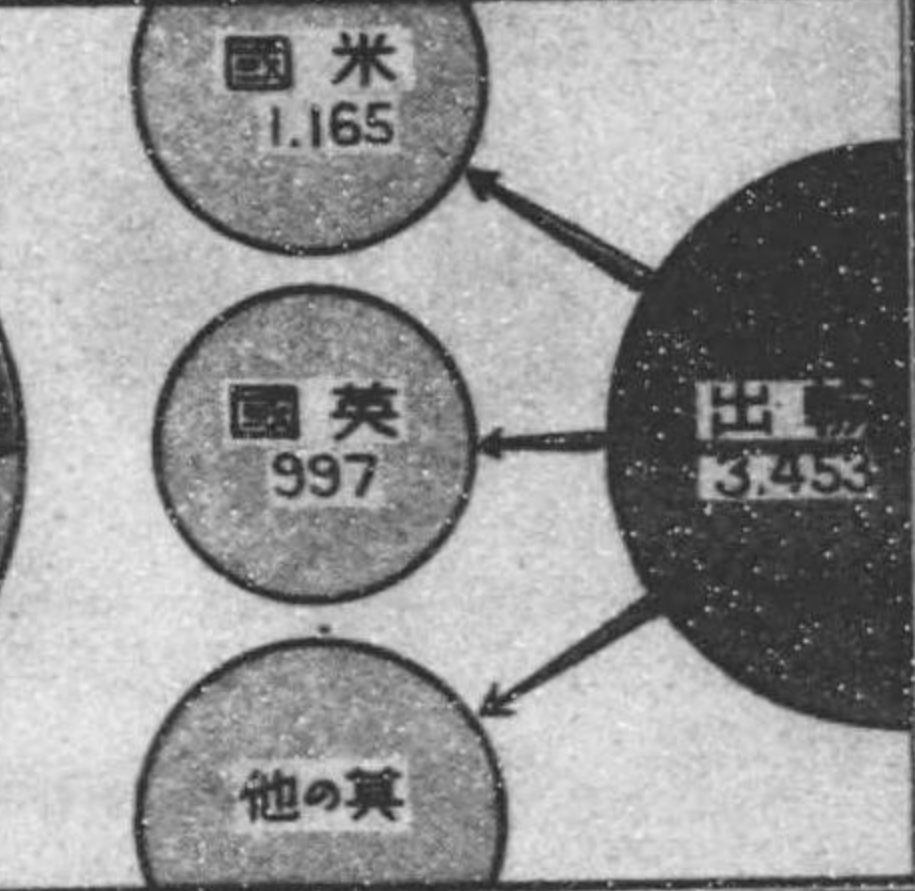
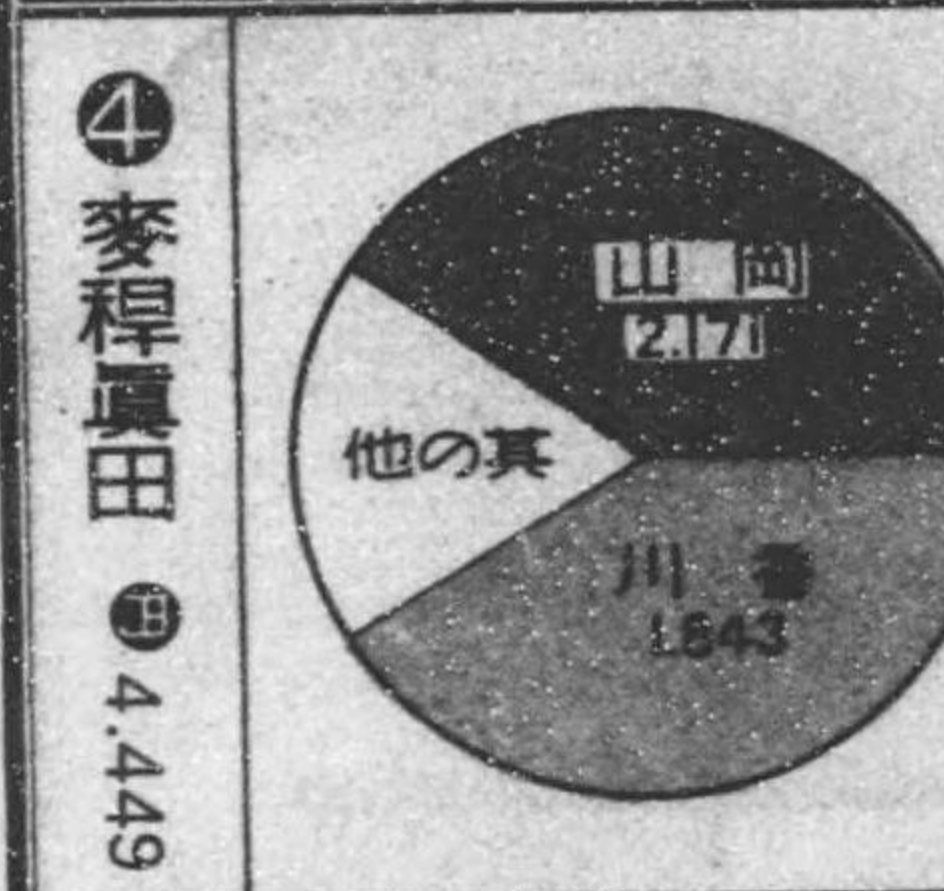
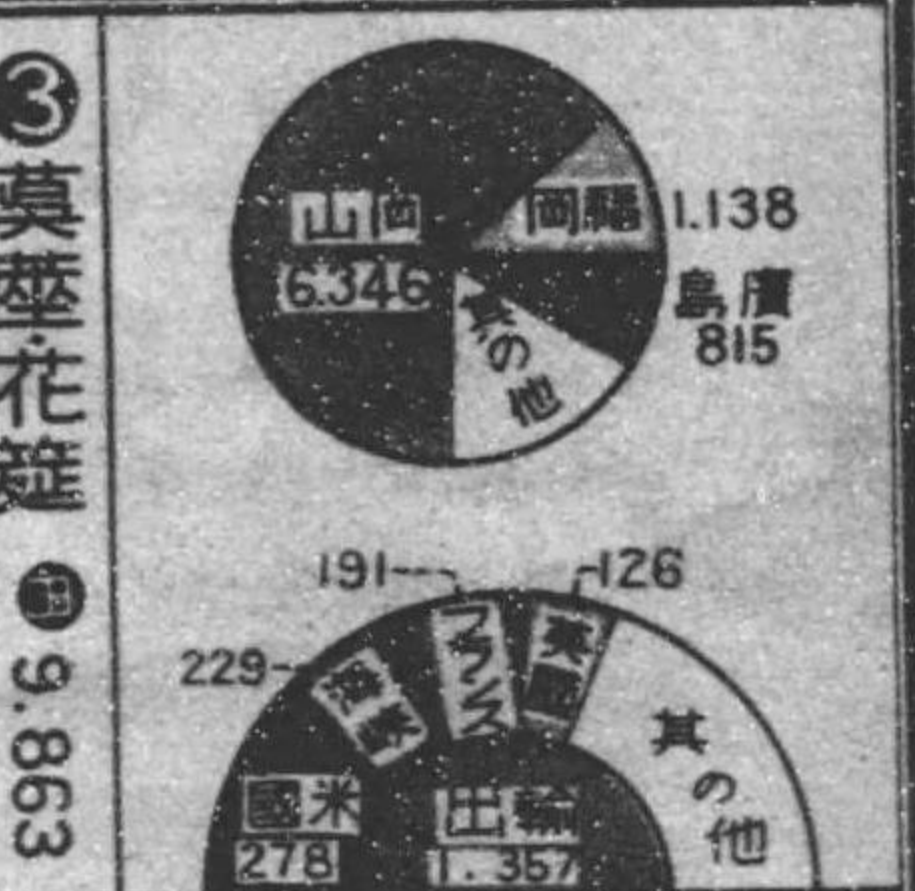
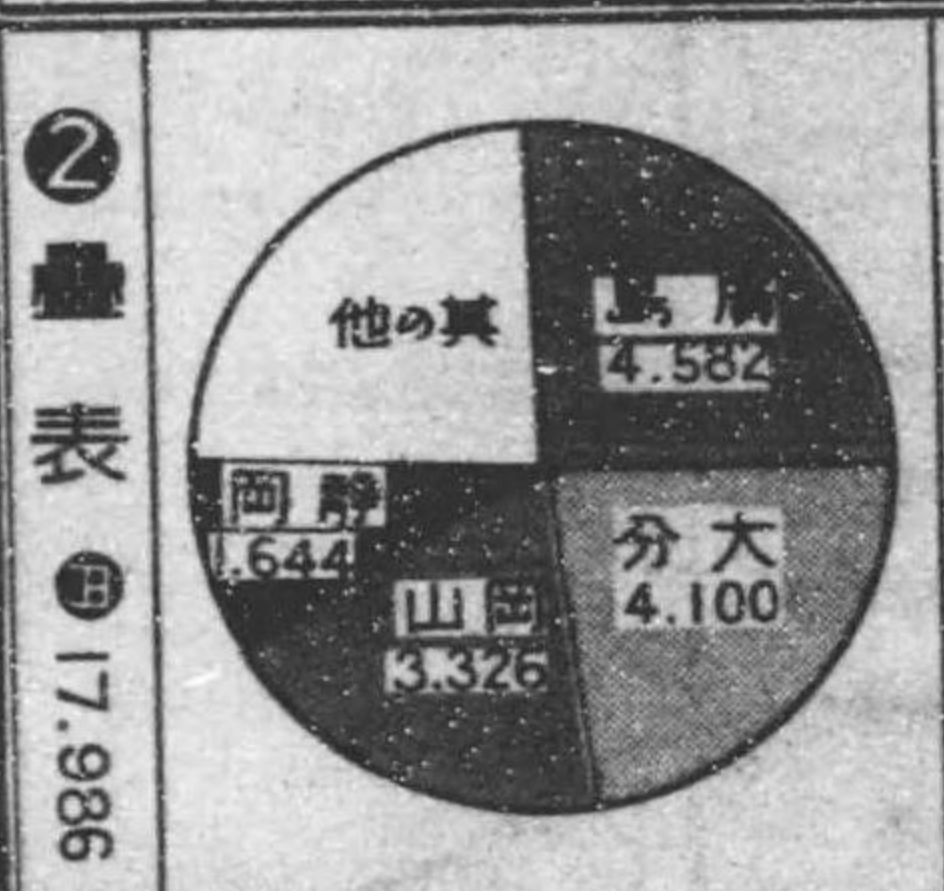
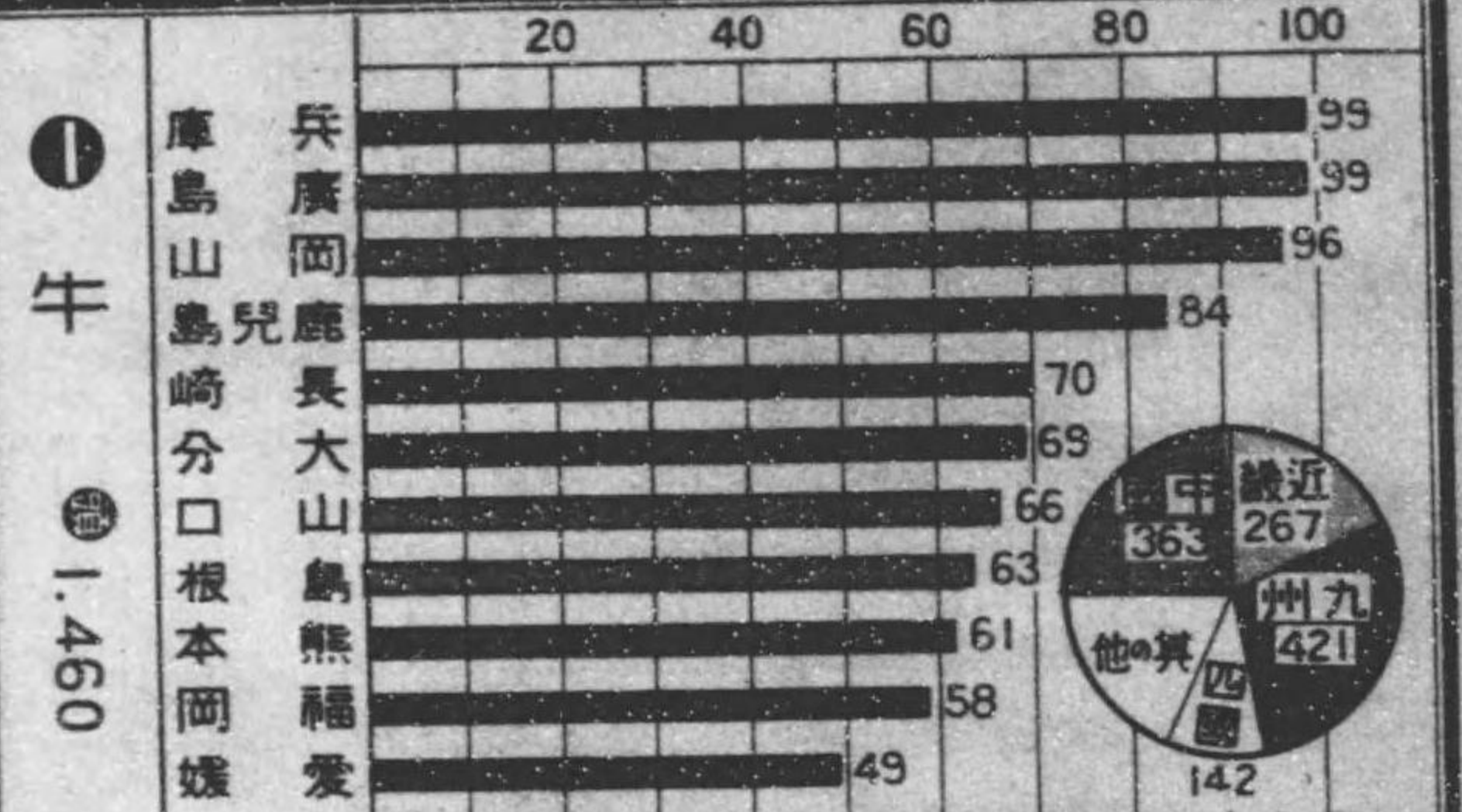
16

(一) 地方圖

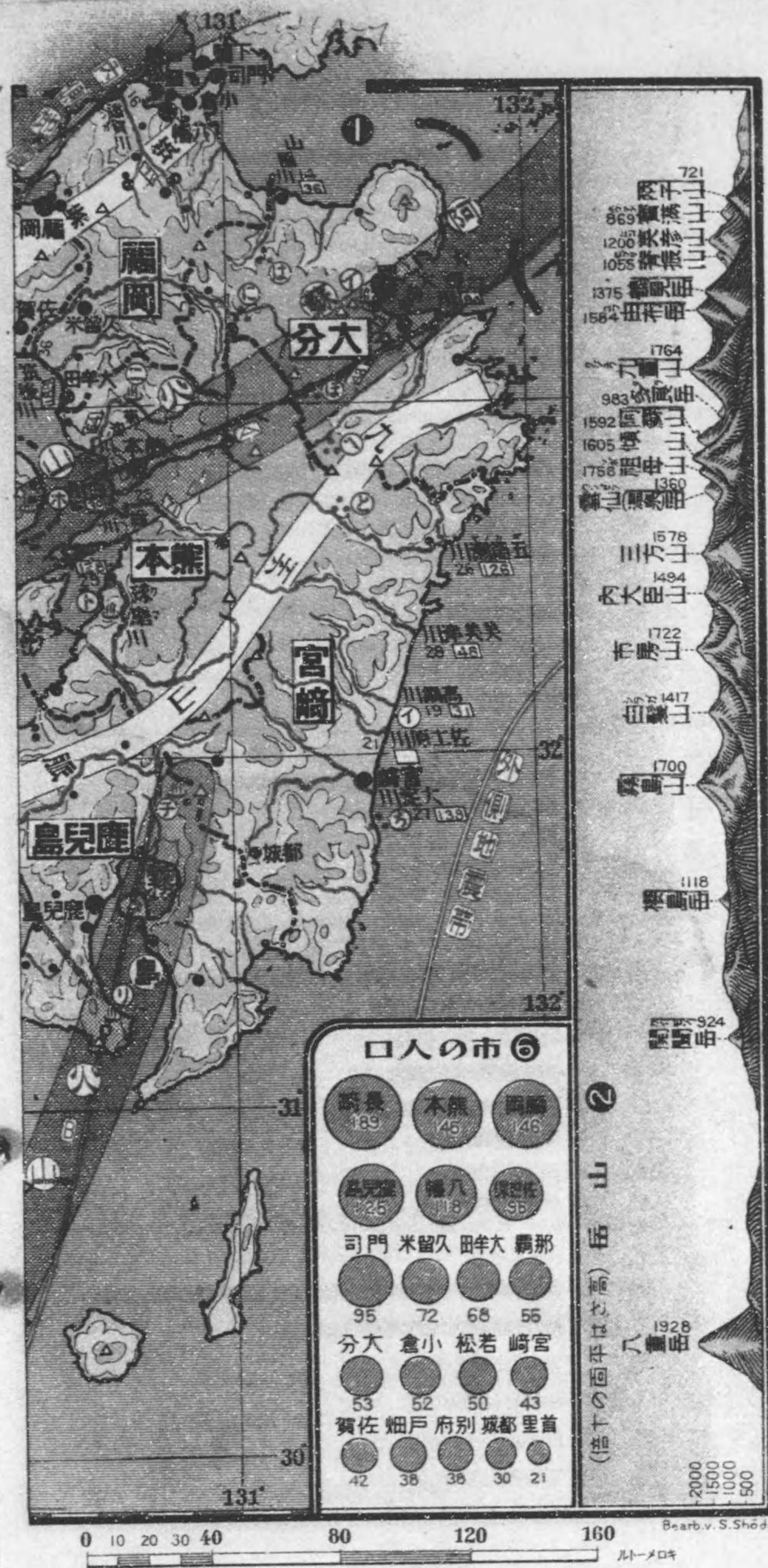
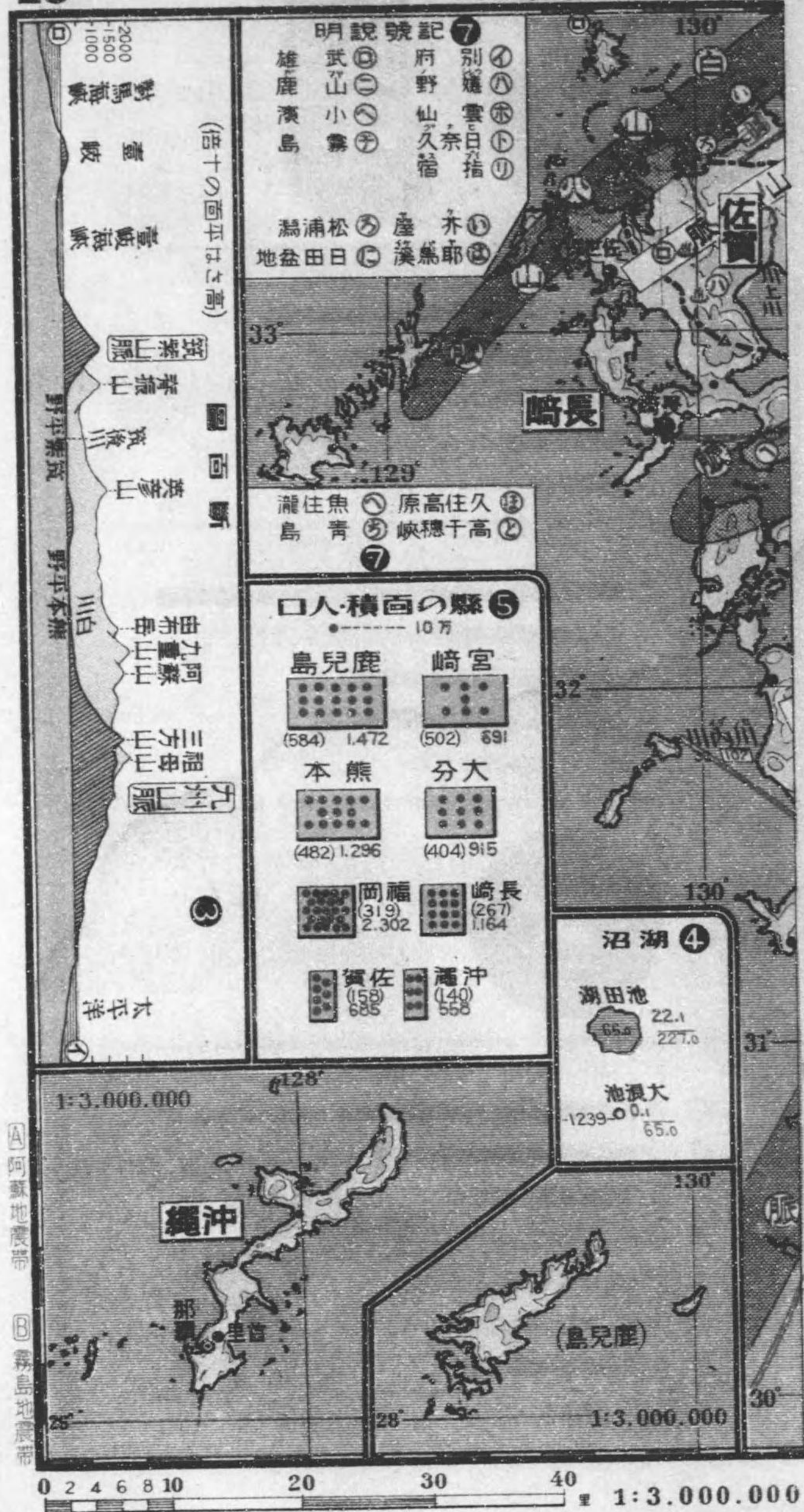


國中四國





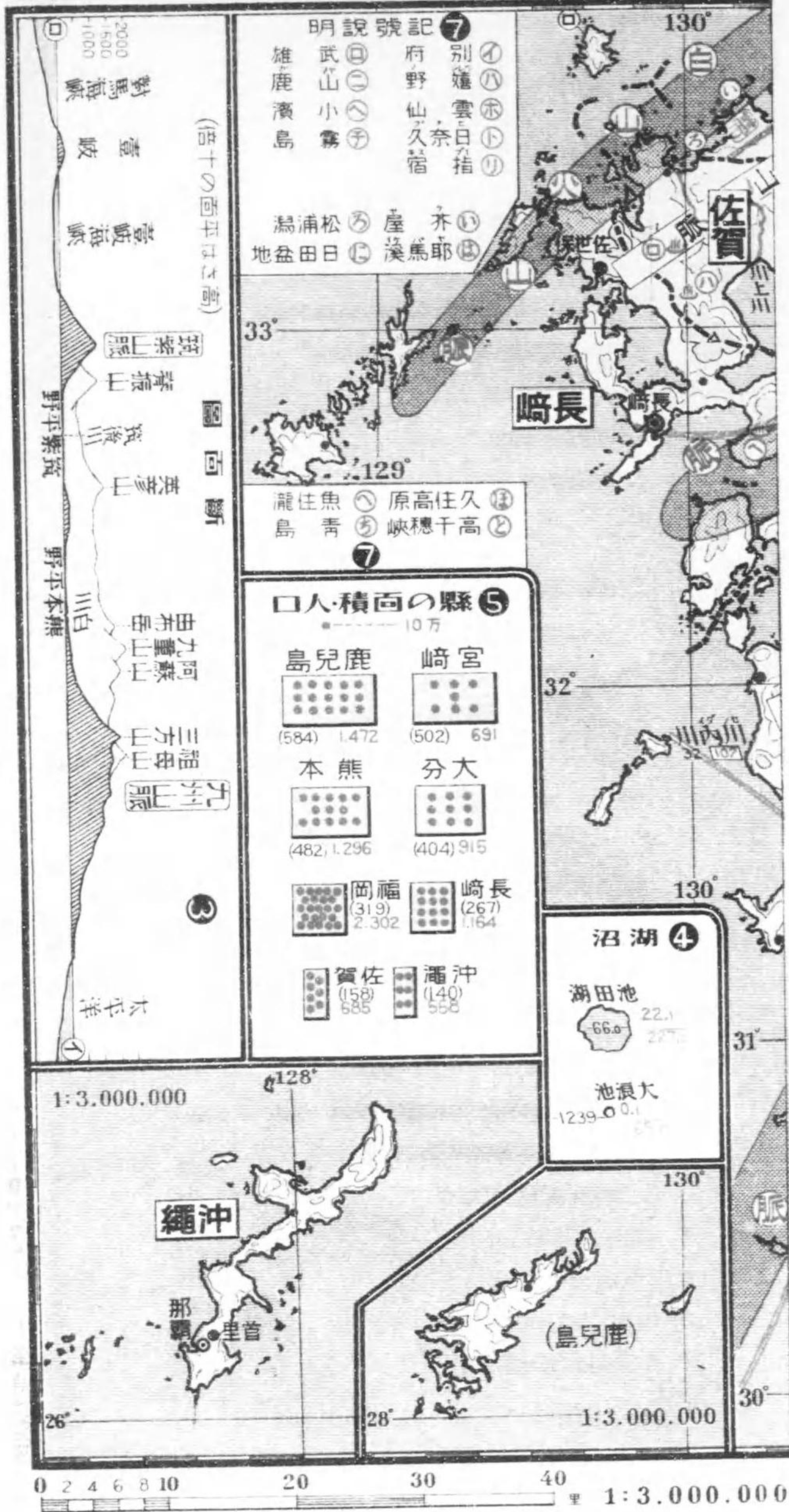
(一) 九州地方圖

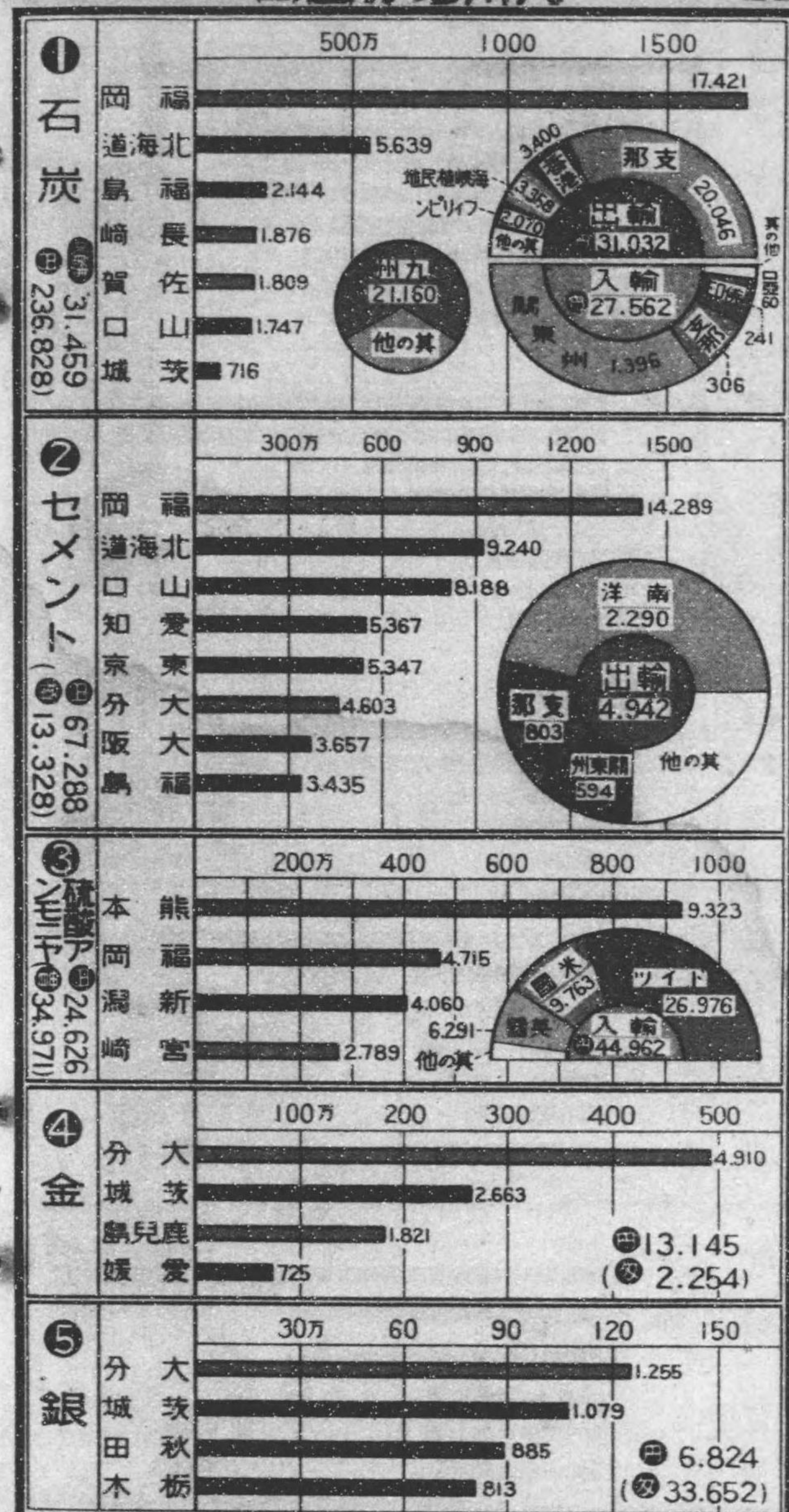
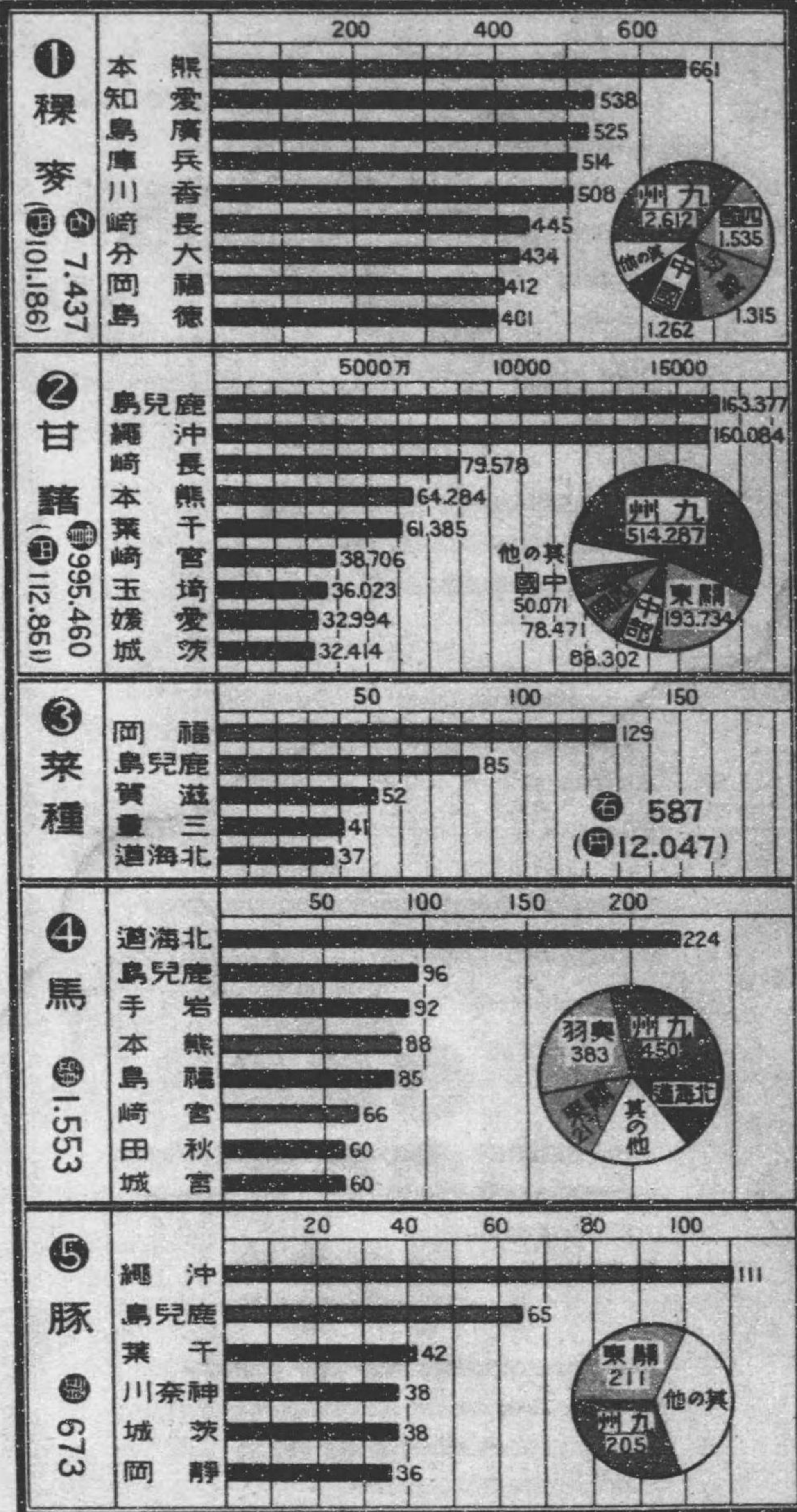


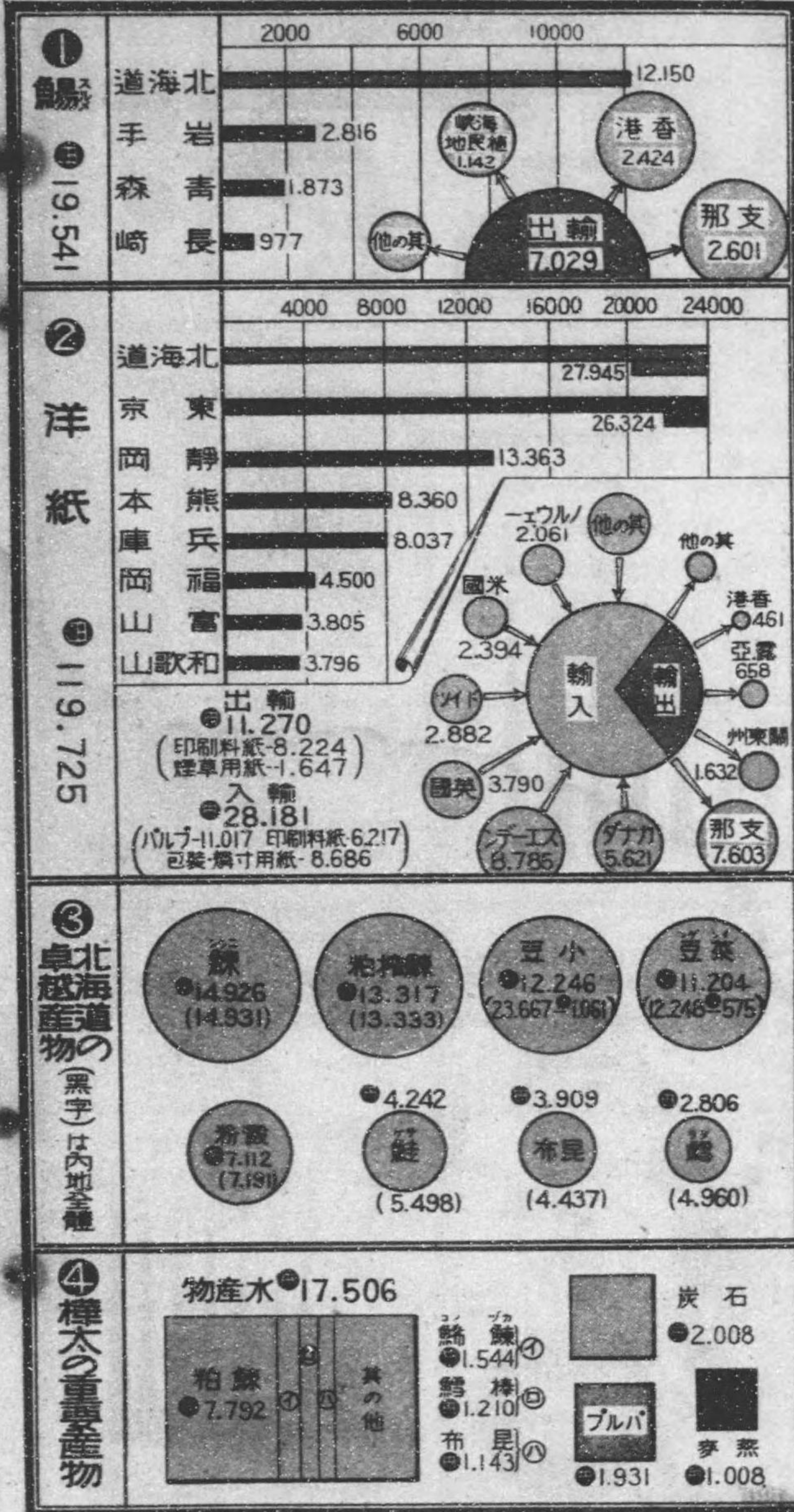
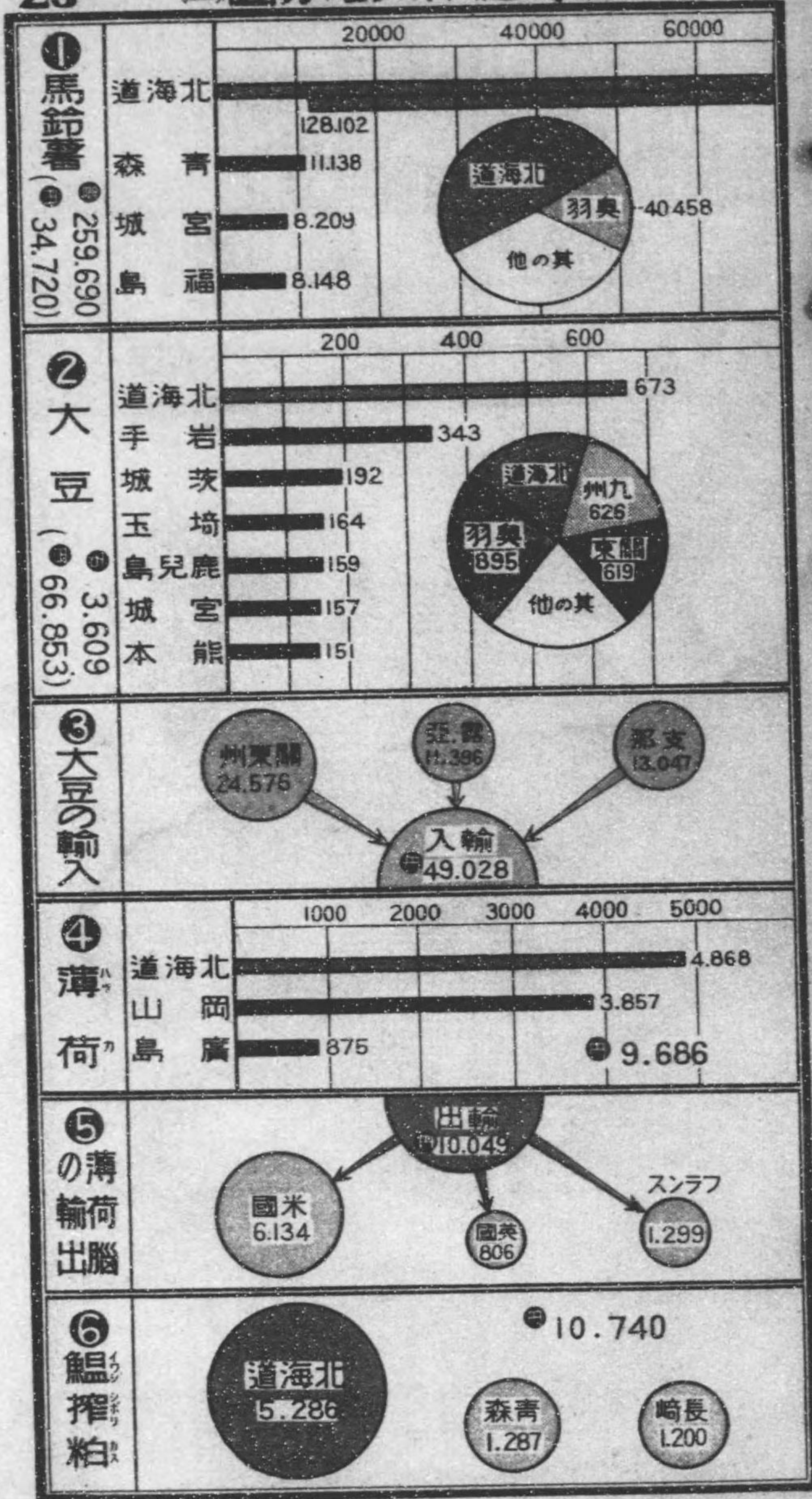
露光量違いの為重複撮影

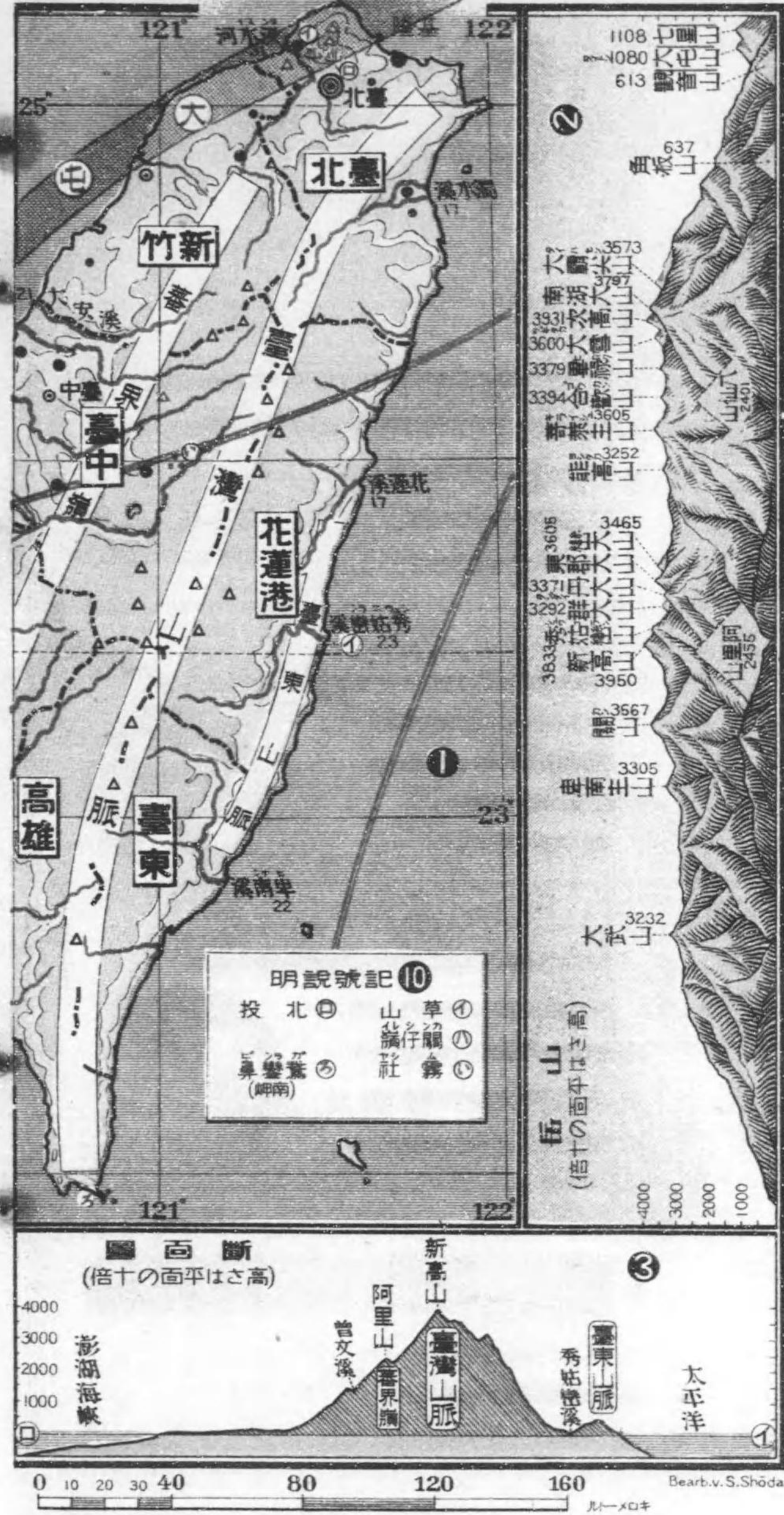
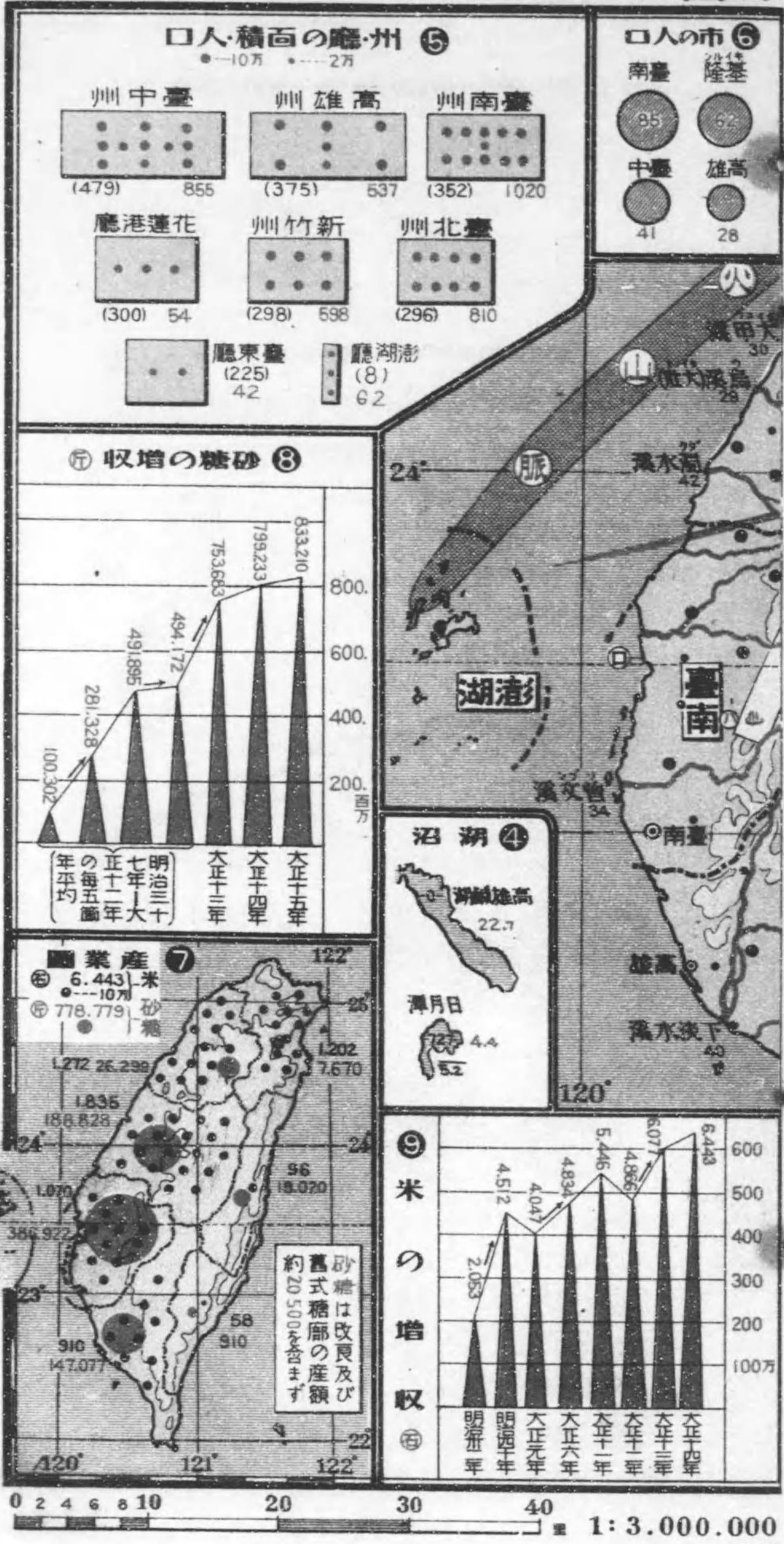
19

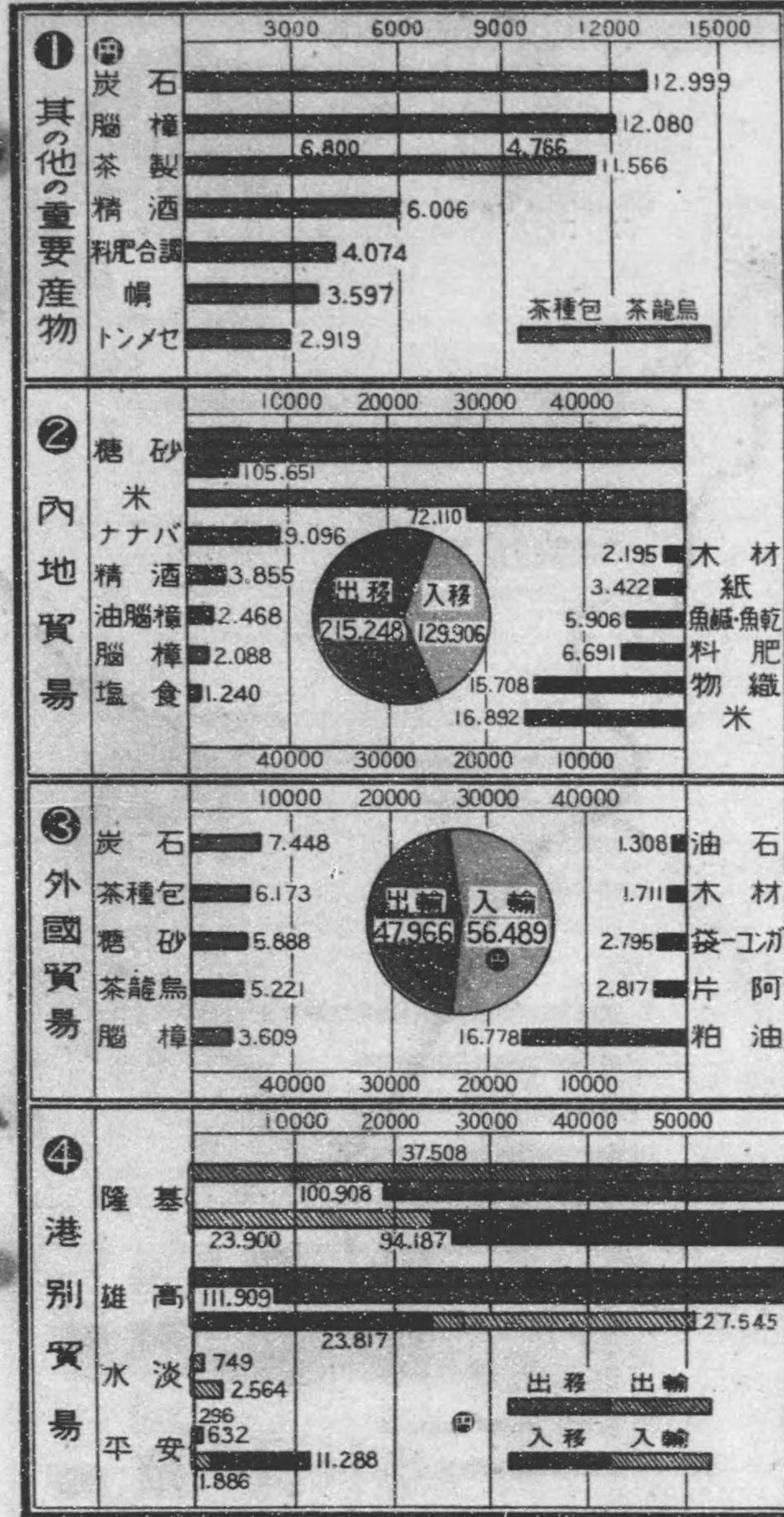
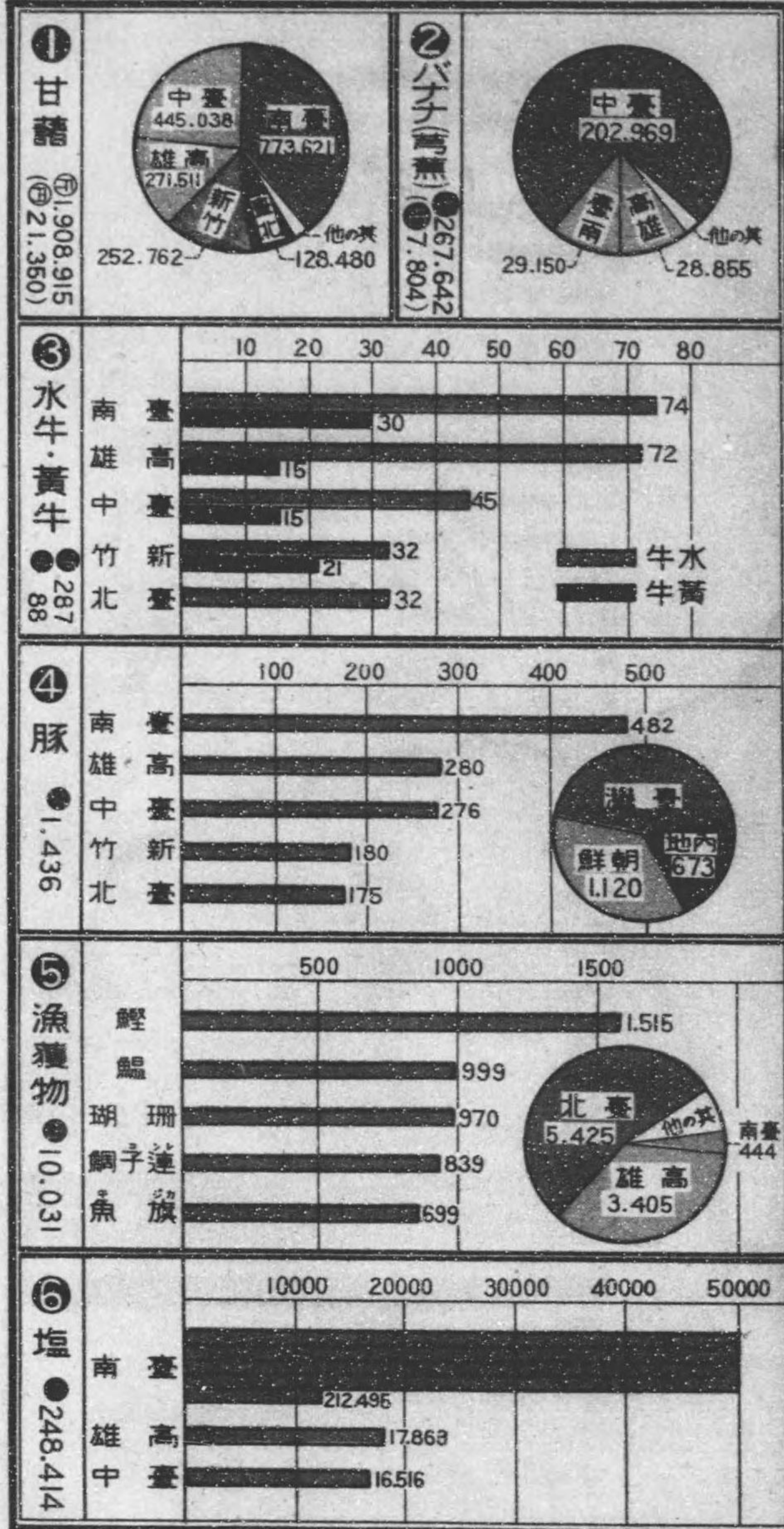
(一) 圖方地州九

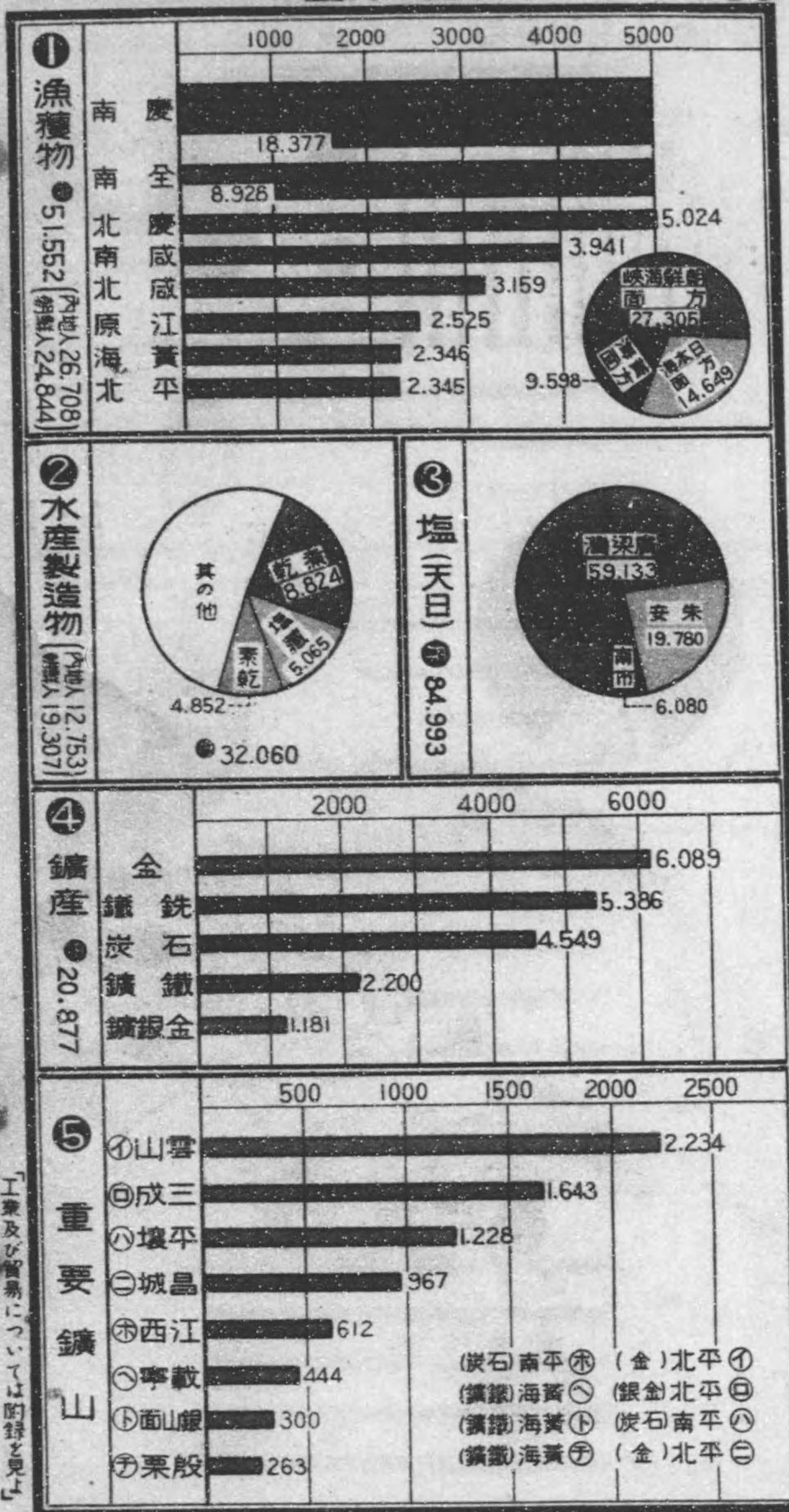
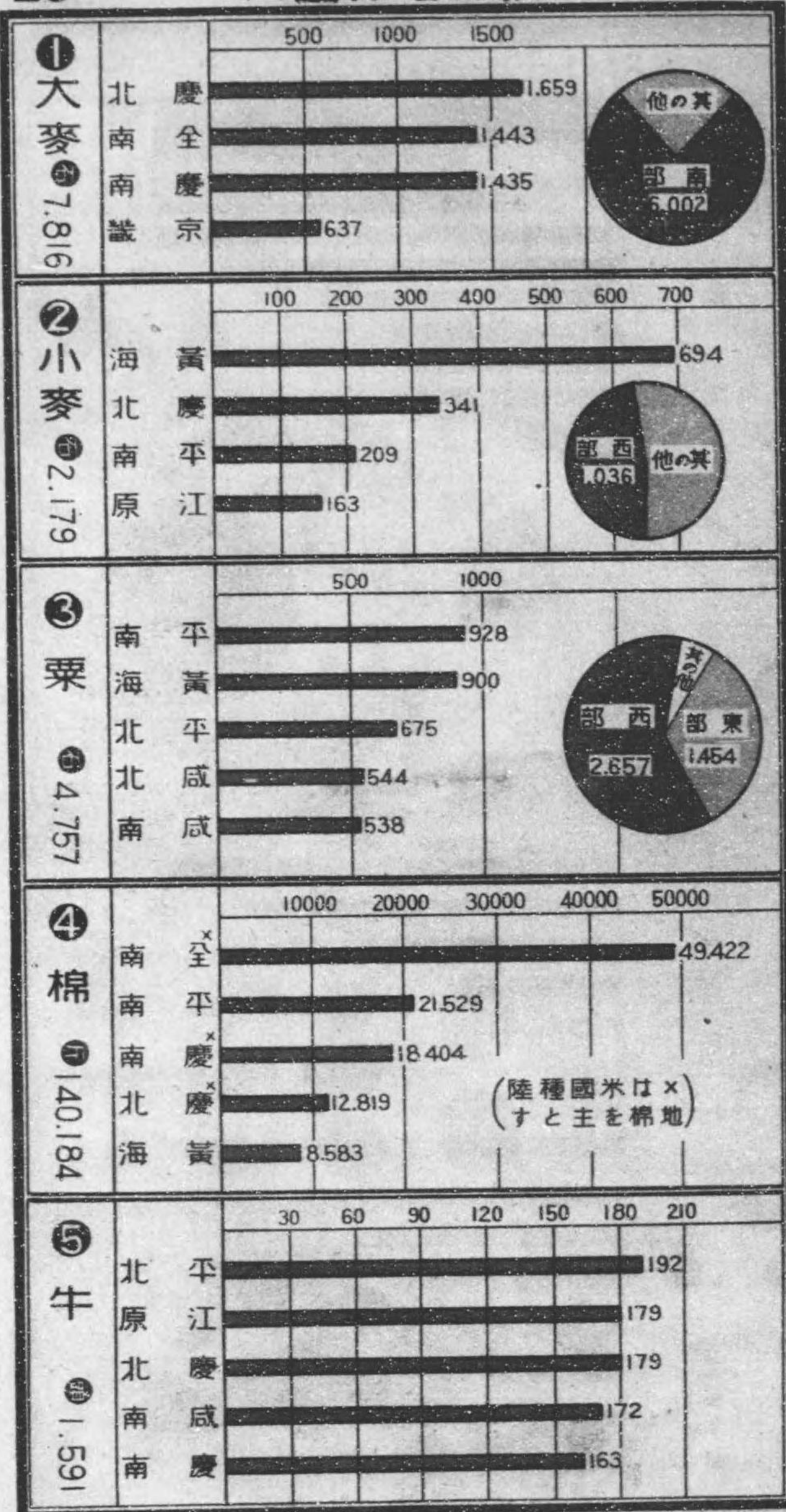










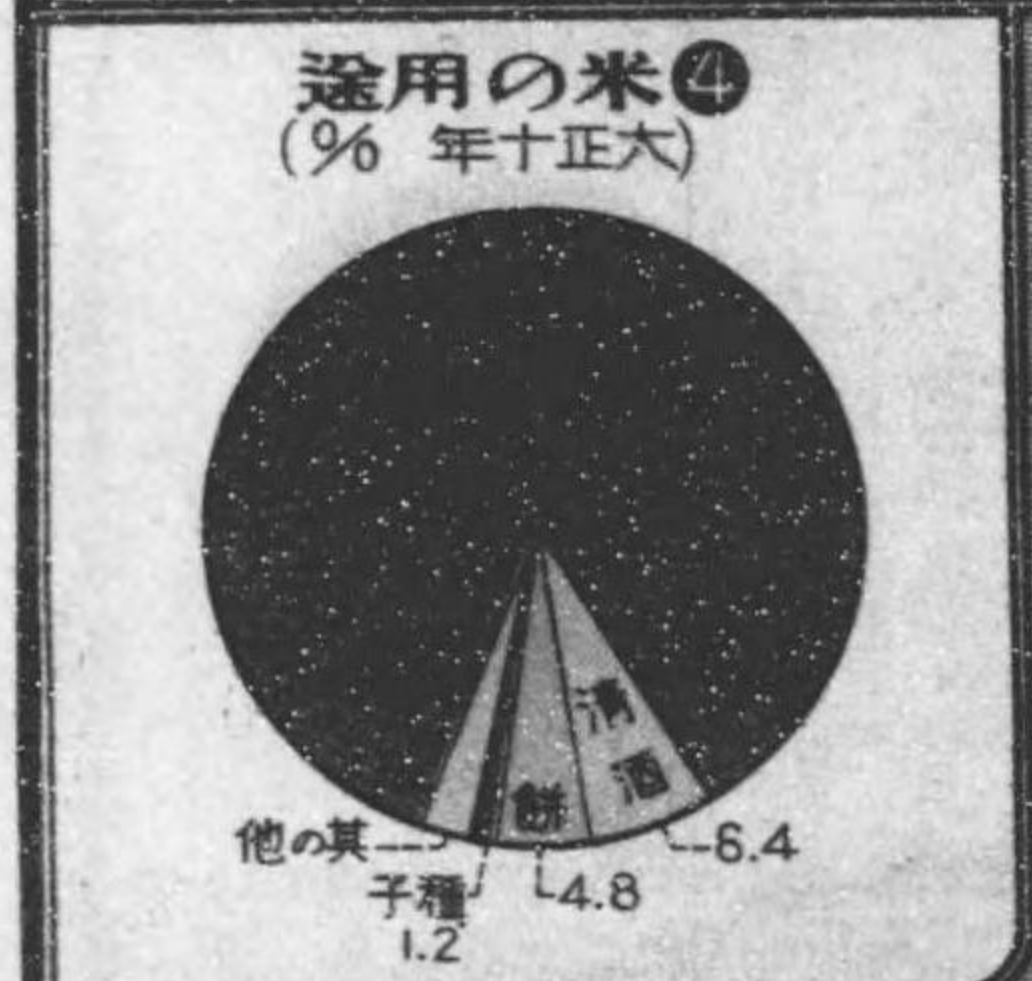
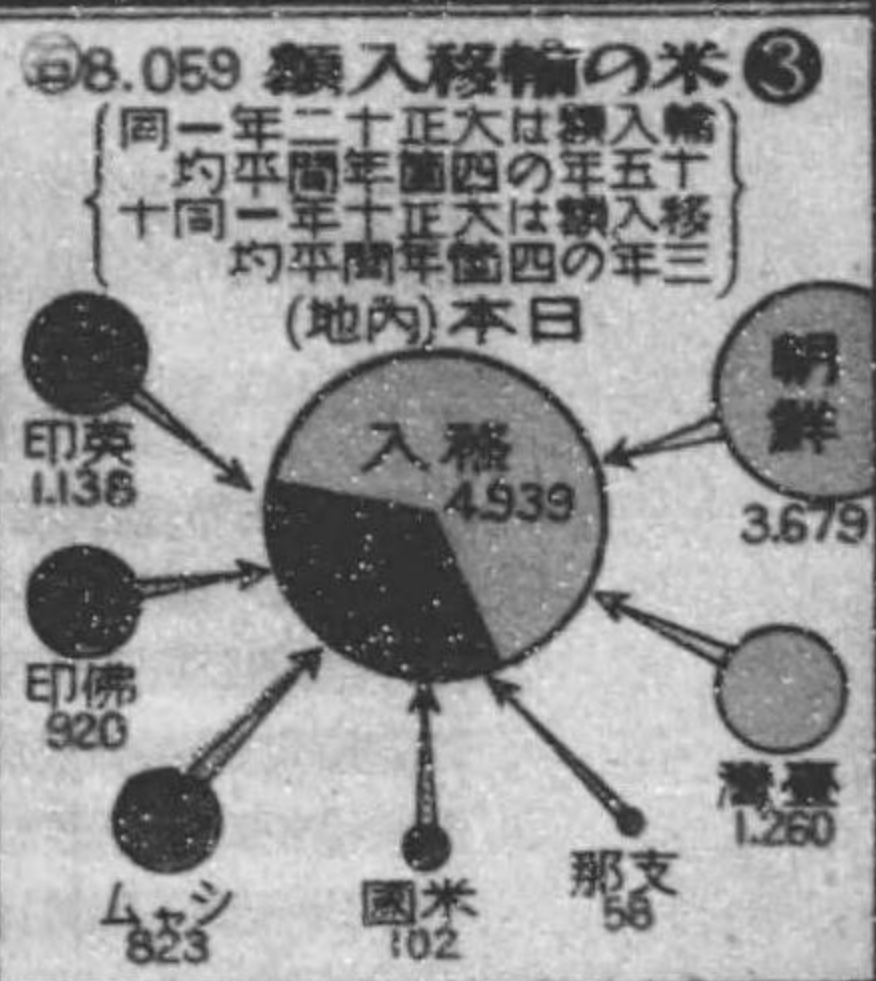
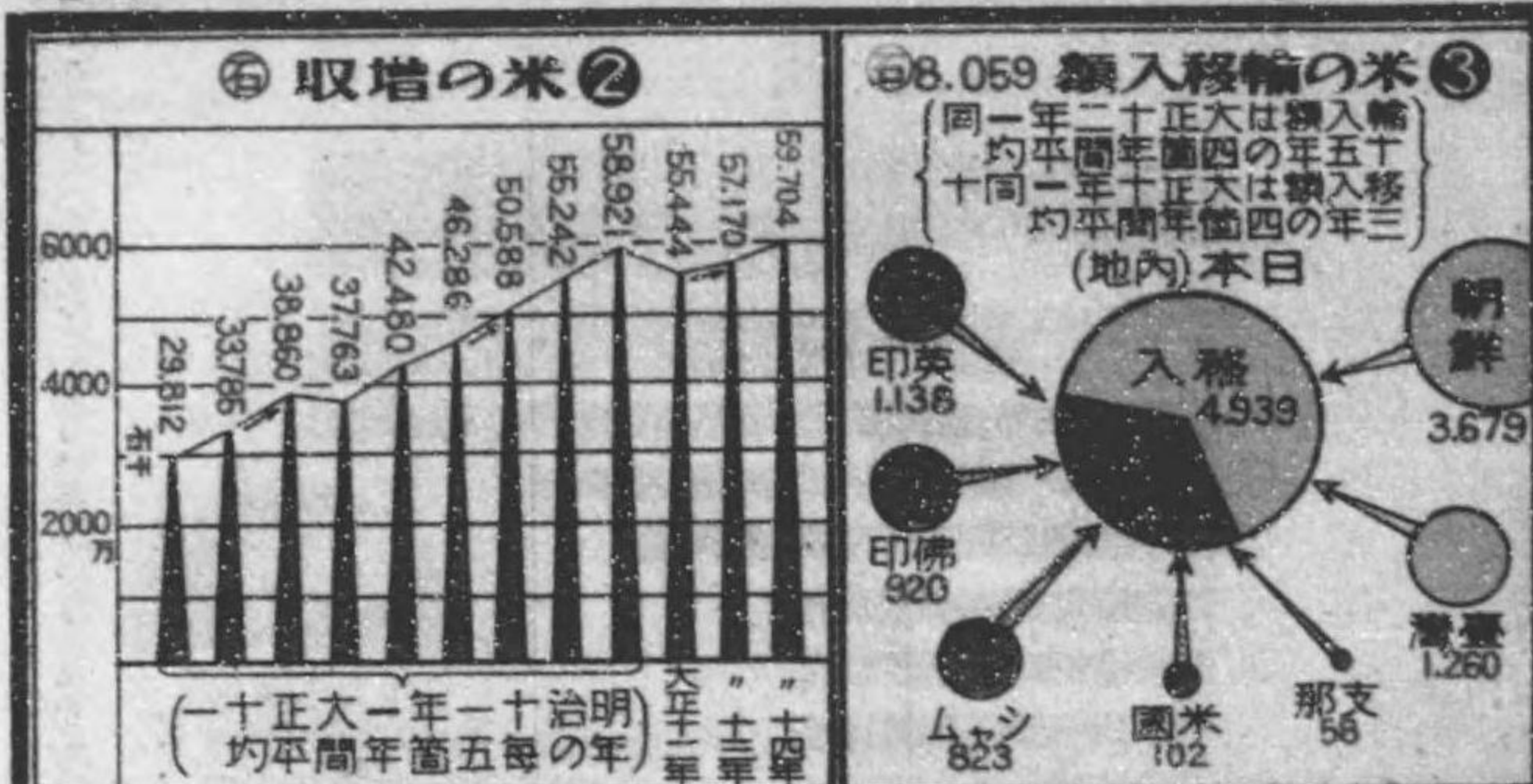


工業及び貿易については附録を参照

露光量違いの為重複撮影

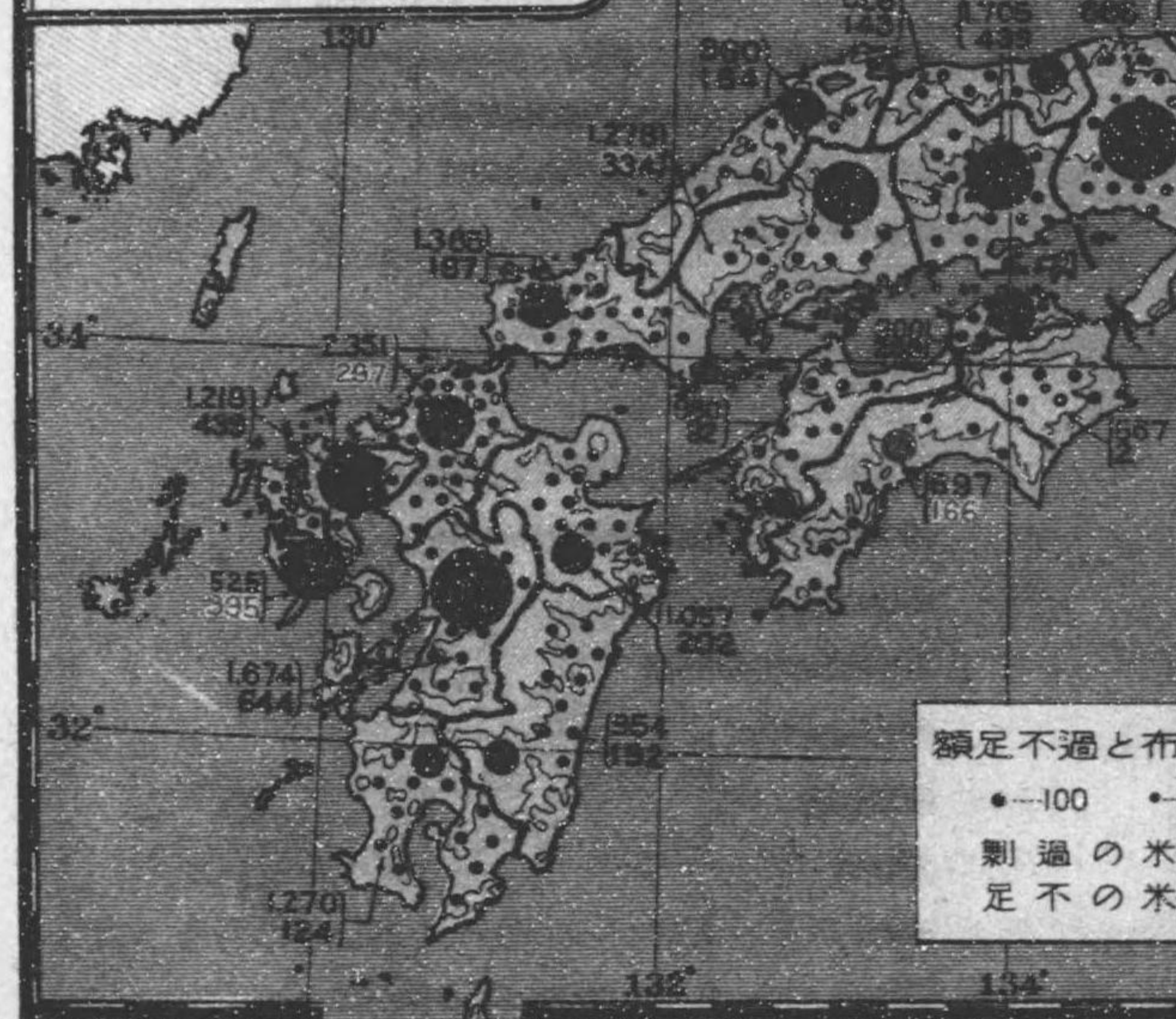
31

米 (一)

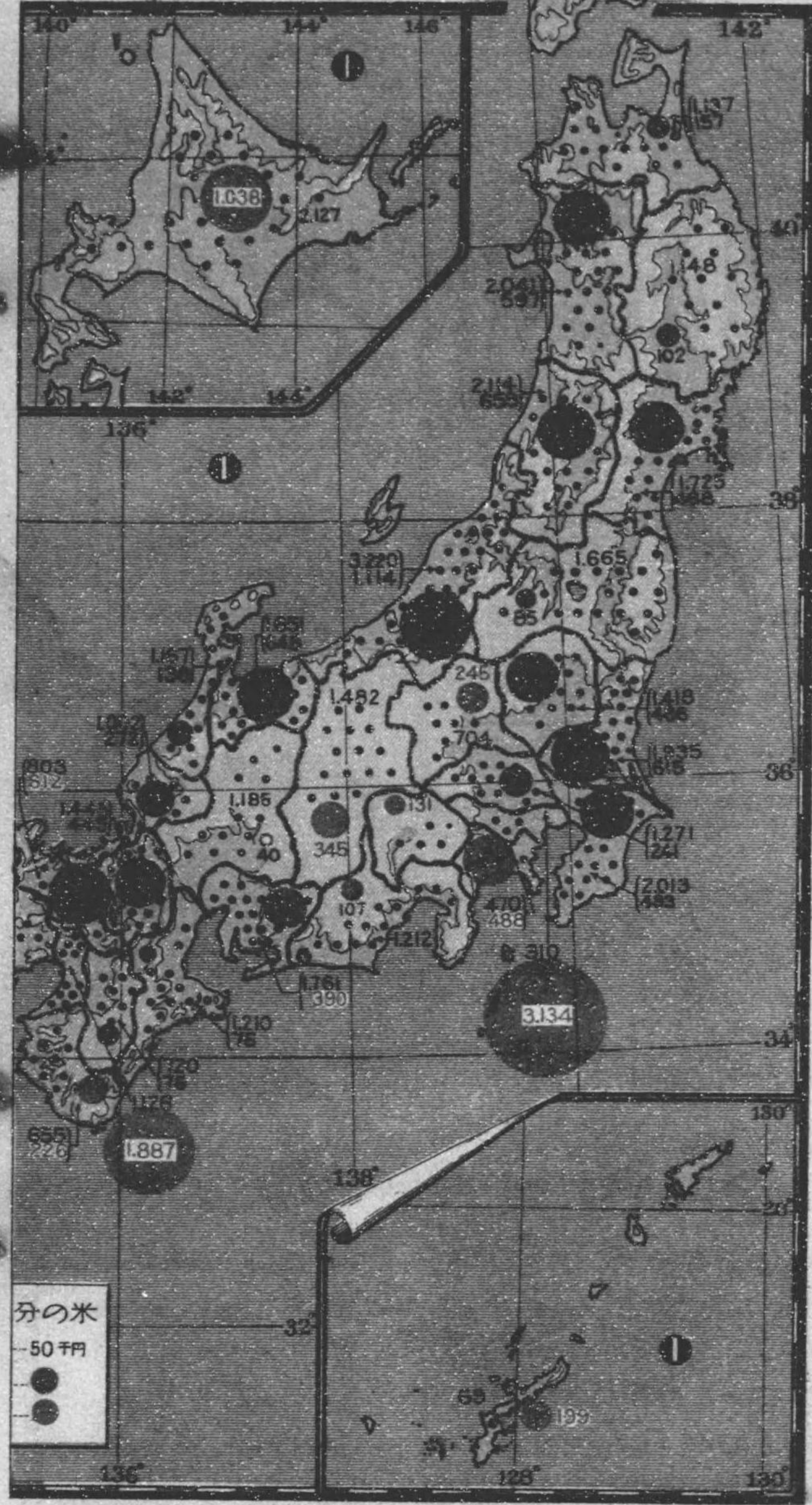


米

⑤ 59.704
⑥ 2,133.762



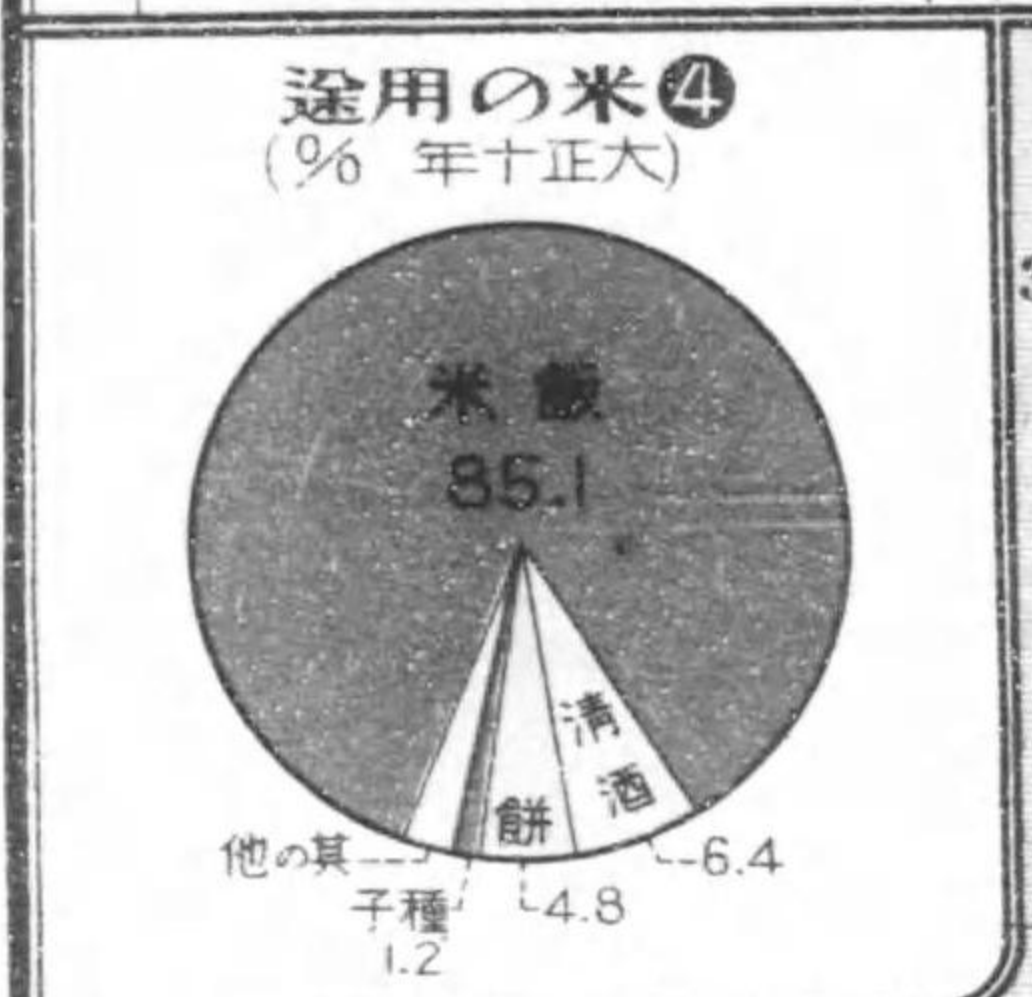
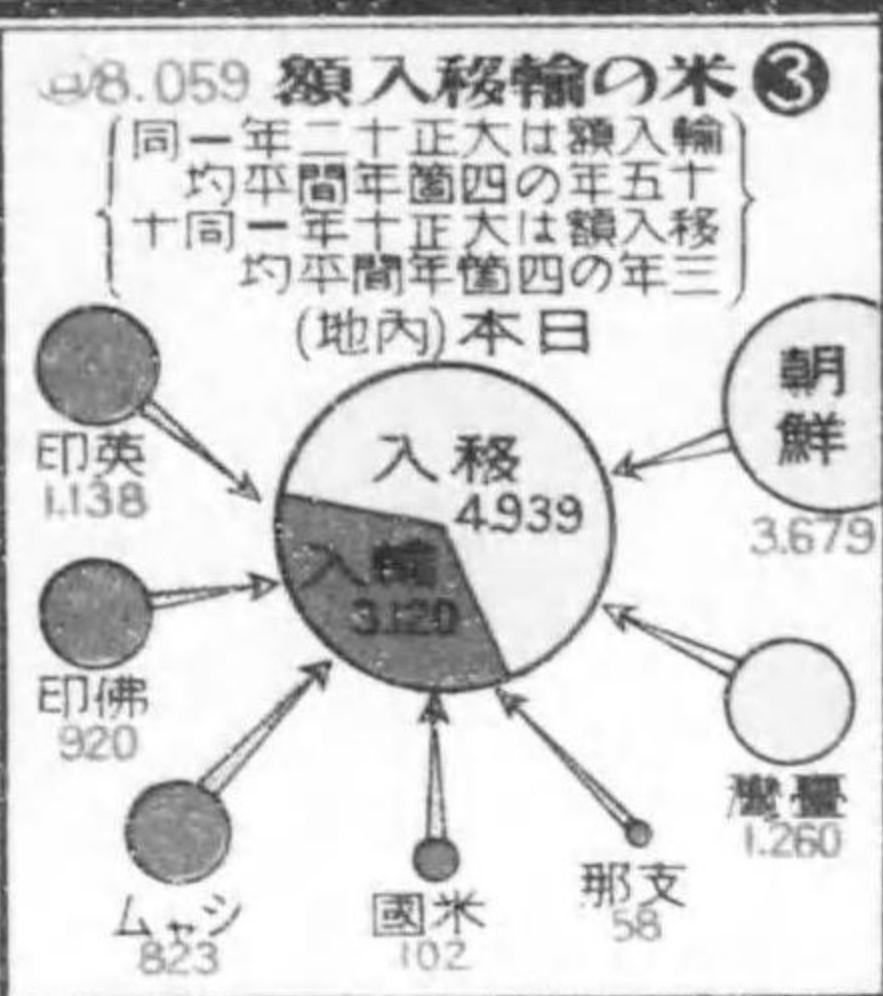
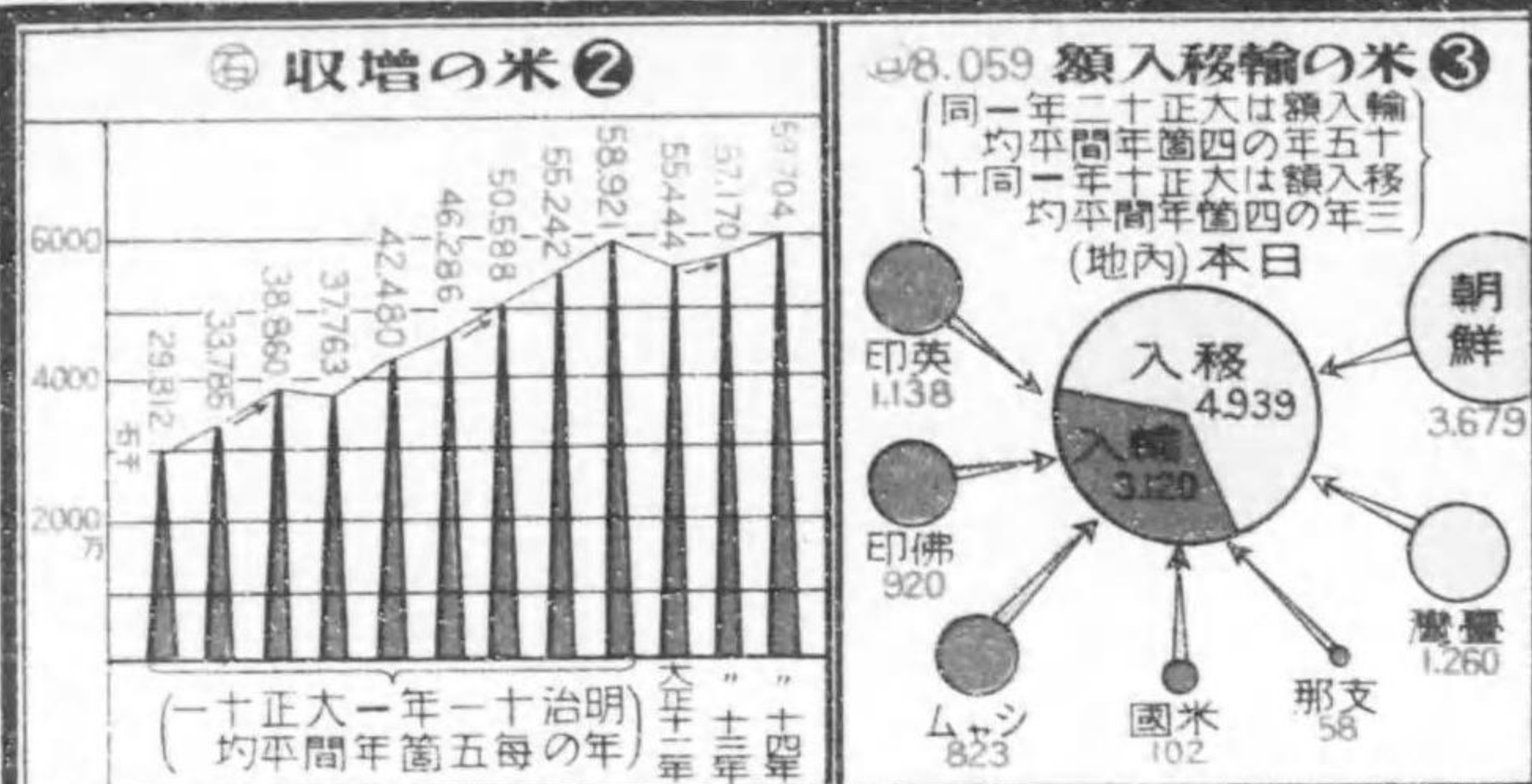
業産



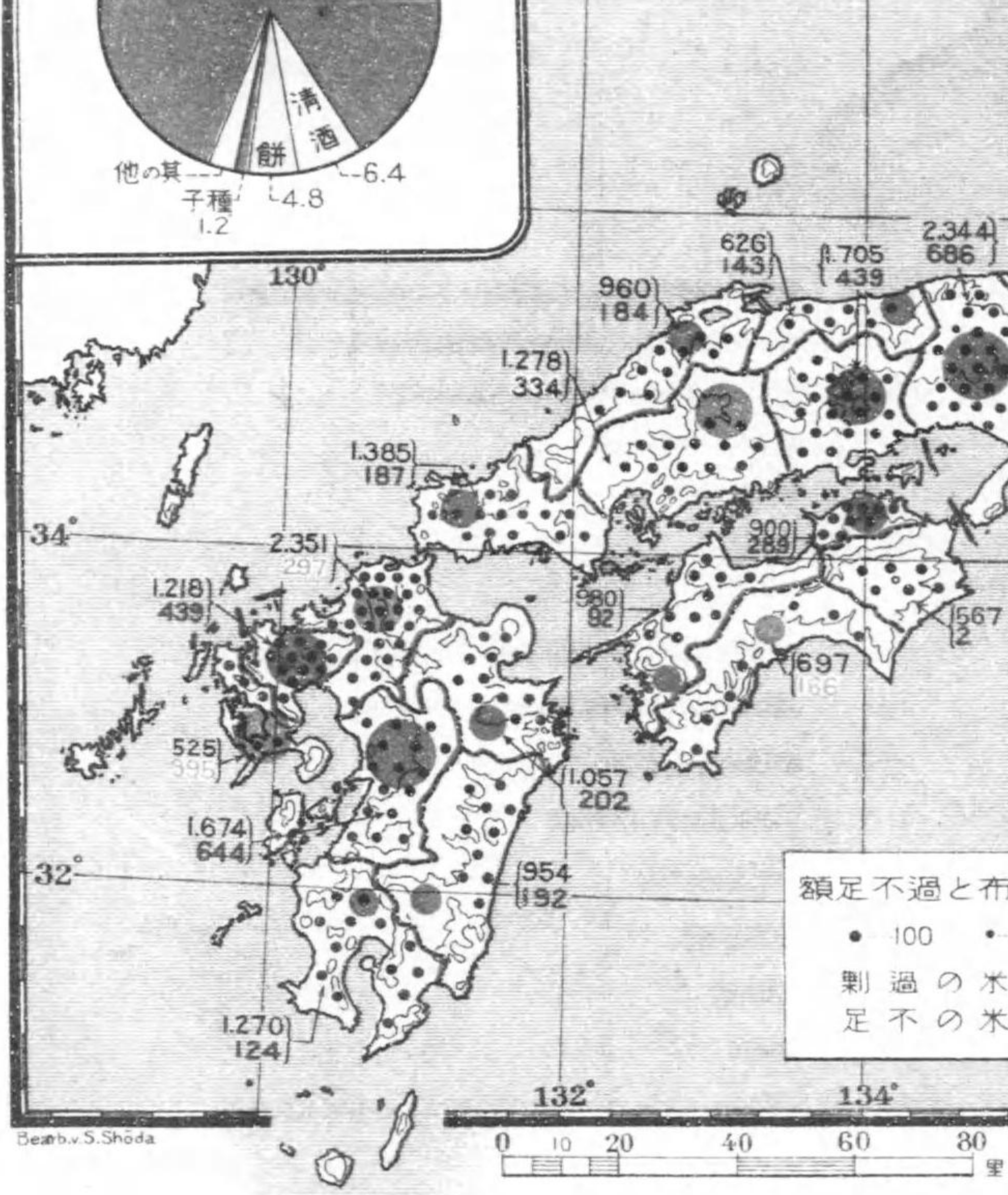
露光量違いの為重複撮影

31

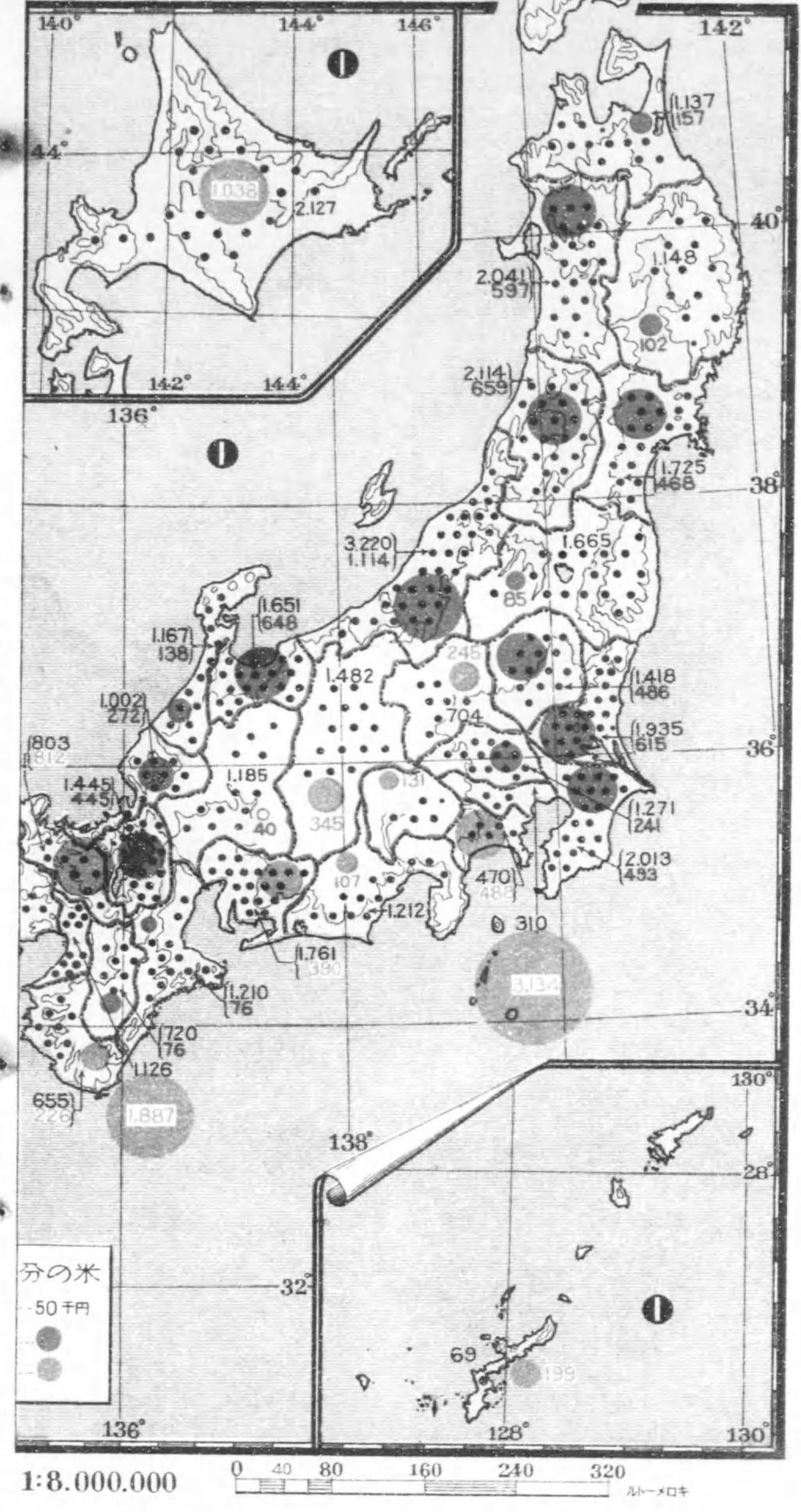
米 (一)



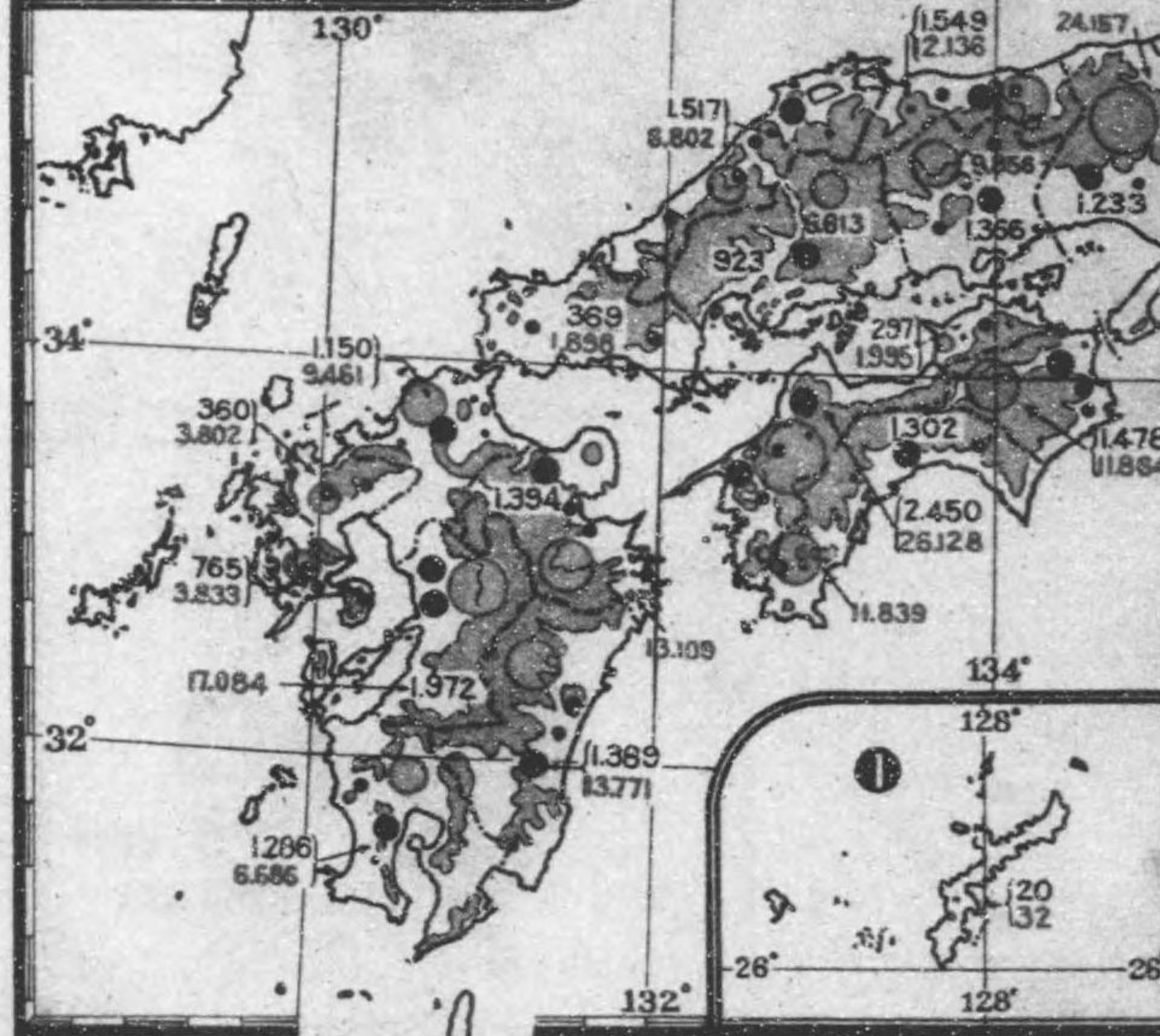
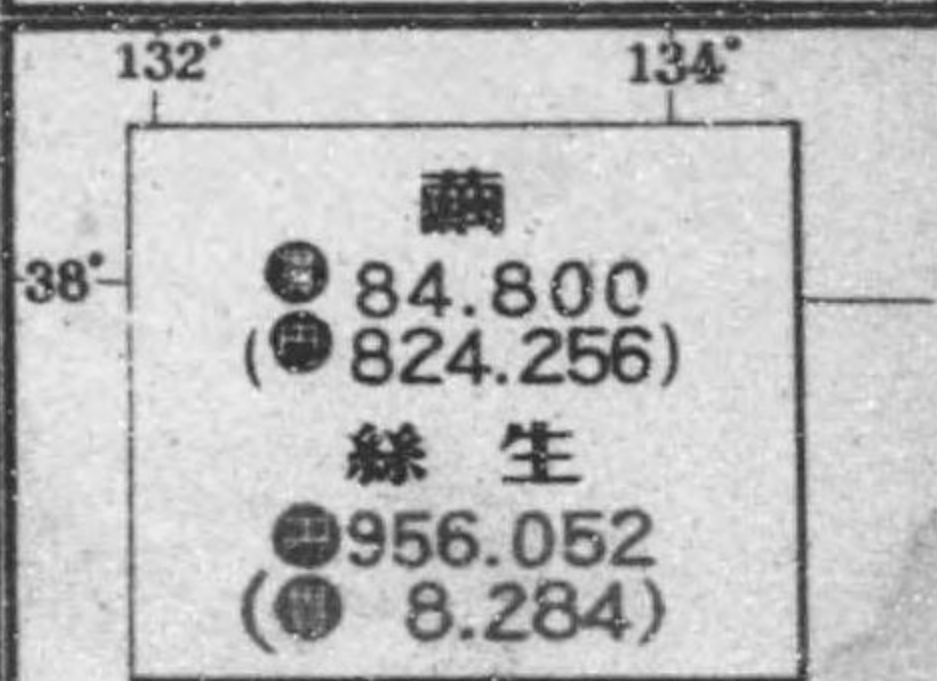
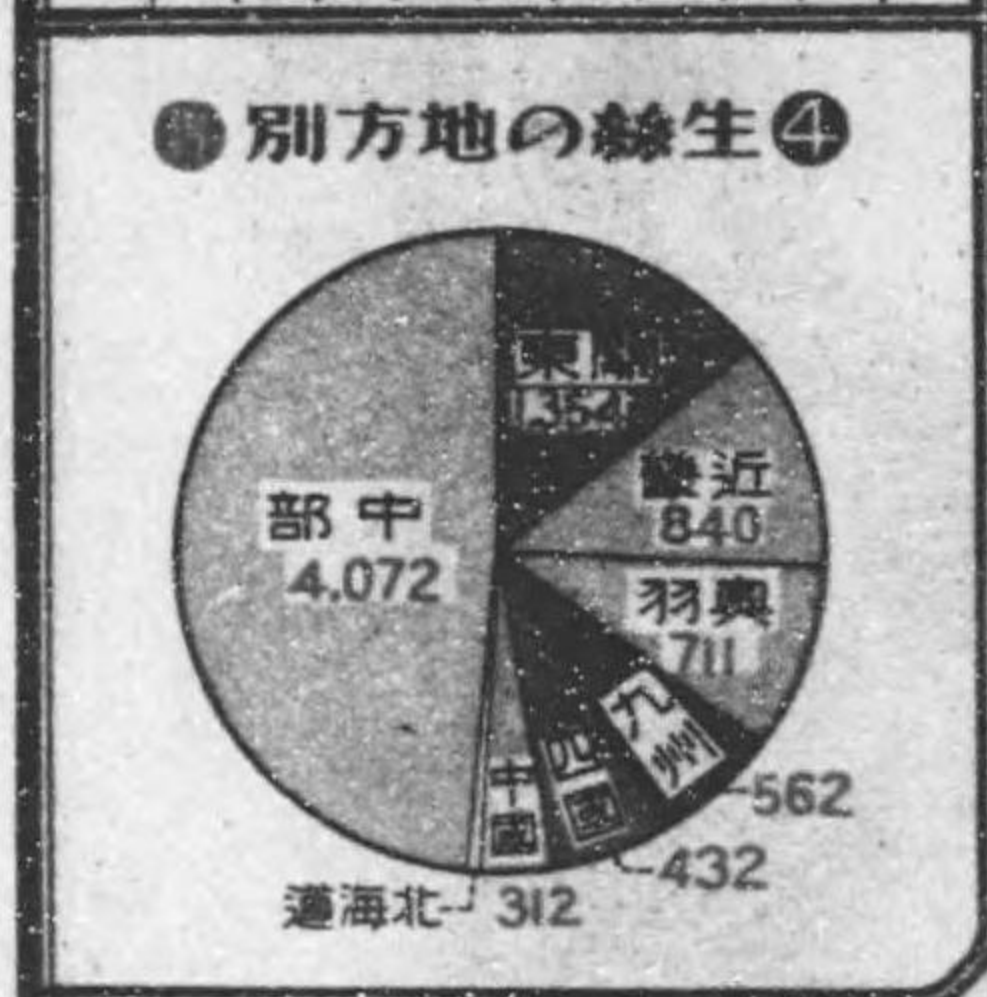
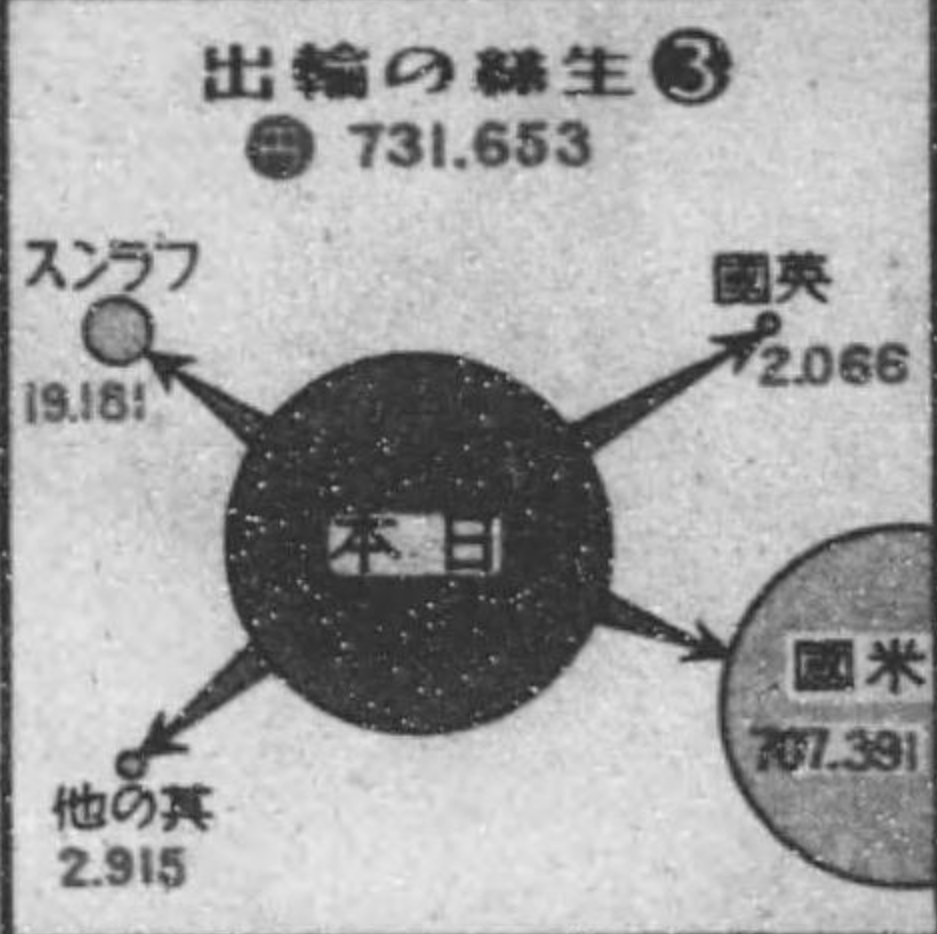
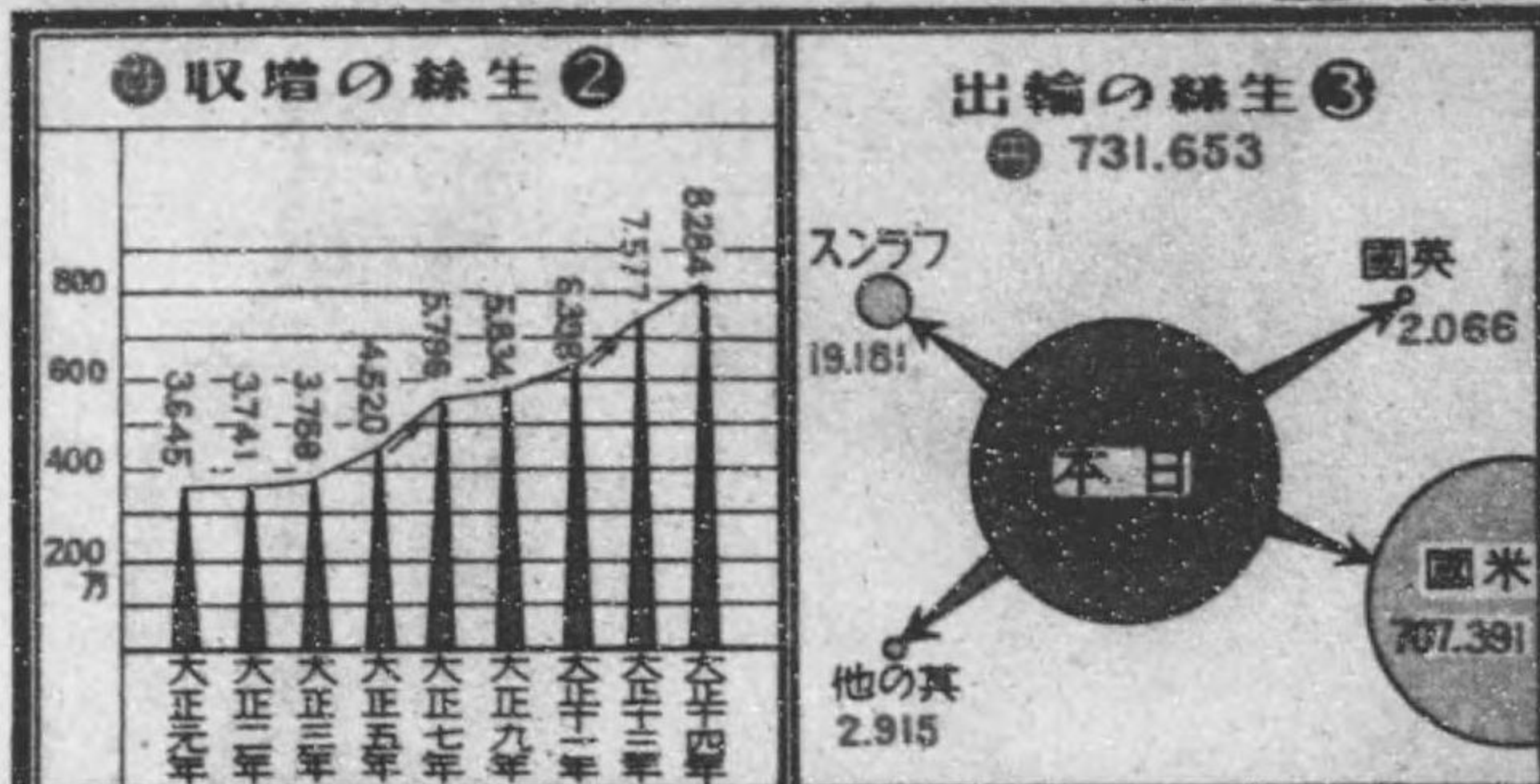
米
⑧ 59.704
⑨ 2,133.762



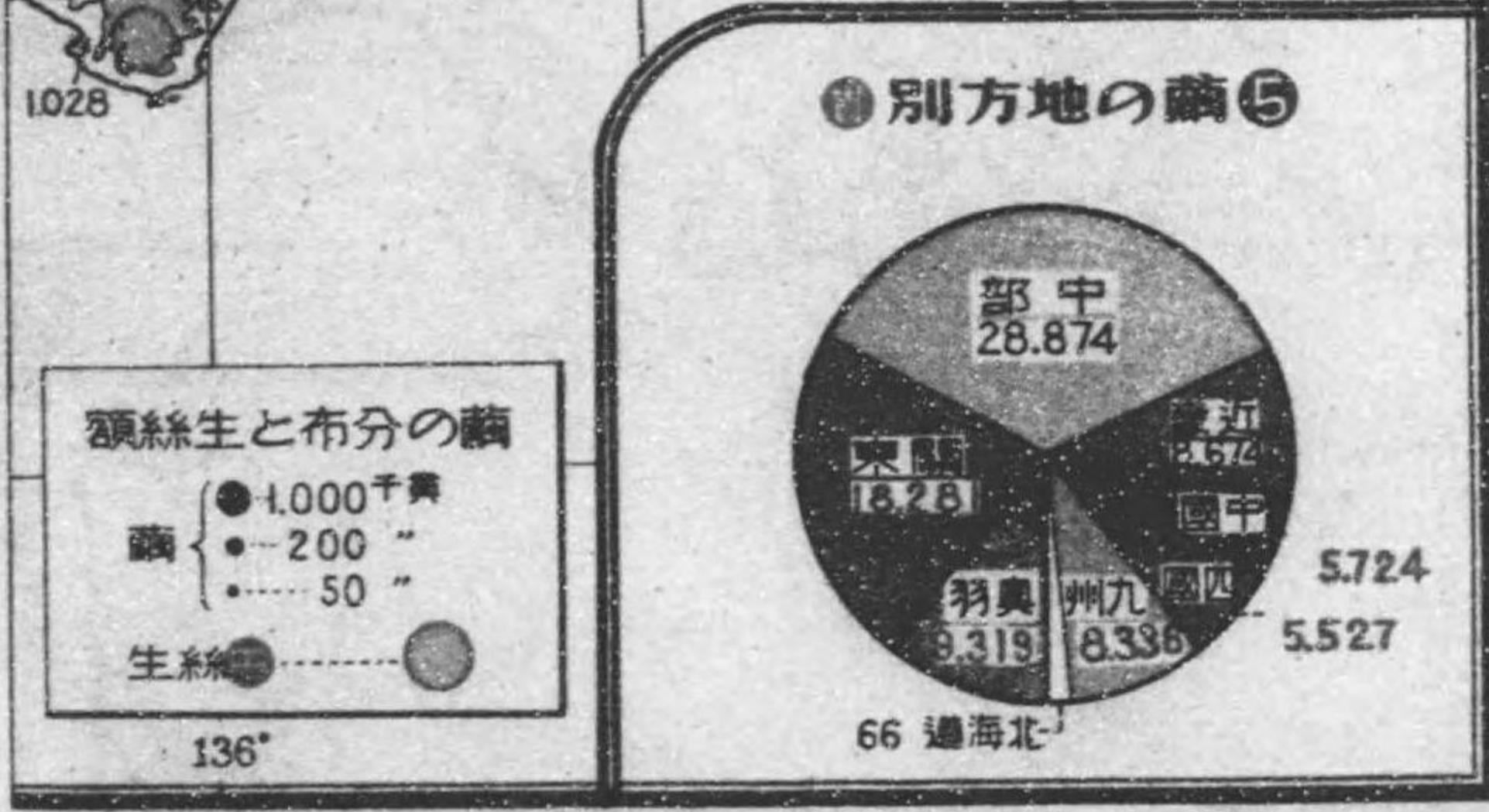
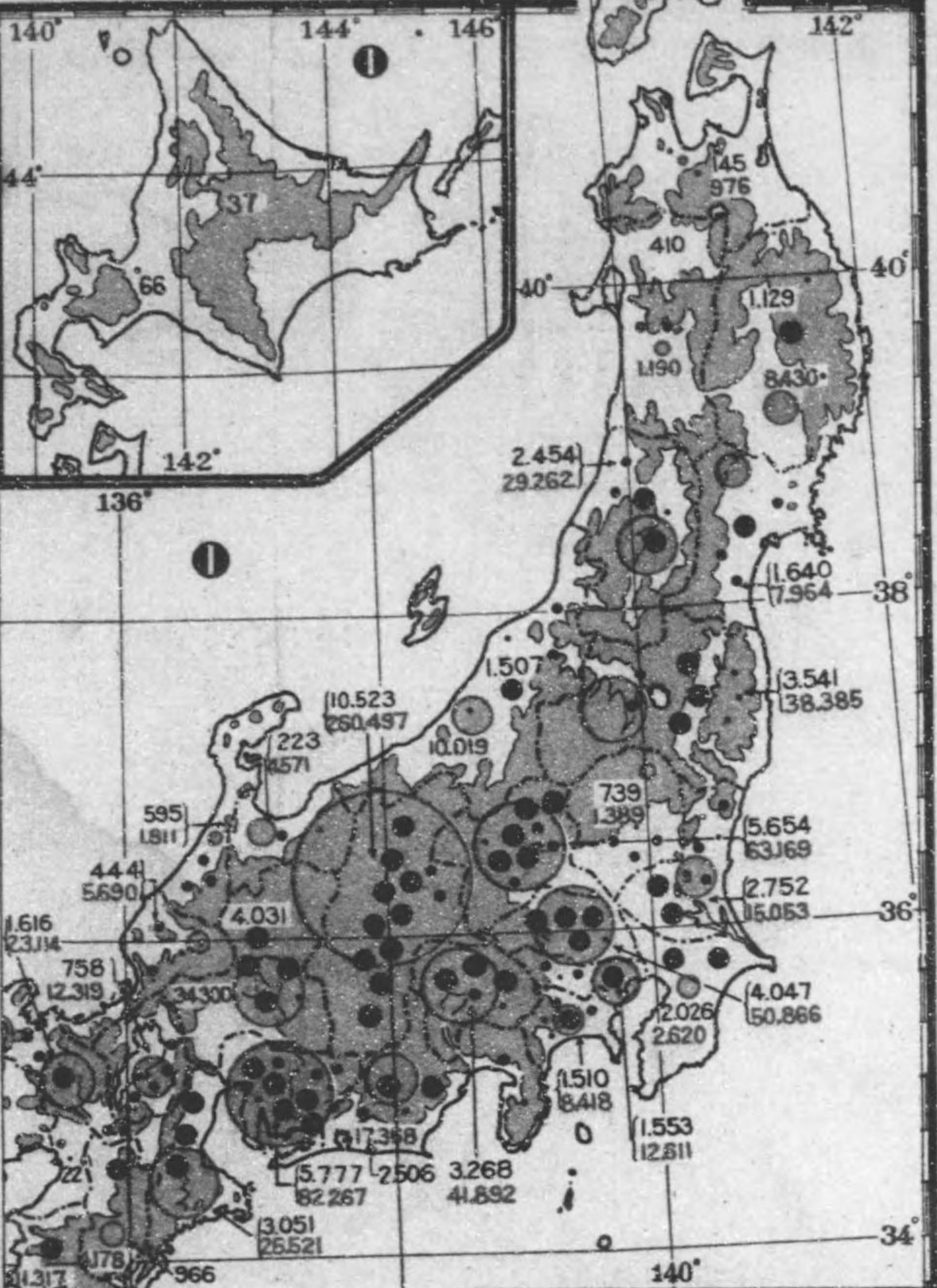
業産



繭・生絲

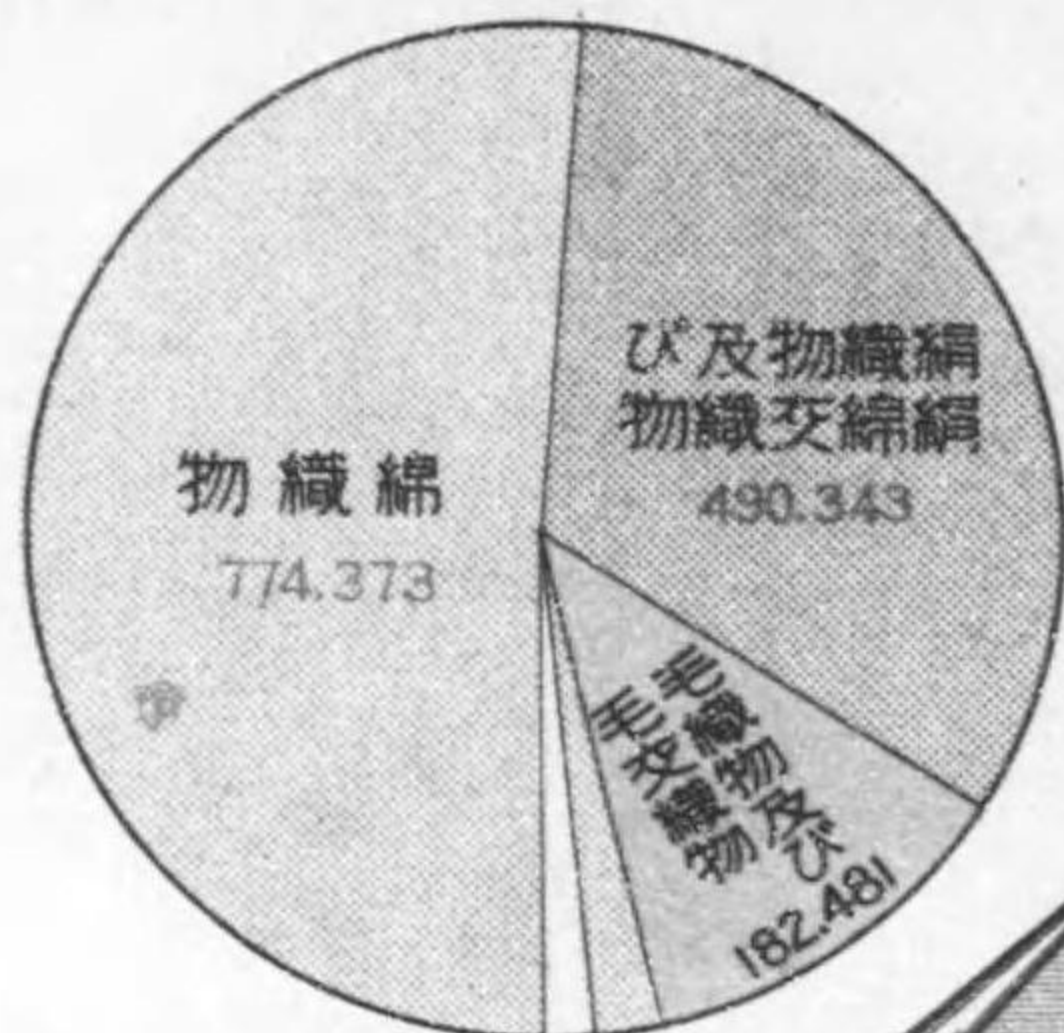


② 業産

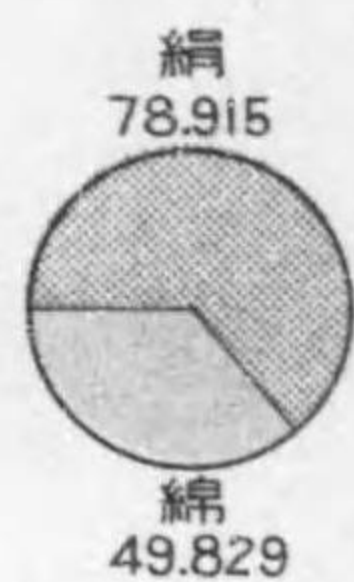


1:8,000,000

① 1,505,293 物織種各 ②

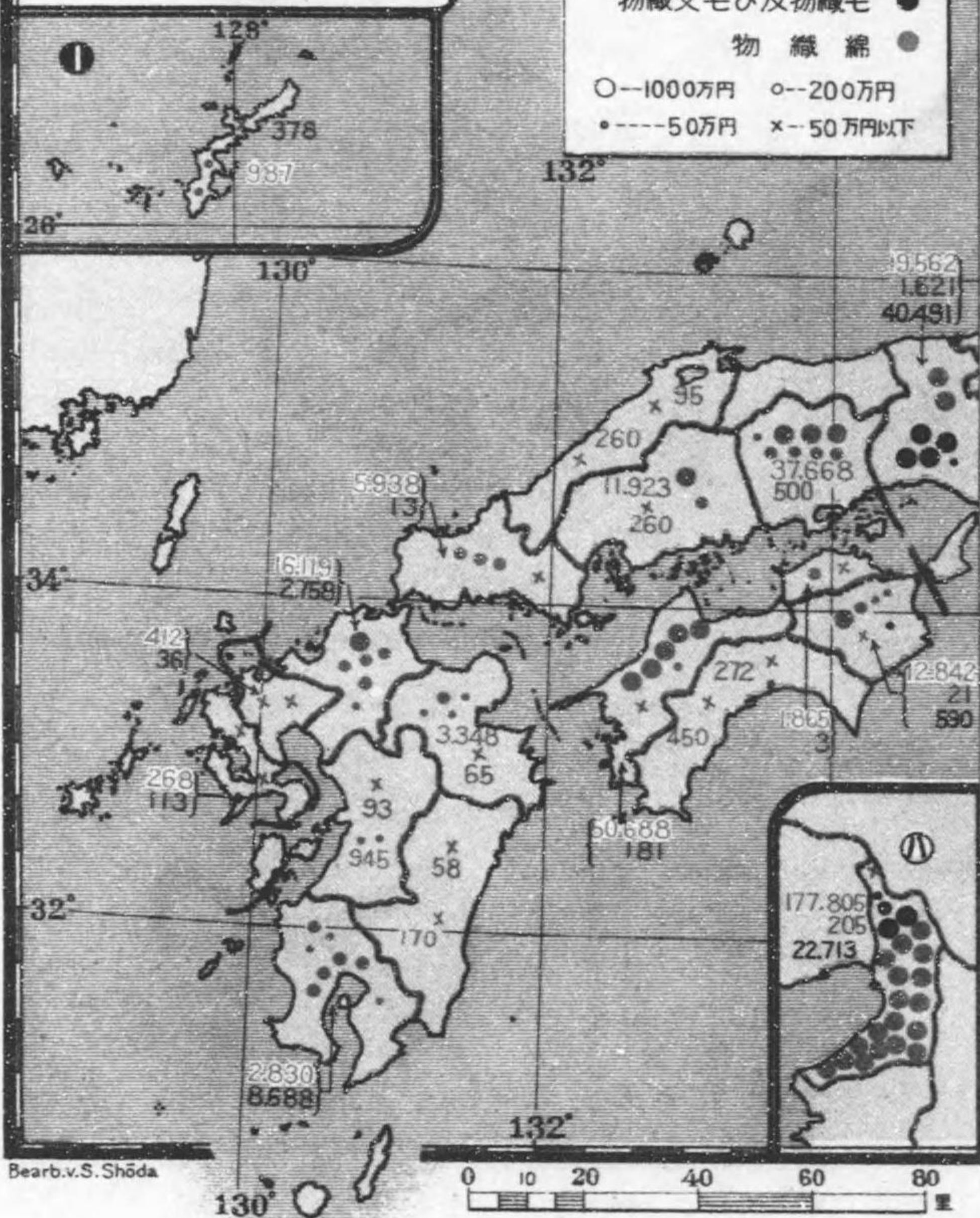


④ 絲 然
① 128,744

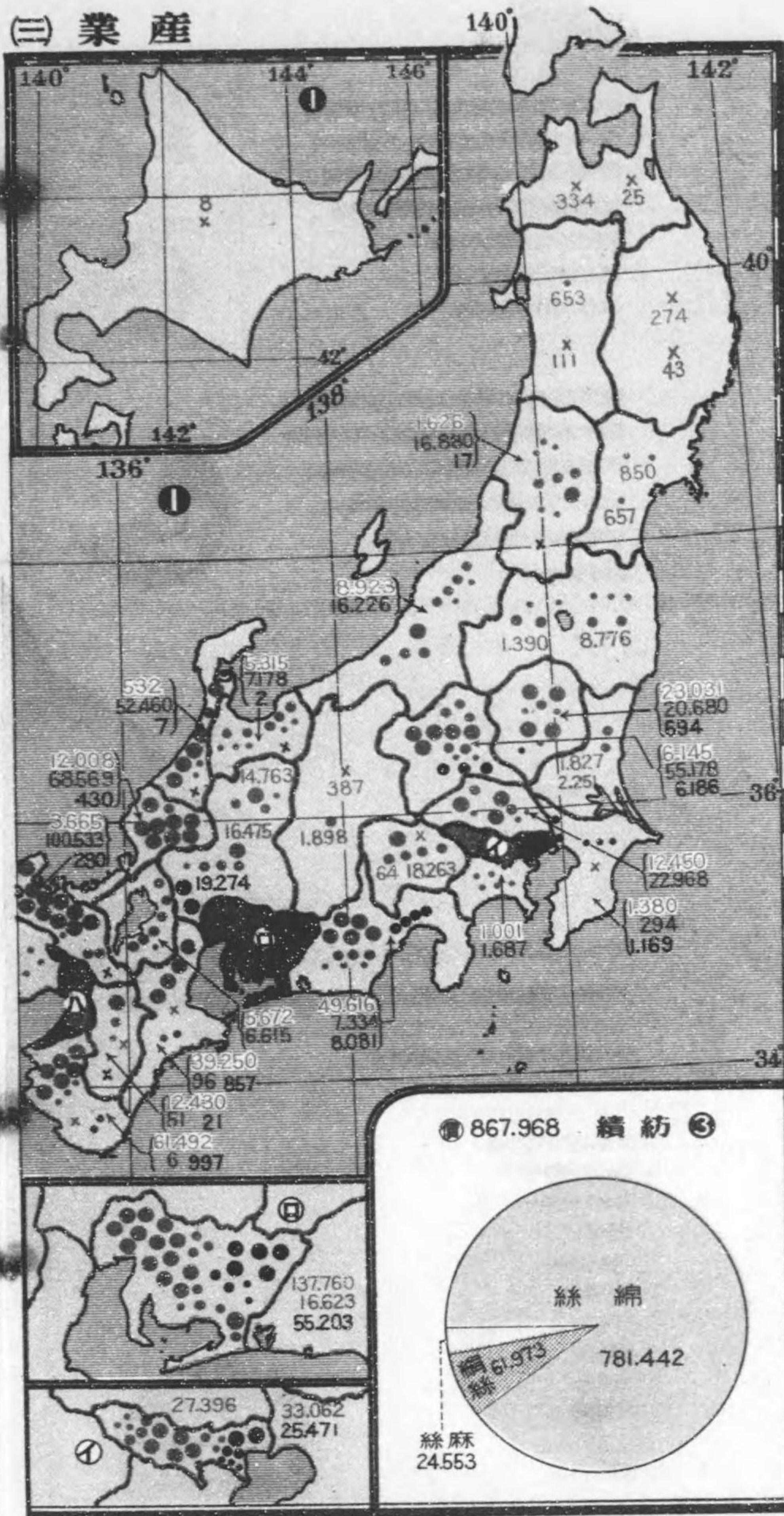


30,894 物織麻
27,202 物織特殊

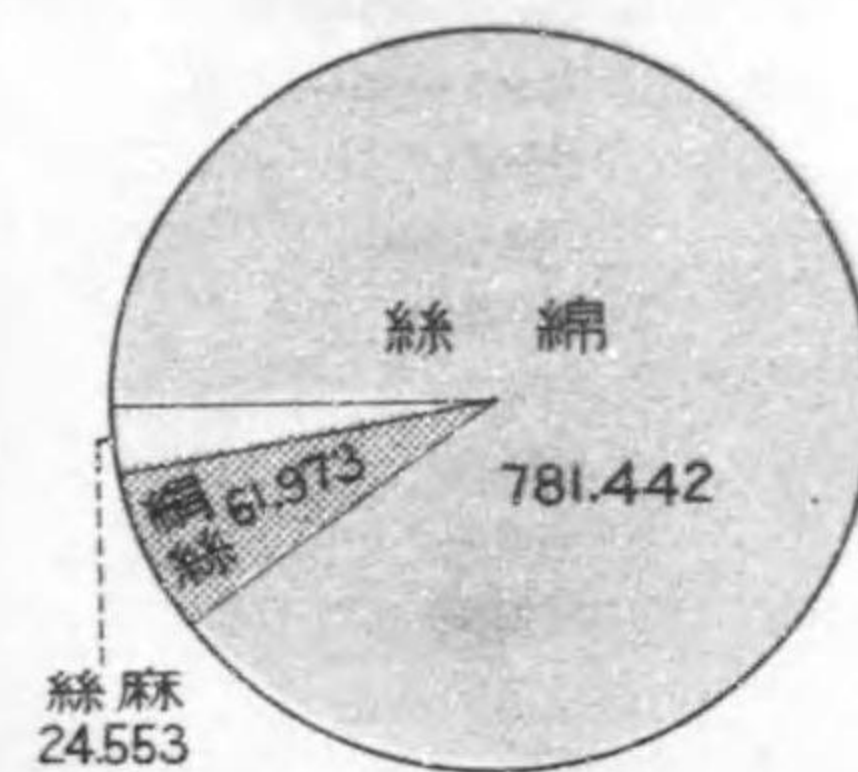
● 物織交綿絹び及物織絹
● 物織交毛び及物織毛
● 物 織 綿
○ --- 1000万円 ◦ --- 200万円
● --- 50万円 × --- 50万円以下



Bearb.v.S. Shōda

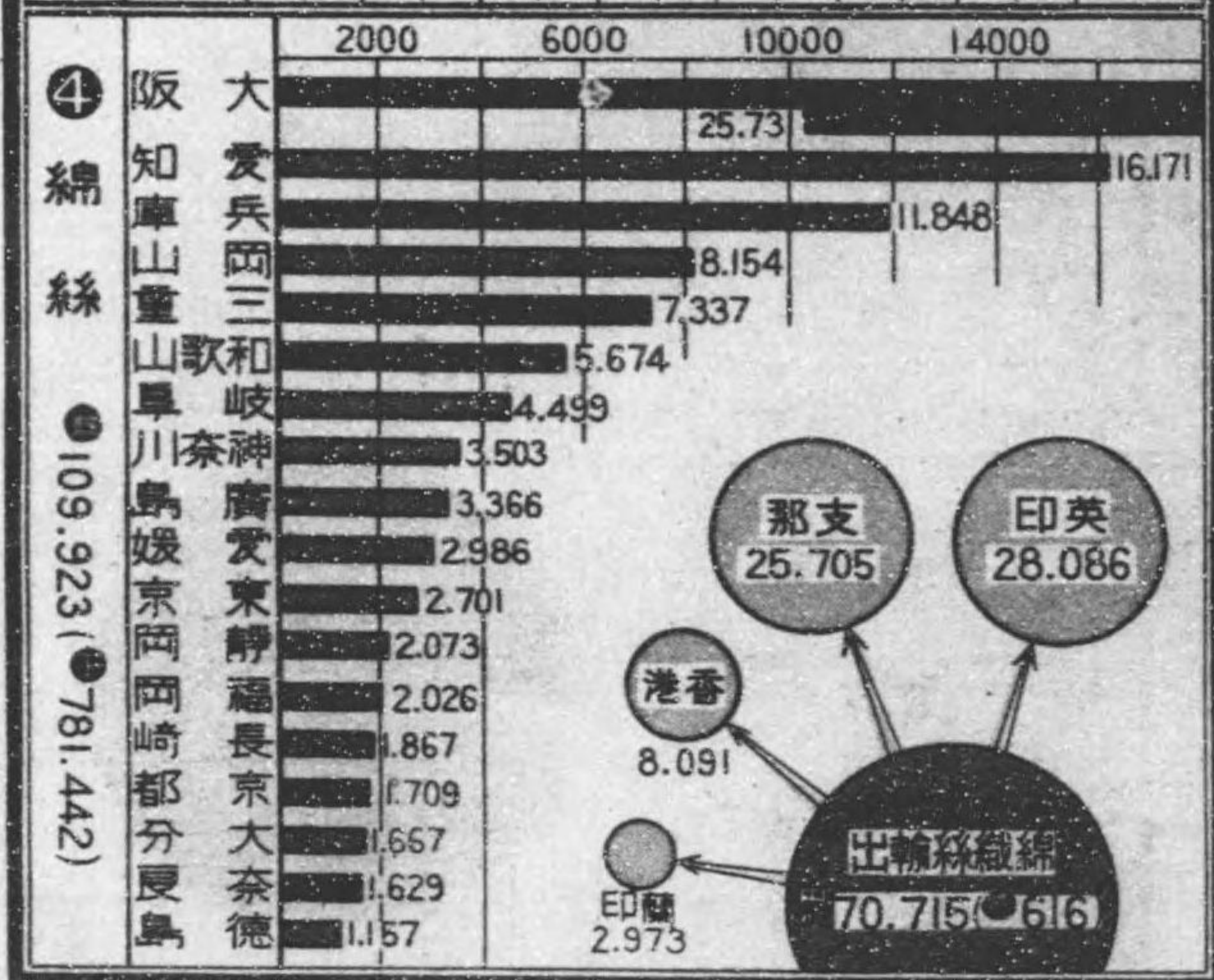
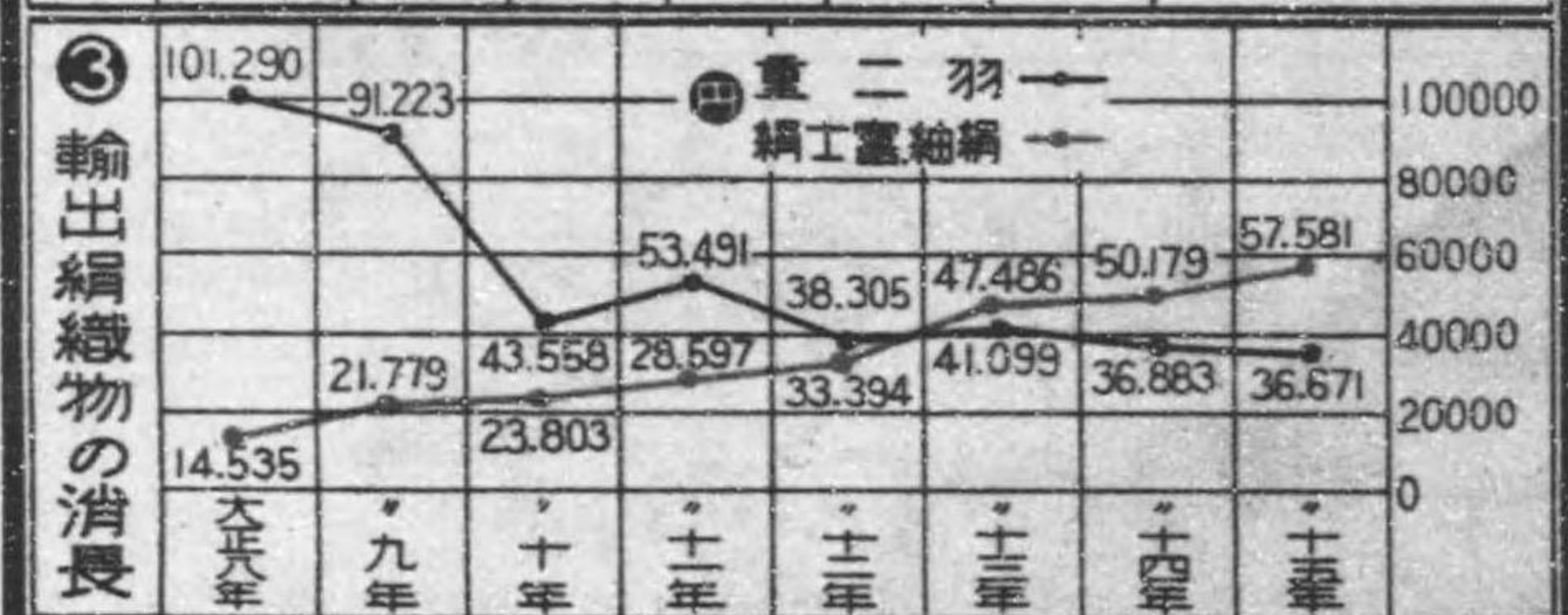
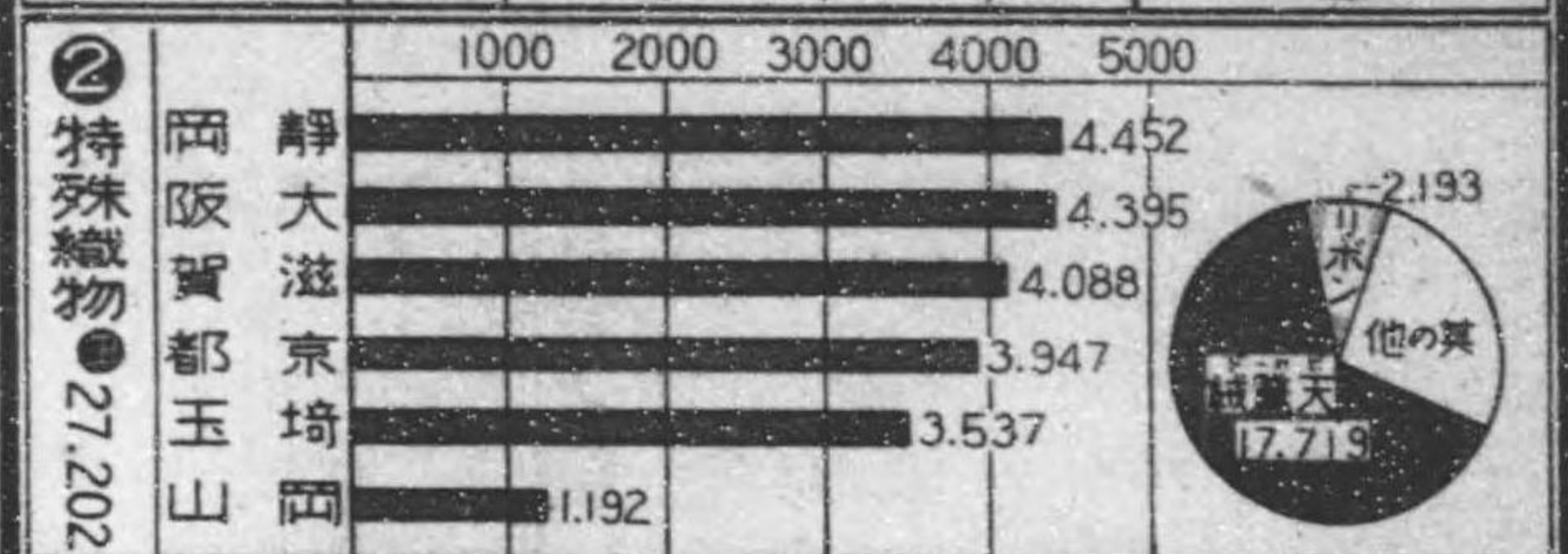
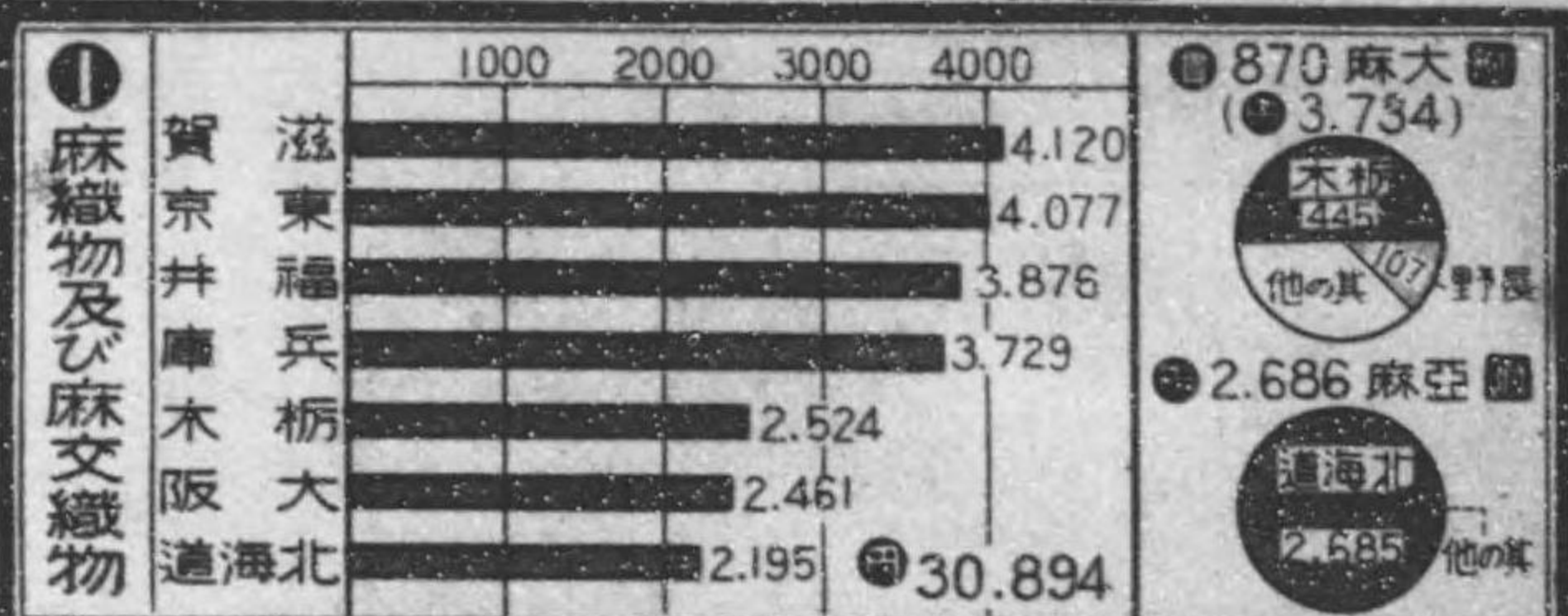


③ 867,968 績 紡 ③



1:8,000,000

0 40 80 160 240 320 米

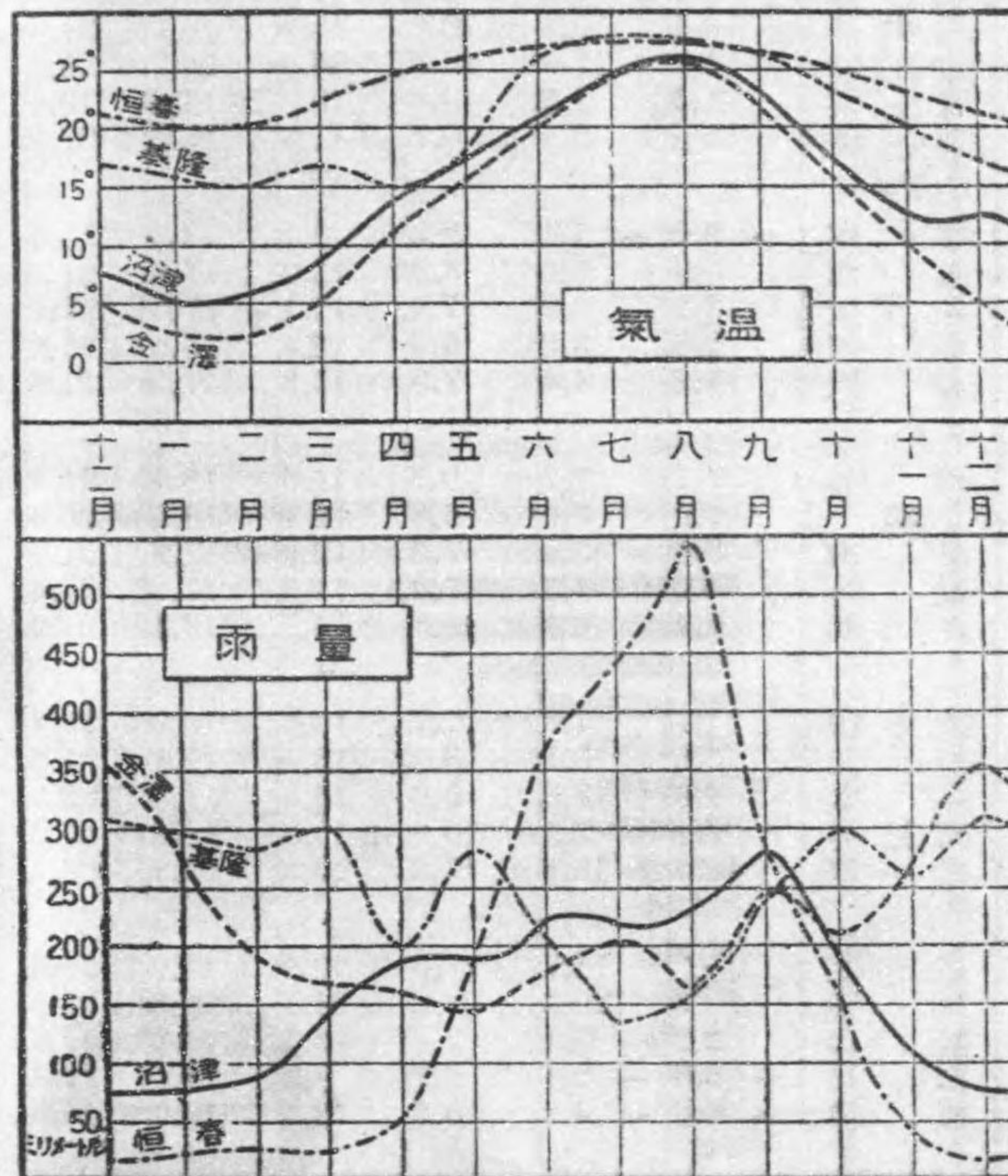


附 録

第一 日本全體の部

(一) 氣 象

氣候上の概念を養ふために其の二大要素たる年平均氣温及び雨量の分布圖を要することは言ふまでもないが、更に一步を進めての研究に資せんとせば必ずや各地各月の氣象に觸れねばならない。而して此の比較研究を試みるところに一層有用な暗示は得られるのである。こゝに其の一例を示しておく。



(1) 各地の平均気温 (攝氏)

地名	一月	二月	三月	四月	五月	六月	
敷大根札函	香泊	-17.9	-15.0	-9.2	-0.8	3.9	8.7
	室幌	-11.3	-10.0	-5.9	1.0	5.5	10.2
	幌	-5.0	-5.5	-2.5	2.9	6.4	9.8
	館	-6.4	-5.3	-1.7	5.3	10.4	14.8
青宮秋山水	森古田	-2.6	-2.1	0.7	7.1	11.8	16.3
	形戸	-0.6	-0.2	2.5	8.3	12.3	15.9
		-1.6	-1.3	1.9	8.5	13.2	18.0
		-1.6	-1.2	2.1	9.0	14.3	19.0
東八丈新金	京島	3.0	3.8	6.8	12.6	16.5	20.4
	湯澤	10.2	10.2	12.0	15.9	18.7	21.8
		17.6	17.4	18.3	20.6	22.7	25.5
		1.4	1.5	4.4	10.3	14.8	19.4
松沼名京大	本津	-2.2	-1.4	2.3	9.1	13.8	18.5
	屋都	5.3	6.0	8.8	13.9	17.3	21.1
	阪	3.2	3.9	7.0	13.1	17.4	21.6
		2.6	3.2	6.3	12.3	16.6	21.0
湖岡高	山鳥	7.1	7.7	9.7	14.6	18.1	21.4
	知	4.0	3.9	6.8	12.1	16.2	20.6
		3.6	3.9	7.0	12.9	17.3	21.5
		4.0	4.3	7.4	13.0	17.2	21.4
松福熊鹿那	山岡	4.7	4.8	7.7	13.0	16.9	21.3
	本鳥	5.0	5.1	8.1	13.1	17.1	21.3
	那	4.6	5.3	9.0	14.5	18.4	22.3
		7.1	7.5	10.8	15.5	18.8	22.2
盛恒釜仁城	北春	15.3	14.7	17.0	20.6	24.0	26.6
	山川	20.3	20.3	22.2	24.5	26.3	27.3
	津	2.2	3.1	7.0	12.3	16.2	19.8
		-3.5	-2.1	2.7	9.4	14.6	19.4
	-6.0	-4.2	0.6	6.6	10.9	15.5	

七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	全年
13.1	15.7	11.7	4.8	-5.2	-13.5	-0.3
14.5	17.2	13.4	7.2	-0.5	-6.8	2.9
14.3	17.1	15.2	10.5	4.4	-1.4	5.5
19.1	20.8	16.2	9.6	3.0	-3.2	6.9
18.9	21.4	17.8	11.7	5.6	-0.2	8.5
20.7	22.9	13.6	12.1	5.9	0.1	9.3
20.1	22.2	18.5	12.6	7.3	2.2	10.1
22.1	23.8	19.2	12.6	6.9	1.3	10.4
22.9	24.0	19.5	12.5	6.5	1.1	10.7
22.8	24.3	21.0	15.1	9.4	4.1	12.7
24.1	25.5	22.0	15.9	10.5	5.2	13.9
25.0	26.0	24.6	20.7	16.8	12.2	17.8
27.1	27.1	26.7	25.4	22.6	19.3	22.5
23.7	25.6	21.4	15.2	9.5	4.1	12.6
24.1	25.5	21.5	15.4	10.1	5.1	13.2
22.4	22.8	18.6	11.8	6.0	0.8	10.2
24.7	26.0	23.0	17.4	12.4	7.7	15.3
25.6	26.6	22.9	16.5	10.6	5.3	14.5
25.2	26.2	22.2	15.6	9.7	4.6	13.8
26.0	27.3	23.4	17.1	11.5	6.5	15.0
25.0	26.0	23.8	19.0	14.4	9.5	16.5
24.8	26.1	22.2	16.3	11.2	6.4	14.2
25.7	26.9	23.0	16.5	10.6	5.5	14.5
25.5	26.8	23.0	16.8	11.0	6.0	14.7
25.1	26.1	23.3	17.8	12.3	7.2	15.6
25.4	26.3	23.1	16.7	11.5	6.8	14.8
25.5	26.4	22.3	16.3	11.5	6.8	14.9
26.1	27.0	23.6	17.2	11.4	6.2	15.5
26.0	26.7	24.2	19.0	13.8	8.8	16.7
23.0	27.8	26.7	23.9	20.8	17.5	22.1
23.1	27.8	26.1	22.9	19.7	16.6	21.6
27.5	27.1	26.6	25.2	23.3	21.2	24.3
23.7	25.5	21.9	16.4	10.1	4.0	13.5
23.2	24.7	20.2	14.2	5.9	-1.4	10.6
20.1	22.0	17.8	11.6	3.5	-3.5	7.9

(2) 各地の雨量 (単位ミリメートル)

地名	一月	二月	三月	四月	五月	六月	
數大根札函	香泊室幌館	27	21	25	47	62	83
		28	19	30	45	68	77
		37	28	54	78	94	93
		83	64	62	56	63	66
		63	60	66	68	82	92
青宮秋山水	森古田形戸	153	114	91	64	72	82
		67	74	85	93	117	127
		135	104	107	112	110	136
		92	73	74	69	81	105
		53	72	110	137	148	152
東八父新金	京島湯澤	54	72	108	132	157	163
		198	220	258	236	249	305
		107	85	105	117	207	129
		194	128	110	102	91	124
		274	188	167	161	143	178
松沼名京大	本津屋都阪	45	48	75	89	97	152
		79	85	146	187	185	224
		56	70	120	160	164	224
		60	70	111	157	149	227
		47	60	101	141	132	196
湖岡廣高	岬山島知	76	123	165	213	263	323
		200	150	142	125	112	168
		38	47	81	98	110	167
		52	64	108	167	155	244
		65	104	183	284	282	346
松福熊鹿那	山岡本島霸	53	58	93	120	140	208
		69	82	111	130	127	247
		62	72	127	160	165	349
		85	98	156	220	216	404
		133	136	153	163	245	259
臺恒釜仁城	北春山川津	87	135	169	163	227	283
		23	29	23	52	188	367
		50	40	59	148	132	204
		19	19	29	65	79	101
		23	15	22	31	63	55

七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	全年
100	101	114	68	66	31	745
95	79	106	80	67	43	737
95	106	146	101	84	59	974
86	99	132	113	108	99	1,030
132	131	169	122	103	79	1,164
137	113	144	119	142	169	1,400
131	173	228	167	82	65	1,410
193	186	200	175	190	174	1,822
141	146	151	98	86	119	1,235
137	152	216	182	88	56	1,503
136	164	234	193	98	54	1,564
239	307	387	551	289	170	3,410
106	185	134	130	142	139	1,585
160	121	190	163	195	231	1,810
204	162	244	207	269	354	2,549
126	112	167	110	51	42	1,115
217	230	281	186	108	77	2,004
183	176	249	154	85	56	1,697
201	147	207	132	78	56	1,594
153	106	183	128	74	48	1,367
224	325	327	317	156	101	2,611
166	128	233	166	155	203	1,948
141	90	161	98	52	39	1,121
222	105	199	111	67	53	1,546
331	305	418	218	116	79	2,729
166	100	176	109	72	62	1,358
249	129	192	103	73	79	1,592
292	160	168	108	69	56	1,787
289	182	225	131	95	86	2,188
184	258	180	162	139	102	2,113
210	301	258	134	68	76	2,110
441	543	282	157	36	17	2,158
310	189	170	70	47	26	1,444
264	231	111	42	41	21	1,022
108	132	117	47	50	31	694

(二) 各地の潮汐 (単位メートル)

潮汐干満の有様は到る所多少の差異を見ざるはないが、下記諸要地の其れを達観したならば各方面に於ける其の大勢を捉へることが出来る。之に依つて潮汐の作用の分布状態を描示せば、朝鮮半島や九州島の如きに在つては特に興味を唆るものがあらうし、又三池港及び仁川港に閘門式船渠を要することや瀬戸内海の沿岸に所謂十州鹽田が發達し臺灣の西海岸に於て製鹽業が經營せられることの要因を推究せしめるに足らう。

	地名	大潮差	小潮差	地名	大潮差	小潮差
太平洋方面	大鋼宮東父清串字内和	0.6	0.2	網走	0.5	0.2
	泊路古京島水本島海	0.3	0.3	函館	0.6	0.2
		0.8	0.3	勝下	1.0	0.4
		1.3	0.5	田島	1.1	0.4
		0.8	0.3	サイパン島	0.4	0.2
		1.1	0.4	四日市	1.9	0.7
		1.3	0.5	戸島東	1.3	0.6
		1.7	0.6	細臺	1.4	0.6
		1.5	0.6	臺	1.2	0.5
	瀬戸内海面	大尾徳門三津濱	1.0	0.3	神字下高	0.9
阪道山司濱		2.8	1.3	戸品關松	3.0	1.0
		2.7	0.9		3.2	1.2
		2.0	0.8		1.7	0.9
日方海面	眞新濱釜福	0.1	0.1	小敦元巖若	0.1	0.0
	岡湯田山岡	0.1	0.1	樽賀山原松	0.2	0.1
		0.2	0.1		0.2	0.1
		1.2	0.4		1.6	0.5
東支那海方面	佐世保池根	2.5	0.9	住三鹿基群仁龍高	4.9	2.0
	三久	4.6	1.8	江角島隆山川浦雄	3.5	1.5
	阿那木牙鎮南龍馬	2.3	1.0		2.3	0.9
		1.6	0.7		0.5	0.3
		3.1	1.5		6.2	2.8
		8.2	3.9		8.1	3.6
		4.9	2.5		4.7	2.8
		3.7	2.2		0.4	0.2
		2.2	1.3			

×龍井は塗葛堀を一部とする。

第二 内地の部

(一) 農業

(1) 耕地 ⑩ 6,067 (田3,102 畑2,965)

耕地が逐年増加の傾向にあるは田の増加の然らしむる所であつて、畑は漸次減少の途をたどる。耕地の總面積に對する割合は一割六分であるが、假に拓殖の眞最中なる北海道を除いて之を見れば約一割八分に當つてゐる。今や北海道に於ては大規模の拓殖計畫が進められ、府縣に於ても陸地の開墾、海面の干拓等に力を用ふるから、耕地は將來なほ増加の趨勢を取るであらうが、山がちの我國としては餘り多大な期待はかけられまい。

	地名	田	畑	地名	田	畑	地名	田	畑
關東	東京	13	41	神奈川	23	49	千葉	107	84
	埼玉	68	97	群馬	34	79	栃木	71	65
奥羽	茨城	93	129						
	福島	100	90	宮城	89	44	岩手	56	87
中部	青森	65	58	秋田	105	32	山形	93	41
	福井	64	70	愛知	102	59	岐阜	66	45
近畿	長野	78	97	山梨	20	37	新潟	175	78
	富山	81	15	石川	55	25	福井	49	13
中國	滋賀	66	11	京都	46	18	大阪	52	12
	兵庫	113	24	奈良	33	10	三重	75	29
四國	和歌山	33	15						
	岡山	89	36	廣島	77	35	山口	80	31
九州	山根	57	35	鳥取	35	15			
	徳島	29	25	香川	40	11	愛媛	48	62
北海道	高知	37	84						
	福岡	115	34	佐賀	54	20	長崎	34	57
	熊本	77	95	大分	57	41	崎崎	46	51
	鹿兒島	60	176	沖繩	7	56			
	北海道	136	650						

(2) 食用農産物

(イ) 米 ④ 31

米は麥と共に併稱せられるけれど、麥は重要な程度に於て寧ろ甘藷と對立せしめるを勝れりとする。米は我が農産物の大宗であつて、麥の産價額の數倍以上に達して居り、國內荷も灌漑の便ある處には其の栽培を見ざるはなく、又栽培技術の進歩も極めて顯著であつて、過去三十五年間に約五割六分（耕地の増加約一割六分に對して）の増收を來してゐる。我が國は實に世界的米産國であり又米食國である。瑞穂國の美稱は古今を通じて決して其の意義を變へない。米作の豊凶が國家經濟及び國民生活の上に至大な影響を及ぼすことは想像に餘りありと謂ふべきである。米の増收は上述の如く稻田の擴張、農事の改善等によつて實現せられ得るとは言へ、しかも需要の激増に伴ふ能はざるの憾がある。我が國の食糧問題が國策上如何に重大なるかは推知に難からない。

(ロ) 麥 ④ 5. 6. 20

大麥・稗麥・小麥及び燕麥に分類せられるを常とし中にも大麥・稗麥は地方農村に取り食糧として重要な位置を占めてゐる。小麥も近來製粉業の發達、加工食料品製造術の進歩、生活の向上等のため必需品としての位置を大いに高めて來た。然るに日本列島は概して氣候上麥の栽培に好適なりとは言ひ難い。従つて之に對する耕地も其の栽培技術も擴張進歩の見るべきものに乏しく、大麥・稗麥等の産額は略々需要を充すに足れども、小麥に至つては益々輸入の必要を深からしめるの觀がある。

- (ハ) 甘藷 ④ 20 (ニ) 大豆 ④ 23
(ホ) 馬鈴薯 ④ 23 (ヘ) 小豆 ④ 24

(ト) 粟 ④ 1,425 (④ 19,023)

熊本 397 鹿兒島 303 長崎 81 岩手 80 青森 74

(チ) 蕎麥 ④ 1,033 (④ 12,828)

北海道 256 鹿兒島 98 青森 58 茨城 55 岩手 54

(リ) 蒟蒻芋 ④ 14,366 (④ 10,269)

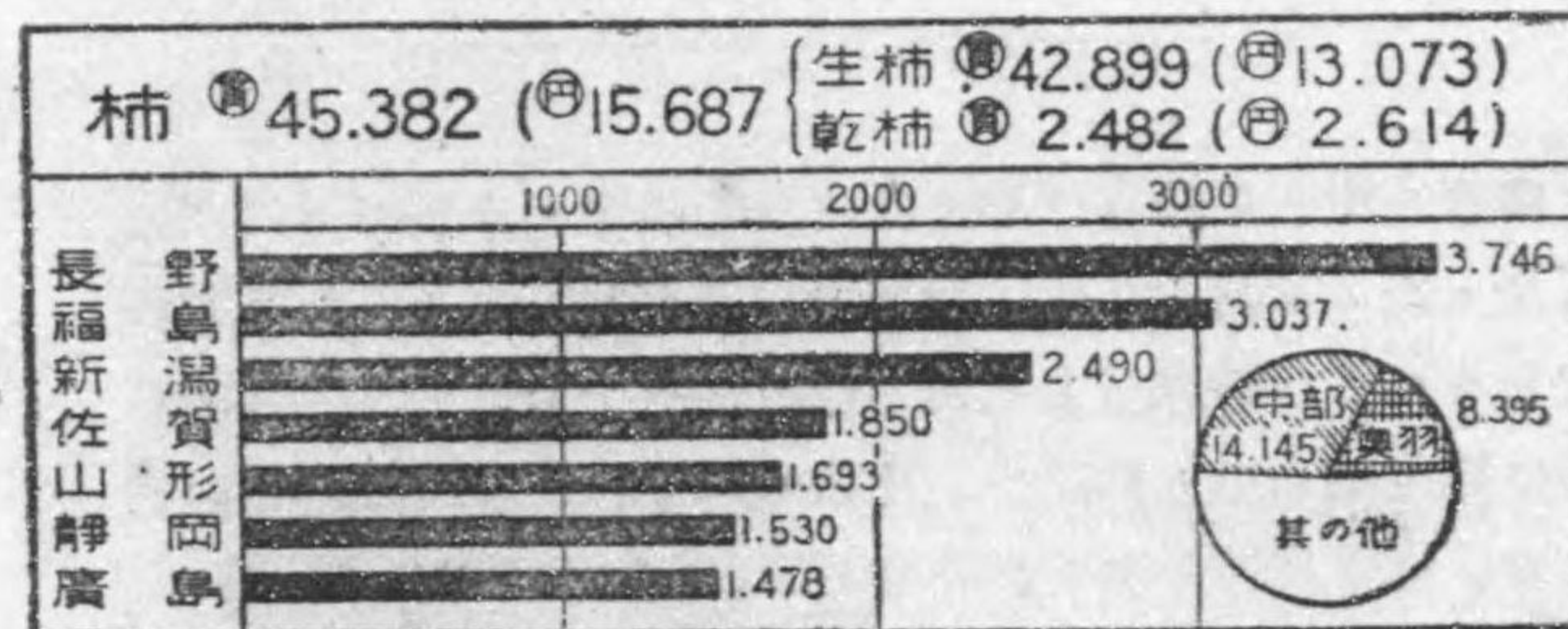
群馬 2,345 廣島 1,579 福島 1,459 岡山 1,326
茨城 1,133

(3) 園藝農産物 (一) 蔬菜

- (イ) 蘿蔔 ④ 628,561 (④ 59,218)
(ロ) 青芋 ④ 159,217 (④ 37,158)
(ハ) 茄 ④ 106,218 (④ 21,132)
(ニ) 漬菜 ④ 136,336 (④ 18,392)
(ホ) 西瓜 ④ 14
(ヘ) 牛蒡 ④ 49,499 (④ 15,686)
(ト) 南瓜 ④ 74,906 (④ 13,517)
(チ) 葱 ④ 50,503 (④ 12,401)
(リ) 胡瓜 ④ 55,876 (④ 12,258)
(ヌ) 菜豆 ④ 24

(4) 園藝農産物 (二) 果實

- (イ) 蜜柑 ④ 14
(ロ) 柿



(ハ) 日本梨 ④ 9 (西洋梨 ④ 685 ④ 442)

- (ニ) ^{リンゴ} 苹果 ⑧ 8
 - (ホ) 梅 ④411 (⑥6,890)
 - (ヘ) 葡萄 ⑩ 10
 - (ト) 桃 ④11,943 (⑥5,447)
- 神奈川 1,097 岡山 1,075
- (チ) ^{ナツミカン} 夏橙 ⑩18

(5) 工藝農産物

- (イ) 繭・生絲 ③32 (ロ) 葉煙草 ⑤5
 - (ハ) 製茶 ⑩12 (ニ) 菜種 ⑩20
 - (ホ) 繭 ④17,838 (⑥11,572)
- 岡山 7,112 大分 3,233 広島 3,006 熊本 996
福岡 939

- (ヘ) 甘蔗 ④222,976 (⑥10,175)
- 沖縄 139,248 鹿児島 64,293 東京 6,229
香川 3,905 熊本 2,229

- (ト) 薄荷 ④24 (チ) ^{カウヅミツマタ} 楮・三桠 ⑩18
 - (リ) 大麻 ④34 (×) 亞麻 ④34
 - (ル) 除虫菊 ④1,642 (⑥4,382)
- 北海道 813 広島 295 岡山 186 愛媛 181

農産物中、馬鈴薯は年産額に於て蘿蔔・青芋の下に在れど米・麥・甘藷と共に、我が食糧政策上重視せられるものであるから、將來著しく其の産額を増すであらう。又園藝業は近來都市の人口集中、生活の向上、交通の發達等の關係で、況く農村に於て注目せられ、富士川下流附近の日本梨、奈良盆地の水瓜、大都市近郊の温室植物、臺灣のバナナ等の如き新進の勢を以て擡頭し來つたものが少くない。

(二) 牧畜

近年六大都市の近郊、房總・伊豆各半島・北海道等に於ては搾乳を目的とする牧畜業が發達し、牛乳及び其の加工品たる煉乳(コンデンスドミルク)、バター等が著しく産額を増加して來た。之がために從來我が市場を殆んど獨占してゐた外國製のものは大いに驅逐せられるに至つた。

- (1) 牛 ⑩17 (2) 馬 ⑩20
- (3) 豚 ⑩20

- (4) 牛乳 ④702 (⑥28,461)
- 北海道 151 東京 106 静岡 51 千葉 41 兵庫 41

- (5) 煉乳 ④15,631 (⑥6,160)
- 北海道 5,216 静岡 3,672 千葉 2,664

- (6) バター ④1,417 (⑥1,702)
- 北海道 845 東京 150 千葉 148

- (7) 牛肉 ④13,763 (⑥54,501) (屠殺 ④318)
- 東京 2,239 大阪 2,035 広島 1,380 兵庫 1,085

- (8) 豚肉 ④11,216 (⑥33,347) (屠殺 ④766)
- 東京 4,351 神奈川 1,114 埼玉 767

- (9) 鶏(成) ④37,170 (⑥38,881)
- 愛知 3,063 千葉 2,213 鹿児島 2,211 茨城 1,731

- (10) 鶏卵 ④1,619,716 (⑥70,038)

	50,000	100,000	150,000
愛知	172.330		
千葉	141.013		
茨城	78.466		
福岡	62.232		
鹿児島	55.700		
北海道	52.221		
	輸入 ④11.318		
	支那 11.317		

(三) 林業

(1) 林野面積 ㊦23,215

(イ) 立木地所有別 ㊦19,554



①公有 3,059 ②御料 1,139 ③社寺有 117

(ロ) 立木地種別 ㊦



①竹林 127 ②雜林 401

(ハ) 無立木地 ㊦3,662

私有 1,820 公有 1,270 國有 320 御料 237
社寺有 15

(2) 森林伐採 ㊦212,454

(用材 125,975 薪炭材 79,258 竹材 7,221)

地名	價額	地名	價額	地名	價額
北海道	17,144	長野	8,571	秋田	8,085
山梨	7,437	野庫	7,375	三重	7,181
岩手	7,162	兵衛	6,653	高知	6,540
新潟	6,489	熊岡	6,384	鹿兒島	6,066
岐阜	5,995	福島	5,859	宮崎	5,677
廣島	5,554	栃木	5,428	茨城	5,400
大分	5,192	烏根	4,891	京都	4,777
千葉	4,580	愛媛	4,249	群馬	4,137
奈良	3,880	福岡	3,374	群馬	3,332
岡山	3,329	宮城	3,294	愛山	3,264
青森	3,228	和歌山	3,202	梨	3,017

(3) 用材種別

(イ) 針葉樹 ㊦110,477 (㊦35,198)

品名	價額	數量	品名	價額	數量
杉	50,052	11,472	松	30,434	10,515
ヒノキ	13,891	1,905	エゾ松	7,763	7,098
扁柏	2,739	1,309	モミ	2,109	1,341
ツガ	1,551	785	シラヒ		
羅漢柏			その他		

(ロ) 闊葉樹 ㊦15,498 (㊦7,671)

品名	價額	數量	品名	價額	數量
栗	2,711	885	ナラ	2,317	1,847
シホチハ	1,192	930	ケヤキ	896	146
桂	439	336	樺		

(4) 用材主産地

(イ) 杉 ㊦50,052

秋田	5,087	静岡	2,712	三重	2,473	熊本	2,313
宮崎	1,821	新潟	1,754	福島	1,700	栃木	1,681
千葉	1,594	大分	1,556	兵庫	1,434	奈良	1,434

(ロ) 松 ㊦30,434

山口	2,429	廣島	2,274	兵庫	2,030	鳥根	1,357
大分	1,326	鹿兒島	1,316	岩手	1,240		

(ハ) 扁柏 ㊦13,891

長野	2,737	三重	1,894	岐阜	1,564
奈良	995	和歌山	899		

(5) 薪炭材 ㊦79,258

北海道	4,061	岩手	3,854	高知	3,656	山口	3,522
新潟	3,506	兵庫	2,868	秋田	2,471	栃木	2,425
茨城	2,423	福島	2,315	鳥根	2,309	広島	2,263
岐阜	2,243	群馬	2,187	熊本	2,043		

(6) 林野産物 ㊦150,364

(イ) 柴草 ㊦16,510

(ロ) 松茸

松茸(生) ㊦ 8.988 (㊦ 3.645)		500	1000	1500	2000
兵庫	京都				2,390
岐阜	草津				2,152
広島	島根	574			
岡山	山	541			
		429			

(ハ) 椎茸

椎茸(乾) ㊦ 1.420 (㊦ 3.411)		100	200	300
大分	分			298
宮崎	崎			286
静岡	岡		95	
鹿兒島	島	90		

(ニ) 木炭 ㊦117,479

岩手	6,724	北海道	6,502	福島	5,444	新潟	4,888
高知	4,338	大分	4,232	宮崎	4,163	群馬	3,961
兵庫	3,693	秋田	3,690	鹿兒島	3,504	鳥根	3,564
福井	3,411	長野	3,375	石川	3,120	三重	3,024

(四) 水産業

漁業は主として水深二〇〇米以下の浅海(海棚)に於て行はれるので、此の浅海の廣狹は斯業に至大の影響を及ぼす。北ヨーロッパに英國を始めとし、フランス・ノルウェーなど世界屈指の水産國を見るのは、一には世界最大の浅海を控ふるからである。我が國の四近は亦浅海が大いに發達して居り、加ふるに寒暖兩海流の流るゝ所となるので、我が國は水産物の産額に於て世界諸國に冠絶してゐる。

我が國の水産業は從來沿岸漁業の外に出でなかつたが、近來好漁場が二、三〇〇哩以上の沖合に移動したので、漁船(ターセル機關等)や漁具(トロール)等の改良を促し、動力を有する漁船(12,813隻)は在來船(344,107)の遞減に反して急激に増加し來り、今や遠洋漁業の獲物は沿岸のその約三割五分に達し、我が漁業が沿岸漁業時代より一躍して遠洋漁業時代に進みたるを物語つてゐる。

行政區劃別の漁獲高が、其の海岸線の延長と至大の關係に在るは勿論であるが、上述の如き大型漁船は設備の整頓せる漁港を必要とするが故に我が漁業は又漁港時代に遡入つて來たと言つて良い。下關や銚子の漁港が注目されるのはこれがためである。其の他處々に此種の港の擡頭しつゝあるを閑却してはならぬ。従つて漁獲物が行政區劃に支配せられない場合のあることも想像に難からぬであらう。漁獲額は統計上、沿岸、遠洋(一)(内地沖合)、遠洋(二)(朝鮮・露領沿海州等)及び養殖の別により計上せらるれども、本書に於ては特例の外、沿岸、遠洋(一)及び養殖の三者を合算して内地漁業の大勢を達観するの便あるに従ふこととした。

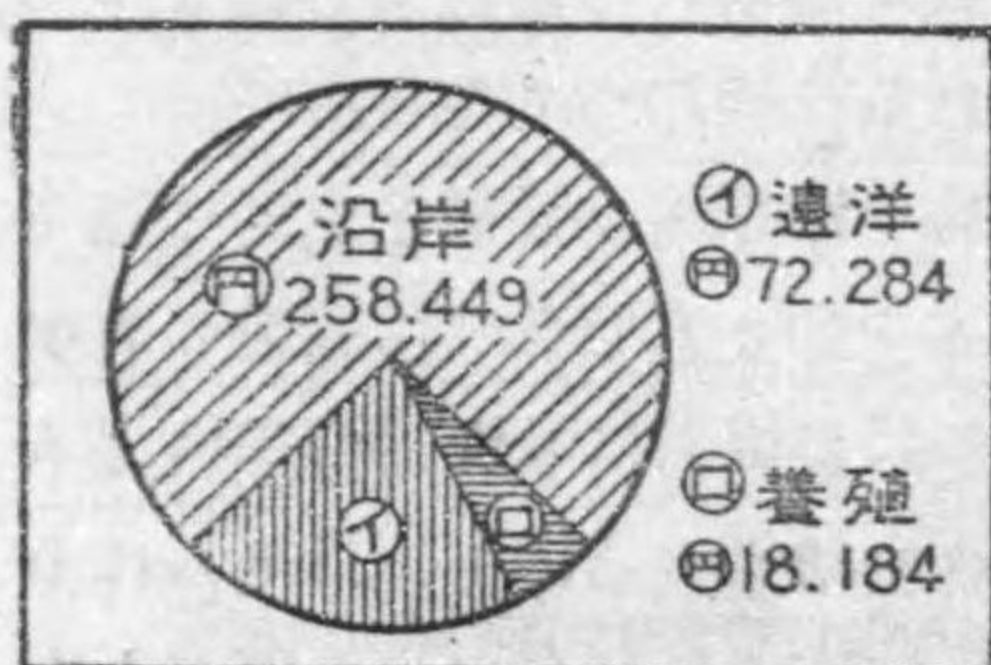
(1) 四近の海棚の面積(方哩)

日本沿海	69,000	朝鮮東岸	6,000	黄海	112,000
對馬海峽	16,000	支那東海	137,000	オホー	204,000
ベーク	320,000	南樺太	24,000	ツク海	
ンク海				臺灣海峽	12,000

(2) 海岸線の延長 (里)

北海道	1,382	長崎	609	鹿児島	406	沖縄	318
愛媛	310	山口	303	広島	246	三重	242
熊本	191	大分	180	島根	179	青森	170
宮城	158	新潟	136	静岡	134	東京	131
兵庫	128	石川	121	岡山	120	和歌山	119
福岡	118	香川	107	高知	100	千葉	96
愛知	80	岩手	80	宮崎	77	福井	76
佐賀	64	京都	63	徳島	60	秋田	60
滋賀	(注)60	神奈川	59	鳥取	44	茨城	41
福島	36	富山	29	大阪	19	(計)	6,682

(3) 漁獲物 ④348,917



①遠洋は遠洋(二)を含まず。又汽船トロール漁獲及び汽船捕鯨も省かれてあるが、是等の除外されたものに就いては22頁を見よ。

北海道	59,103	静岡	21,975	長崎	20,331	山口	17,470
千葉	15,036	高知	14,085	東京	13,931	鹿児島	11,727
三重	11,361	愛知	11,360	岩手	10,659	神奈川	10,146
和歌山	9,736	兵庫	8,354	福岡	7,567	青森	7,076
宮城	6,992	新潟	6,193	大分	5,923	島根	5,872
茨城	5,690	広島	5,503	愛媛	5,345	徳島	4,684
石川	4,483	富山	4,476	福井	4,149	岡山	4,087
宮崎	3,947	佐賀	3,859	熊本	3,304	香川	3,109
福島	2,764	沖縄	2,623	大阪	2,295	秋田	2,195
鳥取	2,189	京都	1,975	山形	1,418	滋賀	1,308

④ ① 遠洋 ④72,284

静岡	8,602	長崎	7,850	山口	6,506	鹿児島	5,246
千葉	5,207	岩手	5,013	宮城	4,210	北海道	3,929
茨城	3,646	高知	3,464	三重	2,788	和歌山	2,393
沖繩	1,852	福島	1,552	徳島	1,264	神奈川	1,078

(口) 養殖 ④18,184

東京	5,046	愛知	2,206	静岡	1,268	千葉	1,226
三重	1,127	神奈川	1,058	長野	985	広島	771

(4) 漁獲物 (一) 魚類

(イ) 鯛 ④33,300 (④14,530)

長崎	7,466	山口	6,558	福岡	3,117	千葉	1,166
大分	1,071	愛媛	1,045	佐賀	1,019		

(沿岸漁獲のみに就いては④18参照)

(ロ) イワシ ④33,211 (④154,348)

	1000	2000
北海道		5,192 2,792
千葉		
長崎		2,448
山口		2,045
三重		1,451
青森		1,370
石川		1,259
愛媛		1,252
鹿児島		1,217
大分		1,148

(ハ) 鯉 ④30,036 (④18,544)

静岡	8,151	鹿児島	5,060	沖縄	2,003
宮城	1,824	岩手	1,718	三重	1,619
千葉	1,358	和歌山	1,298	宮崎	1,243
高知	1,204	長崎	751		

(ニ) ^{マダモ} 鯖(シビ) @20,024 (①8,817)

高知	5,893	静岡	2,534	和歌山	1,972
千葉	1,886	神奈川	1,275	三重	1,182
岩手	791				

(沿岸漁獲にのみに就いては①18参照)

(ホ) ^{サバ} 鯖 @12,952 (①20,142)

静岡	1,552	鹿児島	1,162	神奈川	1,078
千葉	912	高知	775	福井	720

(ヘ) ^{ブリ} 鯖 @11,668 (①5,917)

高知	1,839	長崎	1,756	静岡	1,109
東京	886	岩手	824	三重	815

(ト) ^{ウナギ} 鰻 @9,525 (①1,415)

	200	400	600	800
愛知				1,638
静岡		1,391		
三重		410		
東京	248			
熊本	230			
千葉	217			

(チ) ^{サシ} 秋刀魚 @5,765 (①17,091)

和歌山	1,376	茨城	1,167	岩手	970	千葉	883
-----	-------	----	-------	----	-----	----	-----

(リ) ^{カレヒ} 鰺 @5,321 (①10,015)

北海道	1,823	愛知	271
-----	-------	----	-----

(ヌ) ^{アサ} 鰯 @5,273 (①1,571)

神奈川	713	静岡	550	千葉	449
-----	-----	----	-----	----	-----

(ル) ^{サハラ} 鰯 @4,521 (①1,837)

岡山	633	長崎	597	山口	542
香川	402	神奈川	339		

(ナ) 鮭 @24

(ノ) 鱈 @4,960 (①22,362)

北海道	2,826	新潟	599	青森	405
-----	-------	----	-----	----	-----

(カ) ^{マス} 鱈 (アメマスを含む) @2,705 (①3,368)

北海道	1,717	新潟	235	富山	196
-----	-------	----	-----	----	-----

(5) 漁獲物 (二) 其の他

(イ) イカ @21,910 (①54,246)

北海道	9,670	青森	2,850	岩手	1,600
長崎	1,564	山口	630	神奈川	581

(ロ) ^{エビ} 鰯 @3,522 (①5,411)

愛知	1,339	静岡	1,184	三重	722
徳島	532	神奈川	467	山口	416
千葉	406				

(ハ) ^{タコ} 鰯 @5,006 (①1,021)

北海道	896	兵庫	456
-----	-----	----	-----

(ニ) 昆布 ㊦24

(ホ) ^{アソビ}鮑 ㊦2,968 (㊦5,411)

岩手	548	北海道	435	千葉	355
青森	323	三重	258		

(ヘ) ^{カキ}牡蠣 ㊦1,560

広島	418	東京	291	愛知	233
宮城	106	岡山	76		

(6) 水産製造物 ㊦202,036

1, 食料

(イ) 蒲鉾・竹輪 ㊦26,872

	1000	2000
愛知		2,734
宮城		2,305
愛媛		1,865
兵庫		1,705
京都		1,701
広島		1,557
福岡		1,287
静岡		1,247
山口		1,240

(ロ) 鰹節 ㊦12

(ハ) ^{メダカ}鰻 ㊦24

(ニ) 煮乾鰹 ㊦12,584 (㊦7,564)

千葉	1,326	大分	1,307	長崎	1,289	三重	1,089
兵庫	1,073	広島	985	愛媛	846	山口	796

(ホ) ^{スキノリ}渡海苔 ㊦10,635

	200	400	600	800
東京				5,780
千葉				980
愛知				895
神奈川				891
三重				455
広島				406
福岡				219
宮城				165
岡山				125

(ヘ) 鹽乾鰹 ㊦3,707 (㊦4,090)

富山	593	長崎	438	愛媛	393
千葉	370	三重	369		

(ト) ^{ミカキニシ}身欠鰹 ㊦3,439 (㊦3,245) 北海道 3,389

(チ) 煮乾貝柱 ㊦3,396 (㊦1,621) 北海道 3,354

(リ) 煮乾鰹 ㊦2,924 (㊦957)

静岡	928	大分	410	山口	294
----	-----	----	-----	----	-----

(ヌ) 鹽製鮭 ㊦2,501 (㊦1,445) 北海道 2,475

(ル) ^{カツノコ}鰹鱈 ㊦2,304 (㊦804) 北海道 2,270

(ヲ) 鹽製鰹 ㊦2,044 (㊦4,212)

山口 869 千葉 246

2, 肥料

(イ) 鰹搾粕 ㊦24

(ロ) 鰹搾粕 ㊦23

(ハ) 銅線 ④3,194 (⑤5,276) 北海道 3,177

(7) 汽船トロール漁業 ④9,094 (⑤10,533)

グ 石首魚	2,333	真 鯛	1,553	ニベ 1 俵	917
----------	-------	-----	-------	-----------	-----

(8) 汽船捕鯨

(イ) 内地 ④1,353 (1,348頭)

粘 川(宮城)	333	釜 石	286	千島 <small>(青子古丹 内 俵)</small>	197
小 笠 原	182	根 室	74	呼子(佐賀)	57
串本(和歌山)	26				

(ロ) 植民地 ④581 (240頭)

大青島(黄海)	185	蔚山(慶南)	177	臺 灣	75
關 東 州	44	樺 太	28		

④ 沿岸漁業の捕鯨 (漁獲物中に含まれてゐる)
④194 (119頭)

佐 賀	65	高 知	43	青 森	41
-----	----	-----	----	-----	----

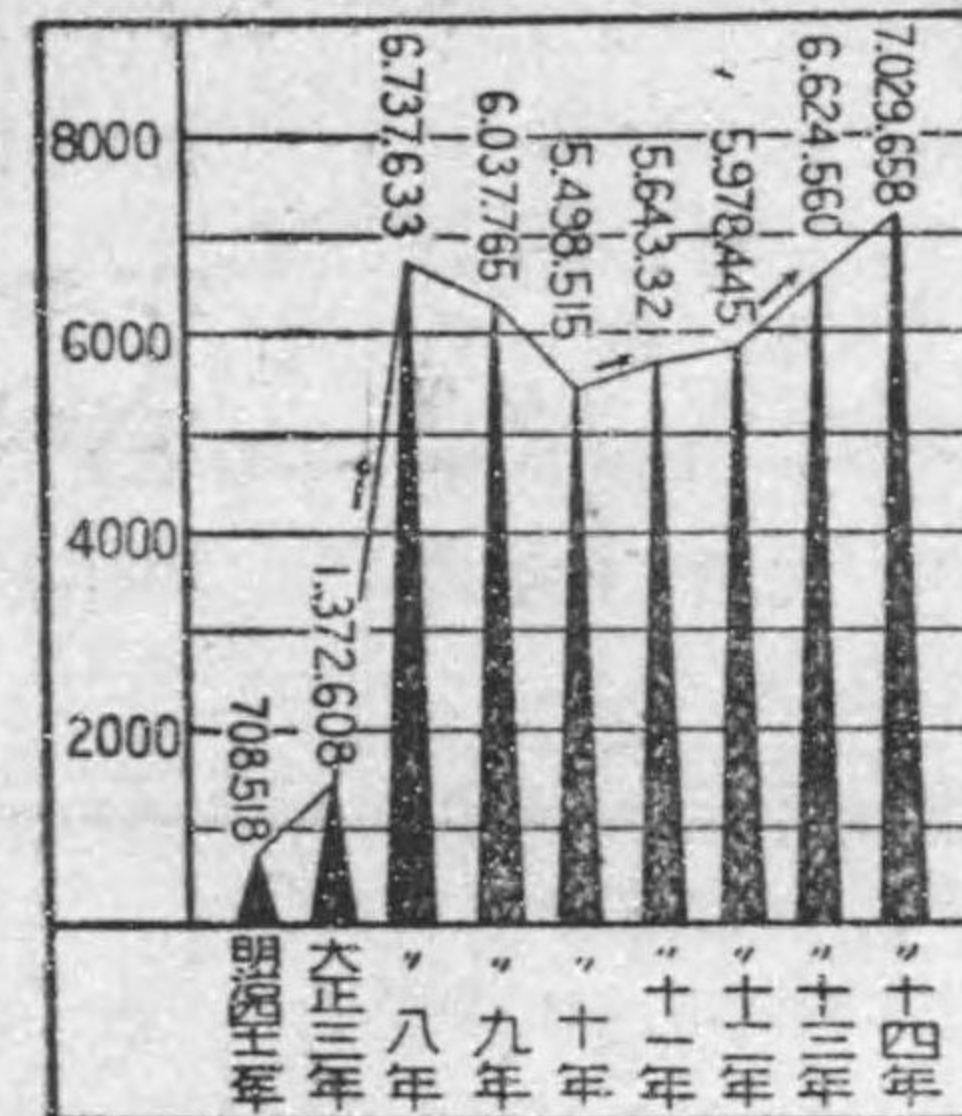
(9) 遠洋漁業 ④

露 領	25,182	朝 鮮	23,551
工船蟹漁業	9,757	關 東 州	649

(五) 工 業

日清・日露各戦役を動機として發達し來つた我が工業は世界大戰に際して更に日覺しき進展を見るに至り、戦後一時反動の非運に悩んだが、整理淘汰以て此の難局を切抜け、今や鞏固なる基礎の上に空前の盛況を呈せんとしてゐる。工業地區の改造、技術の熟達及び能率の増進は更に更に此の大勢を善導するものであらう。

(1) 生産額累年比較 ④



大正初年以來物價の急劇なる騰貴は無論看過せられないが、しかも又我が工業が此の期間に於て劃時代的發展を遂げてゐることは夫の農業の進歩とは同日に論ぜられないものがある。随つて我が工産物は總價額に於て農産物を遙に凌駕するに至り、特に精製品を多量に包含するの點に於て人意

を強うするに足る。こゝに我が國が世界屈指の工業國となつたことは、我が綿製品が英領なる印度に於てマンチェスター製品と競争し、或は土耳其や東阿などにまで進出してゐるが如き事實に徴しても、極めて明かである。

工業品中には幼稚なる副業的生産にかゝりながら廣く寄せ集むれば巨大な産額に達するものがある。これ固より無視せられないと言へ、統計家でない吾人はまづ大規模の工場の下に熟達せる經營に依つて生産せられるものに注意を拂はねばならない。又工産物に限らず、すべて産額のみには捕はれずして、地方的色彩の濃著なるものは之を抜擢するといふ心掛を忘れてはならない。

(2) 主要生産地 ㊦

大阪	1,162,351	東京	800,629	兵庫	720,723
愛知	572,230	長野	304,419	福岡	286,721
神奈川	247,586	京都	222,005	静岡	212,054
三重	163,993	北海道	157,690	群馬	153,244
岡山	152,547	岐阜	147,474	和歌山	129,288
愛媛	123,360	埼玉	112,707	広島	108,182

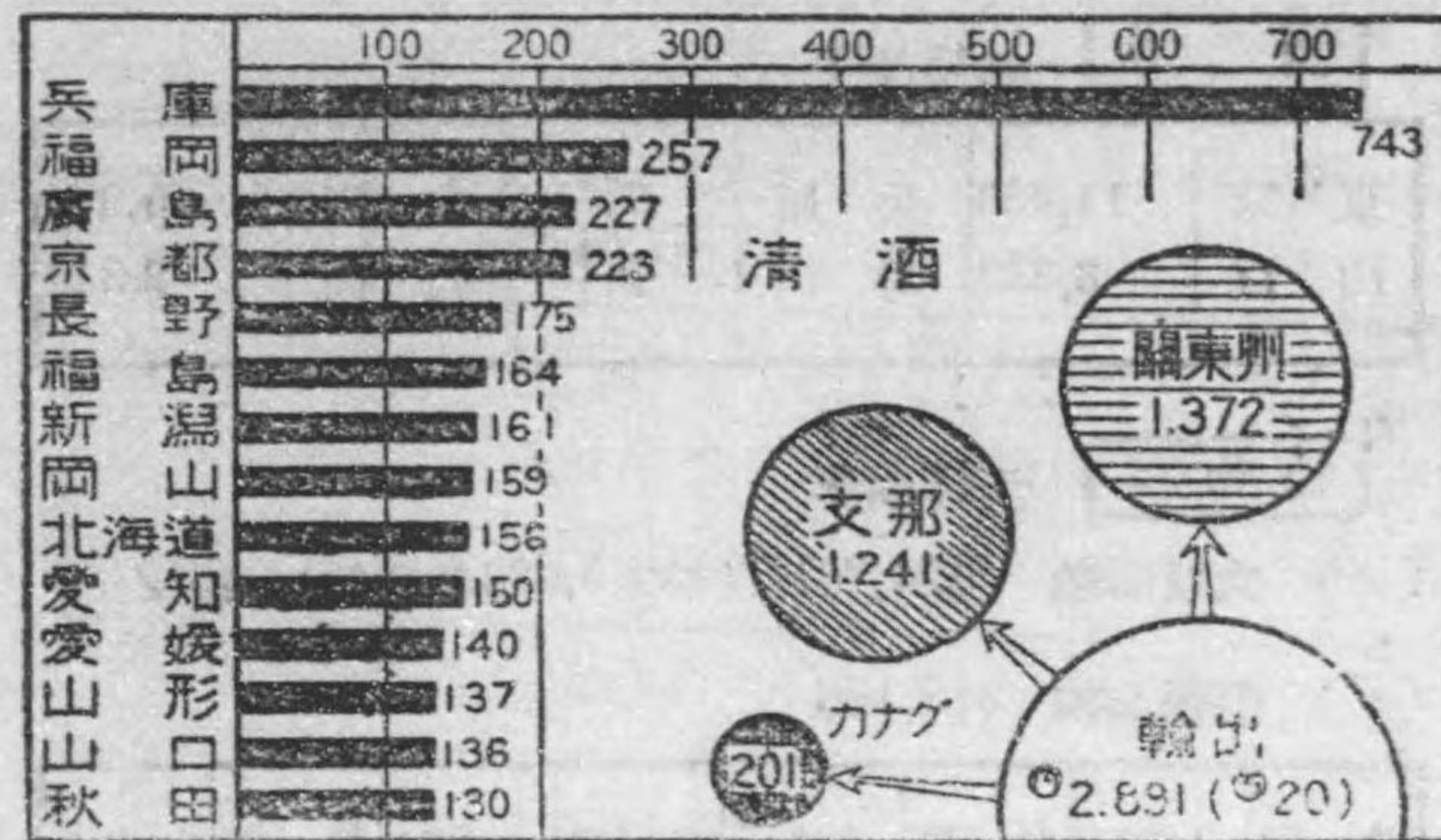
(3) 生産額職業別

紡織工業	3,215,300	食料品工業	1,097,104
化学工業	757,352	機械・器具工業	458,570
金属工業	421,350	工賃・加工料	247,234
窯業	181,324	修繕材料	175,231
印刷・製本業	163,733	製材・木製品工業	175,231
其の他	204,247	瓦斯・電気業	108,214

(4) 主要工産物

- 1, 蠶絲 ㊦986,359 (生絲 956,052 屑物 30,307) ㊦32
- 2, 綿絲 ㊦781,442 ㊦34
- 3, 綿織物 ㊦774,373 ㊦33
- 4, 清酒 ㊦5,143

總價額は明かならざれど、七億圓内外に達するであらう。近來科學の應用に依り各地に良酒を見るに至りたれど、未だ灘地方の芳醇を脅かすに足りない。〔六甲の寒風、攝洋の海氣、西宮の水、吉野杉の香、丹波杜氏の技倆、凝つて玲瓏の美酒となる。〕説破妙なりと謂つて良からう。灘の定法で酒一石に對して白米六斗二升四合（玄米約七斗）を用ふるから、内地全體で酒のために潰される米は約三百五十萬石の勘定となる。



5, 絹織物及び絹綿交織物 ㊦490,343

絹織物 413,794 絹綿交織物 76,548 ㊦33

- ㊦(イ) 輸出羽二重 ㊦11 } ㊦34
 (ロ) 富士絹・絹紬 ㊦11

6, 毛織物及び毛交織物 ㊦182,481 ㊦33

7, 肥料 ㊦178,666

礦物質 ㊦54,385

熊本	12,119	東京	10,505	福岡	8,098
新潟	7,788	大阪	7,130	兵庫	2,893
富山	2,783				

(イ) 過磷酸石灰 ㊦26,416

東京	9,243	大阪	5,926	兵庫	2,836
愛媛	1,973	山口	1,531	岡山	1,428
富山	1,004				

(ロ) 硫酸アムモニヤ ㊦24,626 ㊦21

(ハ) 石灰窒素 ㊦11,277

福岡	3,380	新潟	2,945	熊本	2,796
富山	916	福井	770	北海道	470

調 合 ④45,941

東京	11,433	兵庫	7,750	大阪	5,074
山口	3,353	岡山	2,407	福岡	2,314

植物質 ④41,665

(イ) 大豆油粕 ④24,261 (粉末5,983を含む) ④12

(ロ) 菜種油粕 ④8,186

滋賀	1,291	大阪	1,207	三重	921	福岡	909
----	-------	----	-------	----	-----	----	-----

動物質 ④26,501

(イ) 鱈油粕 ④7,688 ④24

(ロ) 鯉油粕 ④6,600 ④23

(ハ) 骨粉 ④4,311

鹿兒島 3,828 宮崎 155

8, 木製品 ④181,062

(指物 69,931 桶・樽類 37,059 箱類 33,627

履物素地 24,911 挽物 11,088

愛知	16,616	兵庫	13,315	大阪	11,113
和歌山	9,806	千葉	8,368	東京	8,111
北海道	7,681	廣島	7,367	福岡	6,222
新潟	5,714	埼玉	5,591	静岡	5,562

9, 醬油 ④6

10, 小麥粉 ④135,998 ④6

11, 撚絲 ④128,744

群馬	21,588	愛知	20,552	大阪	17,921
石川	9,417	山形	7,439	福岡	6,164

12, 洋紙 ④119,725 ④24

13, 染物質 ④114,682

(イ) 綿 ④78,345

京都	18,154	大阪	14,486	東京	9,992
和歌山	7,881	愛知	5,014	愛媛	4,781
静岡	3,897				

(ロ) 絹 ④23,547

京都	8,096	群馬	2,034	東京	1,375
----	-------	----	-------	----	-------

(ハ) 毛 ④8,470

大阪	2,586	愛知	2,375	京都	1,309
----	-------	----	-------	----	-------

14, 再製糖 ④677,917 ④15

15, 足袋 ④88,143

大阪	24,961	福岡	18,672	埼玉	17,978
岡山	8,220	愛知	2,259	徳島	2,237
東京	2,149				

16, 陶磁器 ④78,178 ④12

17, セメント ④67,288 ④21

18, 麥酒 ④858

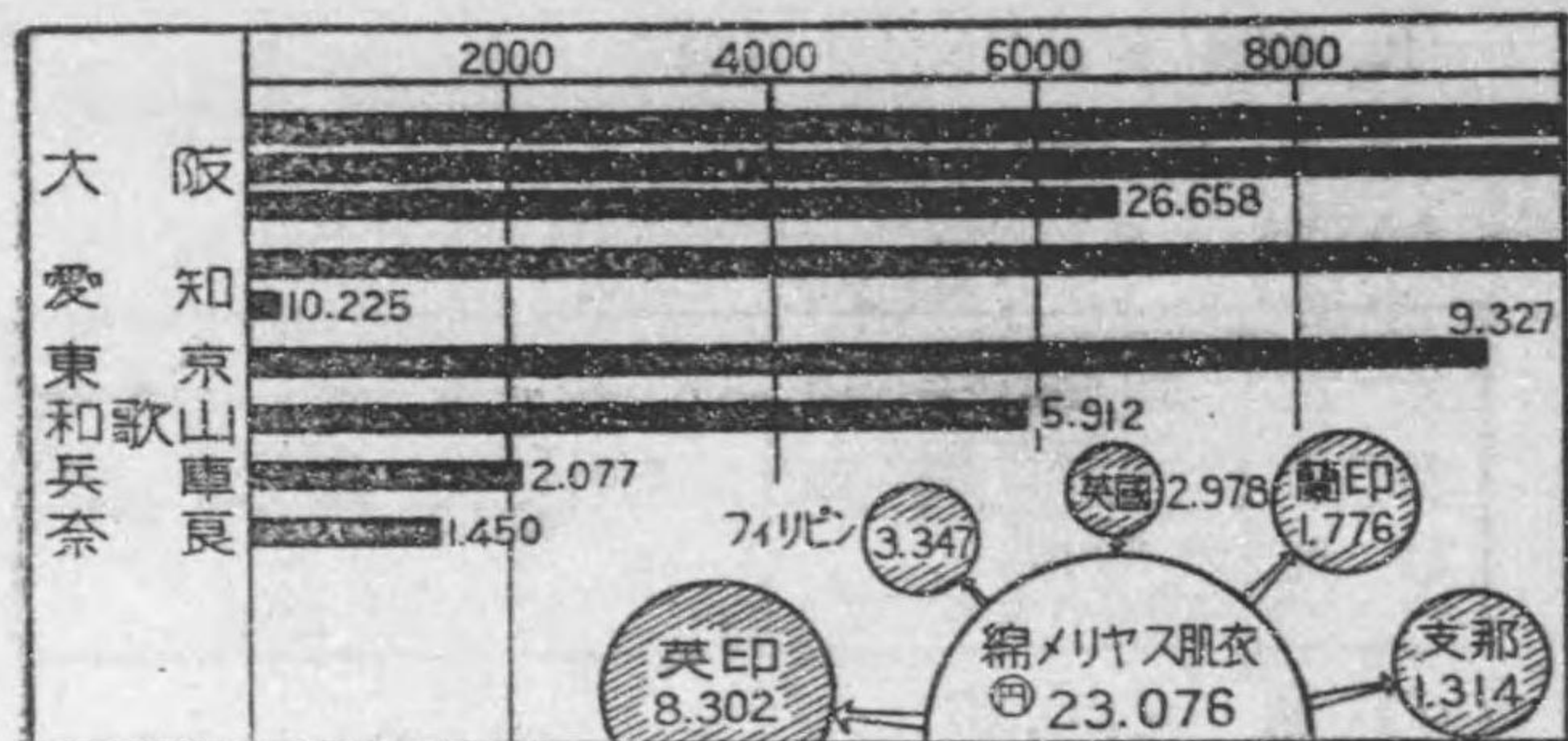
東京	213	大阪	159	愛知	94
兵庫	63	宮城	54	北海道	53

輸 出 ④2,542

支那 731 蘭印 448 英印 437 關東州 420

19, 莫大小 ④62,262

(綿 45,233 毛及び毛綿 15,284)



蘭印・支那の圓の大きいのは誤り

20, 絹織紡績 ④61,973

京都	14,546	岐阜	8,931	神奈川	6,126
福島	5,496	兵庫	5,423	石川	5,366

21, 工業用薬品 ④56,510

(イ) 硫酸 17,128

東京	7,128	大阪	4,488	山口	1,859
----	-------	----	-------	----	-------

(ロ) 晒粉 5,837

東京	2,321	富山	935	新潟	503
----	-------	----	-----	----	-----

(ハ) 苛性曹達 5,211

山口	2,033	東京	1,221	富山	450
----	-------	----	-------	----	-----

22, 護謨製品 ④55,630 ⑤15 23, 和紙 ⑤18

24, 硝子 ④50,542 ⑤14

25, 絶縁電線 ④49,629

東京	20,778	大阪	20,571	兵庫	4,940
神奈川	1,406	三重	1,253		

26, 瓦 ④48,193

兵庫	5,184	愛知	4,950	福岡	2,694
埼玉	2,163	鳥根	2,029		

27, 薬製品 ④47,677

(繩類 15,386 筵 14,194 吹及び俵 8,676)

兵庫	6,026	香川	4,293	富山	2,924
新潟	2,249	石川	2,094		

28, 植物油 ④45,418

(大豆油 13,923 菜種油 13,511 椰子油 2,799 胡麻油 2,760)

大阪	10,963	静岡	7,833	福岡	4,248
兵庫	3,204	三重	3,111	愛知	2,631
神奈川	2,485				

⑤ 植物油の中、椿油は特に有名であるが、其の産額は1,490 (4,180石) 主産地は京都 509 長崎 256 東京(伊豆七島)180 静岡 129

29, 製茶 ④36,438 ⑤9

30, 麵類 ④32,684 (⑤35,522)

岡山	1,895	埼玉	1,628	栃木	1,591	群馬	1,504
----	-------	----	-------	----	-------	----	-------

31, 味噌 ④31,818 (⑤57,446)

東京	4,769	愛知	3,580	新潟	1,656	大阪	1,603
----	-------	----	-------	----	-------	----	-------

32, 漆器 ④30,931 ⑤11

33, 麻及び麻交織物 ④30,994

滋賀	4,120	東京	4,077	福井	3,876
兵庫	3,729	大阪	2,461	北海道	2,195

34, 石鹼 ㊦30,119

東京	15,239	大阪	8,865	長崎	1,113
----	--------	----	-------	----	-------

35, 皮革製品 ㊦28,569

(靴 18,166 調帯 5,124 鞆 2,224 馬具 1,892)

大阪	7,963	東京	5,897	愛知	2,210
北海道	2,003	兵庫	1,536		

36, 特殊織物 ㊦27,202 (ビロード 天鵞絨 17,719 リボン 2,193)

静岡	4,452	大阪	4,395	滋賀	4,088
京都	3,947	埼玉	3,537	岡山	1,192

37, 化粧品 ㊦27,094 (齒磨粉 5,123 白粉 5,072)

大阪	16,098	東京	10,367	京都	303
----	--------	----	--------	----	-----

38, 紡績麻絲 ㊦24,553

大阪	6,639	栃木	6,440	北海道	3,443
兵庫	3,043	富山	2,159	廣島	1,260

39, 薄荷(加工) ㊦22,397

(取卸薄荷 12,809 薄荷腦 6,485 薄荷油 3,103)

兵庫	8,397	北海道	6,849	岡山	5,222
				神奈川	1,190

(㊦23参照)

㊦ 薄荷は明治初年以來の栽培であるが、近年其の産額激増し、北海道本島オホーツク海方面の開拓は之によ

つて大いに促進せられてゐる。其の製品は殆んど我が國の特産物として況く世界諸國に需要せられ、藥品・香味料・飲料水・化粧品・齒磨等に用ひられる。

40, 傘 ㊦21,085

岐阜	5,153	福岡	1,545	和歌山	1,417
----	-------	----	-------	-----	-------

41, 製革 ㊦20,978 (牛革 17,266 馬革 1,370)

東京	8,323	兵庫	4,446	和歌山	3,638
				大阪	3,226

42, 刃物類 ㊦20,535

兵庫	4,225	新潟	2,522	大阪	1,846
				岐阜	808

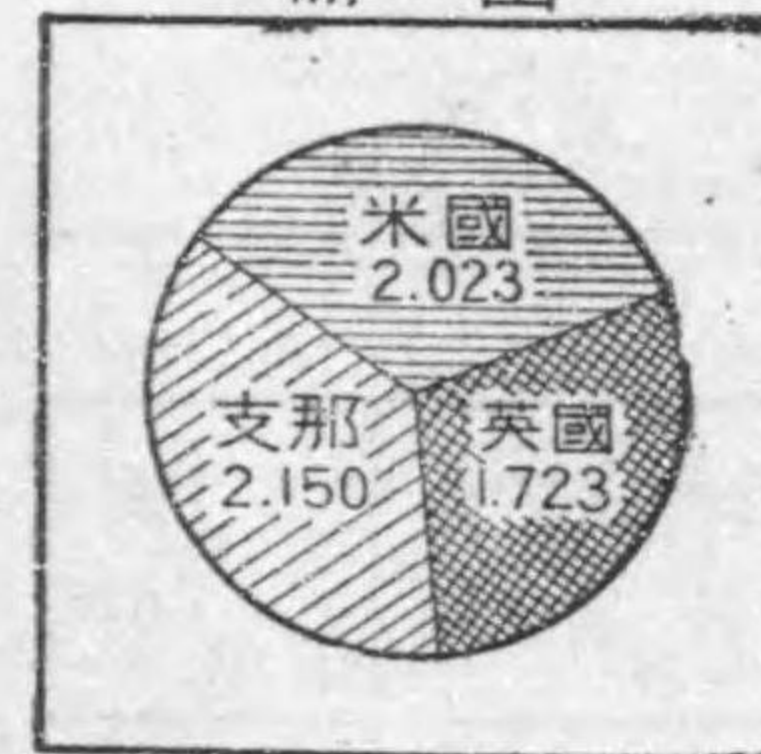
43, 帽子 ㊦20,174

(フェルト 6,151 麥桿 5,372 羅紗・セルヂス等 4,865)

東京	5,722	大阪	5,549	愛知	2,097
兵庫	1,355	静岡	967	沖繩	711

輸出

㊦9,068



㊦ 煙草 卷煙草 ㊦28,333,824 (東京・大阪・名古屋・鹿兒島を主とす) 刻煙草 ㊦6,319

(44) 其他

以上は年産額 ㊦20,000以上のものを擧げたのであるが、中には産額が多いと言つても今日の進歩したる工業上又は集散關係上から見て、其の割合に重視するに足りないものを含んでゐる。これに反して ㊦20,000 以下のものと云へ

ども軽視せられないものがある。其の重なるものを下に挙げる。

1, 蠶表 ㊦17,986 ㊦17

2, 燐寸 ㊦16,938 ㊦14

産額大正七八年頃には約 ㊦10,000 であつたが、爾來漸減の傾向を取り、輸出品としての地位も亦大いに低下してゐる。しかも尙相當の注意を惹いてゐることは言ふまでもない。

3, セルロイド製品 ㊦15,288

大阪	10,772	兵庫	2,783	東京	1,951
----	--------	----	-------	----	-------

4, 煉瓦 ㊦15,040 (㊦457,348)

大阪	3,465	岡山	1,781	福岡	1,486
愛知	1,452	香川	1,183		

5, 時淋 ㊦101

京都	25	大阪	16	千葉	16	愛知	11
----	----	----	----	----	----	----	----

6, 紙器 ㊦14,979

大阪	4,978	東京	3,135	京都	2,575
----	-------	----	-------	----	-------

7, 竹製品 ㊦14,557

大阪	958	静岡	926	大分	804
愛知	761	兵庫	644	宮城	627

8, 銅器・青銅器・真鍮器 ㊦13,548

京都	3,516	大阪	3,206	富山	2,339
新潟	1,572	東京	1,399		

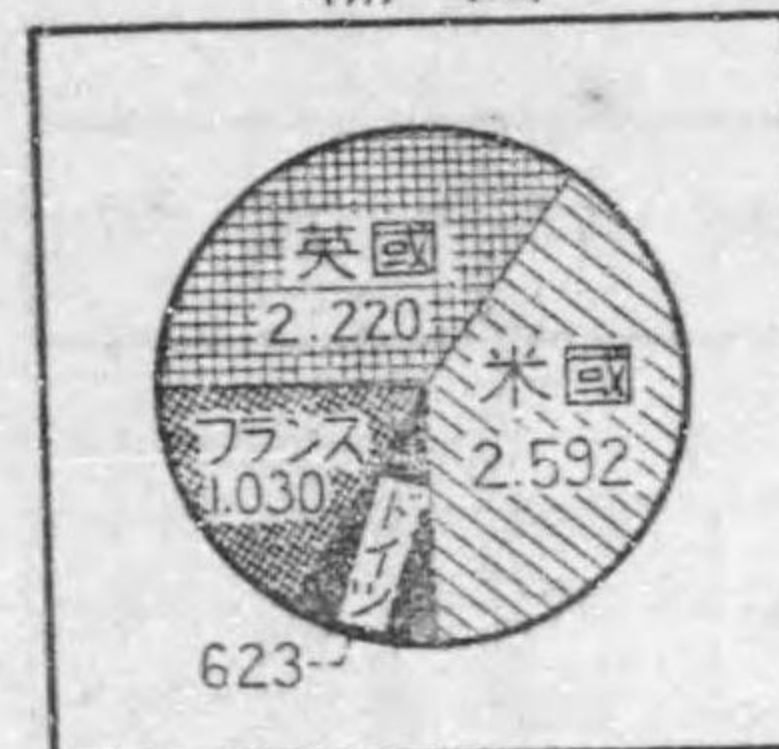
9, 製帽用眞田 ㊦12,405 (㊦17参照)

麥桿眞田は大略燐寸に就いて見たるが如き趨勢にあつて、最盛時に比すれば價額約三分の一に過ぎないが、マニラ麻眞田の勃興は其の衰退を補ふに足る。

マニラ麻眞田 ㊦7,711

愛知	2,449	新潟	2,034	神奈川	1,121
----	-------	----	-------	-----	-------

輸出



㊦6,851

10, アルミニウム ㊦10,439

大阪	8,442
東京	1,520

11, 眞産・花菱 ㊦9,863

㊦17に於て見るが如く其の輸出品としての地位は大いに失墜してゐる。

12, 鐵製鍋釜・鐵瓶類 ㊦8,956

大阪	2,045	愛知	1,128	岩手	753	埼玉	507
----	-------	----	-------	----	-----	----	-----

13, 玩具 (陶磁器製を除く) ㊦7,360

愛知	2,409	東京	1,631	京都	1,566	大阪	638
----	-------	----	-------	----	-------	----	-----

輸出 ㊦4,545 (セルロイド製品)

米國 2,003 英國 757 英印 226

14, ブラッシュ ㊦5,308 (齒磨用 3,075 理髮用 700)

大阪	4,108	東京	281
----	-------	----	-----

輸出 ㊦7,320

米國 4,592 英國 977

15, 精製樟腦 @5,742 (Ⓔ2,623) (神戸獨占)

輸出 @5,742

米國 2,440 英印 1,432 フランス 558 英國 357

16, 扇子・團扇 @5,176

京都	1,572	愛知	1,350	香川	451
----	-------	----	-------	----	-----

17, 寒天 @4,919 (Ⓔ365)

長野	1,767	大阪	1,578	京都	730	兵庫	679
----	-------	----	-------	----	-----	----	-----

輸出 @3,742

支那	650	米國	590	英印	477	香港	401
海峽	307	ドイツ	267	フランス	237		

18, 時計 @4,883 (掛時計2,890 置時計1,791)

愛知 3,102 東京 1,714 (獨占の懐中時計を含む)

19, 鈕釦 @3,654 (介殼製2,731 金屬製367)

大阪	1,527	兵庫	820	和歌山	528	奈良	385
----	-------	----	-----	-----	-----	----	-----

20, 藤製品 @3,432

富山	583	愛知	458	千葉	455	茨城	389
----	-----	----	-----	----	-----	----	-----

21, 製藍 @1,171 (Ⓔ964)

徳島	611	愛知	97	廣島	70
----	-----	----	----	----	----

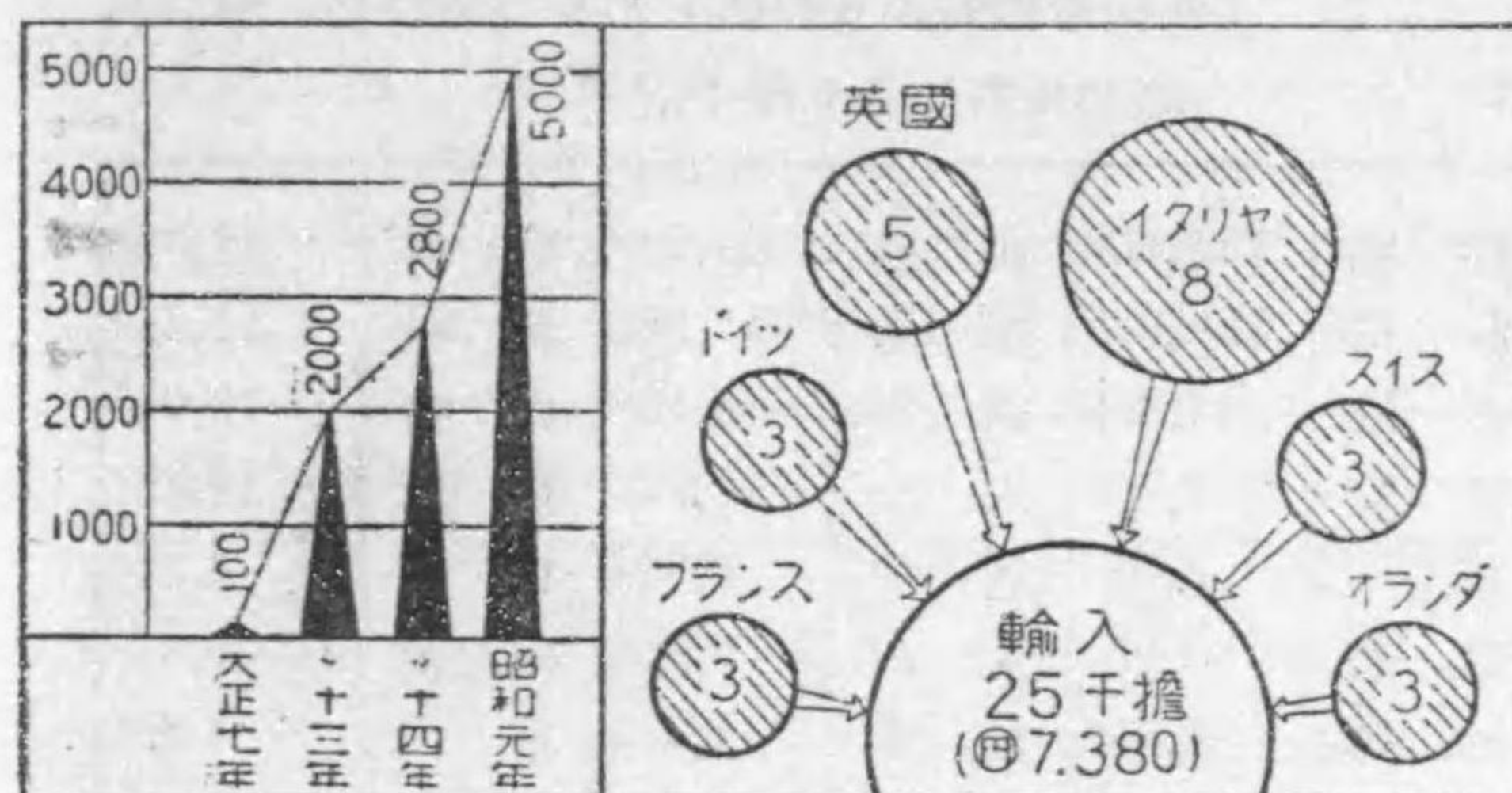
22, 七寶 @461

愛知	353	東京	47	石川	34	京都	20
----	-----	----	----	----	----	----	----

⑨ 人造絹絲

二十世紀に於ける大發明品たるもので、あらゆる纖維工業上に一大脅威を感じしめざるはない。我が國に於ても巨額の資本を擁する大規模の工場が處々(琵琶湖畔の膳所・石山・其の他宇治・廣島・岩國・延岡・米澤等)に勃興してゐる。又消費力も急激に増大するの傾向にあるから、不日三四千萬封度に達するであらう。

産額累年比較(單位千封度)輸入



(六) 鑛業

各種産業中鑛業ほど變遷異動の甚いものは少からう。佐渡の土と言へば金の異名となるまでに佐渡鑛山は盛名を馳せたものであつたが、今や其の地位を佐賀關・日立などの製鍊所や鯛生鑛山などに譲つてゐる。生野(香川縣の直島を製鍊所とする)は曾て我が國第一の銀山であつたが今は銀銅の鑛石産地として辛うじて其の名聲を維持するに過ぎない。一時新進の鑛山として注目せられた安部城(青森縣)や遊泉寺(石川縣)、蓮臺寺(伊豆)などは廢坑となり、院内(秋田縣)や大森(鳥根縣)が過去の銀山であることは言ふまでもない。これに反して高田・神岡・ラサ島・久根・土肥・明延・鯛生・美唄・松島・豊川・松尾等は後進であ

りながら注目に値する。

金屬鐵山は從來製煉所を伴ふを常としてゐたが、近時採掘と製煉とは切り離して考へねばならぬやうになつて來た。日立・足尾の鐵産額の多きは買鐵に負ふところが少ない。八幡製鐵所は言ふまでもなく、佐賀關・四阪島・直島等は専ら製煉を以て著聞するものである。

(1) 鐵産物 @380,475

(外國産鐵石から製煉したものを含む。但し八幡製鐵所の分を除く。)

福岡	140,400	北海道	44,290	新潟	21,328
秋田	20,930	福島	17,187	茨城	15,683
長崎	14,335	佐賀	14,152	山口	13,925
愛媛	13,567	大分	12,771	栃木	11,432
神奈川	6,985	岩手	6,304	香川	4,346
東京	3,907	岡山	2,829	鹿兒島	2,337
沖繩	1,851	岐阜	1,712	富山	1,361
石川	1,290	兵庫	1,132	宮城	1,156

(イ) 石炭 佛噸31,459 (㊦21参照)

三池	2,153	オホウラ	1,306
夕張	1,136	大浦(筑豊)	1,047
二瀬(筑豊)	1,013	三井田川(筑豊)	814
美唄(石狩)	762	内郷(常磐)	658
鯉田(筑豊)	615	沖山(宇部)	586
新入(筑豊)	555	三井山野(筑豊)	549
新夕張	548	相知芳谷(佐賀)	509
		豊國(筑豊)	

我が國の石炭は貿易上大正二年の出超を絶頂とし、大正十二年には入超補給の前兆をさへ見るに至つた。其の埋藏量は約三十億噸程度と推定せられ、採掘量は九州に於て稍々頽勢を來したれど、北海道に於て新進を見るあり、將來

年約三千五百萬噸に増産せらるべく、採算上から見た採掘壽命は約五十年であらうと言はれる。一般的燃料は薪炭より石炭、石炭より瓦斯、瓦斯より電氣と進みつゝありとは言へ、一方石炭の消費量は明治三十年頃以來約十年毎に倍加して居り、不日年約五千萬噸に達するであらう。要するに石炭の入超は到底免れ難い趨勢にあるから、こゝに水力電氣事業の發達は單に其の調節上から見ても、極めて緊切なることが察せられる。

(ロ) 鐵 (㊦8参照)

銑鐵 佛噸685 (㊦34,259)

八幡製鐵所	456	福岡	104	北海道	93	岩手	47
-------	-----	----	-----	-----	----	----	----

鋼材 佛噸1,103 (㊦129,037)

八幡製鐵所	601	神奈川	152	兵庫	121	福岡	74
大阪	49	岩手	31	北海道	25	東京	22

(ハ) 銅 @110,811 (㊦8参照)

足尾	22,145	別子	14,603	日立	13,529
小坂	13,358	佐賀關	12,830	直島	6,366
尾去澤	5,442	尾小屋	2,801	荒川	2,762
吉岡	1,340	國富	1,203	阿仁	1,013
永松	881	槇峯	854	不老倉	556
八莖	343	大正	314		

㊦ 銅は久しく重要輸出品の一であつたが、近來大いに其の地位を失墜し、今や我が國は銅の輸入國たる觀を呈してゐる。(重要輸出入品の部参照)

(ニ) 石油 @42,022 (㊦12参照)

輕油 @13,209 (㊦1,102)

新潟	6,926	秋田	1,967	東京	1,558
神奈川	1,292	山口	1,275		

機械油 @10,793 (@511)

新潟	6,668	秋田	3,065	東京	760
----	-------	----	-------	----	-----

揮發油 @8,429 (@276)

新潟	4,401	神奈川	2,015	秋田	973	東京	802
----	-------	-----	-------	----	-----	----	-----

燈油 @4,883 (@234)

新潟	1,684	秋田	1,455	神奈川	891	東京	639
----	-------	----	-------	-----	-----	----	-----

重油 @3,397 (@188)

神奈川		2,547	秋田		569
-----	--	-------	----	--	-----

附 原油 @1,637 (@16,836)

新津	333	西山	239	豊川(秋田)	220
道川(秋田)	189	黒川(秋田)	185	由利(秋田)	108
東山	91	金津(新潟)	80	石狩	40
オホモ 大面(新潟)	23				

石油はデーセル氏の偉勳と歐洲大戰の體驗に依り、超黄金とさへ讚美されるに至り、將來陸海空三界の征服は實に之に繋つてゐるとまで極論せられる。これ熱量高く且均質し、重量軽く容積小、使用の簡便等、石炭の比ではないからである。我が國石油の需給關係は大正八九年頃内油約七割、外油約三割であつたが、今や此の比例は轉倒して居り、消費量は年五百萬石は突破しよう。含油地帯は北の方樺太

に起り、北日本の内帯を一貫して駿河に及び、更に九州・臺灣にも互つて居り、採算上の關係を無視したならば、自給自足必ずしも悲觀すべきではないが、石油利權の獲得が北樺太の油田や撫順の油母頁岩などで甘んぜられないことは言ふまでもない。

(ホ) 金 @2,257 (@13,155) (@21参照)

	50	100	150
佐賀關			569
日立	465		
鱸生		279	
三井串木野	238		
鴻ノ見		120	
別子		111	
小坂		104	
佐渡		95	
道島(香川)		82	
山野		60	

(ヘ) 亞鉛 @28,250 (@7,991)

福岡	19,477	山口	6,383	宮城	2,390
----	--------	----	-------	----	-------

(ト) 銀 @33,652 (@6,824)

佐賀關	5,514	日立	5,316	足尾	3,999
小坂	3,589	直島	2,826	別子	2,722
三井串木野	2,302	神岡	1,909	佐渡	1,261

(チ) 硫化鐵鏡 @4,212

愛媛	1,332	岡山	1,130	茨城	359
徳島	357	和歌山	335	高知	306

(リ) 硫黄 @2,438

松尾(岩手)	936	幌別(膽振)	257	奥尻(後志)	129
沼尻(福島)	409	高井(長野)	112		

(マ) 燐黄 @37 (@1,559)

(ラサ島(沖縄) 独占)

(ル) 鉛 @5,561 (@1,370)

神岡(岐阜)	4,161	高田(宮城)	1,145
--------	-------	--------	-------

(ナ) 錫 @552 (@1,120)

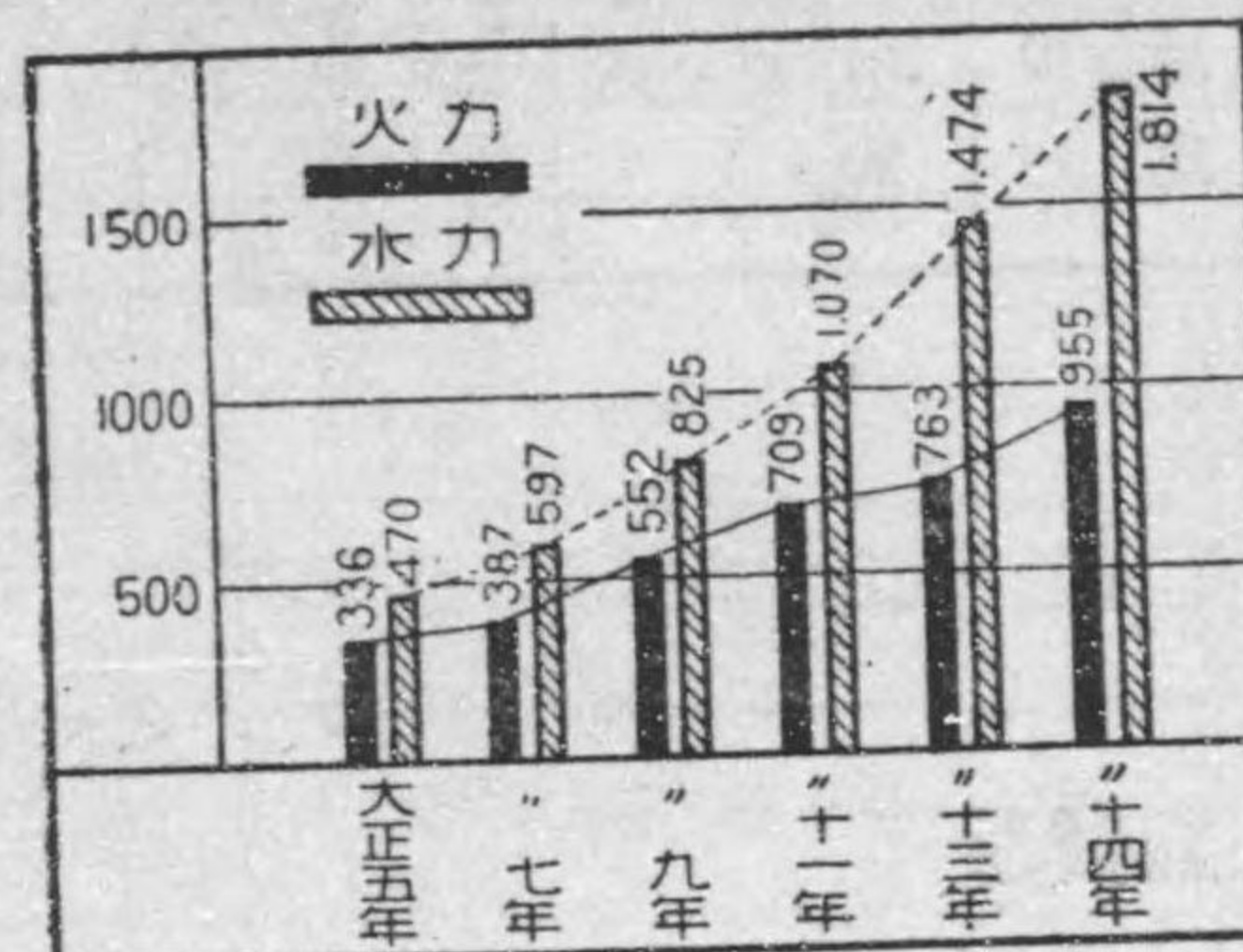
明延(兵庫)	633	錫山(鹿児島)	19
--------	-----	---------	----

(七) 水力電気

我が國の斯業は明治二十四年琵琶湖水に關聯して京都に開始されたるを嚆矢とし、當初其の先輩たる火力電気の下風に立つてゐたが、大正元年之と雌雄を争ふの地位に進み、爾來發展益々急速であつて、今や水電は火電の二倍を越ゆるの盛況を呈してゐる。これ主として我が國が斯業上世界稀有の天恵に浴するがためであつて、中にも日本列島の屋根たる中部地方は其の代表的地區たるが上に、我が二大文化地帯の中間に當つてゐるから、其の開發は一驚を喫せしめる程に躍進的であり、我が國の現水電力の約六割は實に此の地方の占むるところである。随つて木曾川や信濃川が輕々に取扱はれないことは云ふまでもなく、最も未來ある黒部川や天龍川に對しても注意を怠つてはならない。

中部地方に次げるは關東地方であつて利根川河系の錚々たるに知られて居り、奥羽地方は更に其の下に居れど、天然の大貯水池たる猪苗代湖(會津盆地を抜く約200米の◆

(1) 發電力累年比較 (以下單位千キロワット)



◆高所に湛へ檜原・小野川・秋元の諸湖に依り水量を調節せられる)を有し、我が水電の發達史上に重きをなしてゐる。

(2) 主要河川の發電力 (千キロワット以下の小發電所を含まず)

木曾川系	198	利根川系	144	信濃川系	124	相模川系	86
淀川系	77	神通川系	72	阿賀川系	68	富士川系	53
矢作川系	38	酒匂川系	35	筑後川系	33	常願寺川系	31

(3) 主要發電所 (數字は出力)

蟹寺(神通川)	45.4	大井(木曾川)	43.2
讀書(木曾川)	40.9	日橋川第一	37.5
八澤(相模川)	35.0	宇治川	32.0
下瀧(鬼怒川)	31.2	中津川(信濃川)	28.6
志津川(宇治川)	28.0	瀬戸(飛驒川)	27.0
日橋川第二	24.0	桃山(木曾川)	23.1
龍島(信濃川)	20.5	樽坪(富士川)	20.0

⑧ 黒部川の柳河原(49)は最近に竣成を告げ、庄川の小牧(72)は工事が大いに進んで居り、蟹寺の榮冠は最早許さなくなつた。

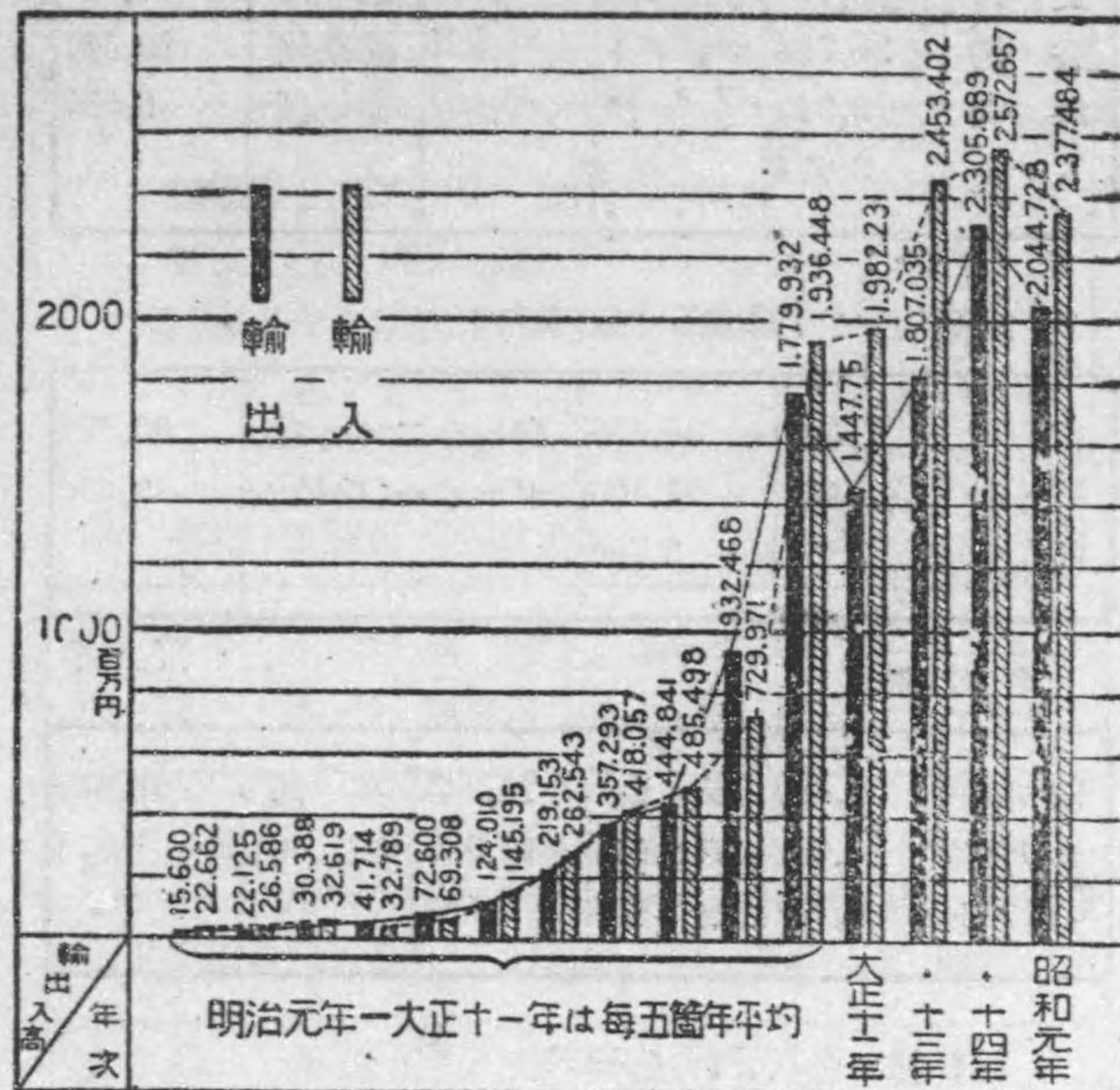
(4) 行政区劃別發電

長野	192	岐阜	141	山梨	123	富山	120
新潟	98	福島	95	群馬	76	栃木	73
京都	72	熊本	64	大分	63	北海道	60
静岡	40	神奈川	31	鹿児島	25	福井	23
石川	23	愛知	20				

(八) 外國貿易

外國貿易の發展は國運の發揚を最もあからさまに物語るものである。輸入超過なるものは必ずしも正貨の流出を意味しないけれども、我が國に於ては其の状態が決して健全なりと言ひ得られない。輸出品の消長は海外に於ける經濟界及び事業界の如何や流行の推移に支配せられるから、我が輸出品中にも此の運命をかこつものが少くない。我が輸出羽二重はもと輸出品中の優位を占め、福井・石川各縣や福島縣或は横濱港に於て大いに持囃されたものであるが、今や新進の勢で擡頭した富士絹・絹紬類の下風(圖34参照)に立つの餘儀なきに至らんとし、麥稈眞田はマニラ麻眞田に凌駕せられ、又東洋に於て獨歩の觀ありし燐寸はスエーデン燐寸との妥協によつて、僅に類運を免れんとして居る。花筵に至つては重要輸出品中から削除されてしまつた。しかし又精巧綿布・精糖・薄荷腦・蟹罐詰・護謨タイヤ等の如き富士絹やマニラ麻眞田などと共に新進の氣鋭を誇るものも少くない。要するに近來技術的工場精製品を輸出するの傾向が大いに著しくなつたことは我が國が工業立國上一步を進めたるを立證する。

(1) 輸出入額累年比較



(2) 重要輸出品

- 1, 生絲 ⑦731,653 ④12
- 2, 綿織物 ④416,244

綿 織 子	66,454	生 金 巾	65,593
生 シ ー チ ン グ	52,383	綾 金 巾・ジ ー ン ス	45,050
綾 木 綿	35,961	綿 木 綿	21,560
綿 フ ラ ン ネ ル	18,608	更 紗	18,408
晒 金 巾	16,610	天 竺 布	15,654
綿 縮	11,544	白 木 綿	11,035
色 金 巾	10,035		

輸 出

(シーチングは粗布・ジーンズは細殺)

支那	184,068	英印	70,335	蘭印	44,509
香港	24,713	エジプト	18,221	關東州	16,033
海峽	12,342	フィリピン	8,604	濠洲	6,827
トルコ	3,654				

3, 絹織物 @133,065 @34参照

富士絹	38,170	羽二重	36,671
壁織・縮緬	27,466	ボンジー(絹紬)	19,416
織子	8,750		

輸出先

濠洲	30,433	米國	26,245	英國	16,949
カナダ	14,043	英印	11,982	南阿	5,871
エジプト	4,791	支那	2,169		

4, 綿絲絲 @70,715 (總617)

英印	23,086	支那	25,705	香港	8,091	蘭印	2,973
----	--------	----	--------	----	-------	----	-------

5, 水産物 @36,644

(イ) 蟹籠詰 @12,517

米國 7,948 英國 3,376

(ロ) 鰯 @7,029

支那	2,601	香港	2,424	海峽	1,142
----	-------	----	-------	----	-------

(ハ) 昆布・刻昆布 @4,276

支那 3,441 關東州 716

(ニ) 貝柱 @2,164

支那 1,365 香港 333

6, 糖精 @34,032

支那	30,314	關東州	2,927	露亞	775
----	--------	-----	-------	----	-----

7, 陶磁器 @33,182 @12

8, 石炭 @31,032 @21

9, 綿メリヤス肌衣 @23,076 @19

(附) 綿メリヤス製品は此の外足袋(2,323)手袋(505)が輸出せられる。

10, 木材・木製品 @21,746

支那	5,021	英印	3,887	海峽	3,162
米國	1,796	關東州	1,549		

11, 小麥粉 @19,750 (總1,693)

支那	10,684	關東州	7,424	蘭印	622	海峽	621
----	--------	-----	-------	----	-----	----	-----

12, 紙 @18,992 (洋紙を主とす)

支那	10,955	關東州	3,663	露亞	730	香港	681
----	--------	-----	-------	----	-----	----	-----

13, 屑絲 @14,648

米國	7,439	フランス	4,700	イタリヤ	2,015
----	-------	------	-------	------	-------

14, 硝子 @14,303 @14

15, 綠茶 @11,914 @9

16, 帽子 @11,453 (工業参照)

17, 製帽用眞田 @10,329 @17 (工業参照)

18, 薄荷腦 @10,049 @23 (工業参照)

19, 燐寸 @8,541 @14

20, 豌豆 @8,294

英國 8,097

21, フラッシュ @7,230 (工業参照)

22, 銅・真鍮・黄銅 @7,049

支那	3,071	英印	2,390	關東州	972
----	-------	----	-------	-----	-----

23, 樟腦 @5,742 (工業参照)

24, セメント @4,942 @21

25, 絹手巾 @4,809

米國	1,810	カナダ	632	アルゼンチン	490
----	-------	-----	-----	--------	-----

26, ゴムタイヤ @4,736 @15参照

27, 玩具 @4,545 (工業参照)

28, 魚油・鯨油 @4,485

29, 寒天 @3,742 (工業参照)

30, 除蟲菊 @3,508

31, 樺茸 @3,156

香港	1,053	支那	881	米國	403	海峽	376
----	-------	----	-----	----	-----	----	-----

32, 蜜柑 @3,084 @14

(3) 重要輸入品

1, 綿綿 @725,275 (總11,605)

	20,000	40,000	60,000	80,000
英印	[Bar chart showing values for UK/India]			
米國	[Bar chart showing values for USA]			
支那	[Bar chart showing values for China]			
エジプト	[Bar chart showing values for Egypt]			
其の他	[Bar chart showing values for others]			

2, 機械類 @134,059

(發動機・電動機 10,690 自動車部分品 10,397 電信機・電話機 9,811 紡績機 8,166 自動車 5,324)

3, 鐵 @127,343

(板 40,647 條・竿・テ・アングル型 22,141 銑 17,598 葉 12,359)

米國	31,429	ドイツ	32,658	英國	30,569
英印	9,822	關東州	7,543	ベルギー	6,928

4, 豆粕 @109,777 (總21,111)

關東州 74,806 支那 33,610 露亞 1,003

5, 木材 @104,021

(パイン・ファー・シダー 95,816 ドロノキ・ハコヤナギ 2,293 チーク 1,749 桐 1,524)

米國	84,360	露亞	9,545	カナダ	4,121
シヤム	1,249				

6, 小麥 @93,346 (總11,717)

濠洲 35,102 カナダ 32,833 米國 25,293

7, 羊毛 @86,023

濠洲	74,150	英國	9,824	アルゼンチン	776
ニューズランド	525				

8, 砂糖 @83,670

蘭印 69,314 キュバ 10,551 フィリピン 3,036

9, 石油 @54,471

(原油 19,235 揮發油 18,233 石油 11,922)

米國	28,862	蘭印	19,033	英印	970
----	--------	----	--------	----	-----

10, 米・粳 @50,694 (●5,759) ●31

11, 大豆 @49,028 (●7,021) ●23

12, 硫酸アンモニヤ @44,962 ●21

13, 生護膜 @40,010 ●15

14, 毛織絲 @32,350

ドイツ	14,401	フランス	6,700	英國	5,657
ポーランド	2,280	オーストリア	2,265		

15, 毛織物・毛交織物 @29,219

英國 25,976 ドイツ 2,017 フランス 686

16, 洋紙 ●24

17, 製紙用パルプ @11,017

カナダ	4,945	スウェーデン	2,477	ノルウェー	1,170
ドイツ	1,033				

18, 石炭 @27,562 (佛噸2,013) ●21

19, 大麻・黄麻・マニラ麻 @19,203

フィリピン	14,076	英印	2,579	支那	2,147
-------	--------	----	-------	----	-------

● 亞麻・苧麻・ラミー @5,727

支那 5,623

20, 亞鉛 @15,616

カナダ 5,708 濠洲 4,514 米國 3,326

21, 菜子・芥子 @15,134

支那 15,128

● 棉子 @3,963 (支那)

22, 靛^{フスマ} @13,382

支那 11,154 關東州 2,132

23, 牛皮・水牛皮 @12,558

支那	6,842	米國	4,223	アルゼンチン	136
----	-------	----	-------	--------	-----

24, 鳥卵 @11,318 ●286 (牧畜参照)

25, 錫 @10,889

海峽	4,133	支那	3,833	蘭印	1,638
----	-------	----	-------	----	-------

26, 銅 @10,816 (●276)

米國 10,404

27, 礬石 @9,149

米國 2,596 エジプト 2,398

28, 硝酸曹達(粗製) @8,711 (チリ)

29, 硝子 @8,856 ●14

30, 牛肉(生) @8,359

支那	6,786	關東州	695	カナダ	539
----	-------	-----	-----	-----	-----

31, 葉煙草 @8,031

米國	6,354	支那	707	米國	446
----	-------	----	-----	----	-----

32, 菜子粕 @7,360

支那 3,353 英印 3,010

33, 鐵鑛 @7,161

支那 4,002 海峽 3,187

34, レール @7,094

ドイツ 3,043 米國 1,931

35, アニリン染料 @6,497

ドイツ 4,989 スイス 701

36, 牛脂 @6,324

濠洲 5,776 支那 494

37, 苛性曹達 @5,380

英國 2,876 米國 2,476

38, 棉子粕 @5,220

支那 4,947

39, 食鹽 @3,661

關東州1,401 支那 712

40, コンテンスドミルク ④3,642

米國 2,308 濠洲 1,124 英國 129

(4) 港別貿易額 (×夷を含む)

港名	輸出	輸入	港名	輸出	輸入
神戸	680,682	1,052,418	横濱	760,360	639,640
大阪	418,249	280,991	名古屋	51,842	81,478
門司	35,653	94,695	四日市	6,575	60,191
若松	16,778	26,756	長崎	13,218	22,548
清水	14,399	20,986	小樽	15,417	7,341
三池	12,136	4,529	武豊	—	14,247
函館	8,545	4,707	鹿兒島	74	10,496
敦賀	1,452	6,550	×新潟	51	7,545
伏木	132	7,235	青森	151	7,094
那覇	123	5,034	博多	86	4,606
徳山	134	4,360	三角	16	3,855
*絲崎	135	3,496	唐津	2,068	723
下關	2,112	675	釧路	2,350	11

④ * 絲崎港は尾道と共に尾道絲崎開港場となり(昭和二年十二月)、これと同時に萩港(山口縣)が開放せられ、對馬の佐須奈・鹿見が閉鎖せられた。釧路以下の開港は前記の外、下記の諸港である。

七尾・夷・宮津・濱田・境・今治・三角・住江・口津・巖原

(5) 國別貿易 ④

國名	輸出	輸入	國名	輸出	輸入
米國	860,881	680,186	(ハワイ)	6,700	141
支那	421,861	239,410	英印	155,952	391,136
關東州	99,607	157,134	英國	59,494	170,275
濠洲	51,611	128,396	蘭印	74,754	103,077
ドイツ	8,131	145,221	カナダ	24,754	63,929

海峽	41,497	39,872	フランス	42,412	24,545
エジプト	23,098	31,950	香港	52,973	1,426
フィリピン	27,821	18,714	佛印	6,207	24,520
露亞	5,300	23,884	シヤム	9,271	14,358
スイス	496	21,819	ベルギー	1,169	14,241
スエーデン	468	13,947	イタリヤ	5,252	6,747
南阿	10,741	917	キューバ	712	10,646
チリ	1,926	8,690	アルゼンチン	6,334	2,496
オランダ	2,496	4,726	ノルウエー	29	5,263
ポーランド	2,502	2,285	トルコ	4,235	483
オーストリア	353	3,286	ニューゼーランド	2,946	690
ペルー	1,926	174	イスパニヤ	950	1,049
ブラジル	1,597	152	メキシコ	1,146	140
デンマーク	608	441			

④ チェッコ・歐露・ポルトガルとも取引はある。

(九) 交通

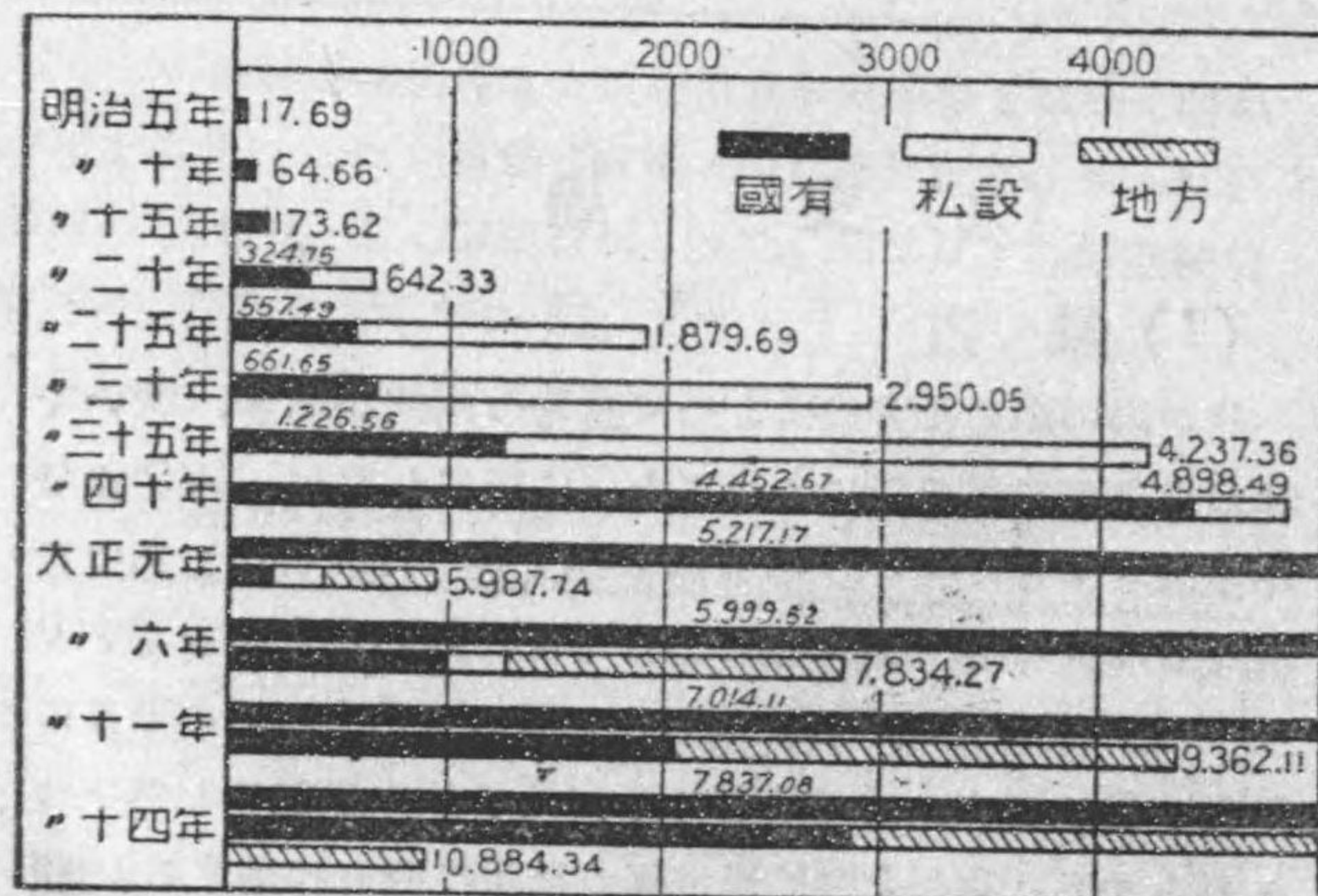
(1) 鐵道

我が國の鐵道は官設によつて發達の端緒を開き、次いで私設鐵道敷設の奨励によつて大いに延長したが、再び官營を主眼とするに至り、私設鐵道の大部分は官營のために買収せられ、鐵道の統一的經營はこゝに一步を進めることとなつた。爾來官線の延長を圖ると同時に地方鐵道の助長にも力を用ひ來り、今や官營の手は此の地方鐵道にも伸びつゝあるから、我が有機的鐵道網の擴張は刮目に値する。随つて鐵道の異動は底止をする處を知らないが其の主なるものに一瞥を與へて見よう

宮崎縣は鐵道鹿兒島線(今の肥薩線)數哩を以て其の西北隅を掠められるに當り、久しく縣下に於ける鐵道の有無を諧争するを甘んぜななかつたが、今や鐵道百數十哩の恩恵に浴して居り、三太郎峠の難所を以て辟易せられた華北の海岸地方は鐵道鹿兒島線の鞍替するところとなり、薩摩の表玄関となつた。之がために矢嶽のループが稍々光を薄めたのは己むを得ないが、肥薩・鹿兒島の二線か西陲雄藩の大保障たりし夫の天險を全然征服してしまつたことは痛快と言つて良からう。

交通文化の恩恵から遠ざかつて對內的にさへ海上交通を以て誇りとせなければならなかつた四國地方は、豫讃線が松山まで延長したのを始めとし、大步危・小歩危の突破も目睫の間に迫つて居り、縦横無碍に馳走する自動車の發達と相俟つて其の交通系統は大いに變改せられてゐる。山陰・羽越各線や小濱・宮津各線などの開通は裏日本に活氣を加へたことが一通りでない。北海道北見地方に於ける鐵道の

鐵道延長累年比較



發達(天橋線全通して幹線となつた)は外南部や飛騨高原・紀伊半島などの美望するところであらうが、是等地方の交

通も今や日に月に面目を改めつゝあるのである。

六大都會及び其の近郊は軌道が蛛巢をなし、加ふるに自動車の活躍を以てしてさへ尙交通の行詰りが訴へられるので、東京上野・淺草間には地下鐵道(1哩30鑽)を見るに至つた。これ東洋創始のものであつて、沖積層の地盤に於ても其の沈設の可能なることを立證したから、此の種の鐵道も將來發達するであらう。

(2) 國有線隧道 (延長 呎)

中央線笹子	15,275	大湯線水分	6,102
篠井線冠着	8,714	函館線稻穂	5,828
中央線小佛	8,350	中央線鳥居	5,488
熱海線泉越	8,060	常磐線金山	5,430
東海道線新逢坂山	7,629	中央線善知鳥	5,422
肥薩線矢嶽	6,877	奥羽線第二板谷	5,343
篠井線第二白坂	6,837	日豊線徳浦	5,253
磐越西線平瀬	6,581	山口線向井	5,102
山陰線桃観	6,535	日豊線青井岳	5,012
高知線斗賀野	6,406	(目下工事中のもの)	
山口線田代	6,224	上越線清水	31,832
東海道線東山	6,118	熱海線丹那	25,614
山陰線蘆谷	6,099		

附 生駒山の軌道隧道は11,088

(3) 國有線の鐵橋 (延長 呎)

羽越線阿賀川	4,077	東北線荒川	3,033
東海道線天龍川	3,967	關西線木曾川	2,834
同 上大井川	3,341	羽越線第二最上川	2,701
關西線揖斐川	3,255	日豊線小丸川	2,643
常磐線利根川	3,105	東海道線下淀川	2,536

附 植民地に於ては下淡水溪鐵橋(5,036)鴨綠江鐵橋(3,098)の如きがあり、鐵道以外に在つては亦長橋・名橋が少く

ないが、最新の技術意匠の凝らされた点では東洋随一の釣橋と稱せられる清洲橋を始め、隅田川筋(將來十大橋を架する計畫で、長さは500尺程度)の五新橋(言問・駒形・藏前・清洲・永代)お茶水堀割の聖橋などを推し、世界水都の大坂たるもの亦決して之れを座視する謂れなく、既設のものに淀川大橋(2,580)、架替工事に着手せんとするものに天神・天満・淀川新・大江などの諸橋がある。我が國橋梁美の壯觀は不日隅田・淀二川に於て發揮せられるであらう。

(4) 軌道 (延長哩・鎖)

電氣軌道 1,059.64 汽動車軌道 332.10
馬車軌道 140.69 人車軌道 45.66

附 登山ケーブルカー (鋼索鐵道)

地名	延長(軒)	上下海拔差(米)	地名	延長(軒)	上下海拔差(米)
早雲山(箱根)	1.2	214	高尾山(東京)	1.0	363
筑波山	1.7	541	比叡山(滋賀)	2.0	485
比叡山(京都)	1.5	557	男山	0.5	80
成相山	0.38	121	生駒山(奈良)	1.1	155
信貴山(奈良)	1.8	227	朝熊山	1.1	412
妙見山(大阪)	1.4	134	摩耶山(兵庫)	1.0	343

登山電車は箱根湯本・強羅間 5.6哩に於て創設せられたに過ぎないが、鋼索鐵道は將來更に各地の名山を征服するであらう。

(5) 汽船總噸數 (累年比較)

	1000	2000	3000
明治三十九年	1,041		
・四十四年	1,387		
大正五年	1,718		
・十年			3,207
・十四年			3,547

我が國は商船隊噸數に就きフランスと相伯仲して世界第三位を占め、日本郵船・大阪商船の如き世界有數大海運會社

を有すれど、船質船型に就いては、近來英米は勿論ドイツ・ノルウェー・イタリアなどが炭燃船を棄て、炭油混燃船から重油専燃巨船へと邁進しつつある趨勢上、甚しき遜色ありと言はねばならぬ。

(6) 自動車 35,802臺(乗用35,802 荷積用10,832)

鐵道の影響で輕視され勝ちであつた道路は、現代的交通機關として重寶視せられる自動車の發展に因り、大いに注目せられるやうになつた。随つて其の發達も極めて迅速であつて、京濱・阪神各國道の如き鐵道を威壓するものさへ現はれて來た。鐵道網と共にドライブウェイ網の研究が忽にせられないことは勿論である。

東京 9,686	大阪 3,291	奈神川 1,845	京都 1,524
愛知 1,375	兵庫 1,283	静岡 1,134	福岡 887
長野 886	埼玉 761	岡山 668	新潟 657
千葉 647	群馬 593	大分 583	廣島 560
山口 553	茨城 499	栃木 456	三重 452

(7) 無線電信

最近數年間に非常な發達をなし、曾て好奇の眼で見られた船橋や銚子の無線電信局は第二流の地位に下り、又關東大地震の急報を以て名聲を博せし磐城局でさへ、其の富岡受信所は川越附近(福岡)に新設せられたものに奪はれ、原町發信所は大いに改造せられて之と共に東京無線電信局と改稱せられることとなつた。今又まさに竣成を告ぐべき四日市近郊(海蔵)の受信所及び名古屋近郊(依佐見)の發信所は東京無線電信局と共に、世界的大無線電信局であつてヨーロッパのナウエシ(ドイツ)・ボルドー(フランス)・ラクビー(英國)などや米國のサンフランシスコ局等と直接に通信することが出来る。其の他大阪無線電信局があり、對植民地専門局(岩槻受信、檢見川送信)もあり、不日對印度局や對濠洲局も現はれるであらう。以下の主なる陸上無線電

信局の所在地を次に列挙する。

銚子・潮岬・下津井・角島・大瀬崎・鹿兒島・那覇・落石・幌筵

(8) 航空機

我が國に於て飛行機は近時軍用として大いに發展したれども、一般的實用としては東京—大阪(245軒)、東京—仙臺(320)、大阪—福岡(490)、堺—今治—大分(405)の定期郵便飛行を見るのみで、大阪—大連(1,600)、大阪—上海(1,700)は實現の準備中に屬し、貨客輸送に至つては只計畫を聞くに過ぎない。民間飛行機数は86機。

(9) 主要燈臺 (等級、光達哩)

關東地方

觀音崎—IV、20	洲崎—IV、18.5	犬吠崎—I、19.5
劍崎—II、17.5	野島崎—II、17	大島—IV、27

奥羽地方

鹽屋崎—I、23.5	鮭崎—II、20.5	大間崎—IV、17
金華山—II、20	尻矢崎—18.5	入道崎—I、20

中部地方

ミコモト 神子元島—I、19.5	ハジキ 彈崎—IV、22.5	祿剛崎—II、19
石廊崎—VI、20	姫崎—V、18	猿山岬—II、35
御前崎—I、19.5	七尾灣(松ヶ崎)—19	立石崎—IV、24

近畿地方

鳥羽—20	市江崎—IV、25	江崎—III、19
神島—III、27	日御崎—II、23.5	經岬—I、30
菅島—IV、20	友島—III、20.5	
潮岬—II、19.5	和田岬—IV、13	

中國・四國地方

地藏崎—I、23.5	大濱—IV、17	蒲生田崎—18.5
日岬—I、21.5	高井神島—V、29	室戸崎—I、30.5
角島—I、18.5	百貫島—V、22.5	足摺崎—IV、20.5
蓋井島—IV、25.5	六島—V、21	佐田岬—III、19
屋島—V、20	鍋島—IV、15	
釣島—III、20.5	大角鼻—IV、20.5	

九州地方

部崎—III、17.5	湯島—V、17.5	神崎—IV、21
姫島—IV、20	口之津—VI、17.5	耶良崎—18.5
關崎—22	伊王島—IV、21	沖島—I、37.5
水子島—I、20	大立島—VI、23.5	大島(玄界)—V、19.5
鞍崎—I、24	大瀬崎—I、23.5	屋久島—I、22
佐多岬—I、21	古志岐島—IV、21.5	曾津高崎—III、29
坊岬—III、23.5	二神島—IV、25	伊江島—I、19.5
釣掛崎—I、29.5	鳥帽子島—II、20	
戸島—VI、19	若宮—IV、24	

(十) 教育

都邑(近郊を含む)と教育機關

東は東京、日は日本、私は私立、女は女子、齒は齒科、藥は藥學、帝大は帝國大學、高師は高等師範學校、高蠶絲は高等蠶絲學校、高校は高等學校、一高は第一高等學校、高工は高等工業學校、外語校は外國語學校、醫專は醫學專門學校の略、其の他は類推せられよう

關東地方

【東京】—東帝大(本郷富士) 東商大(神田一ツ橋通) 東高

師(小石川大塚窪) 東女高師(本郷湯島) 東高蠶絲(市外瀧野川) 一高(本郷向ヶ岡彌生) 東高校(市外中野) 東高工(市外碑倉) 東高工藝(芝新芝) 東高商船(深川越中島) 東外語校(麴町竹平) 東美術(下谷上野公園) 東音樂(同上) 帝國圖書館(同上) 慶應義塾大(芝三田) 早稻田大(市外戸塚) 明治大(神田駿河臺) 法政大(麴町富士見) 中央大(神田錦) 日大(神田三崎) 國學院大(市外澁谷) 東慈惠會醫大(芝愛宕) 東洋協會大(小石川茗荷谷) 立教大(市外西巢鴨) 專修大(神田今川小路) 日醫專(本郷千駄木) 東醫專(市外大久保) 東女醫專(牛込市ヶ谷河田) 東齒醫專(神田三崎) 日齒醫專(麴町富士見) 東藥專(下谷櫻木) 明華女齒醫專(本郷元) 東女齒醫專(市外大井) 東農大(市外澁谷) 東洋大(小石川原) 明治學院高學部(芝白金今里) 青山學院高學部(市外澁谷) 私東學院(牛込市谷左内坂) 上智大(麴町紀尾井) 日女大(小石川高田豊川) 東女大(市外井荻) 女英學塾(麴町五番) 帝女專(小石川大塚) 聖公會神學院(市外西巢鴨) 明治學院神學部(市外澁橋) 神學社神校(麴町飯田) 聖心女學院高專(芝白金三光) 天台宗大(本郷駒込林) 日蓮宗大(市外大崎) 駒澤大(市外駒澤) 宗教大(市外西巢鴨) 豊山大(小石川大塚坂下) 東物理校(牛込神樂) 東女專(本郷東竹) 大東文化學院(麴町富士見) 明治藥專(市外代々幡) 立正大(市外池上) 成蹊實業專(市外武藏野) 武藏野高校(市外中新井) 大倉高商(赤坂葵) 高千穂高商(市外和田堀内) 共立女職校專(神田一橋通) 實踐女校專(市外澁谷) 小西寫真專(市外代々幡) 陸軍大(赤坂青山北) 陸軍士官(牛込市ヶ谷本村) 海軍大(京橋築地) 學習院(市外高田) 東帝室博物館(上野公園) 【澁濱】—橫高商 橫高工 【千葉】—千葉大 【松戸】—高園藝 【浦和】—浦高校 【桐生】—桐高工 【宇都宮】—宇高 農林 【水戸】—水高校(市外常磐)

奥羽・中部地方

【福島】—福高商(市外清水) 【仙臺】—東北帝大 二高 高

工 東北學院專門部 【盛岡】—盛高農林 【弘前】—弘高校 【秋田】—秋嶺山專 【山形】—山高校(市外小白川) 【米澤】—米高工 【靜岡】—靜高校(市外安東) 【濱松】—濱高工 【名古屋】—愛知醫大 名高商 八高 名高工 眞宗專門 【岐阜】—岐高農林(市外那加) 【上田】—上蠶絲專 【松本】—松高校 【甲府】—山梨高工 【新潟】—新醫大 新高校 【長岡】—長高工 【高岡】—高高商 【富山】—富藥專(市外奥田) 富高校 【金澤】—金醫大 四高 金高工(市外崎浦) 【福井】—福高工(市外西藤島)

近畿地方

【彦根】—彦高商 【京都】—京帝大 府立醫大 同志社大 龍谷大 大谷大 立命館大 京高蠶業 三高 京高工藝 市立繪畫專 臨濟宗大(市外花園) 佛教專 眞言宗京大 同志社女校專門部 大日本武德會武道專 新義眞言宗智山派私大智山觀學院 京藥專 京女高等專 西山專(市外乙訓) 【中舞鶴】—海軍機關 【大阪】—大醫大(北區) 關西大(北區) 大高校(天王寺) 大高工(北區) 大外語校(天王寺) 大高商(天王寺) 大齒醫專(市外生野) 大藥專(南區) 大府女專(住吉) 梅花女專(市外豊崎) 【神戸】—神高商 神高工 神高商船(市外本庄) 關西學院(市外西灘) 甲南高校(市外本山) 神女學院高等科 【姫路】—姫高校(市外安室) 【奈良】—奈女高師 奈帝室博物館 【津】—三重高農林 眞宗勸學院高等科(市外一身田) 【和歌山】—和高商 【高野】—眞言宗高野山大

中國・四國・九州・北海道地方

【岡山】—岡醫大 六高 【廣島】—廣高師 廣高校 廣高工 【江田島】—海軍兵 【山口】—山高商 山高校 【松江】—松高校(市外川津) 【鳥取】—鳥高農 【徳島】—徳高工 【高松】—高高商 【松山】—松高校 【高知】—高高校 【福岡】—九州帝大(市外箱崎) 福高校 縣立女專 九州齒醫專 西南學院高等學部 【戸畑】—明治專 【佐賀】—佐高

校(市外本庄)【長崎】—長醫大 長高商 活水女專 【熊本】
 —熊醫大 五高 熊高工 熊藥專 【大分】—大高商 【宮崎】
 —宮高農林 【鹿兒島】—高農林 七高造士館 【札幌】—北
 海道帝大 【小樽】—小高商

(十一) 軍 備

陸軍は常備軍十七箇師團(朝鮮を含む)を有し、内二箇師團は交代して滿洲の守備に當り、其の外臺灣に守備隊を置いてあり、支那の天津・北京に駐屯軍を派遣してある。

海軍は全國の海岸及び海面を分ちて三海軍區とし、各海軍區に軍港を置き、各軍港の鎮守府が之を管してゐる。尙關東州の海岸・海面を關東州海軍區とし、佐世保鎮守府をして之を管せしめ、委任統治南洋諸島の海岸・海面を南洋海軍區とし、横須賀鎮守府をして之を管せしめる。我が海軍の國防計畫は大正十二年二月調印のワシントン會議海軍軍備制限條約に準じて改訂され、該條約實施後十ヶ年以内に保有される我が主力艦は10隻、301,320噸である

(1) 都邑と陸軍配備 (聯隊以下は省く)

⑩は近衛の略、I、II等は師團、1,2等は聯隊の番號、野重は野戰重砲兵、野砲は野砲兵の略

【東京】—⑩歩1.2(麹町代官) 歩3(赤坂一ツ木) 歩4(赤坂青山北) 騎(牛込戸山) 野重8(市外駒澤) 電信1(市外中野) 飛行5(市外立川) I 歩1(赤坂檜町) 歩3(麻布新龍土) 騎1(市外世田谷) 野砲1(市外駒澤) 【津田沼】—⑩騎13.14 ⑩鐵道2 I 騎15.16 【市川】—I 野重1.7 【習志野】—⑩野重4 【千葉】—⑩鐵道1(都賀) 佐倉—I 歩57 【甲府】—I 歩49(相川) 【横須賀】重砲 【宇都宮】—XVI(留守部) 歩59(國本) 騎18(城山) 野砲20(姿川) 【水戸】—歩2(波里) 【高崎】—歩15【松本】—歩50【仙臺】—II 歩4 騎2(原町) 野砲2 【若松】—歩29 【新發田】—歩16 【高田】—歩30 山砲1

【弘前】—VII 歩5(筒井) 歩31(千歳) 騎8(堀越) 野砲8
 【秋田】—歩17 【山形】—歩32【盛岡】—騎23.24(厨川) 【名古屋】—III 歩6 騎3 野砲3 【岐阜】—歩68(北長森) 【豊橋】—歩18 騎25.26. 高射砲1(高師) 【静岡】—歩34 【三島】—野重2.3 【各務原】—飛行1(那加) 飛行2(鶴沼) 【三方原】—飛行7(曳馬) 【金澤】—IX 歩7 騎9 山砲9 【富山】—歩35 【鯖江】—歩36(立待) 【敦賀】—歩19(栗野) 【京都】—XVI(深草) 歩9 騎20 野砲22 【奈良】—歩38 【津】—歩33(木村) 【福知山】—歩20 【八日市】—飛3(御園) 【大阪】—IV 歩8.37 騎4 野砲4(伯太) 【篠山】—歩70(岡野) 【和歌山】—歩61 【加太】—深山重砲 【姫路】—X(留守部) 歩39 騎10 野砲10 【岡山】—歩10 【鳥取】—歩40(宇倍野) 【松江】—歩63(津田) 【廣島】—V 歩11 騎5 野砲5 電信2 【福山】—歩41 【山口】—歩42 【濱田】—歩21(石見) 【善通寺】—XI 騎11 山砲11 【丸龜】—歩12 【松山】—歩22 【徳島】—歩43(加茂名) 【高知】—44(朝倉) 【熊本】—VI 歩13 騎6 野砲6 【大分】—歩47 【都城】—歩23(五十市) 【鹿兒島】—歩45(伊敷) 【久留米】—XII 歩48 騎12 野砲24 獨立山砲3 第一戰車隊(高良内) 【小倉】—歩14 野重5.6 (企救) 【福岡】—歩24 【大村】—歩46(西大村) 【太刀洗】—飛行4(三輪) 【下關】—下關重砲

(2) 都邑と海軍要地

【横須賀】—第一海軍區鎮守府、軍港 【大湊】—海軍要港
 (第一海軍區は青森縣及び之より太平洋方面の諸府縣を経て三重・和歌山兩縣界に至る間の海岸海面と北海道及び樺太の海岸海面)
 【吳】—第二海軍區鎮守府、軍港 【中舞鶴】—海軍要港
 (第二海軍區は三重・和歌山兩縣境から宮崎・鹿兒島兩縣界に至る太平洋方面、瀬戸内海及び福岡縣遠賀・宗像兩郡界より以東日本海方面の海岸海面)
 【佐世保】—第三海軍區鎮守府、軍港 【鎮海】—海軍要港

【馬公】—海軍要港

(第三海軍區は第二海軍區に屬せるものを除きたる九州・臺灣及び朝鮮の海岸海面)

(3) 要塞と同地帯の要地

東京灣—横須賀・浦賀・三崎・鎌倉・洲崎・金谷 大湊 津輕—函館 舞鶴—舞鶴・新舞鶴・上宮津 由良(一)—和歌山・和歌浦・由良・洲本 由良(二)—撫養・鳴門・福良 吳—吳・江田 島・嚴島 下關—下關・長府・門司・八幡・若松・黑崎 豐後—佐賀關・三崎 佐世保 長崎—長崎・高島 對馬 壱岐 奄美大島 父島

(十二) 神社

(1) 神社數 (112,706社)

官 幣			別 格	國 幣		
大社	中社	小社	官幣社	大社	中社	小社
55	25	5	24	6	46	26
府縣社	郷社	村社	無格社	地方別		
857	3,501	44,972	63,188	近畿61	中部31	九州29
				關東23	中國22	其他

(2) 都邑(近郊を含む)と神社 (祭神・社格)

關東地方

東京 【明治神宮】—明治天皇・昭憲皇太后、官大 (市外代々幡町代々木) 【日枝神社】 大山咋命、官大(麴町區永田) 【靖國神社】—明治維新前後の殉國者及び以來の戦死者、別官(麴町富士見) 鎌倉 【鎌倉宮】—護良親王、官中 【鶴岡八幡宮】—憲神天皇、國中 香取 【香取神宮】—伊波比主命、官大 神戶 【安房神社】—天太玉命、官大 大宮 【氷川神社】—須佐之男命・大己貴命・稻田姫命、官大 日光 【東照

宮】—源家康、別格 鹿島=【鹿島神宮】—武甕槌神、官大 水戸=【常磐神社】—源光圀・源齊昭、別格

奥羽地方

米澤=【上杉神社】—上杉謙信、別格

中部地方

三島=【三島神社】—玉鏡入彦嚴之事代主神、官大 大宮=【淺間神社】—木花咲耶姫命、官大 名古屋=【熱田神宮】—草薙神劍 上諏訪=【諏訪神社】—健甕名方富命・八坂刀賣命、官大(中洲) 下諏訪=【同上】金澤=【尾山神社】—前田利家、別格 敦賀=【氣比神宮】—伊奢沙別命・日本武命・帶中津彦命・息長帶姫命・譽田別命・豊姫命・武内宿禰命、官大 【金崎宮】—尊良親王・恒良親王、官中 福井=【藤島神社】—源義貞、別格

近畿地方

京都=【賀茂別雷神社】—別雷神、官大 【賀茂御祖神社】—玉依姫命・賀茂健角身命、官大 【石清水八幡宮】—品陀別命・息長帶姫命・比賣命、官大(八幡) 【稻荷神社】—倉稻魂神・猿田彦命・大宮女命、官大(深草) 【平安神宮】—桓武天皇、官大 【八坂神社】—素盞鳴命・稻田比賣命・八柱御子神、官大 【北野神社】—菅原道真、官中 【護王神社】—和氣清麻呂・和氣廣蟲、別格 【建勳神社】—平信長、別格 【豊國神社】—豊臣秀吉、別格 【梨木神社】—藤原實萬・三條實美、別格

奈良=(奈良盆地を含む) 【春日神社】—健甕賀豆智命・伊波比主命・天之子八根命・比賣神、官大 【大神神社】—倭大物主櫛瓊玉命、官大(三輪) 【石上神宮】—布都御魂劍、官大(丹波市) 【橿原神宮】—神武天皇・媛蹈鞰五十鈴媛皇后、(畝傍) 【談山神社】—藤原鎌足、別格(多武峯) 大阪=(大阪平野を含む)=【住吉神社】—表筒男命・中筒男命・底筒男命・息長帶姫命、官大 【生國魂神社】—生島神・足島神、官大 【阿部野神社】—北畠親房・北畠顯家、別格 【枚岡神社】—天兒屋根命・比賣神・武甕槌命・齋主命、官大(枚岡) 神戶=【生

田神社]—稚日女神、官中 【湊川神社】—楠木正成、別格
 宇治山田=[神宮]=内宮—天照皇大神(宇治) 外宮—豊受
 大神(山田) 津=[結城神社]—結城宗廣、別格 新宮=
 【熊野速玉神社】—熊野速玉神、官大(熊野坐神社—家都御
 子神、官大(本宮)及び熊野那智神社—家津御子神・熊野速
 玉神・熊野夫須美神、官中(那智)と共に熊野三社と稱せら
 れる)

中國地方

山口=[豊榮神社]—大江元就、別格 【野田神社】—毛利敬
 親、別格 下關=[赤間宮]—安徳天皇、官中 大社=[出雲
 大社]—大國主命、官大

四國地方

琴平=[金刀比羅宮]—大物主命・崇徳天皇、國中

九州地方

福岡=[香椎宮]—仲哀天皇・神功皇后、官大(香椎) 【宮崎
 宮]—應神天皇、官大(箱崎) 太宰府=[太宰府神社]—菅原
 道眞、官中 八代=[八代宮]—懷良親王、官中 隈府=[菊
 池神社]—菊池武時・同武重・同武光、別格 宇佐=[宇佐神
 宮]—譽田別尊・比賣神・大帯姫命、官大 宮崎=[宮崎神宮]
 —神日本磐余彥尊、官大 鶴戸=[鶴戸神宮]—彥波瀲武鸕
 鷲草葺不合尊、官大 鹿兒島=[照國神社]—源齊彬、別格
 國分=[鹿兒島神宮]—天津日高彥德々出見命、官大

北海道地方

札幌=[札幌神社]—大國魂神・大己貴神・少彥名神、官大

(3) 山又は勝地と官國幣社

唐澤山=[唐澤山神社]—藤原秀郷、別格 大洗岬=[大洗磯
 前神社]—大己貴命、國中(磯濱) 靈山=[靈山神社]—源親
 房・顯家・顯信・守親、別格 鹽竈=[鹽竈神社]—鹽竈神、
 國中 岩木山=[岩木山神社]—宇都志國玉命・多都比毘賣
 命・宇賀能賣命、國小 鳥海山=[大物忌神社]—大物忌神、
 國中 月山=[月山神社]—月讀命、官大 湯殿山=[湯殿山
 神社]—大山祇命、國小 羽黒山=[出羽神社]—伊弉波神、

國小 久能山=[東照宮]—源家康、別格 本宮山=[砥鹿神
 社]—大己貴命、國小(愛知縣—宮) 戸隠山=[戸隠神社]
 天手力雄命、國小 彌彦山=[彌彦神社]—天香山命、國
 中 白山=[白山比咩神社]—菊理媛神・伊弉諾尊・伊弉册尊、
 國中 比叡山=[日吉神社]—大山咋神、官大(滋賀縣坂本)
 吉野山=[吉野神宮]—後醍醐天皇、官大 嚴島=[嚴島神
 社]—市杵島姫命、官中 船上山=[名和神社]—名和長年、
 別格 英彦山=[英彦山神社]—忍骨命、官中 阿蘇山=[阿
 蘇神社]—健甕龍命、官大 霧島山=[霧島神宮]—天徳石國
 饒石天津日高彥火瓊々杵尊、官大 開闔岳=[枚聞神社]—
 枚聞神、國中

◎ 府縣社以下であつては御岳山の御岳神社(東京府)、大
 山の雨降神社、箱根山の箱根神社、榛名山の榛名神社、筑
 波山の筑波神社、秋葉山の秋葉神社、御岳 御岳神社、立山
 の雄山神社、大峯山の金峯神社、石鎚山の石鎚神社等の有
 名なるものが少くない。

(十三) 宗 教

(1) 寺 院 71,317

【真宗】	19,677	=滋賀 1,609	大阪 1,316	新潟 1,315
	富山	1,149	岐阜 1,030	
【曹洞宗】	14,209	=静岡 1,351	愛知 1,013	山形 771
	新潟	727		
【真言宗】	12,158	=千葉 1,271	埼玉 1,069	兵庫 648
【浄土宗】	8,340	=京都 892	愛知 757	大阪 555
【臨濟宗】	5,977	=静岡 618	岐阜 566	京都 521
【日蓮宗】	5,023	=千葉 890	山梨 439	静岡 407
【天台宗】	4,513	=滋賀 473	千葉 445	

【時宗】	488=奈良	202	大阪	154		
【黄檗宗】	523=滋賀	51	福岡	51	大阪	49

⑧ 法相宗の寺院(41)は真言宗に、華嚴宗の(27)は浄土宗に、融通念佛宗の(357)は時宗に合算してある。

(2) 神道祠宇・教會・説教所 10,237

天理教 5,868	金光教 769	御嶽教 657	神道 615
黒住教 465	修成派 397	扶桑教 331	神習教 302
大成教 220	神理教 217	大社教 182	實行教 176
禊教 38			

(3) 基督教の教會堂・講義所等 1,505

東京 152 北海道 89 長崎 86 兵庫 78

(4) 都邑(近郊を含む)と寺院

東京=【増上寺】—芝公園、浄土 【淺草寺】—淺草公園、天台 【泉岳寺】—芝、曹洞 【護國寺】—小石川、真言 本門寺—市外池上、日蓮 横濱=【總持寺】—鶴見、曹洞 川崎=【平間寺】—川崎大帥、真言 鎌倉=【建長寺】—臨濟 【高德院】—大佛 成田=【新勝寺】—成田不動、真言 長野=【善光寺】—大本願は浄土、大勸進は天台、福井=【永平寺】—市東志比谷、曹洞 大津=【園城寺】—三井寺、天台 京都=【知恩院】—浄土 【西本願寺】—真宗 【東本願寺】—真宗、大谷派 【清水寺】—法相 【泉涌寺】—真言 【東寺】—真言 【金閣寺】—臨濟 宇治=【平等院】—天台 【萬福寺】—黄檗 奈良=【東大寺】—華嚴、大佛 【興福寺】—法相 【唐招提寺】—市西都跡、律 【法隆寺】—市西法隆寺、法相 【長谷寺】—市南初瀬、真言 善通寺=【善通寺】—真言 観音寺=【観音寺】—真言

(5) 山又は勝地と寺院

高尾山=【薬王院】—真言 清澄山=【清澄寺】—真言 小湊=【誕生寺】—日蓮 鹿野山=【神野寺】—真言 松島=【瑞巖寺】—臨濟 身延山=【久遠寺】—日蓮 興津=【清見寺】—臨濟 鳳來寺山=【鳳來寺】—真言 比叡山=【延曆寺】—天台 成相山=【成相寺】—真言 生駒山=【寶山寺】—真言 信貴山=【朝護志貴山孫子寺】—毘沙門、真言 高野山=【金剛峯寺】—真言 和歌浦=【紀三井寺】—真言 那智山=【楠陀落寺】—天台 妙見山=【真如寺】—日蓮 摩耶山=【初利天上寺】—真言 大山=【大山寺】—天台 屋島=【屋島寺】—真言 室戸崎=【最御崎寺】—真言

(十四) 畿道國一府縣と國との關係

(I) 畿道國

畿内(五國)	ヤマシロ 山城	ヤマト 大和	カハチ 河内	イジミ 和泉	セツツ 攝津	
東海道(十五國)	イガ 伊賀	イセ 伊勢	シマ 志摩	ヲハリ 尾張	ミカハト 三河	ホタフミ 遠江
	スルガ 駿河	カヒ 甲斐	イツ 伊豆	サガミ 相模	ムサシ 武藏	アハ 安房
	カヅサ 上總	シモフサ 下總	ヒダチ 常陸			
東山道(十三國)	アフミ 近江	ミノ 美濃	ヒダ 飛騨	シナノ 信濃	カウヅク 上野	シモヅク 下野
	イハキ 磐城	イハシロ 岩代	リクセン 陸前	リクチウ 陸中	ムツ 陸奥	ウゼン 羽前
	ウゴ 羽後					
北陸道(七國)	ワカサ 若狭	エチゼン 越前	カガ 加賀	ノト 能登	エツチユク 越中	エチゴ 越後
	サド 佐渡					
山陰道(八國)	ダンバ 丹波	ダンゴ 丹後	タチマ 但馬	イナバ 因幡	ハクキ 伯耆	イツモ 出雲
	イハミ 石見	オキ 隠岐				
山陽道(八國)	ハリマ 播磨	ミマサカ 美作	ビゼン 備前	ビツチユク 備中	ビンゴ 備後	アキ 安藝

	スハウ 周防	ナガト 長門				
南海道(六國)	キイ 紀伊	アハチ 淡路	アハ 阿波	サマキ 讃岐	イヨ 伊豫	トサ 土佐
西海道(十二國)	チクセン 筑前	チクゴ 筑後	ブセン 豊前	ブンゴ 豊後	ヒヤン 肥前	ヒゴ 肥後
	ヒウガ 日向	オホスミ 大隅	サツマ 薩摩	イキ 壹岐	ツシマ 對馬	リウキウ 琉球
北海道(十一國)	テシマ 渡島	シリベシ 後志	イシカリ 石狩	テシホ 天鹽	キダミ 北見	イブリ 膽振
	ヒダカ 日高	トカチ 十勝	クシロ 釧路	ネムロ 根室	チシマ 千島	

(2) 府縣と國との關係

東京府=武藏の一部、伊豆七島・小笠原島
 神奈川縣=武藏の一部、相模の全部
 千葉縣=安房・上總の各全部、下總の大部
 埼玉縣=武藏の一部
 群馬縣=上野の全部
 栃木縣=下野の全部
 茨城縣=下總の一部、常陸の全部
 福島縣=磐城の大部、岩代の全部
 宮城縣=磐城の一部、陸前の大部
 岩手縣=陸中の大部、陸前・陸奥の各一部
 青森縣=陸奥の大部
 秋田縣=羽後の大部、陸中の一部
 山形縣=羽後の一部、羽前の全部
 静岡縣=伊豆の大部、駿河・遠江の各全部
 愛知縣=三河・尾張の各全部
 岐阜縣=美濃・飛騨の各全部
 山梨縣=甲斐の全部 長野縣=信濃の全部
 新潟縣=越後・佐渡の各全部 富山縣=越中の全部
 石川縣=能登・加賀の各全部
 福井縣=越前・若狭の各全部
 滋賀縣=近江の全部

京都府=山城・丹後の各全部、丹波の大部
 大阪府=和泉・河内の各全部、攝津の一部
 兵庫縣=但馬・播磨・淡路の各全部、丹波の一部
 奈良縣=大和の全部 和歌山縣=紀伊の全部
 三重縣=伊賀・伊勢・志摩の各全部
 岡山縣=美作・備前・備中の各全部
 広島縣=備後・安藝の各全部
 山口縣=周防・長門の各全部
 島根縣=出雲・石見・隱岐の各全部
 鳥取縣=因幡・伯耆の各全部 徳島縣=阿波の全部
 香川縣=讃岐の全部 愛媛縣=伊豫の全部
 高知縣=土佐の全部
 福岡縣=筑前・筑後の各全部、豊前の一部
 佐賀縣=肥前の一部
 長崎縣=肥前の一部、壹岐・對馬の各全部
 熊本縣=肥後の全部
 大分縣=豊前の一部、豊後の全部
 宮崎縣=日向の全部
 鹿児島縣=大隅・薩摩の各全部
 沖縄縣=琉球の全部

(十五) 町の人口 (一万以上)

關東地方

【東京府】	三河島 59	淀橋 52	世田谷 38
澁谷 99	大井 59	大崎 49	入新井 37
西巢鴨 99	日暮里 57	尾久 47	杉並 37
瀧野川 82	龜戸 57	目黒 45	大島 35
荏原 72	南千住 55	高田 45	大久保 33
中野 61	品川 53	千駄谷 40	大森 32
王子 61	代々幡 52	巢鴨 40	板橋 31
吾嬬 60	千住 52	寺島 39	戸塚 29

蒲田 26	小松川 24	落合 20	和田堀 12
岩淵 25	駒澤 21	砂 20	井萩 11
野方 24	隅田 21	羽田 17	
【神奈川縣】	平塚 22	茅崎 21	三崎 11
小田原 25	田浦 21	浦賀 19	秦野 11
藤澤 22	鎌倉 21	逗子 12	
【千葉縣】	市川 17	津田沼 12	浦安 10
船橋 19	佐原 17	八街 12	
本銚子 19	野田 16	銚子 12	
【埼玉縣】	浦和 18	秩父 16	飯能 10
熊谷 27	川口 18	深谷 15	
大宮 25	本庄 17	忍 13	
【群馬縣】	館林 17	沼田 12	
伊勢崎 19	富岡 12	澁川 11	
【栃木縣】	鹿沼 21	小山 13	大田原 10
栃木 27	日光 18	田沼 13	
足尾 23	佐野 17	今市 12	
【茨城縣】	古河 16	湊 13	下館 11
日立 24	土浦 15	磯濱 12	松原 10
石岡 16	結城 14	助川 11	

奥羽地方

【福島縣】	白河 22	湯本 13	原町 11
平 23	須賀川 17	喜多方 11	
【宮城縣】	鹽竈 17	氣仙沼 12	
石卷 26	古川 12	白石 11	
【岩手縣】	宮古 16	大槌 10	

釜石 23	水澤 11		
【青森縣】	湊 13	田名部 10	
八戸 21	野邊地 11		
【秋田縣】	横手 16	本莊 12	
能代港 22	大館 14	湯澤 11	
土崎港 17	小坂 13	大曲 10	
【山形縣】	新庄 18	上山 11	
酒田 25	谷地 12	寒河江 11	

中部地方

【静岡縣】	三島 20	伊東 13	川崎 11
大宮 21	小山 19	藤枝 11	掛川 11
島田 21	燒津 17	相良 11	熱海 10
【愛知縣】	龜崎 15	犬山 12	福江 11
瀬戸 31	古知野 14	祖父江 12	木曾川 10
安城 21	蒲郡 14	成岩 12	蟹江 10
半田 18	稻澤 13	高濱 12	刈谷 10
津島 16	起 13	田原 12	
西尾 16	舉母 13	矢作 11	
一色 16	小牧 12	二川 11	
【岐阜縣】	中津 16	關 11	船津 11
高山 17	加納 15	多見治 11	
【山梨縣】	(なし)		
【長野縣】	須坂 19	下諏訪 17	小諸 14
上諏訪 20	飯田 18	伊那 16	丸子 13
【新潟縣】	加茂 19	五泉 13	寺泊 11
三條 23	新津 16	龜田 13	見附 10

新發田 20	柏崎 15	直江津 13	
【富山縣】 新湊 21	氷見 14 魚津 12	伏木 12 滑川 10	
【石川縣】	小松 16	七尾 13	輪島 13
【福井縣】	敦賀 21	武生 19	大野 11

近畿地方

【滋賀縣】	彦根 20	長濱 14	
【京都府】 伏見 31 深草 21	福知山 20 新舞鶴 15 中舞鶴 13	綾部 12 宮津 12 舞鶴 11	
【大阪府】 吹田 17	池田 13 濱寺 13	佐野 13 布施 11	
【兵庫縣】 洲本 25	御影 18 今津 13	飾磨 13 高砂 12	伊丹 11 豊岡 11
【奈良縣】	郡山 16	丹波市 16	高田 13
【三重縣】 松阪 25	桑名 23 上野 18	尾鷲 14 富津原 12	龜山 12
【和歌山縣】 新宮 24	田邊 22 箕島 12	御坊 11 黒江 10	

中國・四國地方

【岡山縣】 玉島 20	津山 18 笠岡 14	琴浦 11 連島 10	
【廣島縣】 三篠 14	音戸 12 三原 12	阿賀 11 府中 11	

【山口縣】 萩 33 山口 28	防府 23 徳山 21 彦島 20	柳井 15 小野田 15 岩國 12	長府 11
【島根縣】	濱田 14		
【鳥取縣】	倉吉 13		
【徳島縣】	小松島 18	撫養 18	加茂名 12
【香川縣】	坂出 18	善通寺 17	觀音寺 15
【愛媛縣】	西條 16	三津濱 14	八幡濱 11
【高知縣】	(なし)		

九州地方

【福岡縣】 飯塚 33 後藤寺 26 堅粕 24	伊田 22 直方 19 三川 19 山田 16	瀬高 15 添田 15 中間 14 企救 14	大川 13 千代 11 姪濱 11 幸袋 10
【佐賀縣】	唐津 17	鳥栖 11	
【長崎縣】 島原 20	諫早 15 平戸 14	富江 13 茂木 10	
【熊本縣】 水俣 24	荒尾 18 八代 13	牛窓 12	
【大分縣】 中津 25	白杵 20 佐賀關 13	日田 12 高田 11	佐伯 11
【宮崎縣】	小林 25	富高 11	
【鹿兒島縣】 谷山 27	枕崎 25 阿久根 21	鹿屋 20 垂水 20	末吉 19 名瀬 18

志布志 17	出水 15	伊作 14	伊集院 11
川邊 17	加治木 15	宮之城 13	大口 11
加世田 16	米津 14	萬世 11	
【沖繩縣】	平良 23	名護 12	

北海道地方

夕張 49	帶廣 20	倶知安 14	留萌 13
沼貝 33	余市 19	八雲 14	岩内 12
岩見澤 25	江別 18	伊達 14	富良野 12
網走 25	稚内 18	瀧川 13	森 11
野付牛 23	根室 16	士別 13	美幌 11
砂川 20	角田 15	名寄 13	美深 10
苫小牧 20	豊平 14	上磯 13	増毛 10

⑧ 市の人口

函館 164	札幌 143	小樽 135	旭川 72
室蘭 50	釧路 42		

(十六) 市・町の數 (一萬以上) 444

關東 106	中部 90	九州 73	近畿 51	奥羽 43
北海道 34	中國 31	四國 16		

第三 植民地の部

(一) 樺太

(1) 農業

① 農耕適地 ②15,247 牧畜適地 1,742 作付反別 140

② 農産物

燕麥 ③134 馬鈴薯 ④4,180 大根 ⑤2,234 甘藍 ⑥932

(2) 牧畜業

牛 1,943頭 乳牛 205 馬 2,307 養狐 590

(3) 水産業 (水産製造物) ⑦

鯨 粕 7,792 鯨 鱈 1,544 棒鱈 1,210 昆布 1,098
蟹 罐詰 884

(4) 林業

立木地 ⑧1,991 材積 ⑨557,500 (針葉樹 537,600 闊葉樹 19,900) 伐採 ⑩8,675

(5) 工業

パルプ ⑪16,842(105,659噸) 製紙 ⑫6,038(35,105,000封度) 製材 ⑬2,093

⑭ パルプ工場—大泊・豊原・落合・真岡・野田・泊居・知取・敷香

(6) 交通

鐵道138哩 自動車50臺 馬轎2,881 犬轎424 馴鹿轎52
【無線電信】—大泊 開港場—大泊・真岡 【燈臺】—大泊 21 西能登呂岬 I、19 宗仁岬 19 氣主岬 IV、21,5 海馬島 19

(7) 神社・宗教

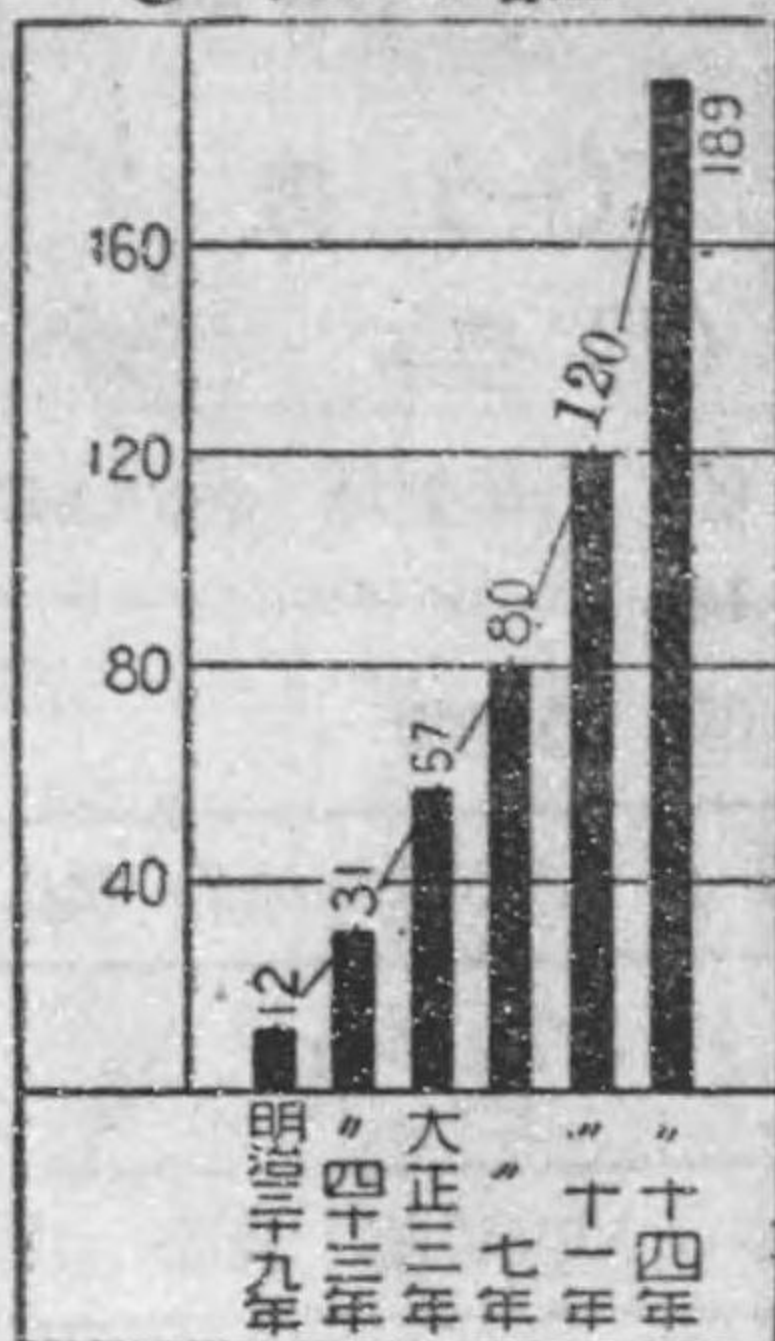
① 【神社】—樺太神社(真岡、祭神・社格は札幌神社に同じ)の外無格社 68 ② 【寺院】—真・日蓮・曹洞・浄土各宗に属するものゝ数32 ③ 【神道】—黒住・修成・大社・御嶽・金光・天理の布教所数 26

(8) 人口

④ 都 邑

豊原 21 大泊 24 真岡 13

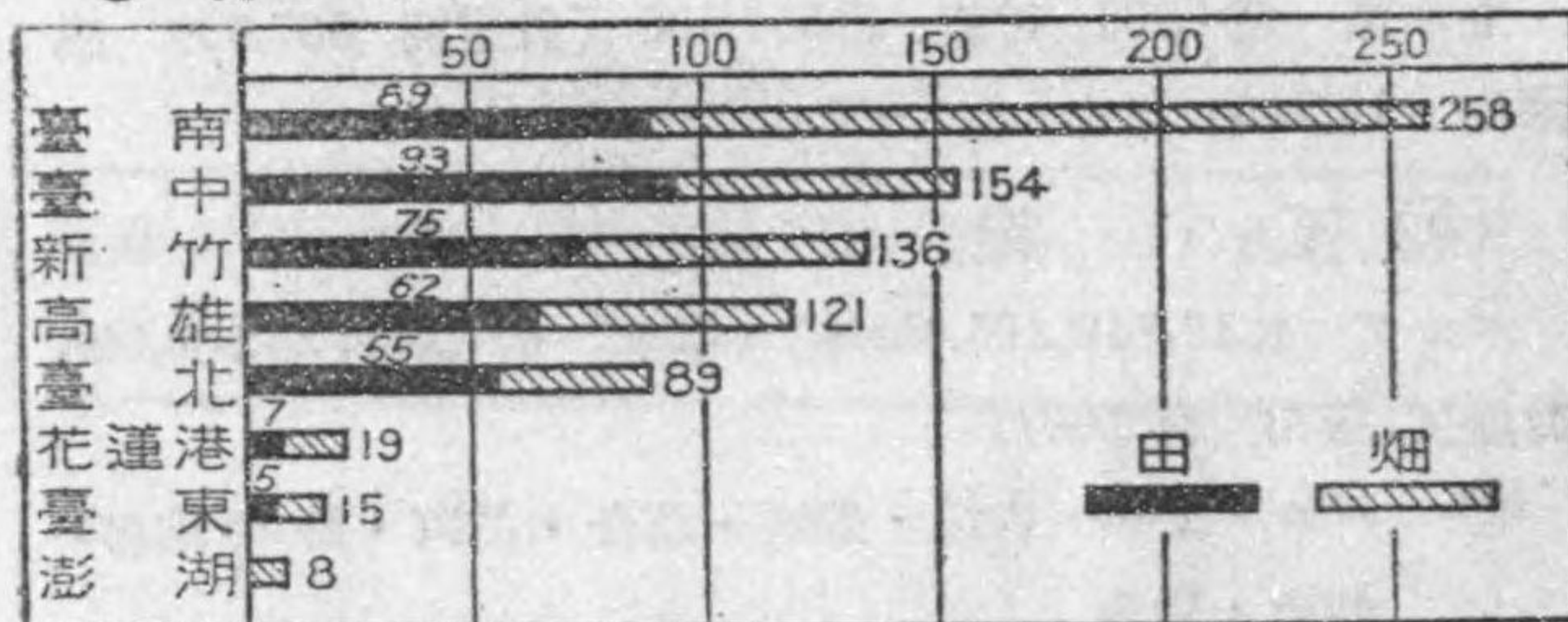
④ 人口の増加



(二) 臺灣

(1) 農 業 (甲は内地の9反7畝24歩)

① 耕地 ②799 (田—385 畑—414)



③ 農産物 ④ 25・26

(2) 牧 畜 ⑤ 26

(3) 林 業 (針葉樹にありては扁柏・紅檜・

梅、闊葉樹にありては桧類・柯等を主要材木とする)

伐木賣拂額—阿里山 ⑥135(⑦2,015) 宜蘭濁水溪 96

(⑧903) 八仙山 ⑨49(⑩447)

(4) 漁業 ⑪26 (5) 工業 ⑫27 (7) 貿易 ⑬27 (6) 鑛業 (鑛産 ⑭14,627) 石炭 ⑮27 金銅鑛 ⑯579 金 ⑰370 石油 ⑱278

(8) 交 通

① 鐵道—845.2哩(官設518.6 私設326.6)

② 上記の外に阿里山鐵道(54.哩10鎖)がある。其の嘉義・竹崎間(8.68)は營業線で、其の他は森林鐵道があるが、竹崎・沼の平間(35.65)は一般貨物に限り輸送をなし、又便乗の取扱をする。

③ 私設専用線 1,023

④ 私設軌道 635.2哩(所謂トロ若くは臺車)

⑤ 無線電信—基隆・馬公・鶯巒鼻(こゝに新設のため鳳山海軍無線電信所は一般公衆電信の取扱を廢止した)

⑥ 燈臺

彭佳嶼 I、30	富基角 II、19	基隆 V、18	鼻頭角 IV、22
蘇澳 IV、20	三仙臺 V、19	鶯巒鼻 I、20	高雄 III、20.5
白沙岬 III、17.5	北島 I、19	東吉嶼 V、19	漁翁島 IV、21

(9) 都邑と教育機關・軍備・神社

【臺北】=臺北帝大・高校・醫專・高農林・臺北高商(臺灣軍司令部) 歩1 【臺灣神社】—大國魂命・大己貴命・少彥名命、能久親王、官大 【臺南】=臺南高商 【臺南神社】—能久親王、官中 歩2 【屏東】—飛行8

⑦ 縣社は宜蘭・新竹・臺中・嘉義・開山(臺南)阿緱(屏東)、臺東・花蓮港の八社、無格社は十社を數へる。

(10) 宗 教

① 領臺前からのもの

儒教・道教・佛教・齋教(佛教の一派)・神明會(或る神佛を信奉する團體)・祖公會(祖先を信奉する團體)・巫覡術士(禁厭・祈禱・占候を業とするもの)・基督教

㊦ 領臺後に傳來したもの

【神道】—天理・金光・神習・御嶽・實行・扶桑の六派 【佛教】—眞・曹洞・臨濟・淨土・眞言・天台 寺院數 34 内地基督教

(11) 都 邑 (街の人口) (一万以上)

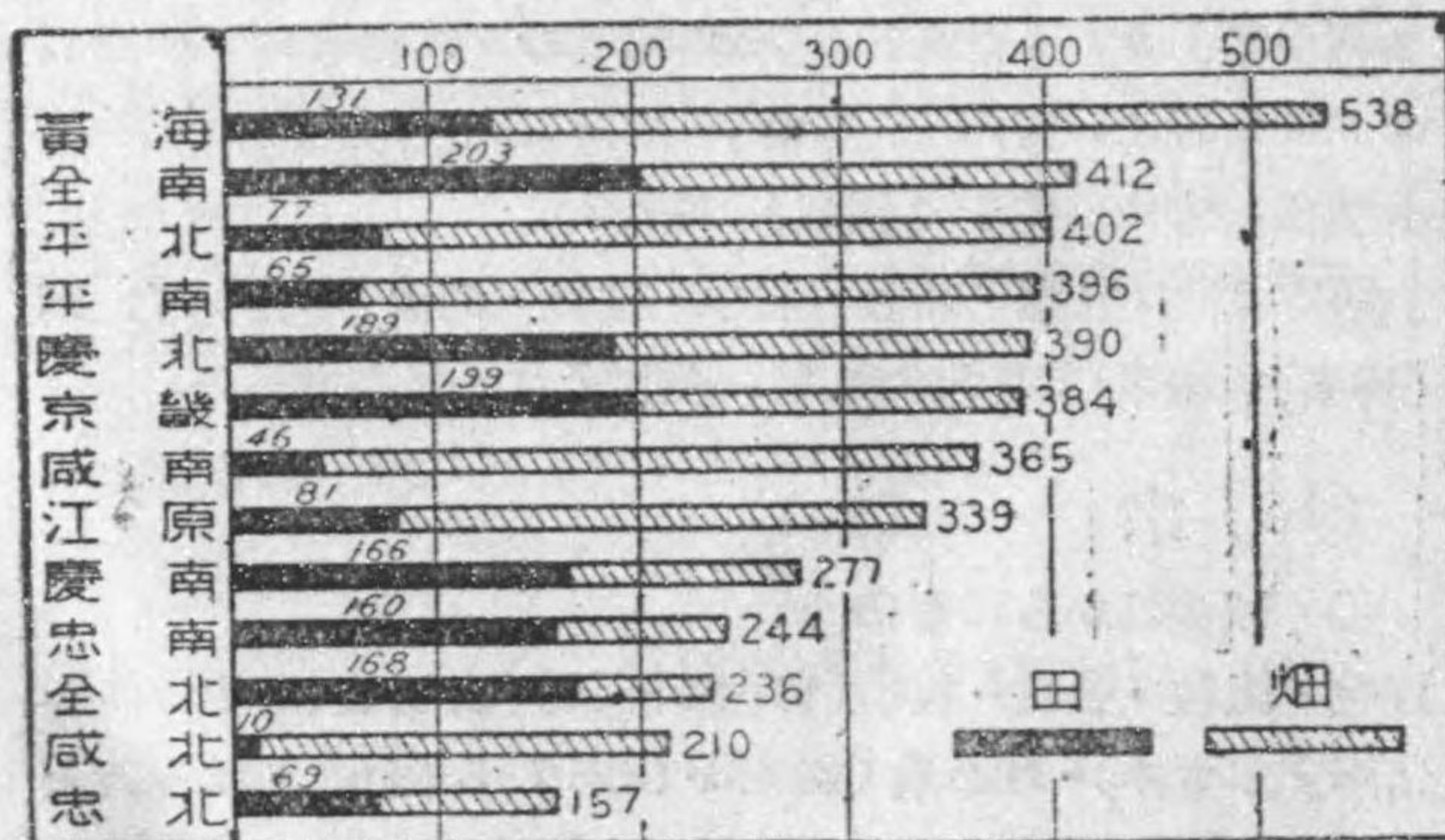
【臺北】	苗栗 17	梧棲 12	【高雄】
宜蘭 22	【臺中】	【臺南】	屏東 27
淡水 22	鹿港 32	嘉義 45	旗山 16
汐止 17	清水 26	斗六 27	東港 15
新莊 17	員林 24	麻豆 25	鳳山 13
羅東 12	豐原 24	西螺 20	【澎湖】
【新竹】	埔里 24	北港 20	馬公 21
新竹 38	南投 23	鹽水 18	
大溪 27	彰化 19	朴子 17	
桃園 19	大甲 18	新化 12	

(市の人口は ㊦ 25)

(三) 朝 鮮

(1) 農 業

① 耕地 ㊦4,348(田1,564 畑2,785)



㊦ 農産物

【米】—㊦28 【大豆】—㊦28 【大麥】・【小麥】・【粟】・【棉】—㊦29

【烟草】—㊦2,712 (㊦3,834) 平北・咸南北の三道以外の各道に栽培せられ、製造工場は京城(仁義洞・義州通)・大邱にあるものを主とする。【人蔘】—收納㊦114 販賣㊦2,689 【蔘】—㊦285 慶北42 平南29 江原29

(2) 牧 畜

①【牛】—㊦29

㊦【牛皮】—㊦2,849 (㊦6,467)

京畿641 平北315 平南274 慶北231 咸北212

①【豚】—㊦1,150

平北	154	全南	143	咸南	115
全北	107	咸北	105	黄海	101

(3) 林 業

①【林野】㊦15,880(全土の約七割一分)

㊦【成林地】 5,482

咸南1,458 咸北880 平北875 江原667 全北267

①【稚樹發生地】 7,284

平北 1,085 江原 960 黄海 784 慶北 765 全南 590 咸南 521

㊦【國有林野】—約5,190 其中鴨綠・豆滿兩流域に屬するもの約2,110、成林地約八割四分に占む。主要林木は杉松(エゾマツ・トドマツに類似す)・紅松(朝鮮五葉松)・落葉松(朝鮮カラマツ)等の針葉樹、朝鮮ヤマナラシ・シナノキ類及びドロノキ類の闊葉樹である。大正十五年六月林政の改革を斷行し、總督府に山林部を設け、各所に營林署を置いた。國有林の經營保護は無論營林署の當るところである。賣却木材は4,504千尺締、價額㊦3,280

(4) 水産業

①【漁獲物・水産製造物・製鹽】 ㊦30

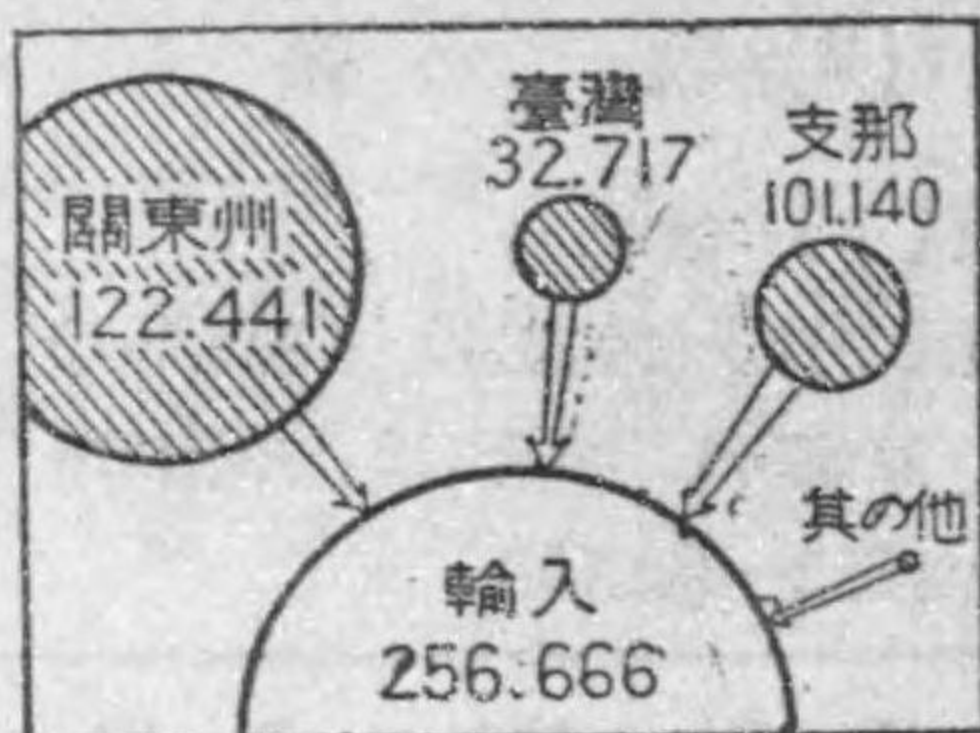
②【主要漁獲物】 ㊦

鱈	6,996	明太魚	2,673	鱈	1,706
鯖	6,809	鰯	2,010	鱈	1,596
石首魚	3,538	鯛	2,003	鰯	1,578

③【天日製鹽田】 2,446町

㊦30 (平南・平北・京畿に三大別してある)

廣梁灣 774 徳洞(平南)223 貴城(平南)149
南市(平北) 217 朱安 212 君子(京畿) 575
南洞(京畿) 300



㊦【鹽の輸入】 ㊦256,666 (㊦2,587)

(5) 鑛業 ㊦30

(6) 工業

朝鮮人の工業は機械器具の改善、技術の進歩、産額の増加等漸く見るに足るものがあり、特に織物・綿物・指物類は著しく面目を改めてある。然し大規模の組織を以て經營せられるものは殆ど全部内地人の手にあると云つてよい。

内地人の工業(生産額㊦と主産地)

【精穀】—126,273	京城・仁川・木浦・群山・釜山・平壤
【製鐵】— 11,405	兼二浦製鐵所
【清酒】— 9,164	京城・仁川・釜山・馬山
【製糖】— 8,695	平壤
【生絲】— 7,136	慶北・京畿・平南・平北
【繰綿】— 6,928	木浦
【パプル】— 1,457	新義州・龜浦(慶南)
【セメント】— 700樽	江東(平南)

(7) 貿易 ㊦

①【總額】681,642 (輸移出 341,630 輸移入 340,011)

㊦國別

(輸移出)—内地 317,288 支那 23,415

(輸移入)—内地 234,623 支那 83,361 米國 9,399

英國 5,142 蘭印 4,573

㊦【輸移出品】

米	173,163	繰綿	11,587	鐵	5,017	海苔	2,198
大豆	20,552	繭	9,980	生牛	4,118	石炭	2,131
柞蠶絲	18,371	生絲	8,860	木材	3,759	紅蔘	1,744
餅・乾魚	13,789	肥料	5,452	牛皮	3,411		

㊦【輸移入品】

綿織物	37,841	絹織物	8,038	砂糖	5,870	毛織物	4,854
粟	28,779	石炭	7,687	機械	5,743	支那麻布	4,787
綿織絲	8,485	小麦粉	6,655	肥料	5,568		
木材	8,089	紙類	6,486	石油	5,048		

㊦【港別】(輸移出—輸移入)

釜山	124,040—103,572	仁川	63,562—66,459
新義州	12,580— 52,219	群山	37,738—18,341
鎮南浦	36,773— 13,470	木浦	21,976—11,896
元山	8,408— 12,949	*京城	969—19,311
清津	6,898— 10,616	*平壤	3,192—13,470
*大邱	186— 5,491	城津	2,739— 2,491
雄基	3,190— 1,129		

㊦ * は開港及び陸接國境から保稅運送に依る貨物の輸移出入を取扱ふ處である。又陸境地帯には會寧其の他の貿易場がある。

(8) 交通

①【鐵道】—國有 1,309.1哩 私設 487.3

②【軌道】—39.5(此の外清津・羅南間に手押式(10.3)がある)

③【無線電信】—京城・釜山・木浦・濟州島・港門島・小月尾島・小青島

(9) 燈臺

清津 III 20	絶影島 IV 19.5	末島 VI 20
漁郎端 V 19	加徳島 V 22	於青島 III 20.5
舞水端 IV 23.5	所里島 IV 23.5	瓮島 IV 22
城津 VI 19.5	巨文島 III 21.5	格列飛島 III 26
馬養島 IV 21.5	摩蘿島 VI 18	木徳島 VI 20
西湖津 VI 18.5	港門島 IV 25	覺島 IV 17.5
麗島 IV 21.5	魚龍島 VI 23.5	小月尾島 VI 15.5
水源端 VI 17.5	竹島 III 23.5	小青島 III 23.5
注文津 VI 17.5	黒山島 23.5	西島 IV 24.5
竹邊灣 IV 19	下島島 V 18.5	大和島 III 25.5
冬外串 IV 19	時下島 IV 16.5	水運島 IV 19
蔚崎 VI 18.5	七發島 I 25.5	馬島 V 22.5

(10) 都邑と教育機關・軍備・神社

【京城】—京帝大 京法專 京醫專 京高工 京高商 朝鮮軍司令部(龍山) XX歩78.79 騎28 野砲26 【朝鮮神宮】—天照大神・明治天皇。官大 【水原】—水高農林 【大邱】—歩28 【平壤】—歩77 飛行6 【羅南】—XIX 歩73.76 騎27 野砲25 【會寧】—歩75 【咸興】—歩74

④ 神社—内地人の群居集落をなす地方には概ね之を見らる。其の數42、皆無格社であるか、將來相當の社格を定められるであらう。

(11) 宗教

①【佛教】—朝鮮の佛教は傳來後歷朝の保護を受けて隆盛を極め、我が佛教史上にも密接な關係を有するほどである。李朝に至り其の餘弊のため、種々の抑厭を加へられ、寺刹は多く荒廢に委せられたが、日韓併合後、寺刹令の施行に依り數百年來沈衰裏にあつた佛教はこゝに蘇生の觀をなし、其の發展に力を用ふるやうになつた。寺刹數885

②【内地佛教】—眞・日蓮・淨土・眞言・法華・曹洞・臨濟・黃檗・天台各宗が布教して居り、寺院數87 布教所345

③【神道】—天理・神理・金光・神習・大社・實行・扶桑・神道の八派が布教して居り、布教所153

④【基督教】—新舊各派の布教所3,896

(12) 都邑 (市街地の人口)

南部	晋州 17	北部	會寧 13
開城 45	統營 17	咸興 31	羅南 12
光州 21	水原 10	海州 17	義州 11
全州 20	公州 10	沙里院 14	城津 10

(府の人口は④3.28)

(四) 關東州

(1) 面積・人口 ④1.2

(2) 農業 (一支那畝は我が六畝三分強)

①耕地—3,266千支那畝 (田 10. 畑 3,256)

②農産物 ④

玉蜀黍 336 高粱 101 落花生 446

(3) 牧畜 ④

牛 28 驢 26 騾 17 豚 28

(4) 水産業 ㊦

①【漁獲】 2,246 (支那人 1,299 内地人 948)

タヒ 682 タラ 550 タチウオ 349 グチ 255
ヒラメ 255

㊦【製鹽】 ㊦501,716 (鹽田 6,252町)

	20	40	60	80	100百万
貔子窩					204,981
普蘭店			174,619		
旅順					109,542
金州	10,822				
大連	1,753				

(5) 工業 ㊦

【豆粕・豆油】—大連 【綿絲】—周水子 1,083 金州(馬家屯) 3,133
【機械】—大連(沙河口) 【セメント】—周水子 3,900 (650千樽)
【硝子】—大連 2,080

(6) 貿易 (千海關兩)

①輸出入額—362,315 (輸出 217,663 輸入 144,653)

㊦【輸出品】

豆粕	57,389	石炭	29,221	鐵・鐵製品	
大豆	42,113	高粱	7,840		4,268
豆油	26,211	玉蜀黍	6,707		

①輸入品

綿織物	14,589	鐵鋼	8,113	煙・草	5,451
麥粉	13,954	機械・器具	5,560		
麻袋	10,362	毛織物	4,540		

①【開港】—大連・旅順 (東港南側の半部を除く)

(7) 交通

①【鐵道】 144,33哩(滿鐵81,3、金福鐵道63 全州—貔子窩)

㊦【大連無線電信局】(沙河口受信所、龍樹屯發信所)

①【燈臺】

圓島(大連港外) III22 南三山島 III23 黃白嘴IV23,5
老鐵山 I25

(8) 都邑と人口・教育機關・軍備

【旅順】—23 旅順工科大学 關東軍司令部 歩 15 旅順防備隊
【周水子】—歩28 【柳樹屯】—歩50

【大連】—185 南滿洲工業專門 第十師團司令部

㊦ 奉天の南滿洲鐵道附屬地に南滿洲醫科大学・南滿洲教育専門學校、哈爾濱市外馬家溝に日露協會學校がある

附 滿 洲

(1) 面積・人口 (74,421方里—28,228)

【奉天省】 15,151—13,875 【吉林省】 13,606—6,429

【黑龍江省】 35,497— 3,558 【內蒙古】 10,168—4,366

㊦ 奉天省の人口は支那中央政府に屬する東三省人口調査課の、其の他のは滿鐵調査課の最近調査の結果であるが、前者は又吉林・黑龍江兩省の人口 11,645を發表してあるから、滿洲の人口は從來の推定數を遙かに凌駕してあるやうである。在滿鮮人の數に就いては正確な統計を欲し、或は 100萬と稱せられてあるが、最近調査に依れば 72萬—80萬。なほ逐年數萬人を増加する趨勢である。因云、シベリヤ極東州に於ける鮮人數はロシヤの最近調査で約 11萬と計上せられる。

(2) 滿洲の内地人 117,419人(關東州のを除く)

南滿洲鐵道附屬地に 88,042 領事館管内に 5,825 北滿洲

に4,300 奥地地方に 25,079 (安東地方 11,501 龍井村地方 11,071 吉林地方 819)を算する

【附屬地中主な集團地】(人口單位 1,000)

奉天	19	長春	10	四平街	3	開原	3
撫順	15	鞍山	6	瓦房店	3		
安東	11	遼陽	5	鐵嶺	3		

(3) 農産物 ㊦

大豆 32,000 高粱 35,000 粟 27,000 玉蜀黍(包米) 3,000 小麥 6,000

【柞蠶】㊦25,000 (安東附近 7,000)

【油房】大連を主とする全滿の油坊數154 豆粕38,708千枚 (㊦ 80,700) 豆油 ㊦35,693 糠粕 ㊦1,947

(4) 牧畜 ㊦

馬	2,500	驢	500	羊	2,000	駱駝	4
騾	620	牛	2,000	豚	6,000		

(5) 鑛業

①石炭 (千英噸)

【撫順】—5,720 古城子 2,128 大山 1,098 老虎臺 508 楊柏堡 505 【本溪湖】—415 【煙臺】—163

②製鐵 (千佛噸)

【鞍山】—165 含鐵量約 35%の貧鐵なれども埋藏總鐵量は 3 億噸と稱せられ、四周の諸丘陵皆鐵山ななざるはない。將來年1,000*の銑鐵を製出する計畫の進行中である。

【本溪湖】—銑鐵 51

(6) 鐵道 2,981哩

【南滿洲鐵道】—698.4 【東支鐵道】—1,077.9 【京奉鐵道】—

奉天—北京 723.9(英借款) 【四洮鐵道】=四平街—洮南及び鄭家屯—通遼259.5(日借款) 【吉長鐵道】=77.9(滿鐵委任經營) 【洮昂鐵道】=洮南—昂々溪 142.9 【錦朝鐵道】=京奉線錦州—朝陽 69.8 【大彰鐵道】—京奉線の大虎山—彰武 70(本線は不日完成の打通線で、南滿鐵道の並行線として注目せられてゐる) 【呼海鐵道】=哈爾濱の對岸松浦—海倫 125(綏化まで 70 開通) 【奉海鐵道】=奉天—海龍 155 其の他北滿洲の鑛山鐵道及び森林鐵道數百餘里を算する。

㊦ 輕便鐵道 【溪域鐵道】本溪湖—牛心臺 77 【昂齊鐵道】昂々溪—齊々哈爾 18 【天圖鐵道】朝鮮會亭—天寶山 75 【掏鹿鐵道】開原—掏鹿 38

(7) 滿蒙の日本領事館

【總領事館】—哈爾濱・吉林・開島・奉天 【領事館】—滿洲里・齊々哈賓・長春・安東・鐵嶺・鄭家屯・遼陽・牛莊(營口) 赤峯

(四) 南洋諸島

①【面積】・【人口】 ㊦1.2 参照

㊦【主要島の面積(方里)—人口】(日は内地人の略)

ボナベ 24—5,246(日240) パラオ本島 24—3,184(日92) ヤップ 14—4,871(日162) サイパン 12—8,153(日5,448) ロタ 8.1—512(日20) クサイエ 7.5—914(日13) トラック 6.4—?

水曜 1.8—1,697(日19) 春 1.7—2,283(日10)

夏 ?—1,373(日251) 秋 ?—1,180(日22)

冬 ?—978(日8) 月曜 ? 529(日9)

日曜 ?—315

テニアン 6.41—212(日35) ヤルート 0.5—2,104(日211)

アンガウル0.5—542(日185) コロール ?—1,255(日792)

②【島民】(土人) 48,530

島民はカナカ族(45,580)とチャモロ族(2,950)に分れ、後者はサイパン(1,881) ヤップ(129) パラオ本島(63) アンガ

ウル(135) テニアン(170) バガン(65) ロタ(487) 夏島(6)の諸島に分布し、其の數少なげれど、文化の程度は前者の上に居る。前者は ボナベ(4,997) サイパン(819) ヤップ(4,563) パラオ(3,028) 春島(2,273) 夏島(1,112) 秋島(1,156) ヤルート(1,888) 水曜(1,678) 等況く各島に分布してゐる。

㊦【行政區劃】

支 廳	支廳所在地	支 廳	支廳所在地
サイパン	サイパン	パラオ	パラオ
ヤップ	ヤップ	トラック	トラック
ボナベ	ボナベ	ヤルート	ヤルート

㊦【産 業】

【農産物】 ㊦2,652

里芋 767(㊦3,503) 麩麵果 435(㊦4,633)

【甘蔗】 416 (砂糖㊦2,842㊦150) サイパン・パラオを主産地とす。【バナナ】 ㊦330(㊦1,956) 【コブラ】 ㊦1,394(9,800噸(ヤルート(5,446噸)、ボナベ(1,720)、トラック(1,616)を主産地とす。)

【燐 礦】 ㊦1,321(65,864噸) アンガウル島の蓄積尙約2,400千噸と見積られ、其の他ペリリュー、フェイス等にも蓄積してゐる。

㊦【貿 易】

開港場—サイパン・パラオ・アンガウル・トラック・ヤルート 移出入を主とし、移出—5,843 (燐礦・コブラ・砂糖) 移入—3,483 (米穀・器具・機械・布帛)

㊦【交 通】

【軌道】—56.84哩(サイパン管内 45.76 パラオ管内 11.08) 【無線電信】—各支廳所在地及びアンガウル島の各郵便局は何れも此の装置を有してゐる。

【なはり】

312
443

昭和三年五月十三日印刷
昭和三年五月十七日發行

定價金七拾五錢

不 許
複 製

著 者

學海指針社編輯所

印 刷 者

前 川 一 郎
東京市神田區昌平河岸四號地

發 行 所

學 海 指 針 社
東京市神田區昌平河岸四號地

販 賣 所

六 合 館
東京市日本橋區數寄屋町九番地

特210

400

GKS

終